

朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)

図 面 リ ス ト

図番	図 名	縮 尺	図番	図 名	縮 尺	図番	図 名	縮 尺	図番	図 名	縮 尺
001	特記仕様書(1)	－	042	増築部分 基礎伏図	1/100	083	改修部分 理科室平面図・仕上表	1/100	124	家具詳細図(飛驒の家具7)	1/30
002	特記仕様書(2)	－	043	増築部分 基礎詳細図(1)	1/30	084	改修部分 理科室平面詳細図	1/50	125	家具詳細図(飛驒の家具8)	1/15
003	特記仕様書(3)	－	044	増築部分 基礎詳細図(2)	1/30	085	改修部分 理科室展開図	1/100	126	家具詳細図(飛驒の家具9)	1/20
004	特記仕様書(4)	－	045	増築部分 土台伏図	1/100	086	改修部分 職員更衣室平面詳細図・仕上表	1/50	127	家具詳細図(飛驒の家具10)	1/20
005	特記仕様書(5)	－	046	増築部分 2階梁伏図	1/100	087	改修部分 職員更衣室展開図	1/100	128	家具詳細図(飛驒の家具11)	1/10
006	仮設計画図(参考)・付近見取図	1/500	047	増築部分 R階梁伏図	1/100	088	改修部分 1階特別支援教室平面詳細図	1/50	129	家具詳細図(飛驒の家具12)	1/20
007	求積図(1)	－	048	増築部分 軸組図(1)	1/100	089	改修部分 2階普通教室平面詳細図	1/50	130	家具詳細図(飛驒の家具13)	1/30
008	求積図(2)	－	049	増築部分 軸組図(2)	1/100	090	改修部分 西側1階廊下平面詳細図・断面図	1/30	131	家具詳細図(飛驒の家具14)	1/30
009	求積図(3)	－	050	増築部分 軸組図(3)	1/100	091	改修部分 西側階段室平面詳細図・仕上表	1/50	132	家具詳細図(飛驒の家具15)	1/5
010	改修前配置図	1/500	051	増築部分 軸組図(4)	1/100	092	改修部分 西側階段室展開図	1/100	133	家具詳細図(既製家具1)	1/30
011	改修後配置図	1/500	052	増築部分 金物伏図(1)	1/100	093	改修部分 北側階段室平面詳細図・仕上表	1/50	134	家具詳細図(既製家具2)	1/30
012	改修前1階平面図	1/250	053	増築部分 金物伏図(2)	1/100	094	改修部分 北側階段室展開図	1/100	135	家具詳細図(既製家具3)	1/30
013	改修前2階平面図	1/250	054	増築部分 木造継手仕口図(1)	－	095	改修部分 屋外トイレ平面図・仕上表	1/100	136	家具詳細図(既製家具4)	1/30
014	改修後1階平面図	1/250	055	増築部分 木造継手仕口図(2)	1/30	096	改修部分 屋外トイレ平面詳細図・床伏図	1/50	137	1階ユニットキープラン	1/250
015	改修後2階平面図	1/250	056	増築部分 木造金物詳細図	－	097	改修部分 屋外トイレ展開図	1/100	138	2階ユニットキープラン	1/250
016	増築部分 仕上表	－	057	増築部分 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	－	098	改修部分 外部1階平面図	1/100	139	ユニット詳細図	－
017	増築部分 1階平面図	1/100	058	増築部分 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	－	099	改修部分 外部2階平面図・天井伏図	1/100	140	白板詳細図(1)	－
018	増築部分 2階平面図	1/100	059	増築部分 鉄骨構造標準図	－	100	改修部分 外部立面図	1/100	141	白板詳細図(2)	－
019	増築部分 屋根伏図	1/100	060	増築部分 鉄骨継手基準図	－	101	改修部分 外部平面詳細図	1/50	142	屋内運動場 アリーナ床改修図(1)	1/100
020	増築部分 立面図(1)	1/100	061	増築部分 合成デッキ施工要領図	－	102	改修部分 渡り廊下A平面詳細図	1/50	143	屋内運動場 アリーナ床改修図(2)	1/100
021	増築部分 立面図(2)	1/100	062	増築部分 鉄骨架構詳細図	1/30	103	改修部分 渡り廊下A断面図	1/50	144	屋内運動場 舞台幕改修図	1/90・1/20
022	増築部分 断面図	1/100	063	改修部分 仮設計画図(参考)	1/100	104	改修部分 1階天井伏図	1/250	145	屋内運動場 体育器具改修図(1)	1/30
023	増築部分 断面詳細図(1)	1/30	064	改修部分 昇降口平面図・仕上表	1/100	105	改修部分 2階天井伏図	1/250	146	屋内運動場 体育器具改修図(2)	1/40・1/20
024	増築部分 断面詳細図(2)	1/30	065	改修部分 昇降口平面詳細図(1)	1/50	106	改修部分 1階建具キープラン	1/200	147	外構撤去図	1/500
025	増築部分 1階平面詳細図(1)	1/50	066	改修部分 昇降口平面詳細図(2)	1/50	107	改修部分 2階建具キープラン	1/200	148	外構図	1/500
026	増築部分 1階平面詳細図(2)	1/50	067	改修部分 昇降口展開図	1/100	108	改修部分 建具表(1)	1/100	149	外構詳細図(1)	1/10・1/20
027	増築部分 1階平面詳細図(3)	1/50	068	改修部分 職員室平面図・仕上表	1/100	109	改修部分 建具表(2)	1/100	150	外構詳細図(2)	1/75
028	増築部分 1階平面詳細図(4)	1/50	069	改修部分 職員室平面詳細図(1)	1/50	110	部分詳細図(1)	1/10	151	外構詳細図(3)	1/50
029	増築部分 2階平面詳細図・階段廻り断面詳細図	1/50	070	改修部分 職員室平面詳細図(2)	1/50	111	部分詳細図(2)	1/10	152	外構詳細図(4)	1/40・1/8・1/100
030	増築部分 渡り廊下平面詳細図	1/50	071	改修部分 職員室展開図	1/100	112	部分詳細図(3)	1/10	153	外構詳細図(5)	1/50・1/10・1/8・1/2
031	増築部分 展開図(1)	1/100	072	改修部分 コンテナ室等平面図・仕上表	1/100	113	部分詳細図(4)	1/10・1/20	154	【参考図】 エレベーター詳細図(1)	－
032	増築部分 展開図(2)	1/100	073	改修部分 コンテナ室等平面詳細図	1/50	114	部分詳細図(5)	1/10・1/30	155	【参考図】 エレベーター詳細図(2)	1/20
033	増築部分 展開図(3)	1/100	074	改修部分 コンテナ室等展開図	1/100	115	部分詳細図(6)	1/10	156	【参考図】 エレベーター詳細図(3)	1/20
034	増築部分 展開図(4)	1/100	075	改修部分 交流スペース等平面図・仕上表	1/100	116	1階家具キープラン	1/250	157	【参考図】 エレベーター詳細図(4)	1/50・1/20
035	増築部分 展開図(5)	1/100	076	改修部分 交流スペース等平面詳細図(1)	1/50	117	2階家具キープラン	1/250	158	【参考図】 エレベーター詳細図(5)	1/20
036	増築部分 1階天井伏図	1/100	077	改修部分 交流スペース等平面詳細図(2)	1/50	118	家具詳細図(飛驒の家具1)	1/15	159	【参考図】 エレベーター詳細図(6)	1/20
037	増築部分 2階天井伏図	1/100	078	改修部分 交流スペース等展開図(1)	1/100	119	家具詳細図(飛驒の家具2)	1/10	160	1階法規チェック図	1/150
038	増築部分 建具キープラン	1/200	079	改修部分 交流スペース等展開図(2)	1/100	120	家具詳細図(飛驒の家具3)	1/20	161	2階法規チェック図	1/150
039	増築部分 建具表(1)	1/100	080	改修部分 図工美術室平面図・仕上表	1/100	121	家具詳細図(飛驒の家具4)	1/10・1/5	162	工事計画工程表(1)(参考)	－
040	増築部分 建具表(2)	1/50	081	改修部分 図工美術室平面詳細図	1/50	122	家具詳細図(飛驒の家具5)	1/30	163	工事計画工程表(2)(参考)	－
041	増築部分 建具表(3)	1/50	082	改修部分 図工美術室展開図	1/100	123	家具詳細図(飛驒の家具6)	1/10			

【原図はA2版とする】

建 築 工 事 特 記 仕 様 書				
①1	一 般 事 項			
A	工 事 概 要			
①1	工 事 名 称	○ 朝日・高根義務教育学校(仮称) 整備工事(建築)		
①2	建 築 主	○ 高山市長 田中 明		
①3	工 事 場 所	○ 岐阜県高山市朝日町万石地内		
①4	地 域 指 定	○ 用 途 地 域 ○ 指定なし ・ 建 ペ イ 率 (

D	一 般 事 項			
①1	工 事 着 手 前 協 議	○ 受注者は契約後2週間に以内に設計書内容等について監督員と工事着手前協議を行うこと。 ○ 協議にあたっては、施工打合せ記録簿に協議事項を記入し打合せに持参すること。尚、協議日の設定については、受注者が事前に監督員と連絡をとり設定すること。 ○ 協議には、発注者側より監督員及び係長又は課長が、受注者側より現場代理人及び主任技術者が出席する。 ○ 協議時において施工打合せ記録簿の回答欄は監督員が記入し、最後に監督員及び係長又は課長の確認印を押印する。また、その写しは現場代理人（主任技術者）が受け取ること。		
①2	設 計 図 書 と の 差 異	○ 本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図書に基づいて作成されている。従って新築時の納り及び取合いの変更等により既存建物の状態と本設計図書との間に差異が生じ、本設計図書による施工が困難な場合は、監督員と協議しその指示に従うこと。		
①3	変 更	○ 工事内容に変更が生じる時は、協議書予め提出して承認を受けた後に変更工事に着手すること。尚、この場合の見積単価については契約時のものとする。但し、工術上必要な微細なる工事変更については、監督員の指示に従い受注者の工事費負担により施工すること。		
①4	工 事 監 理 者 等	○ 受注者は監督員から建築士事務所等に委託した工事監理者等が通知された場合には下記に従う。 1）工事監理者等が現場で立会い等の臨場をする場合にはその業務に協力する。又、書類（工事関係図書、施工図等）の提出に関し説明を求められた場合にはこれに応じる。 2）監督員から受注者に対する指示又は通知等を工事監理者等を通じて行う場合があるため、この際は監督員から直接指示又は通知等があったものと同等として取扱う。 3）監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知等は工事監理者等を通じて行うことができるものとする。		
①5	立 会 検 査	○ 下記の項目については監督員の立会検査を受ける。尚、検査立会記録書に監督員の記名捺印を受けなくてはならない。 ○ 各種製品検査 ○ 各種仕上検査 ○ 段階確認 ○ 完成前検査		
①6	電子メールの利用	○ 本工事の施工中における受発注者間の情報共有は電子メールを利用することができる。		
①7	工事書類の簡素化	○ 工事書類の簡素化にあたっては「工事書類簡素化要領」に基づいて実施すること。		
①8	提 出 書 類	○ 書式・部数・時期等は高山市ホームページ上に記載された内容とし、遅滞なく監督員に提出し承認を受けること。尚、監督員との協議により一部を省略することが出来る。		
①9	施 工 計 画 書 等	○ 各種工事に機器・機材・工法等を具体的に定めた施工計画書を提出して監督員の承認を得ること。尚、施工計画書に基づいた作業方法等を記載した施工要領書（検査方法も含む）を添付すること。		
①10	指 定 材 料 の 承 認	○ 各種見本品及び製作図・製品図は、工事進行に支障のないよう事前に提出し監督員の承認を得ること。尚、見本品については監督員が指示するサイズや形状のものとする。 ○ J I S ・ J A S規格を有する材料は全てJ I S ・ J A S規格品を使用すること。		
①11	材 料 試 験	○ 本工事に使用する材料の内で監督員より指示があるものに関してはその成績表を提出し承認を受けること。尚、試験に要する費用については受注者の負担とする。		
①12	施 工 図	○ 各種工事に先立ち施工図及び承認図を提出して監督員の承認を得てから当該工事に着手すること。尚、完成時にはのり入れ製本の上で監督員に提出すること。		
①13	完 成 図	○ 完成図及び監督員の指示する図面を作成してのり入れ製本2部を監督員に提出すること。		
①14	工 事 写 真	○ 各種工事についての要点を撮影して内容説明を記入の上で監督員に提出すること。 ○ 完成時には、○ 外観部分（2ヶ所） ○ 内観指示部分（5ヶ所以上）をキャビネ版（カラー）にてファイルにまとめて監督員に提出すること。		
①15	手 続 き	○ 工事施工完成に必要な諸官庁等への手続は全て受注者の責任とする。尚、手続費用については受注者の負担とする。		
①16	建 設 工 事 保 険	○ 受注者は工事にあたり建設工事保険または相当する保険に加入し、加入を証する書面の写しを加入後ただちに監督員に提出すること。加入期間は工事着手日より工事完成日の15日後までの期間を満足すること。		
①17	工 事 保 証	○ 契約約款に定めるところによる。 ○ 工事完成引渡後1年が経過した時点において監督員立会のもとで1年検査を行い、工事不良の為に生じたと認められる損害等については、監督員の指示に従い改修しなければならない。尚、その費用については受注者の負担とする。		
①18	C O B R I S の 登 録	○ 本工事は「建設副産物情報交換システム（以下「コプリスプラスシステム」という。）の登録対象工事であり、請負者は、施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。監督職員への報告（提出）はシステムにより作成した〔再資源利用計画書（実施書）〕及び〔再資源利用促進計画書（実施書）〕により行うものとする。なお、これにより難しい場合は、監督職員を協議しなければならない。 ○ 本工事の施工にあたっては「建設工事における建設副産物管理マニュアル」を参考に適切な処理に努めるものとする。		
①19	工 事 実 績 デ ー タ	○ 工事請負代金額500万円以上の工事については「CORINS」に登録、申請を行うこと。		
①20	下 請 負 契 約	○ 本工事において下請負契約を締結する場合には、当該契約の相手方を高山市内に本店（建設業法（昭和24年第100号）に規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。下請負者は高山市入札参加資格停止の処置がされていない者を選定すること。 ○ 本工事において工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方を高山市内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料についても高山市内での生産品（高山市内での生産のないものにあつては岐阜県産品）を選定するよう努めること。		
①21	伝 統 的 技 術 の 継 承	○ 本工事における伝統的大工技術等（大工、建具、左官、造園等）については、市内における伝統的大工技術等を継承するため、高山市内の事業者による施工に努めること。		
①22	重 点 監 督 対 象 工 事	○ 当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取扱いに従うこと。		
①23	実 施 状 況 の 提 出	○ 受注者は工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了時までに実施状況を提出することができる。		
①24	適 正 燃 料 の 使 用	○ ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJ I S規格の軽油を使用すること。 ○ ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。		
25	週休二日制工事の実施	・ 本工事は、完全週休二日制工事（現場閉所）とする。詳細は、「高山市発注の建設工事に係る週休二日制工事実施要領」に従うこと。		
①26	そ の 他	○ 木製家具の内「飛騨の家具」とされた製作家具については、高山市内に本店があり飛騨木工連合会の加盟店が製作したものとする。当該家具製作過程で一部を下請けさせる場合においても高山市内の製作所を選定すること。 ○ 朝日・高根義務教育学校（仮称）整備工事においては建築工事受注者を労働安全衛生第三十条2項の規定に基づく特定元方事業者に指名する。		

E	指 定 検 査	
①1	完 成 時 検 査	<div>○ 完成時には、留意事項の項目による「室内空気汚染物質測定」を行い基準以下であることを指定検査センターにて検査確認しなければならない。</div> <div>○ 分 析 方 法 ○ 拡散方式 ・ 吸引方式</div> <div>○ 分 析 項 目 ○ ホルムアルデヒド ○ トルエン ○ キシレン</div> <div> ○ エチルベンゼン ○ スチレン ○ パラジクロロベンゼン</div> <div>○ 検 査 箇 所 ○ 検査箇所は次の室（14ヶ所）とする。</div> <div> 増築部分1階 普通教室、相談室、図書室（2ヶ所）</div> <div> 改修部分1階 職員室（2ヶ所）、特別支援教室</div> <div> 改修部分2階 交流スペース、図工美術室、普通教室</div> <div> 屋内運動場1階 アリーナ（4ヶ所）</div> <div> ※普通教室・特別支援教室は同一仕上のため各1室のみの検査とする。</div> <div>○ 検 査 方 法</div> <div> 換気 測定対象室の全ての窓及び扉（造作家具や押入等を含む）を開放し30分間換気する。</div> <div> 閉鎖 測定対象室の全ての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造作家具や押入の扉等は開放したままとする。</div> <div> 測定 測定は閉鎖状態のまま行い、測定時間は原則として24時間とする。</div> <div> 測定位置は室中央付近の床から1.2～1.5mの高さとする。</div>
①2	工 事 完 了 検 査	<div>○ 工事完了時には、建築基準法による「完了検査」を受けなければならない。</div> <div>○ 完了検査申請書の作成を含む申請手続き代理業務は工事監理者が行うが、申請に必要な工事写真及び書類は受注者が整理すること。その工事写真及び書類の概要については工事監理者の指示に従う。</div>
①3	そ の 他	<div>○ 構造における参考とされた部材を変更する際は計画変更確認申請の対象となる場合があるため事前に監督員（工事監理者）の承認を得ること。</div> <div>・</div>
①2	仮 設 工 事	
①1	仮 設 計 画	<div>○ 設計図書中の仮設計画図を元に施工し、事故防止・安全管理に努めること。</div> <div>○ 建物位置と敷地との相対関係、資材搬出方法と敷地内外の条件、足場の危険防止、衛生、安全計画書等を提出して監督員の承認を得ること。</div> <div>○ 工事車両の搬出入経路は、近隣の状況を把握して迷惑を掛けないよう配慮すること。又、必要に応じて搬出入経路に交通誘導警備員を配備すること。</div> <div>○ 仮囲いは外側に夜間の安全確保のため外部照明を設置すること。又、第三者の侵入を防ぐ為に足元には隙間のないよう設置すること。</div>
①2	現 場 事 務 所	<div>○ 規 模 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 ・ 5号 ○ 指定なし</div> <div>○ 設備・備品 ○ 机、椅子、書棚、黒板、電話、FAX、その他監督員の指示による。</div>
①3	工 事 用 水	<div>○ 構内既存の施設 ○ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない</div>
①4	工 事 用 電 力	<div>○ 構内既存の施設 ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償） ○ 利用できない</div>
①5	工 事 看 板	<div>○ 本工事現場に掲示する看板は大きさ（1800×900程度）とし、書体・仕上・取付位置等はあらかじめ監督員と協議すること。確認済表示板等の工事に関する表示板は工事現場の見易い場所に掲示すること。</div>
①8	保 護 設 備	<div>○ 本工事の施工に当り、隣地建物・工作物及び通行人に対して損害等を与えないよう必要な保護設備を計画して監督員及び関係者の承認を得てから完全な実施を期さなくてはならない。</div> <div> 万一損害を与えた時は、すみやかに応急手当及び復旧工事を行うこと。尚、これに要した費用については受注者の負担とする。</div>
①9	ペ ン チ マ ー ク	<div>○ ベンチマークは監督員の現場指示による。</div> <div>○ ベンチマークは木杭・コンクリート杭等を用いて移動しないように設置する。ただし、移動の恐れがない固定物を代用することができる。</div>
①10	現 地 調 査	<div>○ 施工に先立ち敷地境界線を係員に確認の上でトランシット測量による敷地図を作成して建物及び周辺工作物の位置を明記し監督員に提出する。</div> <div>○ 既存設備の詳細について現地調査を行い、現状図にて施工上の留意点を明確にすること。</div>
①11	遣 方	<div>○ 建物位置及び水平の基準は監督員の現場指示による。縄張り後に遣方を建築物等の隅々その他の要所に設けて工事の支障のない場所に逃げ芯を設けること。</div>
①12	足 場 等	<div>○ 足場・桟橋・仮囲い等は、適切な材料及び構造とすること。定置する足場及び桟橋類は、別契約の関係受注者に無償で使用させること。</div> <div>○ 外部足場は「手すり先行工法による足場設置基準」に基づいたくさび緊結式足場とする。</div>
①13	安 全 点 検	<div>○ 作業開始前・終了後の現場内外の点検を必ず毎日行うこと。</div>
①14	掃 除 復 旧	<div>○ 工事完了後建物引渡し前に全体の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。</div> <div>○ 本工事により公道等の工事による損傷部分は完全に復旧すること。又、現場侵入経路となる公道及び構内の舗装が破損した場合は原形復旧を行い、維持管理等の費用について受注者が負担する。尚、公道復旧の要領は管理官庁の指導を受けること。</div> <div>○ 工事過程において、既設諸施設に損傷を与えた場合は受注者の責任において原形復旧を行う。</div>
①15	検 査 ・ 試 験	<div>○ 立会 ○ 報告 ○ 位置確認……建物位置、ベンチマーク指示</div> <div>○ 立会 ○ 報告 ○ 遣方検査……基準通り芯の位置、設計GLの高さ</div>
①16	そ の 他	<div>○ 工事施工にあたっては「騒音規制法」「振動規制法」「岐阜県公害防止条例」等の規定に遵守し、低騒音・低振動型の重機を使用して騒音・埃・運搬等により施設付近の住民に迷惑を及ぼさないように対策を充分に講ずること。</div> <div>○ 設計図書に記載がなく、工上に必要な仮設・撤去・移設・養生等が発生した場合は監督員のもと速やかに対処すること。</div> <div>・</div>

工 事 名	朝日・高根義務教育学校 (仮称) 整備工事 (建築)		
図 名	特記仕様書（1）		
縮 尺	—	番 号	1 6 3 枚の内 0 0 1 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプデザイン 一級建築士 大匠登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

03	土工事																									
01	根切り	根切り工法は着手前に地盤の地層・地下水状況及び隣接建物・工作物への影響を把握し監督員と協議して決定すること。切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、原則として根切り深さが1.5mを超える場合は山留めを設けること。																								
02	埋戻し	方法・A種（山砂の類）B種（根切り土の良土）その他（ ）																								
03	盛土	方法・A種（山砂の類）B種（根切り土の良土）その他（ ）																								
04	残土処分	構内処分・集積天端均し・敷均し整地・その他（ ） 構外処分○指定あり（開発許可を得た残土処分場 ）・指定なし（自由処分）																								
05	山留め	山留めは労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、安全に設置すること。																								
06	検査・試験	立会○報告○根切り終了時の検査……深さ、幅、長さ及び床ざらいの状態																								
07	その他	根切り底の状態が悪く地盤改良等の処置が必要な場合は監督員と協議しその指示に従うこと。 ・																								
04	地業工事																									
01	地耐力試験	試験の種類……平板載荷試験（渡り廊下：120kN/m ² ） 試験の方法……敷地調査工事共通仕様書及びメーカー仕様による。 試験の箇所……掘削完了地盤1箇所（位置については係員の指示に従う）																								
02	表層地盤改良	改良の方法……セメント攪拌安定処理工法（固化剤100kg/m ³ ） 改良の深さ……設計GLよりmとする。 地盤の転圧・深さ30cm毎のバックホウによる転圧・振動ローラーによる転圧																								
03	杭地業	杭の種類…… 杭の工法…… 試験掘削……杭打ちに先立ち試験掘削（1ヶ所）を行い、位置については施工時に監督員の指示に従うこと。尚、試験掘削深さは監督員の承認を得て決定すること。 支持耐力……kN/本（メーカーの算定式による）																								
04	砂利地業	材料・切込砂利・切込碎石○再生碎石																								
05	割栗地業	材料……割栗石は硬質なものとし下記を使用する。 割玉石・切込碎石○再生碎石 その他……締固め歩み幅は用具の径以内とし、締固めによる凹凸は目つぶし砂利で上均しの上で十分な転圧をしなければならない。																								
06	ラップルコンクリート地業	材料……コンクリートの調合は、セメント1：砂3：砂利6（容積比）とし、コンクリートと玉石の比は1：1程度にする。 強度……Fc18（N/mm ² ）																								
07	均しコンクリート地業	均しコンクリートの厚さは（○50mm・60mm・80mm）とし、平坦に仕上げる。																								
08	断熱材敷	スラブ・土間コンクリートの部分には、押出法ポリスチレンフォーム（3種aD）t50mmを設計図書指示範囲に敷込む。尚、ポリスチレンフォームは隙間のないよう数詰める。																								
09	防湿シート敷	スラブ・土間コンクリートの部分には、基礎地業完了後荒砂を厚さ10mm程度に敷均しの上でポリエチレンフィルムt0.15mmを設計図書指示範囲に敷込む。尚、ポリエチレンフィルムの重ね幅は300mm以上とする。																								
10	検査・試験	立会○報告○地耐力試験……地耐力の試験立会 立会・報告・支持力検査……杭試験掘削中の支持力（電流計による） 立会○報告○碎石検査……碎石厚、締固め状況																								
11	その他	表層地盤改良後は六価クロム溶出試験（環境庁告示46号）により溶出量を確認すること。 ・																								
05	鉄筋工事																									
01	鉄筋の種類	異形鉄筋（JISG3112） 1種SR235※規格相当品（寸法・強度保証） 2種SD295A※規格相当品（寸法・強度保証） 2種SD295B※規格相当品（寸法・強度保証） 3種SD345※規格相当品（寸法・強度保証） 4種SD390※規格相当品（寸法・強度保証）																								
02	規格品証明	JIS規格品は認定工場が発行する規格品証明書のあるものを用いる。 規格品証明書のあるものは原則として原本を提出し監督員の承認を得て材料試験を省くことができる。																								
03	継手	種類……重ね継手（D10～D16）ガス圧接（D19以上） 重ね継手……定着の長さは「標準仕様書」による。 圧接工……圧接工はJISZ3881による技量を有する圧接技量資格者が行い、技術証明書を監督員に提示する。 圧接部試験……第三者検査機関による超音波探傷試験を行うこと。試験箇所数は1ロットに対し30箇所とし、ロットから無作為に抜き取る。 圧接部のふくらみの形状及び寸法等の外観試験を全圧接部に対し行うこと。																								
04	末端部フック	鉄筋の末端部には、下記の場合にはフックを設ける。 1）柱の四隅にある主筋で重ね継手の場合及び最上階の柱頭又は基礎柱脚頭にある場合。 2）梁主筋の重ね継手が梁の出隅及び下端の両端にある場合。ただし地中梁を除く。																								
05	各部の補強	下記の部分の補強は、設計図書及び「標準仕様書」により補強する。 1）梁の貫通孔の補強2）壁の開口部の補強3）床版の開口部の補強																								
06	梁貫通孔の補強	梁貫通孔の補強に既製品を用いる場合は国土交通大臣認定品とし、監督員の承認を得ること。																								
07	溶接金網	溶接金網はJISG3551によるものとし、網目の形状、寸法及び鉄線の径は設計図書中の特記による。																								
08	後施工アンカー	金属拡張アンカー・カプセル型接着系樹脂アンカー 施工に当ってはメーカー仕様書を提出して監督員の承認を得ること。																								
09	検査・試験	立会○報告○配筋検査……組立鉄筋の径、本数、かぶり、間隔、継手 立会○報告○圧接部試験……圧接部の超音波探傷試験、外観検査																								
10	その他	・ ・																								
06	コンクリート工事																									
01	設計基準強度	コンクリートの設計基準強度（Fc）は材齢28日の圧縮強度によるものとする。 基礎コンクリートFc（N/mm ² ）……（○24・21・18） スランブ（cm）……（○18・15） 土間コンクリートFc（N/mm ² ）……（○24・21・18） スランブ（cm）……（○18・15） デッキコンクリートFc（N/mm ² ）……（○24・21・18） スランブ（cm）……（・18・15） 均しコンクリートFc（N/mm ² ）……（・21○18・16） スランブ（cm）……（・18○15）																								
02	コンクリートの種類	コンクリートはレディーミクストコンクリートとし、その種類はI類（JIS表示許可工場で製造されたコンクリート）とする。																								
03	セメント	セメントの種類は下記による。 普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種・その他（ ）																								
04	配合表	施工に先立ちコンクリート製造工場の配合表を提出して監督員の承認を得ること。																								
05	温度補正	コンクリート打設後の平均気温が16℃未満の期間は3N/mm ² 、8℃未満の期間は6N/mm ² の強度補正を行う。また平均気温が25℃を超える期間も6N/mm ² の強度補正を行う。																								
06	混和剤	混和剤の種類はJISA6204（コンクリート用化学混和剤）によるA剤、A剤減水剤及び高性能A剤減水剤とする。																								
07	塩化物量	塩化物量……0.30kg/m ³ 以下とする。																								
08	アルカリ総量	アルカリ総量……3.0kg/m ³ 以下とする。																								
09	試験	コンクリート受入試験 スランブ○空気量○温度○塩化物量・単位容積質量 コンクリート強度試験（構造物コンクリートの圧縮強度推定用） 供試体・7日間（3個）○28日間（3個）・型枠脱型用（3個） 養生・標準水中養生○現場水中養生（水槽の最高及び最低の水温を毎日測定） 試験場○公的機関・工場の試験場																								
10	打込み時間の限度	コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間は、外気温が25℃以下の場合は120分、25℃を超える場合は90分とする。																								
11	合板型枠	材料○枠組パネル・t12mmのコンクリート型枠用合板 工法○ボルト式・番線式 打増し……打放合板型枠部分の打増しは（・t20mm・t25mm）とする。																								
13	コンクリート打放し仕上	A種……目違い不陸などの少ない良好な面 B種……打放しのままで、目違いばらいを行った面																								
14	合板型枠打放補修	コンクリート打放仕上の不良箇所修正是、打放修正専門業者によるものとする。																								
15	検査・試験	立会○報告○コンクリート受入試験（150m ³ ごとに1回以上） 立会○報告○コンクリート強度試験（28日） 立会○報告○型枠寸法検査……型枠の寸法、鉄筋のかぶり																								
16	その他	・ ・																								
07	鉄骨工事																									
01	鋼材の種類	形鋼○SS400○SN400B・SN490C※規格相当品 丸型・角型鋼管・STK400○STKR400○BCR295※規格相当品 鋼板○SS400○SN400B○SN490C※規格相当品 ベースプレート○SS400・SN490B○SN490C※規格相当品 軽量形鋼○SSC400 高力ボルト・JISの高力ボルトF10T規格品 トルシア形高力ボルトS10T規格品 普通ボルトSS400中3級規格品 アンカーボルト○ABR400・SM490A・SS400※規格相当品 柱脚・特殊工法（露出型弾性固定柱脚工法）																								
02	規格品証明	JIS規格品は認定工場が発行する規格品証明書のあるものを用いる。 規格品証明書のあるものは原則として原本を提出し監督員の承認を得て材料試験を省くことができる。																								
03	鉄骨加工工場	鉄骨製作工場の性能評価基準の内で下記のグレードの工場とする。 Hグレード・Mグレード○Rグレード・Jグレード・設定しない																								
04	溶接	技能資格者……組立・本溶接ともJISZ3801又はJISZ3841の有資格者が行う。 溶接部試験……第三者検査機関による完全溶込み溶接部の超音波探傷試験を行うこと。工場内検査は外観検査も含め100%行うこと。																								
05	防錆処理	防錆塗装……鉛クロムフリー錆止め（JISK5674）とし、塗装回数は工場1回、現場タッチアップ1回とする。ただし、組立後塗装できない部分は工場2回とする。 垂鉛メッキ……溶融亜鉛メッキ2種（JISH8641）とし、下記の等級とする。 HDZ55（A種）・HDZ45（B種）・HDZ35（C種） 室内部分……水性1液速乾エポキシ系錆止め塗料（F☆☆☆☆）																								
06	柱底均しモルタル	鉄骨建方終了後、柱底には、ベースプレート下端全面に充分にゆきわたるように、無収縮モルタル（容積比調合セメント1：砂2）を詰込む。但し特殊工法アンカーボルトを使用した場合は、メーカーの指定工法による。																								
07	耐火被覆	耐火被覆に用いる吹付ロックウールは半乾式工法とする。 柱……厚さ25mm耐火1時間（FP060CN-9460） 梁……厚さ25mm耐火1時間（FP060BM-9408）																								
08	検査・試験	立会○報告・鉄骨原寸検査……各部寸法、階段詳細、仕口及び継手、CAD施工図 立会○報告・鉄骨製品検査……部材寸法（肉厚）、各部寸法、防錆塗装 立会○報告・溶接部試験……完全溶込み溶接部の超音波探傷試験（全体の10%） 立会○報告・高力ボルト締め検査……JIS形高力ボルト：トルクコントロール法 立会○報告・鉄骨上棟時の検査……建物の倒れ：トランシットによる計測。 立会・報告・耐火被覆検査……被覆厚																								
09	その他	・ ・																								
08	ブロック・パネル工事																									
A コンクリートブロック造																										
01	コンクリートブロックの種類	コンクリートブロックはJISA5406による規格品とする。 普通ブロック……種別（・A種・B種・C種） 厚さ（・50・100・120・150） 防水ブロック……種別（・C種） 厚さ（・100・120・150）																								
02	ブロック目地	ブロック目地モルタル（容積比調合セメント1：砂2.5）の目地幅は10mmとする。 防水ブロックの目地は防水モルタルを使用する。																								
03	補強鉄筋	鉄筋の種類は鉄筋工事の項目に準ずる。 配筋は右の表による。 <table><tr><td></td><td>タテ筋（主筋）</td><td>ヨコ筋（配力筋）</td></tr><tr><td>内 壁</td><td>D10-@400</td><td>D10-@400</td></tr><tr><td>外 壁</td><td>D10-@400</td><td>D10-@400</td></tr></table>		タテ筋（主筋）	ヨコ筋（配力筋）	内 壁	D10-@400	D10-@400	外 壁	D10-@400	D10-@400															
	タテ筋（主筋）	ヨコ筋（配力筋）																								
内 壁	D10-@400	D10-@400																								
外 壁	D10-@400	D10-@400																								
04	検査・試験	立会・報告・配筋検査……補強鉄筋の径、本数、継手																								
05	その他	・ ・																								
B ALCパネル（軽量気泡コンクリートパネル）																										
01	ALCパネルの種類	ALCパネルはJISA5416Kによる規格品をとし、厚さは下記による。 床用パネル……厚さ（・100・120・150） 間仕切用パネル……厚さ（・80・100・120・150） 外壁用パネル……厚さ（・80・100・120・150） 外壁用薄パネル……厚さ（・35・37・50） 屋根用パネル……厚さ（・50・80・100・120・150）																								
02	デザインパネル	材料名称…… 仕様……																								
03	工法	下記の工法による他、メーカーの施工基準による責任施工とする。 床・屋根t80mm以上・数伏筋 外壁t100mm以上・パネル縦使いスライド・パネル縦使い挿入筋 パネル横使いアンカー・パネル横使いボルト締め パネル縦使いロッキング 外壁t50mm以下・タッピングビス止め・ボルト締め・フック止め 間仕切壁t80mm以上・パネル縦使いアンカー筋・乾式																								
04	シリング材	種別・ポリウレタン系（PU-2）・変成シリコーン系（MS-2）																								
05	その他	・ ・																								
09	防水工事																									
01	アスファルト防水	材料名称…… 仕様……																								
02	シート防水	材料名称……塩ビ樹脂系シート防水t2.0 仕様……機械的固定工法（平場）、接着工法（立上り）																								
03	塗膜防水	材料名称……ウレタンゴム系塗膜防水 仕様……密着工法、露出防水用（ペランダ） 材料名称……ポリマーセメント系塗膜防水 仕様……露出防水用（EVビット内、外部コンクリート表し部） 材料名称……珪酸質系塗膜防水 仕様……露出防水用（EVビット壁外面）																								
04	FRP防水	材料名称…… 仕様……																								
05	責任保証	前記防水工事は専門業者の責任施工とし、受注者及び施工会社並びに製造メーカーは保証書に記名捺印の上で監督員に提出すること。尚、保障期間は10年以上とする。																								
06	シリング材	<table><tr><th>種類</th><th>記号</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>○変成シリコーン系</td><td>MS-2</td><td>金属-サイディング、金属-金属</td></tr><tr><td>・ポリウレタン系</td><td>PU-2</td><td></td></tr><tr><td>○シリコーン系</td><td>SR-1</td><td>内部水回り、木-木</td></tr></table>	種類	記号	施工箇所	○変成シリコーン系	MS-2	金属-サイディング、金属-金属	・ポリウレタン系	PU-2		○シリコーン系	SR-1	内部水回り、木-木												
種類	記号	施工箇所																								
○変成シリコーン系	MS-2	金属-サイディング、金属-金属																								
・ポリウレタン系	PU-2																									
○シリコーン系	SR-1	内部水回り、木-木																								
07	検査・試験	立会・報告・防水面水張り試験……水張り状態1週間の漏水確認																								
08	その他	・ ・																								
<table><tr><td>工事名</td><td colspan="3">朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)</td></tr><tr><td>図名</td><td colspan="3">特記仕様書(2)</td></tr><tr><td>縮尺</td><td>—</td><td>番号</td><td>163枚の内 002号</td></tr><tr><td>設計年月日</td><td colspan="3">令和8年 3月</td></tr><tr><td>設計</td><td colspan="3">有限会社アプデザイン 一級建築士 大丘登録 第284116号 栗本智秀</td></tr><tr><td colspan="4">高山市</td></tr></table>			工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)			図名	特記仕様書(2)			縮尺	—	番号	163枚の内 002号	設計年月日	令和8年 3月			設計	有限会社アプデザイン 一級建築士 大丘登録 第284116号 栗本智秀			高山市			
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)																									
図名	特記仕様書(2)																									
縮尺	—	番号	163枚の内 002号																							
設計年月日	令和8年 3月																									
設計	有限会社アプデザイン 一級建築士 大丘登録 第284116号 栗本智秀																									
高山市																										

⑩	石 工 事			
①	材 料	○ 石材の仕様は下記の表による。		
		材 料 名 称	寸 法	仕 様
		汚垂石	t 2 0 × W 6 0 0	御影石（本磨き）
		上り框・付框	W 1 0 0 × H 1 5 0 t 2 0 × H 1 5 0	御影石（本磨き）
				昇降口
02	検 査 ・ 試 験	・ 立会 ・ 報告 ・ 原石検査…加工工場による目視		
③	そ の 他	○ サンプル提出…監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・		

⑪	タ イ ル 工 事			
①	材 料	○ タイルの仕様は下記の表による。		
		材 料 名 称	寸 法	仕 様
		屋外床用タイル	1 5 0 角	磁器質無釉
		視覚障がい者誘導タイル	3 0 0 角	磁器質無釉
				役 物
				〇
				ポーチ、屋外階段
				－
				ポーチ、屋外階段
02	伸 縮 目 地	・ シーリング材は防水工事のシーリング材の項目による。		
03	検 査 ・ 試 験	・ 立会 ・ 報告 ・ 外壁タイルの接着力試験		
④	そ の 他	○ サンプル提出…監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・ タイル目地は抗菌・防カビタイプとする。		

⑫	木 工 事			
①	含 水 率	○ 木材の含水率は下記の表による。		
			⓪ A 種	・ B 種
		構造材・下地材	1 5 %以下	2 0 %以下
		造 作 材	1 5 %以下	1 8 %以下
				備 考
				工事現場搬入時の 全断面の平均推定値とする
				〃
②	材 種 ・ 等 級 ・ 材 質	○ 木材の仕様は下記の表による。材種を代用する場合は監督員の承諾を得ること。		
		種 別	施 工 箇 所	材 種
				等 級
				無節上小節小節特一等一等
		構造材	土台・大引	桧材
		〃	柱・土台（見掛かり）	
		〃	柱・間柱・筋違	桧材
		〃	梁（見掛かり）	
		〃	梁・母屋・垂木・火打	桧材
		下地材	木下地（胴縁等）	桧材
		造作材	内外部（建具枠・巾木等）	桧材
		板 材	内外部（羽目板）	桧材 杉材
③	木 材 証 明	○ 使用する木材の内での材料は、岐阜証明材推進制度実施要領（平成19年1月24日付県流第463号林政部長通知）第12条により証明された木材を使用すること。ただし、岐阜証明材推進制度による証明運用開始（平成19年4月1日）前に出荷等されている木材で、岐阜県産材認証制度要綱（平成13年8月1日森第351号農山村整備局通知（平成19年3月31日付で廃止））第8条による認証を受けたものについては要領第12条により証明されたものとみなす。 ○ 構造材・下地材・造作材で使用する全ての木材（桧・杉材） ○ その他指定樹種以外は全て高山市産材（調達が困難な場合は岐阜県産材にできるが監督員の承認を得ること）とし、納品書等で確認できるものとする。 ○ 柱、梁などの主要構造はすべてJAS（日本農林規格）製品またはぎふ性能表示材を使用すること。ただし、そま角、丸太等のJAS製品またはぎふ性能表示材で供給できない部材については、ぎふ証明材の使用を認める。		
④	断 面 寸 法	○ 設計図書中の木材寸法は全て造作材は仕上り寸法とし、構造材・下地材は挽立て寸法とする。		
⑤	防 蟻 防 腐 処 理	○ 防蟻防腐材は水溶性木材保護塗料とし、下記の部分に充分塗布する。 ○ 地面から高さ1mまでの部分、但し見掛け部を除く。 ○ コンクリートに接する土台、転ばし大引、転ばし根太の全面。 ○ 水廻りの木下地部分、壁体中に給排水管が埋込まれている部分。		
⑥	集 成 材 ・ 積 層 材	○ 使用する集成材は下記の種別とする。 ○ 構造用集成材 ・ 大断面集成材 ・ 内法造作集成材 ○ 板状集成材 ○ 板状積層材 ○ 集成材・積層材として加工する木材は全て岐阜県産材を原則とする。		
⑦	検 査 ・ 試 験	○ 立会 ○ 報告 ○ 製材完了時の検査…樹種、等級、材質の確認 ○ 立会 ○ 報告 ○ 現場搬入時の検査…含水率及び木材寸法の確認 ○ 立会 ○ 報告 ○ 上棟後の検査…建方完了後、筋違い、火打梁、仕口金物等の確認		
⑧	そ の 他	○ サンプル提出…造作材は監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・		

⑬	屋 根 工 事			
①	仕 上 材	○ 材 料 名 称…定尺板横葺 仕 様…遮熱艶消カラーSGL鋼板t 0. 4 ・ 材 料 名 称… 仕 様…		
02	断 熱 材	・ 材 料 名 称… 仕 様…		
③	防 水 シ ー ト	○ 材 料 名 称…アスファルトルーフィング940		
④	下 地 材	○ 材 料 名 称…構造用合板t 1 2		
⑤	副 資 材	○ 材 料 名 称…唐草、襖包み、雨押え水切、破風・鼻隠巻き 仕 様…遮熱艶消カラーSGL鋼板製t 0. 4		
⑥	雨 樋	○ 軒樋：樹脂被覆スチール製前高角樋W160×H90 内吊金具φ300 ○ 壁樋：カラーVPφ75（同色継手）、掘金具φ1200程度 ○ 飾り枺：SUS製W200×D200×H220 ・		
⑦	排 水 ド レ イ ン	○ ルーフドレイン：鑄鉄製横引き打込型（シート防水用）φ75 ・ 中継ルーフドレイン：		
⑧	雪 止 め	○ 雪止アングル：SUS製L-40×40×3 ○ 雪止金具：SUS製φ600		
09	落 雪 防 止	・		
⑩	そ の 他	○ 屋根材についてはメーカーからの10年保証期間の保証書を監督員に提出する。 ・		

⑭	金 属 工 事																											
①	軽 量 鋼 製 床 下 地	○ 材 料 名 称…鋼製束組下地 仕 様…スチール製（亜鉛メッキ品）、耐荷重20kN以上																										
②	軽 量 鋼 製 壁 下 地	<table><tr><th>記 号</th><th>ス タ ッ ド</th><th>ラン ナ ー</th><th>振 止 め</th></tr><tr><td>○ LGS 50</td><td>50×45×0. 8</td><td>52×40×0. 8</td><td>25×10×1. 2</td></tr><tr><td>○ LGS 65</td><td>65×45×0. 8</td><td>67×40×0. 8</td><td>25×10×1. 2</td></tr><tr><td>・ LGS 75</td><td>75×45×0. 8</td><td>77×40×0. 8</td><td>25×10×1. 2</td></tr><tr><td>・ LGS 90</td><td>90×45×0. 8</td><td>92×40×0. 8</td><td>25×10×1. 2</td></tr><tr><td>○ LGS100</td><td>100×45×0. 8</td><td>102×40×0. 8</td><td>25×10×1. 2</td></tr></table> <p>○ スタッダの間隔は、仕上材直貼及び壁紙・塗装下地材直貼の場合は300mmとし、その他は450mmとする。</p> <p>○ 振れ止めは床面ランナー下端から約1. 2mごとに設ける。 開口部の縦枠補強材は上下共にあと施工アンカー等で固定した金物に溶接又はボルト留めする。</p> <p>○ 外壁胴縁に面する部分の軽量鉄骨壁下地は（○ LGS50 ○ LGS65）とする。</p>			記 号	ス タ ッ ド	ラン ナ ー	振 止 め	○ LGS 50	50×45×0. 8	52×40×0. 8	25×10×1. 2	○ LGS 65	65×45×0. 8	67×40×0. 8	25×10×1. 2	・ LGS 75	75×45×0. 8	77×40×0. 8	25×10×1. 2	・ LGS 90	90×45×0. 8	92×40×0. 8	25×10×1. 2	○ LGS100	100×45×0. 8	102×40×0. 8	25×10×1. 2
記 号	ス タ ッ ド	ラン ナ ー	振 止 め																									
○ LGS 50	50×45×0. 8	52×40×0. 8	25×10×1. 2																									
○ LGS 65	65×45×0. 8	67×40×0. 8	25×10×1. 2																									
・ LGS 75	75×45×0. 8	77×40×0. 8	25×10×1. 2																									
・ LGS 90	90×45×0. 8	92×40×0. 8	25×10×1. 2																									
○ LGS100	100×45×0. 8	102×40×0. 8	25×10×1. 2																									
③	軽 量 鋼 製 天 井 下 地	<table><tr><th>記 号</th><th>シングル野縁</th><th>ダブル野縁</th><th>野 縁 受 材</th></tr><tr><td>○ LGS 19</td><td>25×19×0. 5</td><td>50×19×0. 5</td><td>38×12×1. 2</td></tr><tr><td>・ LGS 25</td><td>25×25×0. 5</td><td>50×25×0. 5</td><td>38×12×1. 6</td></tr></table> <p>○ 野縁受材、吊ボルトの間隔は900mm程度とし、周辺部は端から150mm以内とする。</p> <p>○ 天井のふとところが1. 5m以上の部分は縦横間隔1. 8m程度に振れ止めを設ける。</p> <p>○ 内外共にハンガー及びクリップは耐震仕様（ボルト締め等）とする。</p>			記 号	シングル野縁	ダブル野縁	野 縁 受 材	○ LGS 19	25×19×0. 5	50×19×0. 5	38×12×1. 2	・ LGS 25	25×25×0. 5	50×25×0. 5	38×12×1. 6												
記 号	シングル野縁	ダブル野縁	野 縁 受 材																									
○ LGS 19	25×19×0. 5	50×19×0. 5	38×12×1. 2																									
・ LGS 25	25×25×0. 5	50×25×0. 5	38×12×1. 6																									
04	外 装 材	・ 材 料 名 称… 仕 様…																										
⑤	手 摺	○ 材 料 名 称…ブラケット手摺（屋内） 仕 様…木目調樹脂製φ40、ハンガーボルト固定 ○ 材 料 名 称…スロープ手摺・階段手摺（屋外） 仕 様…木目調ASA樹脂製φ40、支柱：アルミ製φ48. 6																										
⑥	笠 木 ・ 水 切 ・ 見 切	○ 材 料 名 称…笠木（カラー） 仕 様…アルミ製（押出形材）W200×W250 ○ 材 料 名 称…通気水切 仕 様…カラー銅板製t0. 35×H30×W55×40 ○ 材 料 名 称…オーバ－ハング水切 仕 様…カラー銅板製t0. 35×H23×W70 ○ 材 料 名 称…軒天通気見切 仕 様…カラー銅板製t0. 35×W68																										
⑦	エ キ ス パ ン シ ョ ン	○ 材 料 名 称…壁取合いEXP. J 屋根＋外壁 仕 様…アルミ製、クリアランス100mm－W300 ○ 材 料 名 称…EXP. J 外壁コーナー、床＋床、内壁コーナー、天井＋内壁 仕 様…アルミ製、クリアランス100mm																										
⑧	そ の 他 金 物	○ 材 料 名 称…見切縁（床） 仕 様…SUS製W35×t1. 5、面付型、ビス固定 ○ 材 料 名 称…天井裏点検口 仕 様…アルミ製450角（天井仕上同材張） ・ 材 料 名 称… 仕 様… ・ 材 料 名 称… 仕 様…																										
09	そ の 他	・ 製作品は部分詳細図に準ずる。 ・																										

⑮	左 官 工 事			
①	モ ル タ ル 塗	○ 普通モルタル…セメントはJIS規格品による普通ポルトランドセメントによる。 ・ 防水モルタル…防水剤はJISA6101（建築用セメント防水剤）の規定による。		
②	外 壁 す そ 廻 り	○ すそ廻りコンクリートの見掛け部分は薄塗モルタル（ ・ 刷毛引 ○ 金ゴテ）仕上とする。 ○ モルタル種類 ・ 樹脂モルタル ○ ポリマーセメントモルタル		
03	副 資 材	・ コーナービート、見切縁、目地棒等の種類及び施工箇所については監督員の指示による。		
④	不 陸 調 整 材	○ 不陸調整は下地面の清掃を行い、カチオン系ポリマーセメントモルタル下地調整塗材により平滑に塗り付ける。		
05	セルフレベリング材	・ 種 類 ・ セメント系 ・ 石膏系		
⑥	左官塗床材・塗壁材	○ 左官塗材の仕様は下記の表による。		
		材 料 名 称	種 類	仕 様
		砂状コテ仕上外装材	高耐候可とう性 アクリル樹脂	荒ゴテ仕上
				外壁
⑦	柱 底 均 し モ ル タ ル	○ 鉄骨建方終了後、柱底には、ベースプレート下端全面に充分にゆきわたるように、無収縮モルタル（容積比調合 セメント1：砂2）を詰込む。 ○ 無収縮モルタル打設に先立ちJロートによる流下時間測定試験を行うこと。		
08	そ の 他	・ サンプル提出…仕上塗材は監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・		

16	建 具 ・ 家 具 工 事		
A	金 属 製 建 具		
01	一 般 事 項	○ 特に係員の指示する特殊な建具については図示がなくても気密性・水密性・耐風圧等について、充分検討し制作取付を行うこと。	
02	鋼 製 建 具	・ 鋼板の種類 ・ 普通鋼板 ・ ボンデ鋼板 ・ ボンデ亜鉛鋼板 ・ その他（ ） ・ 防 錆 処 理 ・ ジンクロメート錆止めペイント1回塗 ・ 溶融亜鉛メッキ処理 ・ ・ ジンクロメートメッキ処理 ・ 注 意 事 項…窓・出入口の枠・方立・無目などは鋼板 t 2. 3mmとする。図示がなくとも外部廻り・機械室等・騒音を生じる場所の鋼製戸枠は、エアタイトゴム気密材を用いる。	
03	アルミニウム製建具	○ 種 類 ○ レディーメイド製品 ・ オーダーメイド製品 ○ 表 面 処 理 ○ 着色陽極酸化皮膜処理 ・ 無着色陽極酸化皮膜処理 ・ 焼付塗装 ○ 性 能 仕 様…建具の性能仕様は下記とする。（耐風圧性、気密性、水密性、遮音性、断熱性） ○ 断熱タイプ（S-5、A-4、W-5、T-2、H-3） ○ 一般タイプ（S-5、A-4、W-5、T-2、H-1） ○ 網 戸 ○ クリアネット ・ ステンレスネット	
04	シ ャ ッ タ ー	○ 種 類 ・ 重量シャッター（ ・ 防火 ・ 防音） ○ 軽量シャッター ○ 開 閉 機 ○ 手動（軽量） ・ 電動（ ・ 重量 ・ 軽量） ○ 材 質 ○ カラー鋼板製 ・ 塩ビ鋼板製 ・ アルミ製	
05	そ の 他 の 建 具	○ 材 料 名 称…手動バランス式シートシャッター（特定防火設備、遮煙性能） 仕 様…樹脂コーティング耐熱ガラスクロス t 0. 7、自動閉鎖装置 ○ 材 料 名 称…可動間仕切壁 仕 様…フレーム：アルミ押出形材、パネル：カラー鋼板（ペーパーコア芯）	
06	建 具 金 物	○ 金物の形状及び機能については、事前に見本品又は仕様書を提出して監督員の承認を得ること。 ○ 鍵類は市販品のキーボックスに案内札を取付けて引渡し時に提出する。 ○ 施錠はマスターキー対応とする。	
07	そ の 他	・	
B	木製建具・家具		
01	一 般 事 項	○ デザイン、仕様については建具表及び家具表によるものとするが、詳細については監督員の指示による。	
02	木 材 材 料	○ 材 種…建具表及び家具表による。材種を代用する場合は監督員の承諾を得ること。 ○ 含 水 率…加工及び組立時の含水率は天然乾燥 18％以下、人工乾燥 15％以下とする。	
03	合 板	○ 表面材及び下地材の合板のホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆以上とする。	
04	建 具 家 具 金 物	○ 金物の形状及び機能については、事前に見本品又は仕様書を提出して監督員の承認を得ること。 ・ 鍵類は市販品のキーボックスに案内札を取付けて引渡し時に提出する。 ・ 施錠はマスターキー対応とする。	
05	V O C 対 策	○ 特に合板・仕上塗装・接着剤については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。 ○ 上記が含まれる合板等を使用する場合は製品安全データシート（SDS）を提出の上で監督員と協議し指定濃度以下となるよう枯らし期間を充分取り現場搬入を行うこと。	
06	そ の 他	○ サンプル提出…表面材は監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・	

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	特記仕様書(3)		
縮 尺	一	番 号	1 6 3 枚の内 0 0 3 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプデザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

⑰	硝 子 工 事		
①	ガ ラ ス の 種 類	○ 透明ガラス ○ 型板ガラス ○ 網入ガラス ・ 合せガラス ○ 強化ガラス ・ 熱線ガラス ○ 複層ガラス ○ 特殊ガラス	○ フロート板ガラス ・ 磨板ガラス ・ スリ板ガラス ○ 型板ガラス ○ 網入磨板ガラス ○ 網入型板ガラス ・ 合せガラス ・ 和紙入合せガラス ○ 強化ガラス ○ 強化ガラス ○ 型板強化ガラス ・ 熱線吸収ガラス ・ 熱線反射ガラス ○ Low-Eペアガラス（○ 遮熱 ○ 断熱） ・ 耐熱強化ガラス ・ 装飾ガラス ○ 鏡
②	ガ ラ ス 留 め 材	○ シーリング……シリコン系シーリング材とする。但し、防火設備建具については準不燃シーリング材とする。	
03	ガ ラ ス ブ ロ ッ ク	○ ガスケット……アルミニウム製建具に用いる障子はグレイジングチャンネル形とする。 ・ 目 地……目地幅は平積みの場合8～15mmとし、曲面積みの場合外側15mm以下、内側6mm以上とする。尚、6mm以下ごとに伸縮調整目地を設ける。 ・ 水 抜 き 孔……外部に面する下枠の溝には1mm以下ごとにφ6mm以上の水抜き孔を設ける。	
④	そ の 他	○ 飛散防止ガラスフィルム（防犯フィルム）……屋外用（透明）、屋外用（透明） ・	
⑱	吹 付 塗 装 工 事		
Ⓐ	吹 付 材		
①	材 料	○ 塗料は原則として製造所において指定された色及び艶に調合する。	
②	素 地 ご し ら え	○ 内部吹付部分の素地ごしらは塗装材の項目に準ずる。	
③	コンクリート面の素地	○ 素地を充分に乾燥（含水率10％以下）させ、汚れ・付着物は面を傷つけないように除去する。 ○ セメント系下地調整塗材にて穴・ひび割れを埋め平滑に仕上げる。	
04	A L C 面 の 素 地	・ 素地の汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し合成樹脂エマルションシーラーを塗る。 ・ セメント系下地調整塗材にて平滑に仕上げる。	
⑤	モ ル タ ル 面 の 素 地	○ 素地の汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し合成樹脂エマルションシーラーを塗る。	
⑥	ボ ー ド 面 の 素 地	○ 素地の汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し吸込止シーラーを塗る。	
⑦	吹 付 材	○ 材 料 名 称……調湿形（珪藻土）水溶性樹脂系吹付：内外装薄塗材E 仕 様……J I S A 6 9 0 9、F☆☆☆品、ゆず肌状 ・ 材 料 名 称…… 仕 様……	
⑧	そ の 他	○ サンプル提出……監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・ 内部使用塗料のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆以上とする。 ○ 使用塗料については製品安全データシート（SDS）を監督員に提出すること。 ・	
Ⓑ	塗 装 材		
①	材 料	○ 防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。 ○ 塗料は原則として製造所において指定された色及び艶に調合する。	
②	木 部 の 素 地	○ 木部の汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し、油類は溶剤等で拭き取る。 ○ ヤニは削り取り又は電気ゴテ焼きの上で溶剤等で拭き取る。 ○ カナ目、逆目、けば等は研磨紙P120～220を使用し研磨する。 ○ 着色剤を用いて着色する場合は色むらが出ないように乾いた布で拭き取って色が均一になるようにする。	
③	鉄 鋼 面 の 素 地	○ 鉄鋼面の汚れ・付着物はスクレーパー・ワイヤーブラシ等で除去し、油類は溶剤等で拭き取る。 ○ 錆はディスクサンダー・スクレーパー・ワイヤーブラシ又は研磨紙P120～220で除去し、放置せずに次の工程に移る。	
04	亜鉛メッキ鋼面の素地	・ 亜鉛メッキ鋼面の汚れ・付着物はスクレーパー・ワイヤーブラシ等で除去し、油類は溶剤等で拭き取る。 ・ ウォッシュプライマー1種（J I S K 5 6 3 3）を塗り、2時間以上8時間以内に次の工程に移る。	
05	コ ン ク リ ー ト 面 モ ル タ ル 面 の 素 地	・ 素地を充分に乾燥（含水率10％以下）させ、汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し吸込止シーラーを塗る。 ・ 合成樹脂エマルションパテにて穴・ひび割れを埋め、パテ乾燥後に研磨紙P120～220を使用して研磨し全面を平らに仕上げる。	
⑥	ボ ー ド 面 の 素 地	○ 釘頭・タタキ跡・傷等はパテ処理の上で研磨紙P120～220を使用し研磨する。 ○ 石膏ボードの目地処理材はジョイントコンパウンドとし、不陸を調整する。 ○ 吸込止シーラーを塗り合成樹脂エマルションパテをしごき取り平滑にし、パテ乾燥後に研磨紙P120～220を使用し研磨し全面を平らに仕上げる。	
⑦	塗 料	○ 材 料 名 称……SOP（木面、鉄鋼面）：合成樹脂調合ペイント（2回塗） 仕 様……J I S K 5 5 1 6（1種） 弱溶剤系、F☆☆☆品 ○ 材 料 名 称……EP（ボード面）：合成樹脂エマルション塗料（2回塗） 仕 様……J I S K 5 6 6 3（1種） 低VOC、艶消仕上、F☆☆☆品 ○ 材 料 名 称……OS（木面）：オイルステン（2回塗） 仕 様……F☆☆☆品 ○ 材 料 名 称……UC（木面）：1液水性水性ポリウレタン樹脂塗料（2回塗） 仕 様……低汚染、F☆☆☆品 ○ 材 料 名 称……2－UC（フローリング面）：2液形ポリウレタン樹脂塗料（3回塗） 仕 様……F☆☆☆品 ○ 材 料 名 称……WP（屋内外木面）：木材保護着色塗料（2回塗） 仕 様……屋外用油性 防腐、防カビ ○ 材 料 名 称……DP：耐候性塗料（2回塗） 仕 様……J I S K 5 6 5 9 超耐久・超低VOC、1級フッ素樹脂塗料 ・ 材 料 名 称…… 仕 様……	
⑧	そ の 他	○ サンプル提出……監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ○ 内部使用塗料のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆以上とする。 ○ 使用塗料については製品安全データシート（SDS）を監督員に提出すること。 ・	
⑲	内 外 装 工 事		
Ⓐ	床 材		
①	木 質 系 製 品	○ 材 料 名 称……直張圧縮杉フローリングt15（55％圧縮、上小節） ※高山市産材 仕 様……セラミックUV塗装、クッション材付、本実加工品、F☆☆☆品 ○ 材 料 名 称……直張複合フローリングt13 仕 様……セラミックUV塗装、クッション材付、本実加工品、F☆☆☆品	
②	タ イ ル 製 品	○ 材 料 名 称……タイルカーペットt6.5 仕 様……重歩行用、ナイロン製3.5mmループ、制電制、防炎品	
③	シ ー ト 製 品	○ 材 料 名 称……複層ビニル床シートt2.0（一般・耐薬性・抗菌性） 仕 様……重歩行用 ○ 材 料 名 称……視覚障がい者誘導シート（点鋸） 仕 様……J I S T 9 2 5 1 適合品、300角、点鋸のみタイプ	
④	耐 火 ・ 準 耐 火 製 品	○ 材 料 名 称……硬質木片セメント板t12 仕 様……準耐火構造（国交省告示）	
⑤	フリーアクセスフロア	○ 材 料 名 称……OAフロアH50 仕 様……樹脂製、500角、耐荷重3000N	
⑥	断 熱 材	○ 材 料 名 称……押出法ポリスチレンフォーム（3種aD）t50 仕 様……熱伝導率0.022W/(m・K)、板状	
⑦	そ の 他	○ サンプル提出……監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・	
Ⓑ	壁 材		
①	木 質 系 製 品	○ 材 料 名 称……横張杉羽目板t30×W150（上小節） 仕 様……高山市産材、本実加工品、準耐火構造外壁（QF045BE-1424(3)） ○ 材 料 名 称……縦張・横張松羽目板t12（上小節） 仕 様……高山市産材、本実加工品 ○ 材 料 名 称……桧突板合板t2.5 仕 様……F☆☆☆品、目透張 ○ 材 料 名 称……EPボードt5.5 仕 様……掲示板下地、F☆☆☆品	
②	石 膏 製 品	○ 材 料 名 称……石膏ボードt12.5 仕 様……不燃材料認定品（国交大臣認定） ○ 材 料 名 称……石膏ボードt9.5 仕 様……準不燃材料認定品（国交大臣認定） ○ 材 料 名 称……シージング石膏ボードt12.5 仕 様……準不燃材料認定品（国交大臣認定）、防水処理品 ○ 材 料 名 称……曲面用石膏ボードt6.0 仕 様……不燃材料認定品（国交大臣認定）、スラグ混入品	
③	耐 火 ・ 準 耐 火 製 品	○ 材 料 名 称……準耐火間仕切壁（石膏ボードt12.5＋t9.5両面張） 仕 様……準耐火構造（国交省告示） ○ 材 料 名 称……広幅縦張窯業系サイディングt14（弾性目地処理）※ニチハモエン大壁工法 仕 様……準耐火構造認定品（国交大臣認定）、塗装品、胴縁通気工法 ○ 材 料 名 称……横張窯業系サイディングt16 仕 様……準耐火構造認定品（国交大臣認定）、塗装品、金具留め工法	
④	防 火 ・ 不 燃 製 品	○ 材 料 名 称……木目調縦張窯業系サイディングt16 仕 様……防火材料認定品（国交大臣認定）、塗装品、金具留め工法 ○ 材 料 名 称……木目調メラミン化粧板t3.0、化粧珪酸カルシウム板t6.0 仕 様……不燃材料認定品（国交大臣認定）、目透張（目地シール）、アルミ製ジョイナー	
⑤	シ ー ト 製 品	○ 材 料 名 称……ビニルクロス 仕 様……F☆☆☆品、AA級 ○ 材 料 名 称……掲示クロス 仕 様……掲示板用クロス（布裏張）t1	
⑥	巾 木	○ 材 料 名 称……SUS巾木t2.0×H60 仕 様……HL仕上 ○ 材 料 名 称……ソフト巾木H75 仕 様……無地	
⑦	透 湿 防 水 材	○ 材 料 名 称……透湿防水シート 仕 様……防蟻防腐剤対策品、J I S A 6 1 1 1：2016	
⑧	断 熱 材 ・ 遮 音 材	○ 材 料 名 称……高性能グラスウール（14K）t90 仕 様……熱伝導率0.038W/(m・K)、マット状、袋入り（耳付き） ○ 材 料 名 称……高性能グラスウール（14K）t90 仕 様……壁遮音材、マット状、袋なし ○ 材 料 名 称……現場発泡ウレタン（A種1）t20 仕 様……熱伝導率0.034W/(m・K)、吹付	
⑨	そ の 他	○ サンプル提出……監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・	
Ⓒ	天 井 材		
①	木 質 系 製 品	○ 材 料 名 称……杉羽目板t12（上小節）、桧羽目板t12（上小節） 仕 様……高山市産材、本実加工品 ○ 材 料 名 称……ラワン合板（タイプ1）t9 仕 様……F☆☆☆品、完全耐水性	
②	石 膏 製 品	○ 材 料 名 称……石膏ボードt9.5、化粧石膏ボード（ジブトーン）t9.5 仕 様……準不燃材料認定品（国交大臣認定） ○ 材 料 名 称……強化石膏ボードt12.5 仕 様……不燃材料認定品（国交大臣認定）、無機質繊維混入品	
③	不 燃 製 品	○ 材 料 名 称……ロックウール吸音板t9.0 仕 様……不燃材料認定品（国交大臣認定）	
④	シ ー ト 製 品	○ 材 料 名 称……ビニルクロス 仕 様……F☆☆☆品、AA級	
⑵	廻 り 縁	○ 材 料 名 称……塩ビ廻り縁（目透型・突付型） 仕 様……12.5mm用、9.0mm用	
⑶	断 熱 材	○ 材 料 名 称……高性能グラスウール（14K）t155 仕 様……熱伝導率0.038W/(m・K)、マット状、袋入り	
⑷	そ の 他	○ サンプル提出……監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・	
Ⓓ	そ の 他		
①	材 料	○ 内外装材の仕様は下記の表による。	
		材 料 名 称	仕 様
		メラミンカウンター	メラミン化粧板＋耐水MDF芯
⑳	ユ ニ ッ ト 工 事		
①	材 料	○ ユニット材の仕様は下記の表による。	
		材 料 名 称	仕 様
		白板	ホーローホワイト ※その他の仕様は白板詳細図に準ずる
		飛驒の家具	※仕様は家具詳細図に準ずる
		既製家具	※仕様は家具詳細図に準ずる
		サイン	※仕様はサイン詳細図に準ずる
		ドレープカーテン	無地、2倍ヒダ、防炎品、アルミレール・フック・フサ掛け付
		ロールカーテン	チェーン操作式、防炎品、ウォッシュابل
		ピクチャーレール	アルミ製（押出形材）、吊荷重30kg、フック2個／m
		パッケージ型 消火設備	着色スチール鋼板製（露出型、総合盤付）、消火薬剤貯蔵容器×2本
		消火器ボックス	木目調スチール製、埋込型扉付
		ポスト	SUS製、壁掛けタイプ、W300×D180×H350
		旗立て	アルミ合金製、アルミポール・国旗付
		化粧鏡・全身鏡	鏡t5.0、フレーム（上下タイプ）：SUS製
		舞台幕等	※仕様は舞台吊物改修図に準ずる
		体育器具等	バスケットゴール ※仕様は体育器具改修図に準ずる
㉑	外 構 工 事		
①	一 般 事 項	○ 施工に先立ち隣地・既存道路の高低差などを示す現況実測図及び外構計画図を作成して監督員の承認を得ること。	
②	路 盤 材	○ 材 料 ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 ○ 再生クラッシャラン	
③	アスファルト舗装	○ 舗 装 ○ 密粒度アスファルトコンクリート（13） 厚さ（・3 ○5）cm ・ 細粒度アスファルトコンクリート（13） 厚さ（・3 ・5）cm	
④	コンクリート舗装	○ 強 度 ○ Fc（N/mm ² ）……（・21 ○18 ・16） ○ 補 強 ○ 鉄筋（D10@200） ・ 溶接金網（φ6@150）	
⑥	側 溝 ・ 集 水 樹	○ 材 料 名 称……U字側溝（PU3-300A・PU3-300C） 仕 様……コンクリート二次製品、側溝蓋：コンクリート二次製品 ○ 材 料 名 称……集水樹（450角） 仕 様……現場打コンクリート製、細目グレーチング：スチール製（亜鉛メッキ品）	
⑵	縁 石 等	○ 材 料 名 称……縁石ブロック（地先境界ブロック） 仕 様……コンクリート二次製品、W120×H120×L600	
⑷	付 帯 外 構	○ 材 料 名 称……屋根下通路 仕 様……アルミ製 ○ 材 料 名 称……目隠しフェンス、門扉 仕 様……アルミ製（木目調横格子）	
⑸	そ の 他	○ その他の外構については外構図に準ずる。 ・	
工事名		朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)	
図 名		特記仕様書(4)	
縮 尺		ー	番 号 163枚の内 004号
設 計 年月日		令和8年 3月	
設 計		有限会社アプデザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀	
高 山 市			

22

屋上・屋根改修工事

01

責任保証

- 防水工事は、専門業者の責任施工とする。
- 受注者及び施工会社並びに製造メーカーは保証書に記名捺印の上で監督員に提出すること。尚、保障期間は10年以上とする。

02

既設防水下地の処理

- 平場…既設防水層を清掃水洗い(デッキブラシ併用)する。
- 立上り…既設防水層を撤去し、高圧水洗(デッキブラシ・ケレン併用、30MPa程度)する。モルタルの浮きやひび割れが見られる場合は補修を行い、カチオン系ポリマーセメントモルタルによる下地調整を行う。

03

防水材

- 材料名称…塩ビシート防水t1.5仕様…機械的固定工法(陸屋根平場)、シート端部プレート：塩ビ被覆鋼板W50
- 材料名称…塩ビシート防水t1.5仕様…接着工法(陸屋根立上り、笠木取付面)
- 材料名称…ウレタンゴム系塗膜防水仕様…密着工法、露出防水用(陸屋根設備基礎)

04

シーリング材

- 防水押え等の既設取合シーリングは全て撤去する。
- シーリングの打替えは下記の表による。

種類	記号	施工箇所
・変成シリコン系	MS-2	

05

笠木

- 既設笠木は全て撤去し、笠木取付面は上号の既存防水下地の処理(立上り)を行う。
- 材料名称…仕様…

06

エキスパンション

- 既設EXP.Jは全て撤去し、EXP.J取付面は上号の既存防水下地の処理(立上り)を行う。
- 材料名称…仕様…

07

屋根材

- 既設瓦棒葺を清掃水洗い(デッキブラシ併用)する。
- 材料名称…仕様…
- 材料名称…仕様…

08

防水シート

- 既設瓦棒葺面の全てに敷き結める。
- 材料名称…

09

雪止め

- 既設雪止めアングル(金具共)は全て撤去する。
- 材料名称…

10

その他

-

23

外壁改修工事

01

モルタル浮き部の補修

- 既設モルタルの撤去は(・行う・行わない)
- モルタル浮き部の改修工法は次による。
 - アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡)
 - アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法(13本/㎡)
 - アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法(13本/㎡)
 - 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡)
 - 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法(13本/㎡)
 - 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法(13本/㎡)
 - モルタル塗替え工法
- アンカーピン：ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
- 注入口付アンカーピン：ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm

02

ひび割れ部の補修

- ひび割れ部(幅0.2mm未満)の改修工法は次による。
 - シール工法(パテ状エポキシ樹脂)
 - シール工法(可とう性エポキシ樹脂)
- ひび割れ部(幅0.2mm以上1.0mm未満)の改修工法は次による。
 - 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
 - 手動式エポキシ樹脂注入工法
 - 機械式エポキシ樹脂注入工法
- ひび割れ部(幅1.0mm以上)の改修工法は次による。
 - Uカットシール充填工法(弾性シーリング材)
 - Uカットシール充填工法(可とう性エポキシ樹脂)

03

欠損部の補修

- 欠損部の改修工法は次による。
 - エポキシ樹脂モルタル充填工法
 - ポリマーセメントモルタル充填工法

04

既存防水下地の処理

- モルタル面…既設防水層を撤去し、高圧水洗(デッキブラシ・ケレン併用、30MPa程度)する。モルタルの浮きやひび割れが見られる場合は補修を行い、カチオン系ポリマーセメントモルタルによる下地調整を行う。

05

防水材

- 材料名称…ウレタンゴム系塗膜防水仕様…密着工法、露出防水用(庇天端、梁型天端)
- 材料名称…ポリマーセメント系塗膜防水仕様…露出防水用(犬走り)

06

シーリング材

- 次の既設シーリングは全て撤去する。
 - 外壁面(RC・モルタル・ALC)の打継目地、ひび割れ誘発目地、取合目地
 - 外部金物等の取合シーリング
 - 外部建具廻りシーリング(4周5辺)
- シーリングの打替えは下記の表による。

種類	記号	施工箇所
・変成シリコン系	MS-2	
・ポリウレタン系	PU-2	

07

その他

-

24

建具改修工事

01

改修工法

- アルミ製建具(⊙カバー工法⊙撤去取替工法)
- スチール製建具(・カバー工法・撤去取替工法)
- ステンレス製建具(・カバー工法・撤去取替工法)

02

建具の仕様

- 建具の仕様については(16項)建具・家具工事に準ずる。

03

ガラス

- 既設外部建具(カバー工法建具を除く)のガラスは全て撤去し、アタッチメント付複層ガラスに入替える。
- 既設ガラス押えは全て撤去の上、シリコン系シーリング(SR-1)にて打替える。
-

04

その他

-

25

内外部改修工事

01

改修範囲

- 内部については図中特記がない限り内装仕上(下地含む)を全て撤去する。
- 既設間仕切壁撤去に伴う当該壁の取合う天井・壁・床の改修範囲は次による。
 - 改修幅…(・壁厚程度・壁よりmm程度⊙図示)
- 既設天井撤去に伴う当該天井の取合う天井・壁の改修範囲は次による。
 - 改修幅…(・既設のまま・天井よりmm程度⊙図示)
- 既設床撤去に伴う当該床の取合う床・壁の改修範囲は次による。
 - 改修幅…(・既設のまま・床よりmm程度⊙図示)

02

仕上・下地材

- 仕上・下地材については(19項)内外装工事に準ずる。

03

下地調整

- 外壁…セメント系下地調整塗材による補修をすること。又、超高圧水洗を行った全ての面は傷や不陸・欠け等に対してカチオン系ポリマーセメントモルタルによる補修をすること。
- 内壁…既設モルタル面は吸込止シーラーを塗り合成樹脂エマルションパテにて穴・ひび割れを埋め、パテ乾燥後に研磨紙P120〜220を使用し研磨し全面を平らに仕上げる。
- 床…既設の不陸部は下地面の清掃を行い、カチオン系ポリマーセメントモルタル下地調整塗材により平滑に塗り付ける。

04

吹付材

- 材料名称…仕様…
- 材料名称…仕様…

05

既設木質床の改修

- 既設木質床(無垢材フローリング)は割れ等の補修を行い、全面的にサンダー掛けをする。サンダー掛けによる削り厚さは最小限とするが、窪み等が見られないよう平らに仕上げる。
- 既設木質床の浮きやガタツキが見られる部分については張替えを行う。
- 表面の汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し、2液形ポリウレタン樹脂塗料(3回塗)を塗り仕上げる。

06

塗装改修

- 既存塗膜は全て除去し、次による下地調整を行う。
 - モルタル面(・RA種・RB種・RC種)
 - 鉄鋼面(・RA種・RB種・RC種)
 - 木面(・RA種⊙RB種・RC種)
 - ボード面(・RA種・RB種・RC種)
- 塗料については(18項)吹付塗装工事に準ずる。

07

その他

-

26

環境配慮改修工事

01

調査・分析

- 施工調査
 - 分析によるアスベスト含有建材の調査を(⊙行う・行わない)
- 分析方法
 - JISA1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部」又は、JISA1481-3「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部」による。
- 設計時における事前調査結果は次のとおり
 - 外部手洗場(吹付タイル)：アスベスト含有(クリソタイル)
 - 内部配管部(配管被覆材)：アスベスト含有なし
 - 西側女子トイレ壁(石膏ボード)：アスベスト含有なし
 - 西側男子トイレ天井(化粧石膏ボード)：アスベスト含有なし
 - 西側男子トイレ壁(珪酸カルシウム板)：アスベスト含有なし
 - 職員室天井(ロックウール吸音板)：アスベスト含有なし

02

アスベスト含有仕上塗材の除去

- アスベスト含有仕上塗材の除去方法
 - 湿式集塵装置付き超高圧水洗工法
 - 集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法
 - 剥離剤併用手工具ケレン工法
 - 超音波ケレン工法
- ※狭隘部については集塵装置付きディスクグラインダーを使用し残さず除去する。
- 除去したアスベスト含有仕上塗材の飛散防止
 - 密封処理・湿潤化・セメント固化
- 除去したアスベスト含有仕上塗材の処分
 - 埋立処分(管理型最終処分場)・中間処分(溶融施設)
- アスベスト粉塵濃度測定は下記の表による。

測定名称	測定時期	測定場所	測定点
測定1	除去作業前	除去作業空間内部	計2点
測定2		除去作業空間外部の周辺	計2点
測定3		除去作業空間内部	計2点
測定4	除去作業中	除去作業空間外部の周辺	計2点
測定5		建物内部	計1点
測定6	除去作業後	除去作業空間内部	計2点
測定7		除去作業空間外部の周辺	計2点

03

アスベスト含有成形板の除去

- アスベスト含有成形板(非飛散性)の除去方法
 - 非破壊除去工法
- 除去したアスベスト含有成形板の処分
 - 埋立処分(管理型最終処分場)・中間処分(溶融施設)

04

その他

-

27

工事区分表

01

工事区分

- 設計図書による他に下記を工事区分とする。(⊙印を適用する)

番号	項目	建築	電気	機械	別途
01	設備用スリーブ入れ		○	○	
02	設備用スリーブ構造補強	○			
03	設備用スリーブ防水処理	○			
04	天井・壁埋込器具切込補強		○	○	
05	壁取付器具下地補強		○	○	
06	天井裏・壁内点検口	○			
07	設備換気ガラリ			○	
08	設備機械用基礎(コンクリート製)				
09	設備機械用基礎のアンカーボルト				
10	防火区画貫通処理		○	○	
11	煙感知器連動防火扉本体	○			
12	煙感知器連動防火扉のレリーズ以外の設備機器類		○		
13	煙感知器連動防火扉の電源供給配線配管		○		
14	ガス漏れ警報器本体及び遮断弁				
15	ガス漏れ警報器のコンセント及び配線配管				
16	防犯設備機器及び配線配管				○
17	LANSシステム主装置の設定及び移設				○
18	屋内消火栓ボックス本体				
19	屋内消火栓ボックスの表示灯及び発信機				
20	パッケージ型消火設備	○			
21	消火器収納ボックス	○			
22	消火器本体				○
23	昇降機設備本体			○	
24	昇降機の一次配線		○		
25	堅樋及び排水ドレイン	○			
26	堅樋以降の排水処理			○	
27	側溝及び集水樹	○			
28	集水樹以降の排水処理	○			
29	設備機器の二次配線		○	○	
30	トイレ手摺			○	
31	化粧鏡			○	
32	キッチン			○	
33	洗面・手洗シンク本体	○			
34	シンク水栓			○	
35	陶器衛生活器具			○	

02

その他

-

工事名

朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)

図名

特記仕様書(5)

縮尺

—

番号

163枚の内005号

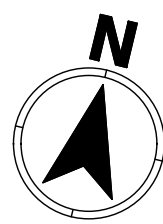
設計年月日

令和8年3月

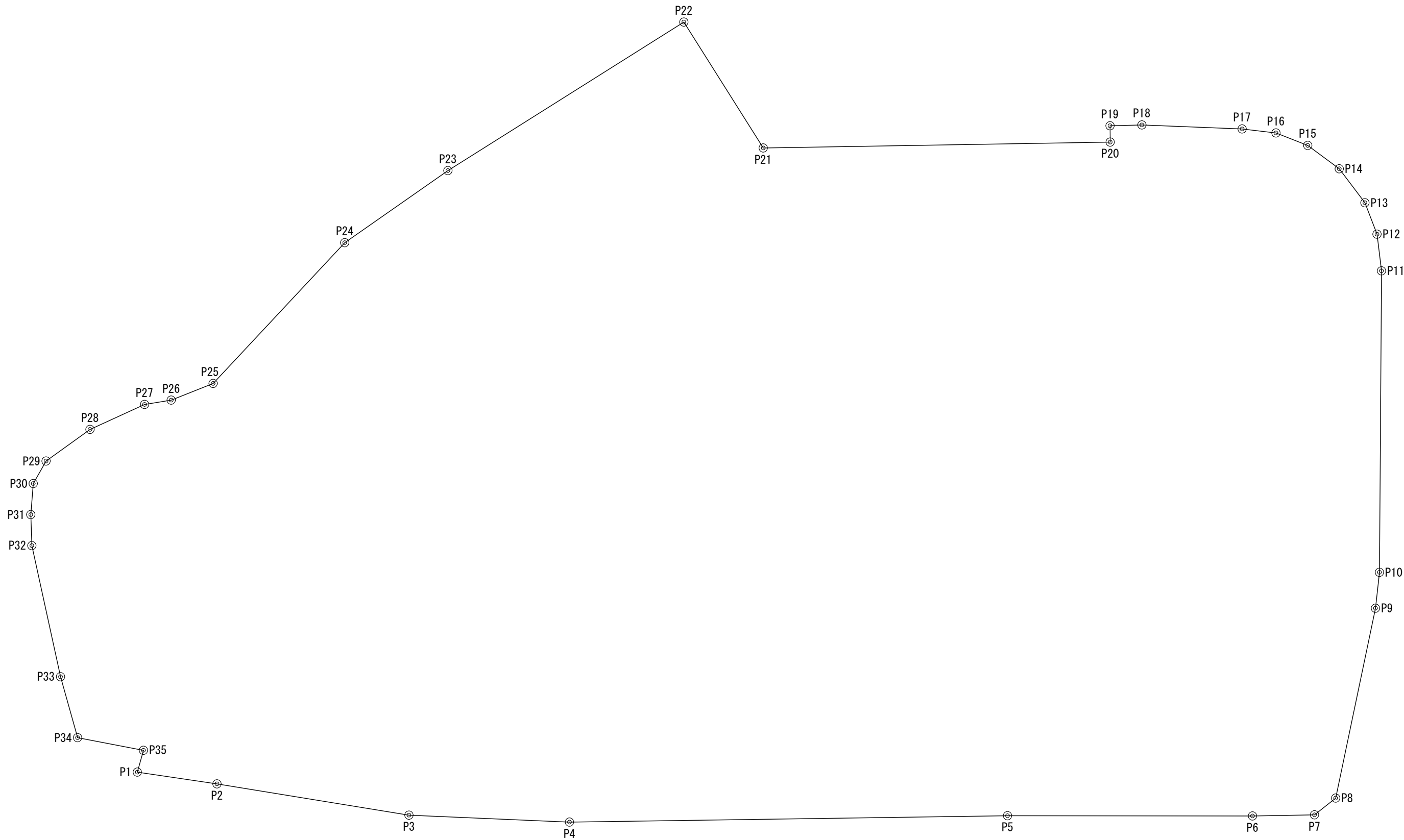
設計

有限会社アプデザイン 一級建築士 大匠登録 第284116号 栗本智秀

高山市



工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	仮設計画図(参考)・付近見取図		
縮 尺	1/500	番 号	1 6 3 枚の内 0 0 6 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



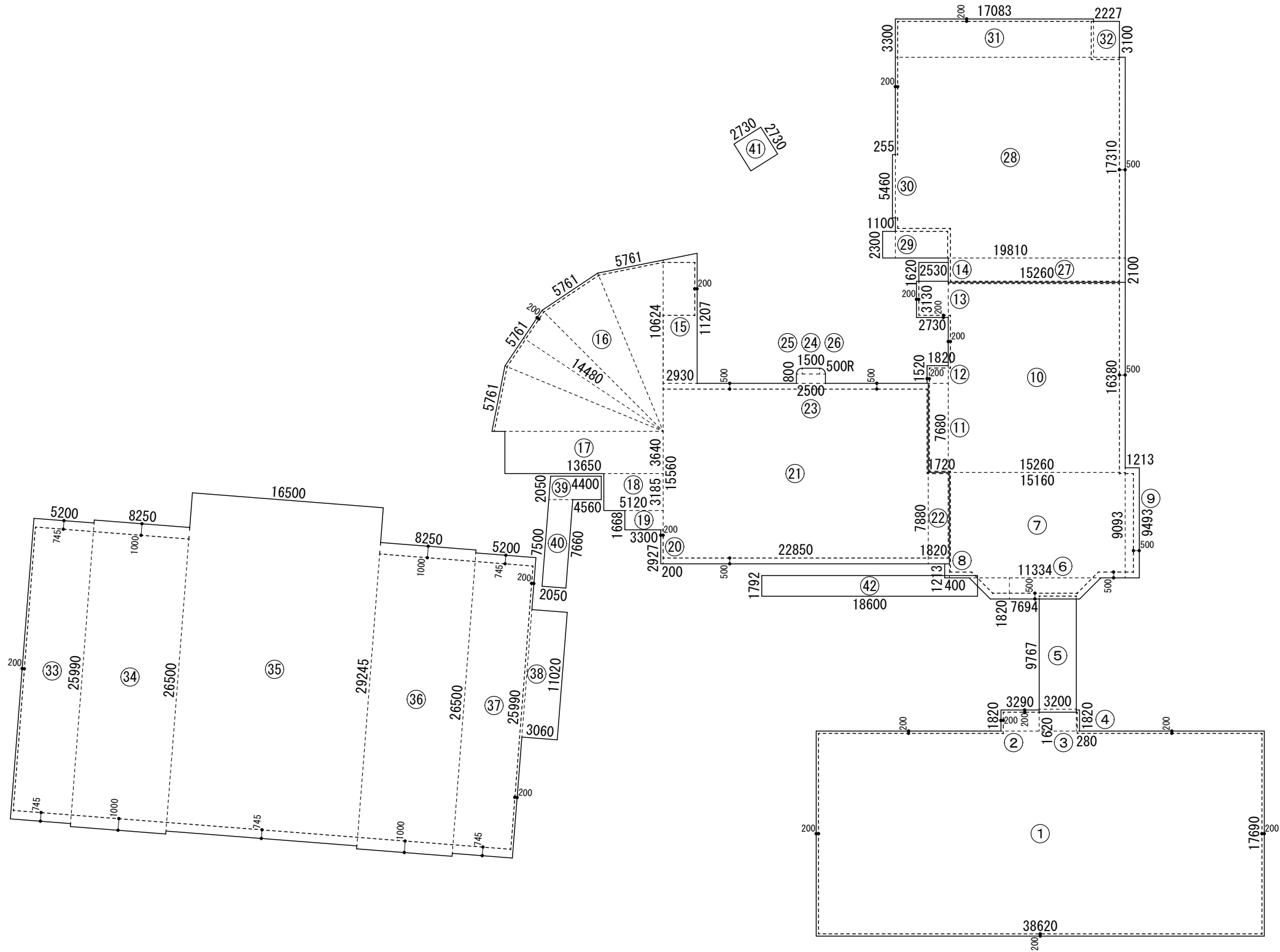
敷地面積				
N0	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
P1	26.564	17.784	-5.220	-138.664080
P2	38.948	15.949	-6.700	-260.951600
P3	68.785	11.084	-5.949	-409.201965
P4	93.742	10.000	-0.088	-8.249296
P5	161.857	10.996	0.955	154.573435
P6	199.945	10.955	0.139	27.792355
P7	209.588	11.135	2.787	584.121756
P8	212.868	13.742	32.137	6840.938916
P9	219.053	43.272	35.123	7693.798519
P10	219.674	48.865	52.482	11528.930868
P11	219.998	95.754	52.586	11568.814828
P12	219.300	101.451	10.595	2323.483500
P13	217.421	106.349	10.183	2213.998043
P14	213.433	111.634	8.914	1902.541762
P15	208.526	115.263	5.574	1162.323924
P16	203.588	117.208	2.566	522.406808
P17	198.325	117.829	1.234	244.733050
P18	182.744	118.442	0.489	89.361816
P19	177.794	118.318	-2.659	-472.754246
P20	177.825	115.783	-3.458	-614.918850
P21	123.868	114.860	18.665	2311.996220
P22	111.527	134.448	-3.517	-392.240459
P23	74.855	111.343	-34.318	-2568.873890
P24	58.810	100.130	-33.107	-1947.022670
P25	38.344	78.236	-24.476	-938.507744
P26	31.837	75.654	-3.261	-103.820457
P27	27.691	74.975	-4.563	-126.354033
P28	19.215	71.091	-8.796	-169.015140
P29	12.373	66.179	-8.422	104.205406
P30	10.382	62.669	-8.338	-86.565116
P31	10.000	57.841	-9.656	-96.560000
P32	10.165	53.013	-25.228	-256.442620
P33	14.620	32.613	-29.882	-436.874840
P34	17.282	23.131	-11.444	-197.775208
P35	27.515	21.169	-5.347	-147.122705
合 計			39693.695475	
合計面積			19846.847738	
敷地面積			19846.84㎡	

面積表			
	敷地面積	建築面積	延べ床面積
増設建築物		759.44㎡	805.78㎡
既設建築物		2787.79㎡	3830.84㎡
合 計	19846.84㎡	3547.23㎡	4636.62㎡
		17.87%	23.36%

増設建築物 面積表				
	建築面積	1階床面積	2階床面積	延べ床面積
W C 校舎棟	694.86㎡	672.41㎡	57.96㎡	730.37㎡
渡り廊下B	31.25㎡	42.56㎡	32.85㎡	75.41㎡
屋根下通路	33.33㎡	—	—	—
合 計	759.44㎡	714.97㎡	90.81㎡	805.78㎡

既設建築物 面積表				
	建築面積	1階床面積	2階床面積	延べ床面積
R C 校舎棟	445.74㎡	355.13㎡	396.88㎡	752.01㎡
W A 校舎棟	643.93㎡	590.87㎡	405.47㎡	996.34㎡
W B 校舎棟	442.15㎡	410.40㎡	397.92㎡	808.32㎡
屋内運動場	1223.80㎡	1119.50㎡	122.50㎡	1242.00㎡
渡り廊下A	24.72㎡	24.72㎡	—	24.72㎡
飼育小屋	7.45㎡	7.45㎡	—	7.45㎡
合 計	2787.79㎡	2508.07㎡	1322.77㎡	3830.84㎡

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	求積図(1)		
縮 尺	—	番 号	1 6 3 枚の内 0 0 7 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



WC校舎棟 建築面積		
1	: 38.62×17.69	= 683.1878
2	: 3.29×1.82	= 5.9878
3	: 3.2×1.62	= 5.184
4	: 0.28×1.82	= 0.5096
TOTAL		694.8692
建築面積		694.86㎡

屋根下通路 建築面積		
42	: 18.6×1.792	= 33.3312
TOTAL		33.3312
建築面積		33.33㎡

渡り廊下B 建築面積		
5	: 3.2×9.767	= 31.2544
TOTAL		31.2544
建築面積		31.25㎡

RC校舎棟 建築面積		
6	: (11.334+7.694)÷2×1.82	= 17.3154
7	: 15.16×9.093	= 137.8498
8	: 0.4×1.213	= 0.4852
9	: 1.213×9.493	= 11.515
10	: 15.26×16.38	= 249.9588
11	: 1.72×7.68	= 13.2096
12	: 1.82×1.52	= 2.7664
13	: 2.73×3.13	= 8.5449
14	: 2.53×1.62	= 4.0986
TOTAL		445.7437
建築面積		445.74㎡

WA校舎棟 建築面積		
15	: (10.624+11.207)÷2×2.93	= 31.9824
16	: 5.761×14.48÷2×4	= 166.8385
17	: 13.65×3.64	= 49.686
18	: 5.12×3.185	= 16.3072
19	: 3.3×1.668	= 5.5044
20	: 0.2×2.927	= 0.5854
21	: 22.85×15.56	= 355.546
22	: 1.82×7.88	= 14.3416
23	: 2.5×0.8	= 2.0
24	: 1.5×0.5	= 0.75
25	: 0.5×0.5×3.14×(90÷360)	= 0.1962
26	: 0.5×0.5×3.14×(90÷360)	= 0.1962
TOTAL		643.9339
建築面積		643.93㎡

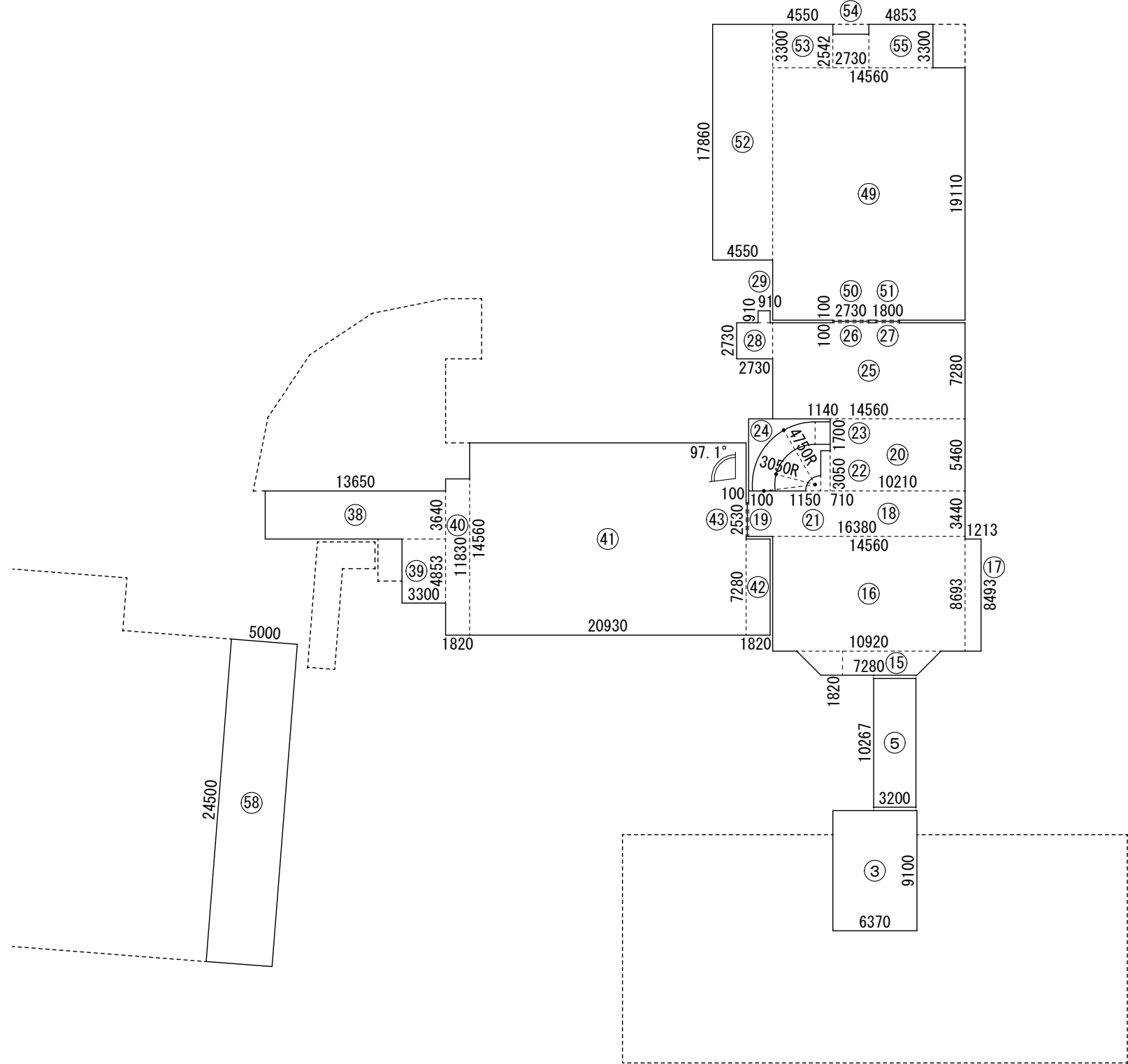
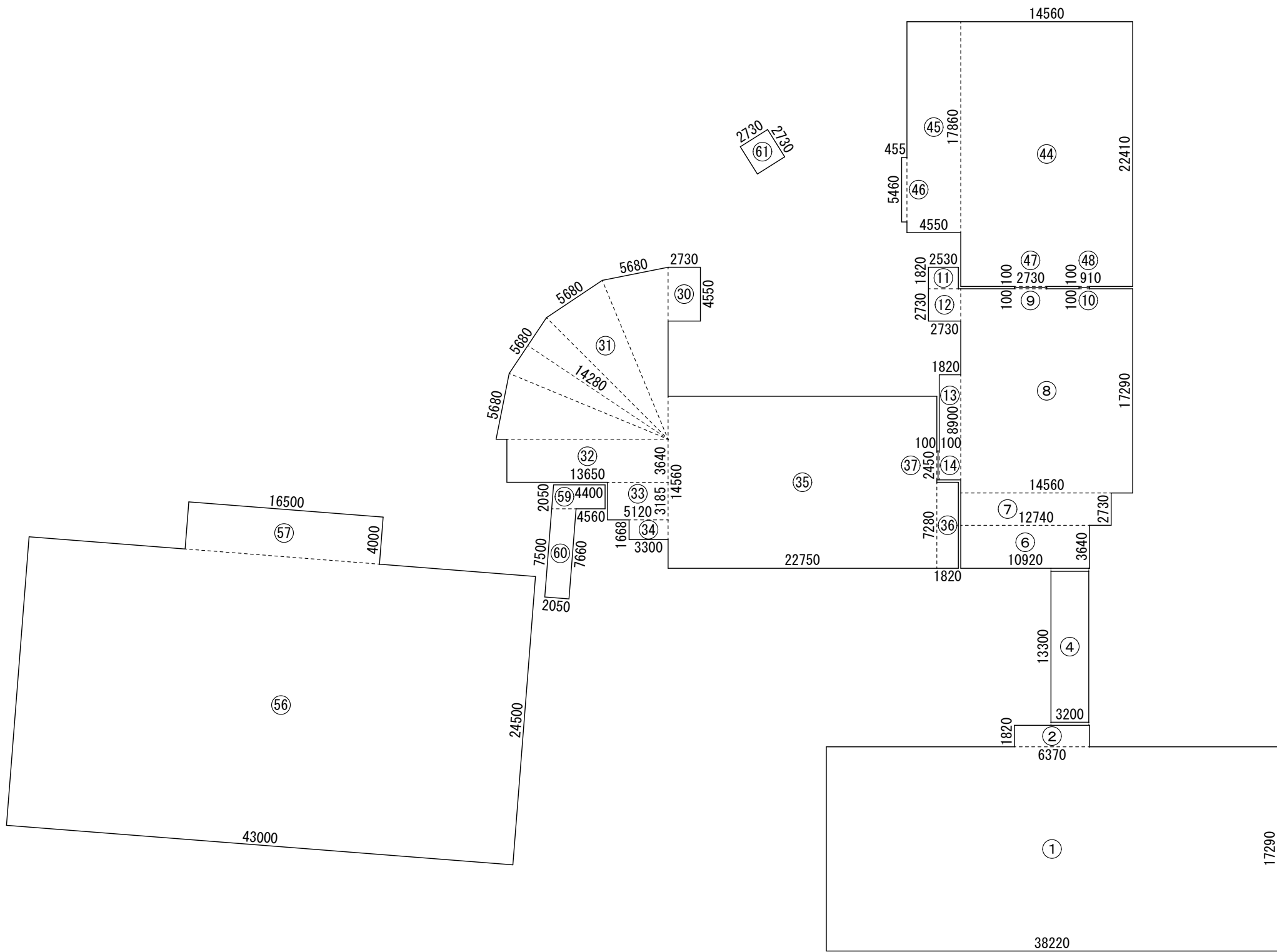
WB校舎棟 建築面積		
27	: 15.26×2.1	= 32.046
28	: 19.81×17.31	= 342.9111
29	: 1.1×2.3	= 2.53
30	: 0.255×5.46	= 1.3923
31	: 17.083×3.3	= 56.3739
32	: 2.227×3.1	= 6.9037
TOTAL		442.157
建築面積		442.15㎡

屋内運動場 建築面積		
33	: 5.2×25.99	= 135.148
34	: 8.25×26.5	= 218.625
35	: 16.5×29.245	= 482.5425
36	: 8.25×26.5	= 218.625
37	: 5.2×25.99	= 135.148
38	: 3.06×11.02	= 33.7212
TOTAL		1223.8097
建築面積		1223.80㎡

渡り廊下A 建築面積		
39	: (4.4+4.56)÷2×2.05	= 9.184
40	: (7.5+7.66)÷2×2.05	= 15.539
TOTAL		24.723
建築面積		24.72㎡

飼育小屋 建築面積		
41	: 2.73×2.73	= 7.4529
TOTAL		7.4529
建築面積		7.45㎡

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	求積図(2)		
縮 尺	—	番 号	1 6 3 枚の内 0 0 8 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



WC校舎棟 1階床面積		
1	: 38.22×17.29	= 660.8238
2	: 6.37×1.82	= 11.5934
TOTAL		672.4173
1階床面積		672.41㎡

WC校舎棟 2階床面積		
3	: 6.37×9.1	= 57.967
TOTAL		57.967
2階床面積		57.96㎡

渡り廊下B 1階床面積		
4	: 3.2×13.3	= 42.56
TOTAL		42.56
1階床面積		42.56㎡

渡り廊下B 2階床面積		
5	: 3.2×10.267	= 32.8544
TOTAL		32.8544
2階床面積		32.85㎡

RC校舎棟 1階床面積		
6	: 10.92×3.64	= 39.7488
7	: 12.74×2.73	= 34.7802
8	: 14.56×17.29	= 251.7424
9	: 2.73×0.1	= 0.273
10	: 0.91×0.1	= 0.091
11	: 2.53×1.82	= 4.6046
12	: 2.73×2.73	= 7.4529
13	: 1.82×8.9	= 16.198
14	: 0.1×2.45	= 0.245
TOTAL		355.1359
1階床面積		355.13㎡

RC校舎棟 2階床面積		
15	: (10.92+7.28)÷2×1.82	= 16.562
16	: 14.56×8.693	= 126.5700
17	: 1.213×8.493	= 10.3020
18	: 16.38×3.44	= 56.3472
19	: 0.1×2.53	= 0.253
20	: 10.21×5.46	= 55.7466
21	: 1.15 ² ×3.14×(90÷360)	= 1.0381
22	: 0.71×3.05	= 2.1655
23	: 1.14×1.7	= 1.938
24	: 4.75 ² ×3.14×(97.1÷360)	= 11.2302
25	: 14.56×7.28	= 105.9968
26	: 2.73×0.1	= 0.273
27	: 1.8×0.1	= 0.18
28	: 2.73×2.73	= 7.4529
29	: 0.91×0.91	= 0.8281
TOTAL		396.8834
2階床面積		396.88㎡

WA校舎棟 1階床面積		
30	: 2.73×4.55	= 12.4215
31	: 5.68×14.28÷2×4	= 162.2208
32	: 13.65×3.64	= 49.686
33	: 5.12×3.185	= 16.3072
34	: 3.3×1.668	= 5.5044
35	: 22.75×14.56	= 331.24
36	: 1.82×7.28	= 13.2496
37	: 0.1×2.45	= 0.245
TOTAL		590.8745
1階床面積		590.87㎡

WA校舎棟 2階床面積		
38	: 13.65×3.64	= 49.686
39	: 3.3×4.853	= 16.0149
40	: 1.82×11.83	= 21.5306
41	: 20.93×14.56	= 304.7408
42	: 1.82×7.28	= 13.2496
43	: 0.1×2.53	= 0.253
TOTAL		405.4749
2階床面積		405.47㎡

WB校舎棟 1階床面積		
44	: 14.56×22.41	= 326.2896
45	: 4.55×17.86	= 81.263
46	: 0.455×5.46	= 2.4843
47	: 2.73×0.1	= 0.273
48	: 0.91×0.1	= 0.091
TOTAL		410.4009
1階床面積		410.40㎡

WB校舎棟 2階床面積		
49	: 14.56×19.11	= 278.2416
50	: 2.73×0.1	= 0.273
51	: 1.8×0.1	= 0.18
52	: 4.55×17.86	= 81.263
53	: 4.55×3.3	= 15.015
54	: 2.73×2.542	= 6.9396
55	: 4.853×3.3	= 16.0149
TOTAL		397.9271
2階床面積		397.92㎡

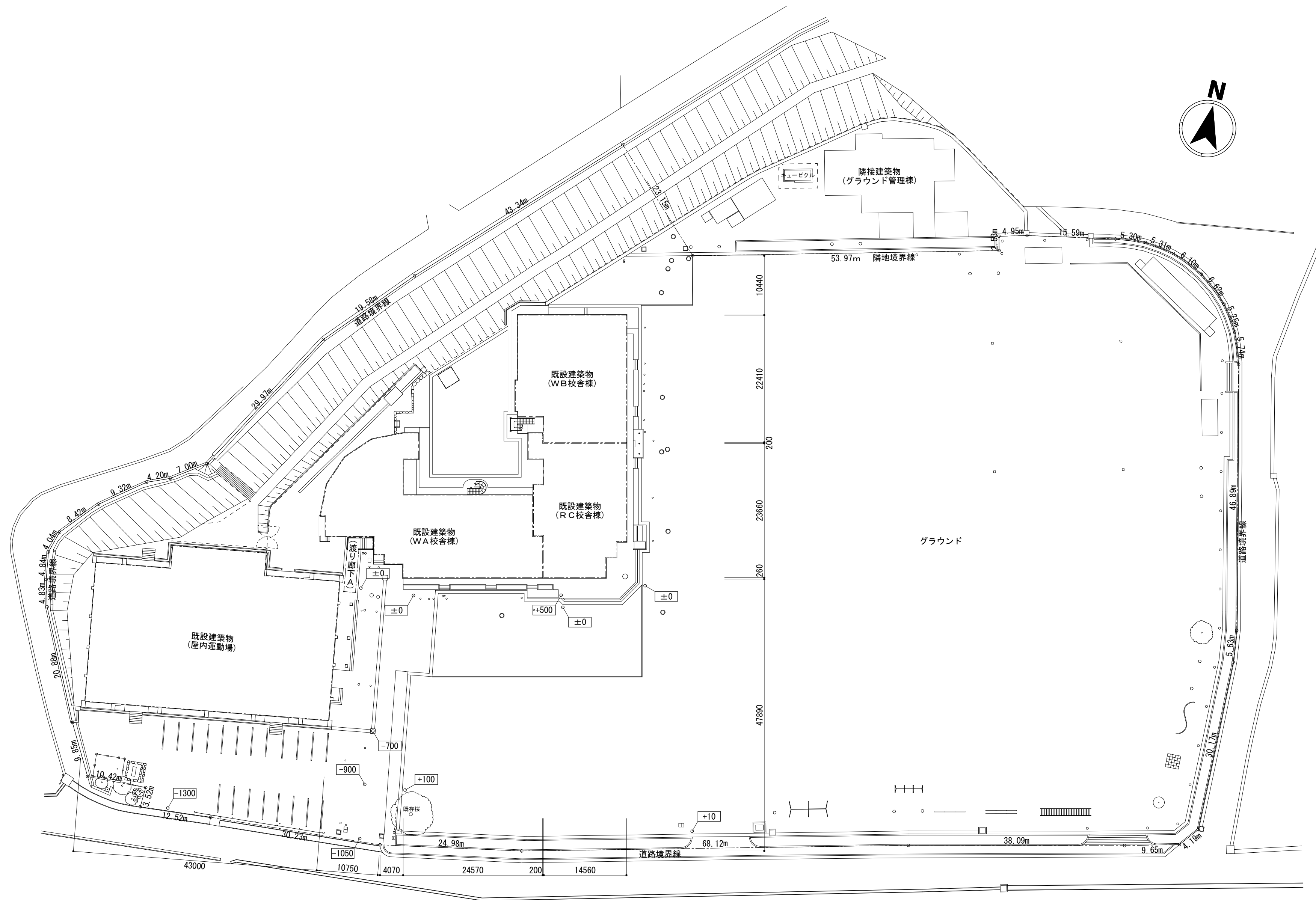
屋内運動場 1階床面積		
56	: 43.0×24.5	= 1053.5
57	: 16.5×4.0	= 66.0
TOTAL		1119.5
1階床面積		1119.50㎡

屋内運動場 2階床面積		
58	: 5.0×24.5	= 122.5
TOTAL		122.5
2階床面積		122.50㎡

渡り廊下A 1階床面積		
59	: (4.4+4.56)÷2×2.05	= 9.184
60	: (7.5+7.66)÷2×2.05	= 15.539
TOTAL		24.723
1階床面積		24.72㎡

飼育小屋 1階床面積		
61	: 2.73×2.73	= 7.4529
TOTAL		7.4529
1階床面積		7.45㎡

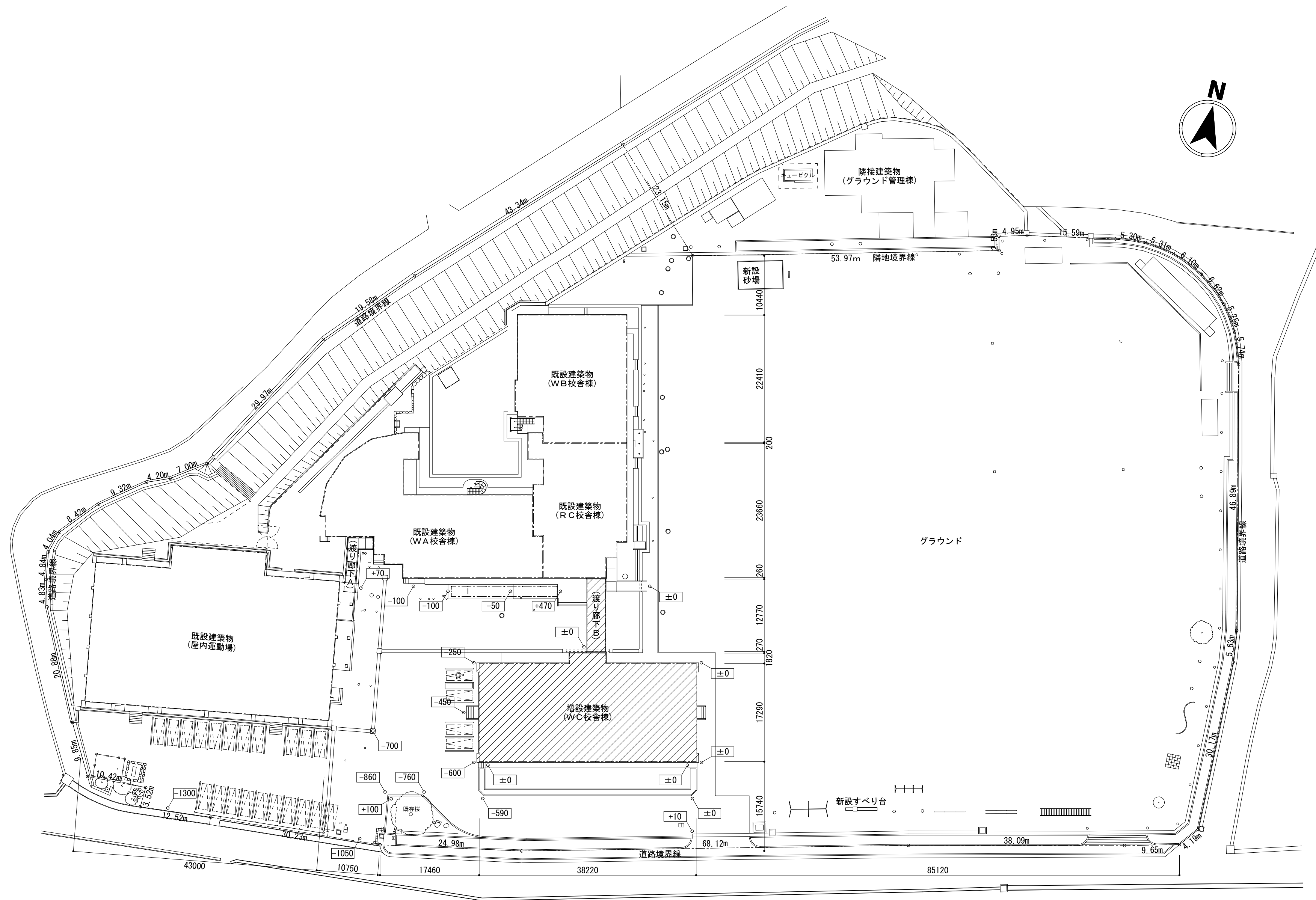
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	求積図(3)		
縮 尺	—	番 号	1 6 3 枚の内 0 0 9 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大丘登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



配置図 1/500

敷地面積 19846.84㎡

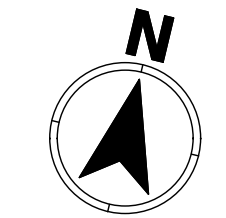
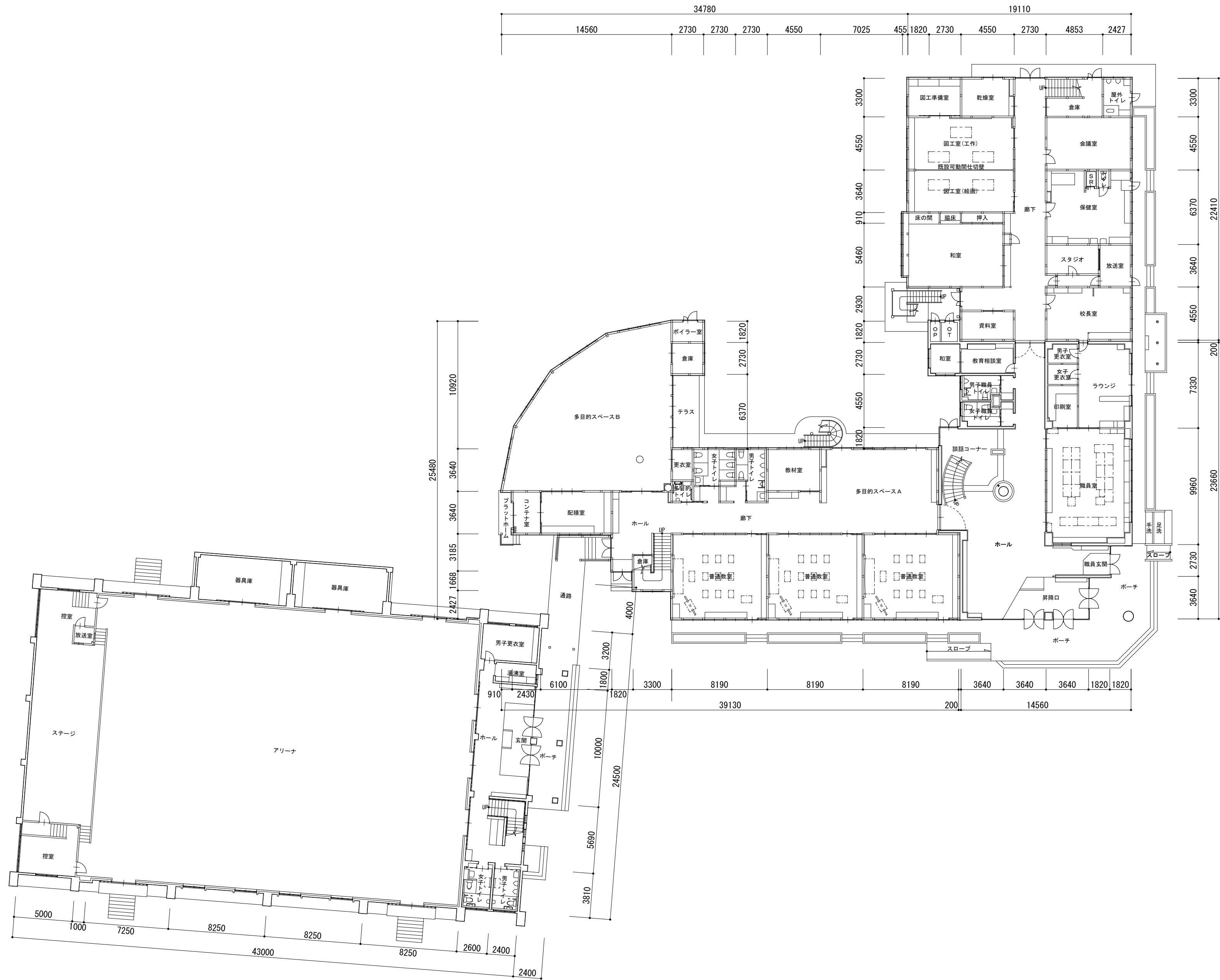
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	改修前配置図		
縮 尺	1/500	番 号	1 6 3 枚の内 0 1 0 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



配置図 1/500

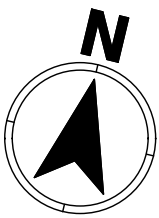
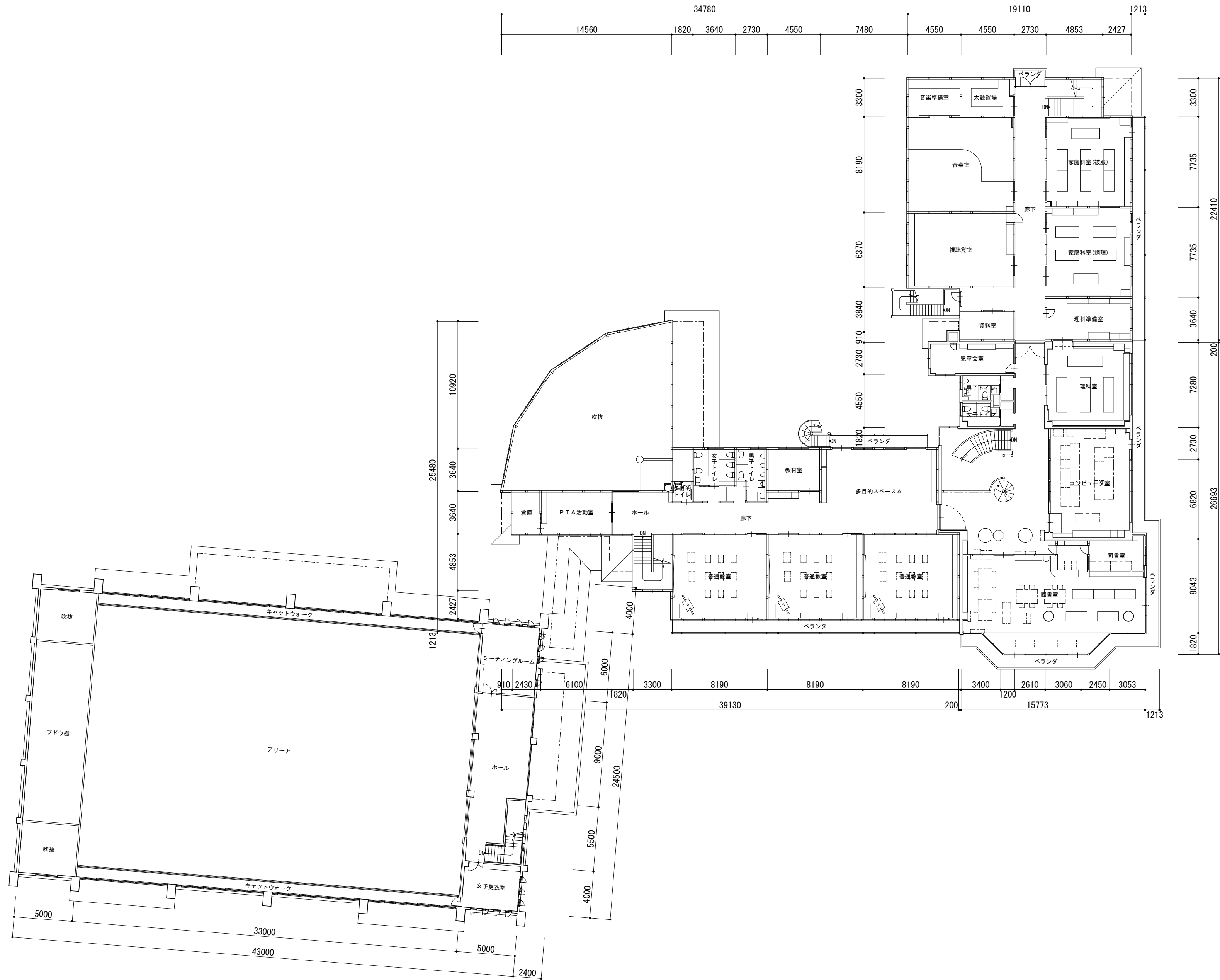
敷地面積 19846.84㎡

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称) 整備工事(建築)		
図 名	改修後配置図		
縮 尺	1/500	番 号	1 6 3 枚の内 0 1 1 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社ア・ブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



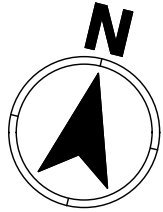
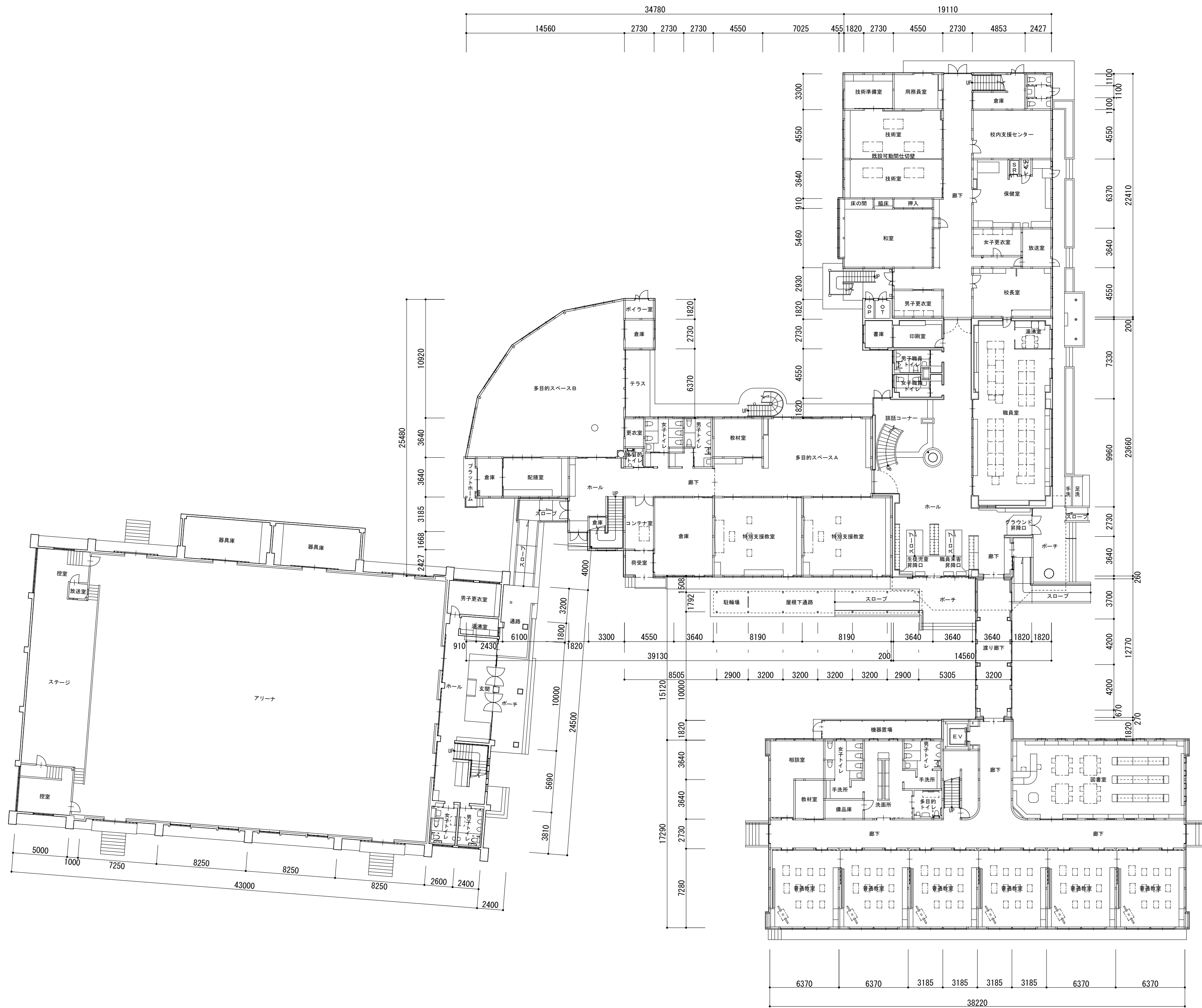
1 階平面図 1/250

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	改修前 1 階平面図		
縮 尺	1/250	番 号	1 6 3 枚の内 0 1 2 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



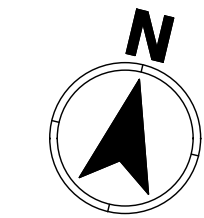
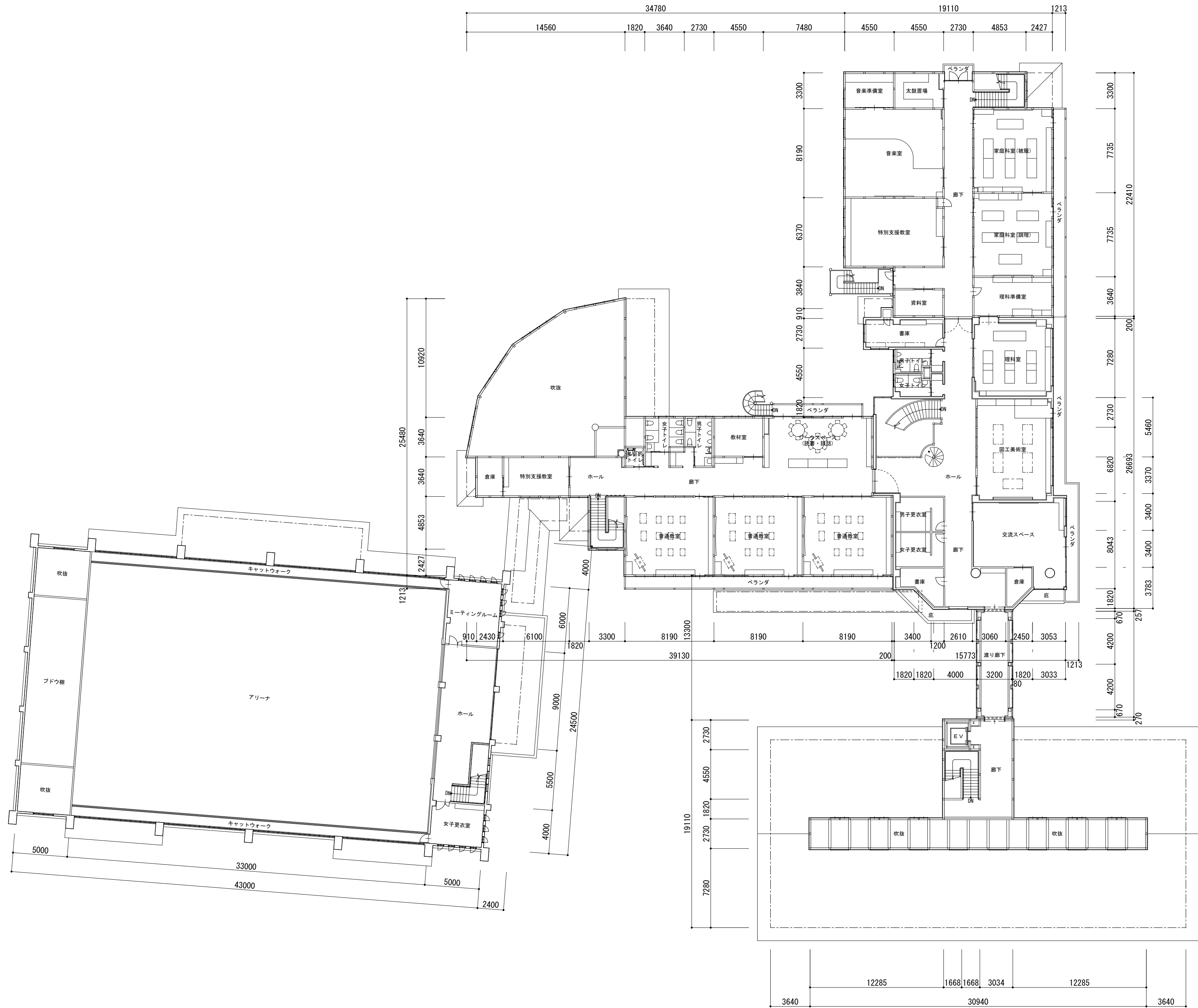
2 階平面図 1/250

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	改修前 2 階平面図		
縮 尺	1/250	番 号	1 6 3 枚の内 0 1 3 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



1 階平面図 1/250

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	改修後 1 階平面図		
縮 尺	1/250	番 号	1 6 3 枚の内 0 1 4 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



2 階平面図 1/250

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	改修後 2 階平面図		
縮 尺	1/250	番 号	1 6 3 枚の内 0 1 5 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

外部仕上表 (W C 校舎棟)					外部仕上表 (渡り廊下 B)									
屋 根	遮熱艶消カラー S G L 鋼板定尺板横葺t0.4 + アスファルトルーフィング940 + 野地板：構造用合板t12				羽 目 板 外 壁	横張羽目板(準耐火外壁)：杉材(本実加工品)t30×W150(透湿防水シート下張) WP 塗(目地部先行塗り) 出隅枠：桧材W55×D55 WP 塗、窓額縁：桧材W40 WP 塗				陸 屋 根	塩ビ樹脂系シート防水t2.0(機械的固定工法) + 防水下地モルタルt30～90			
雪 止 め	雪止アングル：S U S 製L-40×40×3、雪止金具：S U S 製φ600				左 官 外 壁	広幅縦張窯業系サイディングt14(胴縁通気工法、透湿防水シート下張、弾性目地処理) 砂状水系アクリル樹脂(高耐候可とう性タイプ)荒ゴテ仕上				パ ラ ベ ッ ト	塩ビ樹脂系シート防水t2.0(接着工法) + 防水下地モルタルt20、笠木：アルミ製W200			
破 風	破風包み：遮熱艶消カラー S G L 鋼板製t0.4×W42×H300(2段破風) 下地：桧材t30+構造用合板t12				塗 装 外 壁	広幅縦張窯業系サイディングt14(胴縁通気工法、透湿防水シート下張、弾性目地処理) DP 塗				ド レ イ ン	ルーフドレイン：鋳鉄製横引き打込型(シート防水用)φ75			
鼻 隠	鼻隠包み：遮熱艶消カラー S G L 鋼板製t0.4×W30×H300 下地：桧材t30				す そ 廻 り	薄塗ポリマーセメントモルタル金ゴテ仕上、通気水切：カラー鋼板製t0.35×H30×W55				竪 樋	カラー V P φ75 掘金具φ1200程度、飾り樹：S U S 製W200×D200×H220			
軒 天	木目調バルブ繊維混入セメント板(相ジャクリ加工品)t12、軒天通気見切：カラー G L 鋼板製W68				ボ ー チ 階 段	床面：150角屋外床用タイル(磁器質無釉)、縁：R C 適合板型枠打放補修 ポリマーセメント系塗膜防水手摺：木目調 A S A 樹脂製φ40、支柱：アルミ製φ48.6、300角視覚障がい者誘導タイル				左 官 外 壁	横張窯業系サイディングt16(金具留め工法、透湿防水シート下張) 砂状水系アクリル樹脂(高耐候可とう性タイプ)荒ゴテ仕上			
軒 樋	樹脂被覆スチール製前高角樋W160×H90 内吊金具φ300				機 器 置 場	床面：土間コンクリート金ゴテ仕上 目隠フェンス：アルミ製(木目調横格子)H2123、門扉：アルミ製(木目調横格子)W800×H2000				建 物 接 続 部	屋根・外壁 E X P . J : アルミ製(屋根+外壁)C100-W300 外壁・外天井 E X P . J : アルミ製(外壁コーナー)C100			
竪 樋	カラー V P φ75 掘金具φ1200程度				犬 走 り	床面・階段面：土間コンクリート金ゴテ仕上				す そ 廻 り	薄塗ポリマーセメントモルタル金ゴテ仕上、通気水切：カラー鋼板製t0.35×H30×W40			

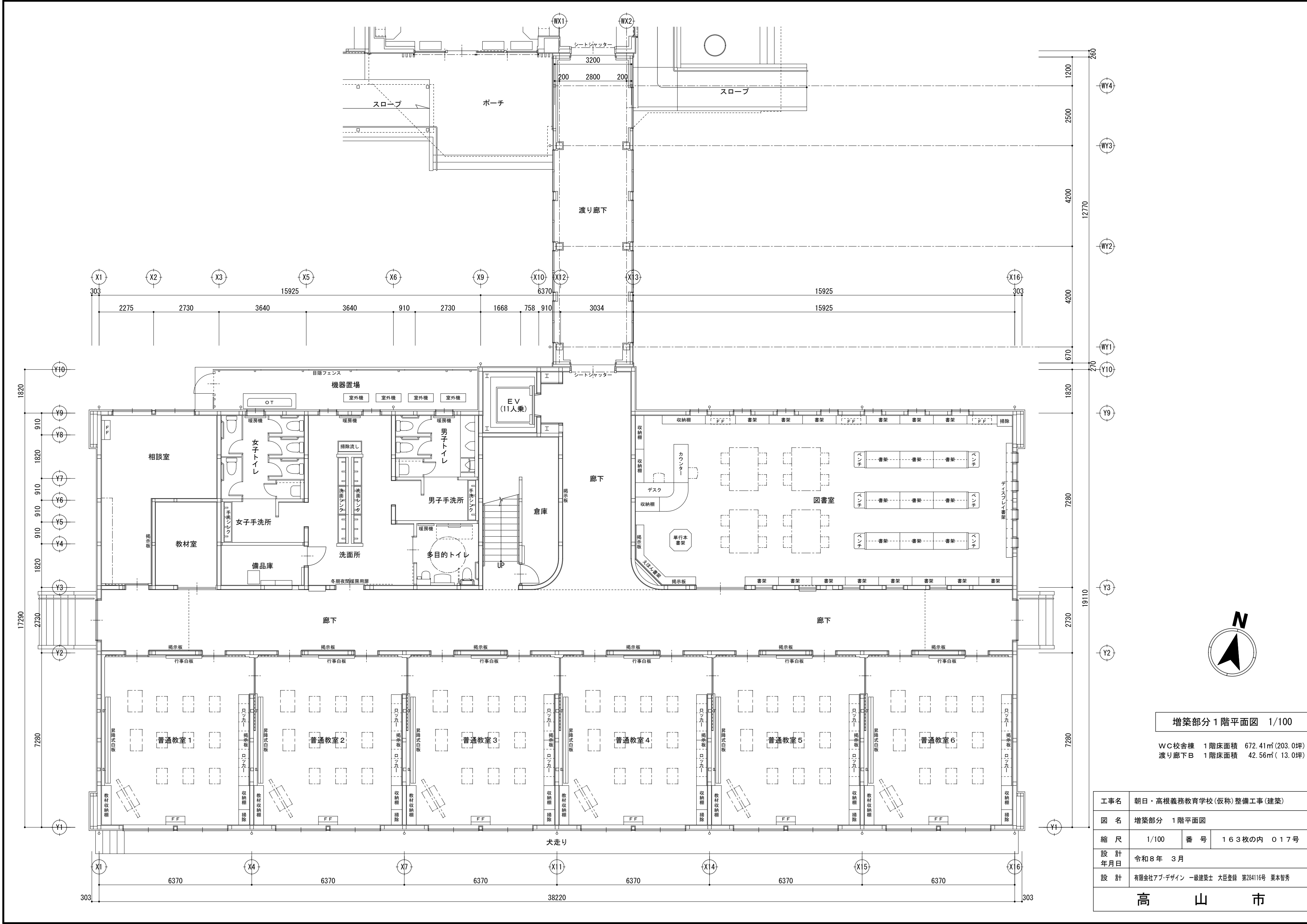
内部仕上表										
棟	階	室 名	床	巾 木 等	壁	天 井	廻 り 縁 等	天 井 高	木 部 塗 装	備 考
W C 校 舎 棟	1 階	普 通 教 室 1 ～ 6	直張複合フローリングt13 張物下地モルタルt27 土間コンクリート下地	見切縁：桧材H60 UC 塗 巾木：桧材H80 UC 塗	GB-Rt12.5 EP 塗 腰下：縦張桧羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 木胴縁組下地(横φ455)	ロックウール吸音板t9 GB-Ft12.5(下張)	廻り縁：桧材H150 UC 塗 幕板：桧材W60×H150 UC 塗	CH3020	UC 塗	正面壁：横張桧羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 化粧梁(照明ボックス)：桧材W180×H120@2250 UC 塗、コート掛けフック 昇降式白板・行事白板・掲示板・教材収納板・ロッカー・収納棚・掃除具入(製作品) 掲示板(製作品)
		相 談 室	直張複合フローリングt13 張物下地モルタルt27 土間コンクリート下地	見切縁：桧材H60 UC 塗 巾木：桧材H80 UC 塗	GB-Rt12.5 EP 塗 腰下：縦張桧羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 木胴縁組下地(横φ455)	ロックウール吸音板t9 GB-Ft12.5(下張)	廻り縁：桧材H60 UC 塗	CH2820	UC 塗	
		教 材 室	複層ビニル床シートt2.0 張物下地モルタルt38 土間コンクリート下地	巾木：塩ビ製H75	ビニルクロス(AA級) GB-Rt12.5 木胴縁組下地(横φ455)	ビニルクロス(AA級) GB-Ft12.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：塩ビ製(突付型)	CH2500	UC 塗	
		図 書 室	直張複合フローリングt13 張物下地モルタルt27 土間コンクリート下地	見切縁：桧材H60 UC 塗 巾木：桧材H80 UC 塗	GB-Rt12.5 EP 塗 腰下：縦張桧羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 木胴縁組下地(横φ455)	杉羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 GB-Rt9.5(下張)	廻り縁：桧材H80 UC 塗	CH3610-2910 CH2700	UC 塗	化粧梁：桧材W120×H120 UC 塗 掲示板・カウンター・デスク・収納棚・ディスプレイ書架・書架・掃除具入(製作品)
		洗 面 所	抗菌複層ビニル床シートt2.0 張物下地モルタルt38 土間コンクリート下地	巾木：桧材H60 UC 塗	化粧珪酸カルシウム板t6目透張(目地シール) GB-St12.5(下張) 木胴縁組下地(横φ455)	杉羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 GB-Ft12.5(下張) 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：桧材H60 UC 塗	CH2500	UC 塗	洗面シンク・掃除流し(製作品) 木造自立壁H1450
		男子手洗所	抗菌複層ビニル床シートt2.0 張物下地モルタルt38 土間コンクリート下地	巾木：桧材H60 UC 塗	化粧珪酸カルシウム板t6目透張(目地シール) GB-St12.5(下張) 木胴縁組下地(横φ455)	杉羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 GB-Ft12.5(下張) 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：桧材H60 UC 塗	CH2500	UC 塗	手洗シンク(製作品)
		男子トイレ	抗菌複層ビニル床シートt2.0 張物下地モルタルt38 土間コンクリート下地	巾木：SUS 製H60×t2.0	木目調メラミン化粧板t3目透張(目地シール) GB-St12.5(下張)、一部：耐水合板t12(下張) 木胴縁組下地(横φ455)	調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) GB-Ft12.5目透張 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：塩ビ製(目透型)	CH2500	UC 塗	腰上壁：調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) 木製トイレブース・ハンガー付棚板(製作品)、面台：メラミンカウンターt20×W160 汚垂石：御影石タイル(本磨き仕上)t20×W600
		女子手洗所	抗菌複層ビニル床シートt2.0 張物下地モルタルt38 土間コンクリート下地	巾木：桧材H60 UC 塗	化粧珪酸カルシウム板t6目透張(目地シール) GB-St12.5(下張) 木胴縁組下地(横φ455)	杉羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 GB-Ft12.5(下張) 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：桧材H60 UC 塗	CH2500	UC 塗	手洗シンク(製作品)
		女子トイレ	抗菌複層ビニル床シートt2.0 張物下地モルタルt38 土間コンクリート下地	巾木：SUS 製H60×t2.0	木目調メラミン化粧板t3目透張(目地シール) GB-St12.5(下張)、一部：耐水合板t12(下張) 木胴縁組下地(横φ455)	調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) GB-Ft12.5目透張 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：塩ビ製(目透型)	CH2500	UC 塗	腰上壁：調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) 木製トイレブース・ハンガー付棚板(製作品)、面台：メラミンカウンターt20×W160
		多目的トイレ	抗菌複層ビニル床シートt2.0 張物下地モルタルt38 土間コンクリート下地	巾木：SUS 製H60×t2.0	木目調メラミン化粧板t3目透張(目地シール) GB-St12.5(下張)、一部：耐水合板t12(下張) 木胴縁組下地(横φ455)	調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) GB-Ft12.5目透張 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：塩ビ製(目透型)	CH2500	UC 塗	腰上壁：調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) 面台：メラミンカウンターt20×W160
		備 品 庫	抗菌複層ビニル床シートt2.0 張物下地モルタルt38 土間コンクリート下地	巾木：塩ビ製H75	ビニルクロス(AA級) GB-Rt12.5 木胴縁組下地(横φ455)	ビニルクロス(AA級) GB-Ft12.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：塩ビ製(突付型)	CH2500	UC 塗	ハンガー付棚板(製作品)
		倉 庫	複層ビニル床シートt2.0 張物下地モルタルt38 土間コンクリート下地	巾木：塩ビ製H75	GB-Rt12.5 木胴縁組下地(横φ455)	GB-Ft12.5 鉄骨階段表し 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：塩ビ製(突付型)	CH3020	UC 塗	ハンガー付棚板(製作品)
	廊 下 (中 央)	廊 下	直張圧縮杉フローリングt15(UV 塗装品) 張物下地モルタルt25 土間コンクリート下地	横格子：桧材H40@190 UC 塗 巾木：桧材H120 UC 塗	調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) GB-Rt12.5 木胴縁組下地(横φ455)	杉羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 GB-Ft12.5(下張) 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：桧材H120 UC 塗	CH3650	UC 塗	腰下壁：桧突板合板t2.5 UC 塗 化粧梁(照明ボックス)：桧材W180×H120@1820 UC 塗 消火器ボックス：木目調スチール製W280×D192×H695、掲示板(製作品)
		廊 下 (E V 前)	直張圧縮杉フローリングt15(UV 塗装品) 張物下地モルタルt25 土間コンクリート下地	横格子：桧材H40@190 UC 塗 巾木：桧材H120 UC 塗	調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) GB-Rt12.5 木胴縁組下地(横φ455)	ロックウール吸音板t9、GB-Ft12.5(下張) 格子：桧材W40×H120@190 UC 塗 軽量鋼製天井下地(LGS25)	廻り縁：塩ビ製(突付型)	CH3020	UC 塗	腰下壁：桧突板合板t2.5 UC 塗 消火器ボックス：木目調スチール製W280×D192×H695 掲示板(製作品)
		廊 下	直張圧縮杉フローリングt15(UV 塗装品) 硬質木片セメント板t12 構造用合板t24、木床梁組下地	横格子：桧材H40@190 UC 塗 巾木：桧材H120 UC 塗	調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) GB-Rt12.5 木胴縁組下地(横φ455)	杉羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 GB-Ft12.5(下張) 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：桧材H60 UC 塗	CH2700	UC 塗	手摺：桧材t40×W120@190(6段) UC 塗、支柱：□-60×60×2.3 SOP 塗 笠木：桧材t40×W220 UC 塗 消火器ボックス：木目調スチール製W280×D192×H695
	2 階	吹 抜	—	幕板：桧積層材t30×H400 UC 塗	調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) GB-Rt12.5 木胴縁組下地(横φ455)	杉羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 GB-Ft12.5(下張) 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：桧材H60 UC 塗	CH2700	UC 塗	化粧梁(照明ボックス)：桧積層材・桧材W180×H400@1820 UC 塗 化粧仕付梁：桧積層材t30×H400 UC 塗
		階 段 室 場	直張圧縮杉フローリングt15(UV 塗装品) 張物下地モルタルt30 鉄骨階段下地	ササrah析・蹴込鋼板 SOP 塗 鉄骨階段下地	調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) GB-Rt12.5 木胴縁組下地(横φ455)	杉羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 GB-Ft12.5(下張) 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：桧材H60 UC 塗	CH4438	UC 塗	踏板・段鼻：ムク材(製作品)、階段部腰下壁：桧突板合板t2.5目透張 UC 塗 ブラケット手摺：木目調樹脂製φ40、笠木：桧材t40×W170 UC 塗 300角視覚障がい者誘導シート(点線)
	共 通	E V シャフト	ポリマーセメント系塗膜防水t1.1 スラブコンクリート下地	ポリマーセメント系塗膜防水t1.1 躯体コンクリート下地	GB-Rt12.5 木胴縁組下地(横φ455)	GB-Ft12.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	—	CH9000		
渡 り 廊 下 B	1 階	渡 り 廊 下	直張圧縮杉フローリングt15(UV 塗装品) 張物下地モルタルt25 土間コンクリート下地	横格子：桧材H40@190 UC 塗 巾木：桧材H120 UC 塗	調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) GB-Rt12.5 軽量鋼製壁下地(LGS50)	杉羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 GB-Rt9.5(下張) 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：桧材H60 UC 塗	CH2500	UC 塗	E X P . J : アルミ製(内壁コーナー・天井+内壁)C100
	2 階	渡 り 廊 下	直張圧縮杉フローリングt15(UV 塗装品) 張物下地モルタルt25 デッキコンクリート下地	横格子：桧材H40@190 UC 塗 巾木：桧材H120 UC 塗	調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) GB-Rt12.5 軽量鋼製壁下地(LGS50)	杉羽目板(本実加工品)t12×W120 UC 塗 GB-Rt9.5(下張) 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：桧材H60 UC 塗	CH2350	UC 塗	E X P . J : アルミ製(床+床・内壁コーナー・天井+内壁)C100 手摺：桧材t40×W120@190(5段) UC 塗、支柱：□-60×60×2.3 SOP 塗

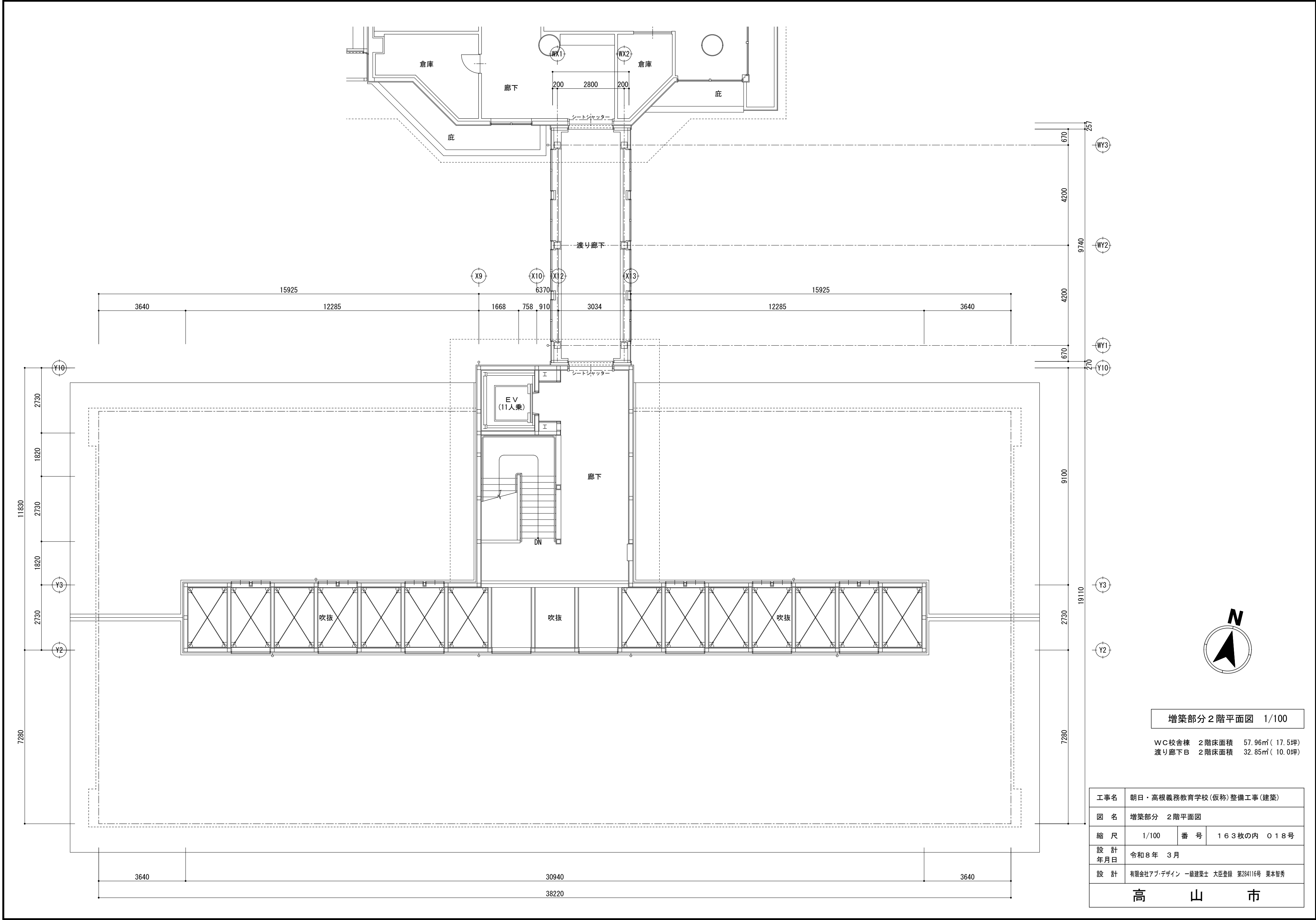
凡 例	
GB-R : 石膏ボード GB-D : 化粧石膏ボード GB-S : シーリング(防水)石膏ボード GB-F : 強化石膏ボード RV(I) : ラワン合板完全耐水(タイプI) RV(II) : ラワン合板高度耐水(タイプII) SUS : ステンレス SUS304 (HL) RC : 鉄筋コンクリート造 CB : コンクリートブロック(C種)	SOP : 合成樹脂調合ペイント(2回塗) EP : 艶消合成樹脂エマルションペイント(2回塗) EP-G : 艶有合成樹脂エマルションペイント(2回塗) OS : オイルステン(1回塗) UC : 1 液性ウレタン樹脂ワニス(2回塗) 2-UC : 2 液性ウレタン樹脂ワニス(2回塗) WP : 木材保護着色塗料(3回塗) DP : 耐候性塗料(2回塗) NAD : アクリル樹脂系非水分散形塗料(2回塗)

断熱・遮音仕様	
床 面 断 熱 材	屋内の床面は土間コンクリート下部に押出法ポリスチレンフォーム(3種 a D)t50
壁 面 断 熱 材	屋内で外気に接する壁面は間柱間に高性能グラスウール(14K、耳付き)t90 E V シャフト廻りの壁面は間柱間に高性能グラスウール(14K、耳付き)t90
天井面断熱材	屋内で屋根直下となる天井面は野縁上に高性能グラスウール(14K)t155
壁 面 遮 音 材	各トイレの壁面は間柱間に高性能グラスウール(14K)t90

準耐火構造等内部仕上表 ※上記壁仕上表の内、次の部位はこれによる。	
天 井	GB-Ft12.5 ※外壁下地まで
羽 目 板 外 壁	GB-Rt12.5(二重張) ※桁梁まで
左官塗装外壁	GB-Rt12.5(二重張) ※桁梁まで
構造間仕切壁	GB-Rt9.5+GB-Rt12.5(両面張) ※天井まで
防火上主要な間仕切壁	GB-Rt9.5+GB-Rt12.5(両面張) ※屋根下地まで

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 仕上表		
縮 尺	—	番 号	1 6 3 枚の内 0 1 6 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

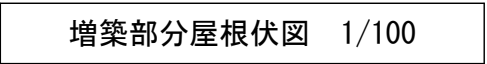




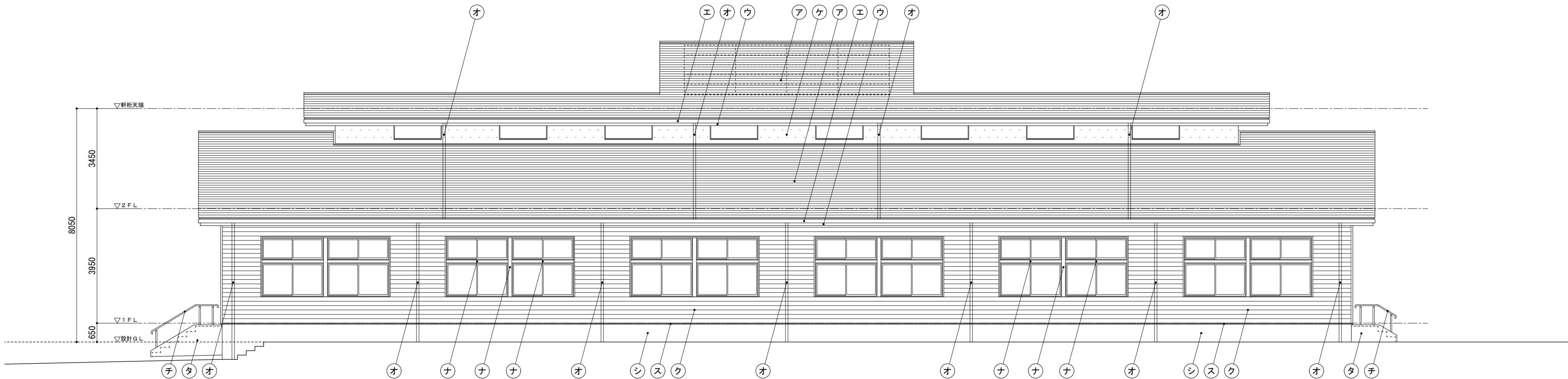
増築部分 2 階平面図 1/100

WC校舎棟 2 階床面積 57.96㎡ (17.5坪)
渡り廊下 B 2 階床面積 32.85㎡ (10.0坪)

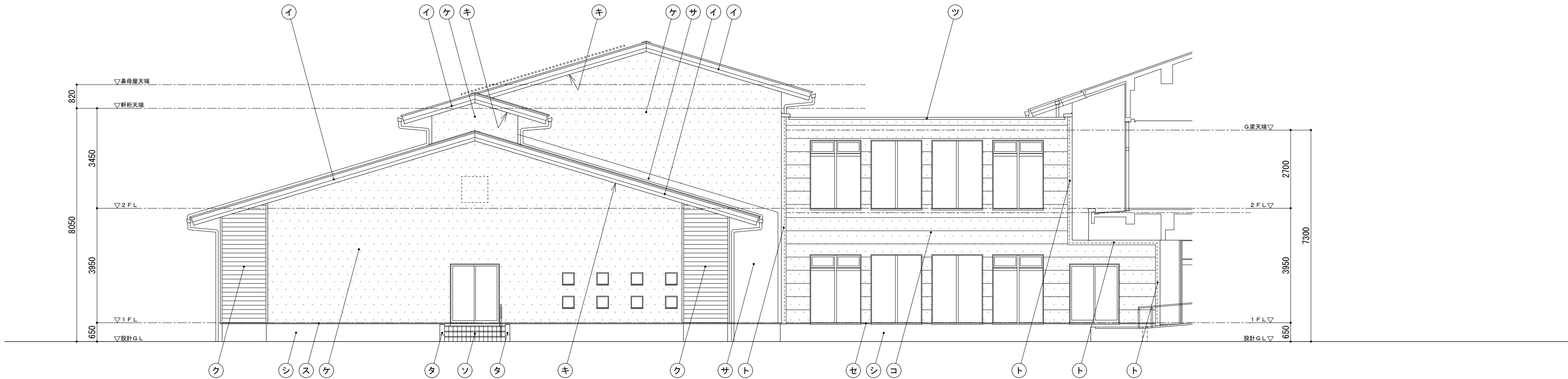
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 2 階平面図		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 1 8 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 屋根伏図		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 1 9 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社ア・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



増築部分南立面図 1/100

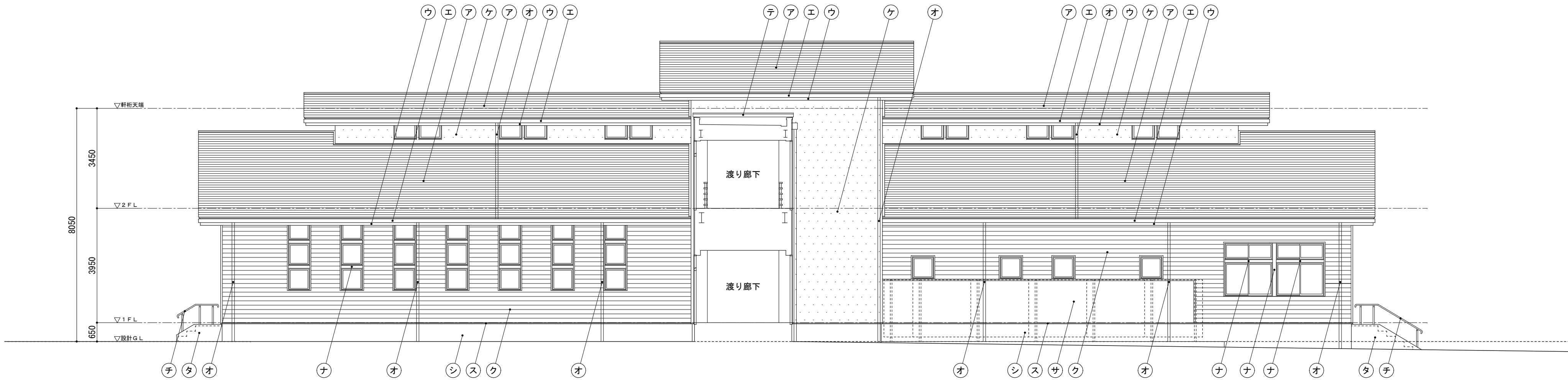


増築部分東立面図 1/100

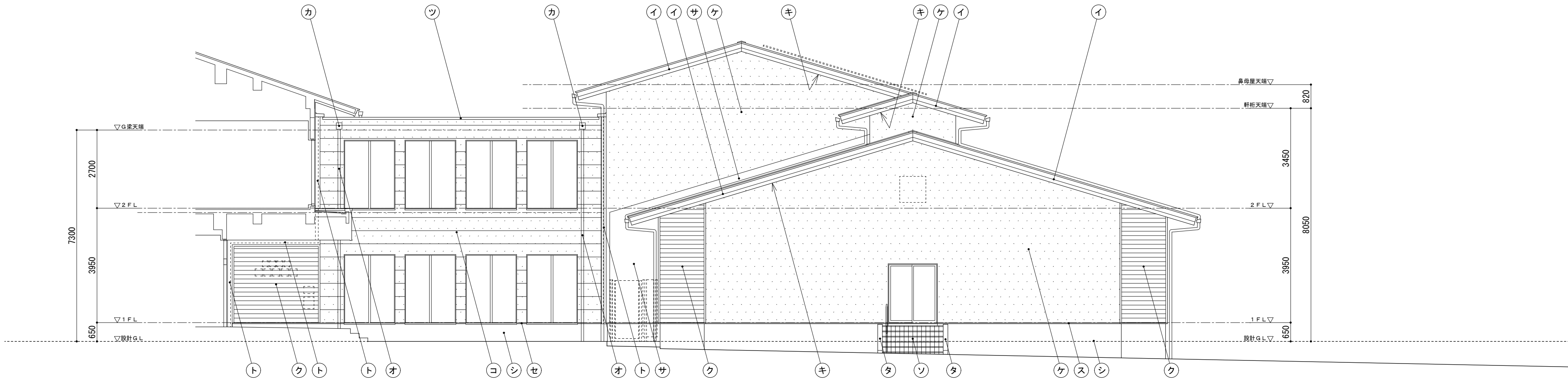
外装仕上一覧表

外装仕上一覧表			
ア	遮熱艶消カラーSGL鋼板定尺板横葺t0.4	ク	横張羽目板(準耐火外壁)：杉材(本実加工品)t30×W150(透湿防水シート下張) WP塗
イ	破風包み：遮熱艶消カラーSGL鋼板製t0.4×W42×H300(2段破風)	ケ	広幅縦張窯業系サイディングt14(胴縁通気工法、透湿防水シート下張、弾性目地処理) 砂状水系アクリル樹脂(高耐候可とう性タイプ)荒ゴテ仕上
ウ	鼻隠包み：遮熱艶消カラーSGL鋼板製t0.4×W30×H300	コ	横張窯業系サイディングt16(金具留め工法、透湿防水シート下張) 砂状水系アクリル樹脂(高耐候可とう性タイプ)荒ゴテ仕上
エ	軒樋：樹脂被覆スチール製前高角樋W160×H90 内吊金具@300	サ	広幅縦張窯業系サイディングt14(胴縁通気工法、透湿防水シート下張、弾性目地処理) DP塗
オ	縦樋：カラーVPφ75 掴金具@1200程度	シ	薄塗ポリマーセメントモルタル金ゴテ仕上
カ	飾り樹：SUS製W200×D200×H220	ス	通気水切：カラー鋼板製t0.35×H30×W55
キ	木目調パルプ繊維混入セメント板(相ジャクリ加工品)t12	セ	通気水切：カラー鋼板製t0.35×H30×W40
ソ	150角屋外床用タイル(磁器質無釉)	ツ	
タ	縁：RC造合板型枠打放補修 ポリマーセメント系塗膜防水	テ	屋根・外壁EXP.J：アルミ製(屋根+外壁)C100-W300
チ	手摺：木目調ASA樹脂製φ40、支柱：アルミ製φ48.6	ト	外壁・外天井EXP.J：アルミ製(外壁コーナー)C100
ツ	笠木：アルミ製W200	ナ	窓柱包み・窓台包み：杉材t30 WP塗

工 事 名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 立面図(1)		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 2 0 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大丘登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



増築部分北立面図 1/100

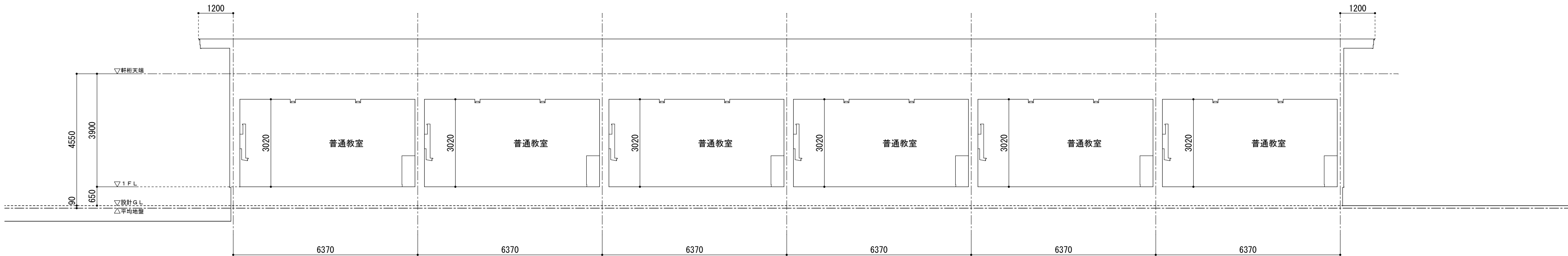


増築部分西立面図 1/100

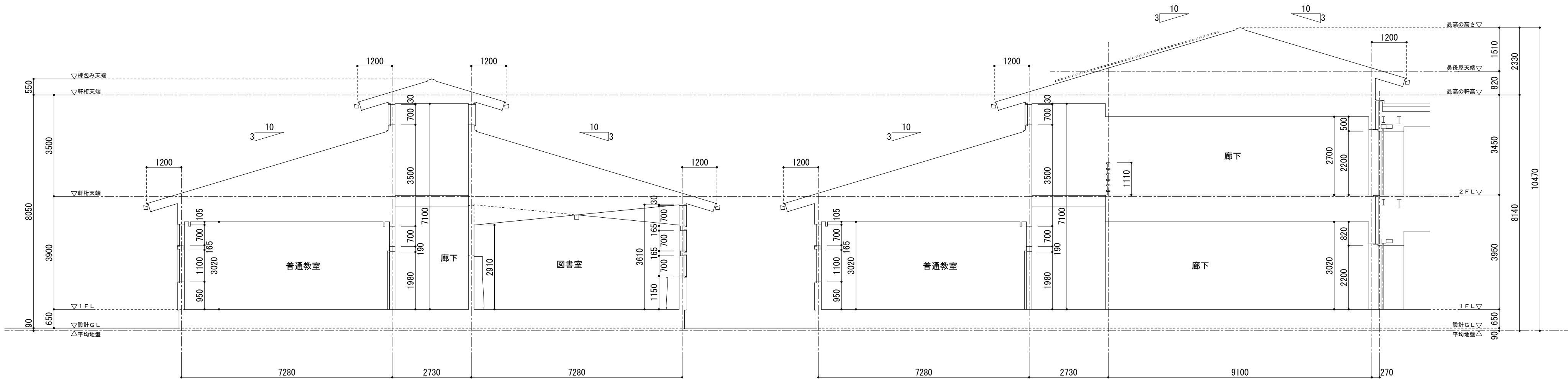
外装仕上一覧表

外装仕上一覧表					
ア	遮熱艶消カラーＳＧＬ鋼板定尺板横葺t0.4	ク	横張羽目板(準耐火外壁)：杉材(本実加工品)t30×W150(透湿防水シート下張) WP塗	ソ	150角屋外床用タイル(磁器質無釉)
イ	破風包み：遮熱艶消カラーＳＧＬ鋼板製t0.4×W42×H300(2段破風)	ケ	広幅縦張窯業系サイディングt14(胴縁通気工法、透湿防水シート下張、弾性目地処理) 砂状水系アクリル樹脂(高耐候可とう性タイプ)荒ゴテ仕上	タ	縁：ＲＣ造合板型枠打放補修 ポリマーセメント系塗膜防水
ウ	鼻隠包み：遮熱艶消カラーＳＧＬ鋼板製t0.4×W30×H300	コ	横張窯業系サイディングt16(金具留め工法、透湿防水シート下張) 砂状水系アクリル樹脂(高耐候可とう性タイプ)荒ゴテ仕上	チ	手摺：木目調ＡＳＡ樹脂製φ40 支柱：アルミ製φ48.6
エ	軒樋：樹脂被覆スチール製前高角樋W160×H90 内吊金具@300	サ	広幅縦張窯業系サイディングt14(胴縁通気工法、透湿防水シート下張、弾性目地処理) DP塗	ツ	笠木：アルミ製W200
オ	縦樋：カラーＶＰφ75 掴金具@1200程度	シ	薄塗ポリマーセメントモルタル金ゴテ仕上	テ	屋根・外壁ＥＸＰ．Ｊ：アルミ製(屋根＋外壁)C100-W300
カ	飾り樹：ＳＵＳ製W200×D200×H220	ス	通気水切：カラー鋼板製t0.35×H30×W55	ト	外壁・外天井ＥＸＰ．Ｊ：アルミ製(外壁コーナー)C100
キ	木目調パルプ繊維混入セメント板(相ジャクリ加工品)t12	セ	通気水切：カラー鋼板製t0.35×H30×W40	ナ	窓柱包み・窓台包み：杉材t30 WP塗

工 事 名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 立面図(2)		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 2 1 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



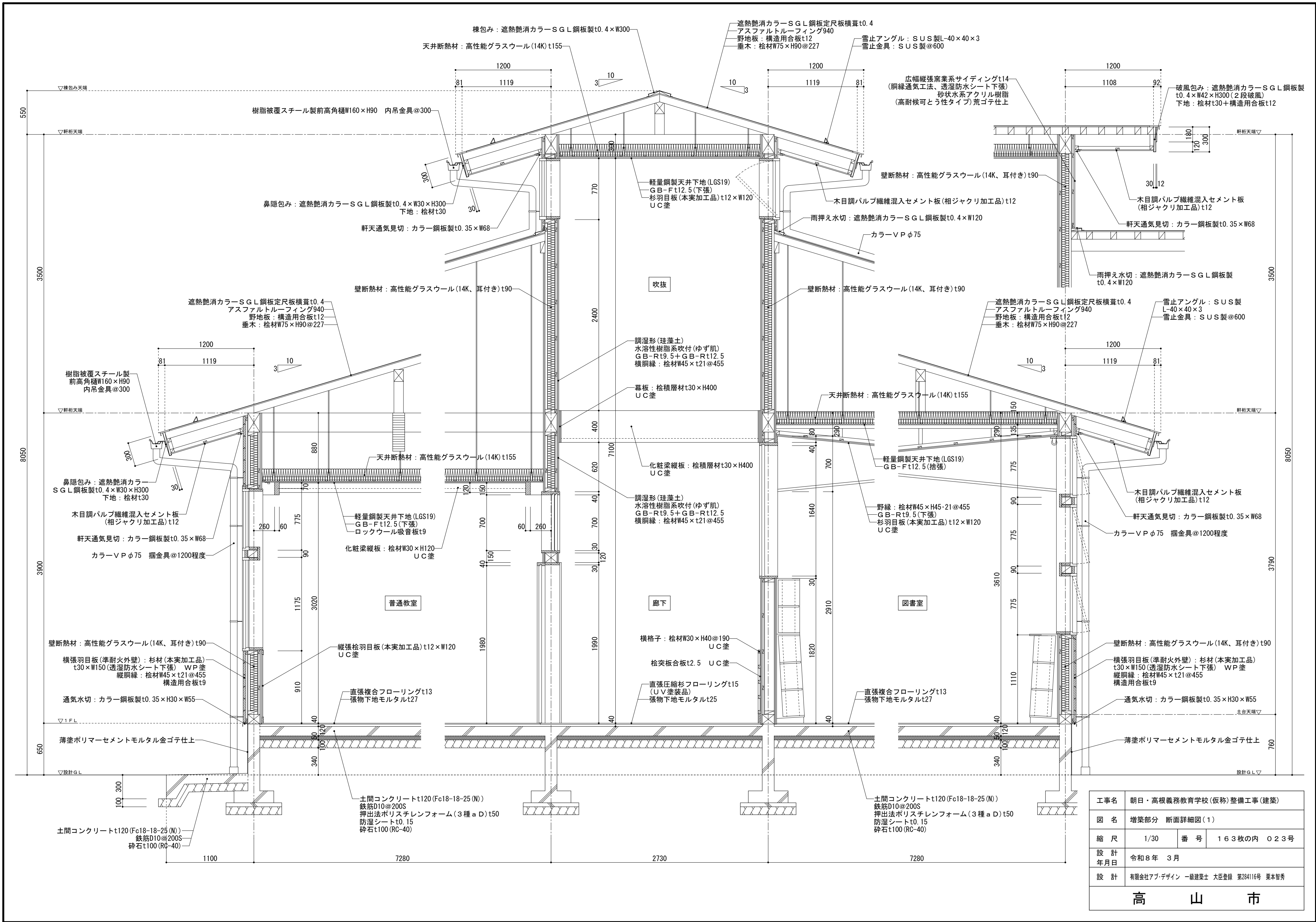
増築部分断面図 1/100



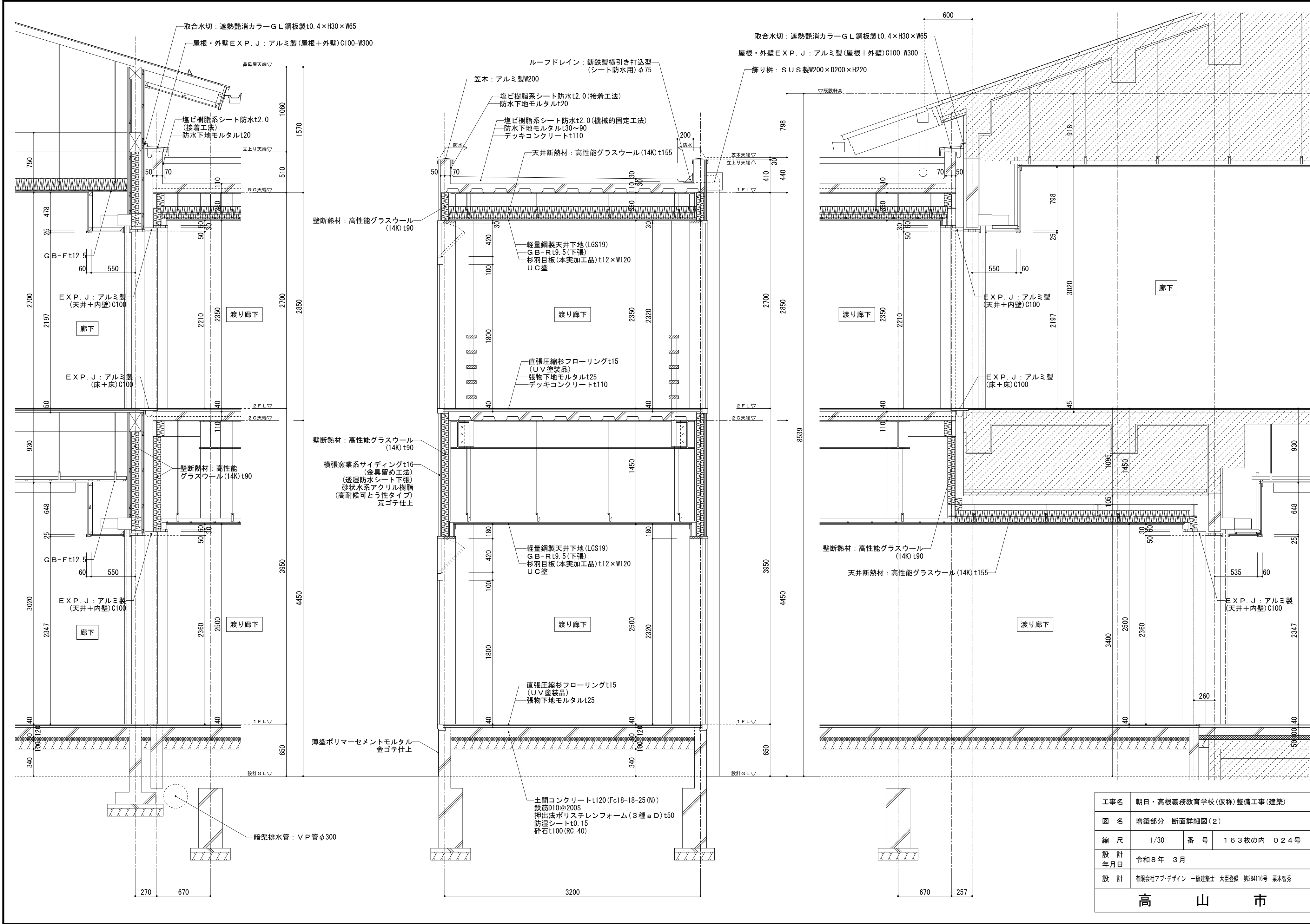
増築部分断面図 1/100

増築部分断面図 1/100

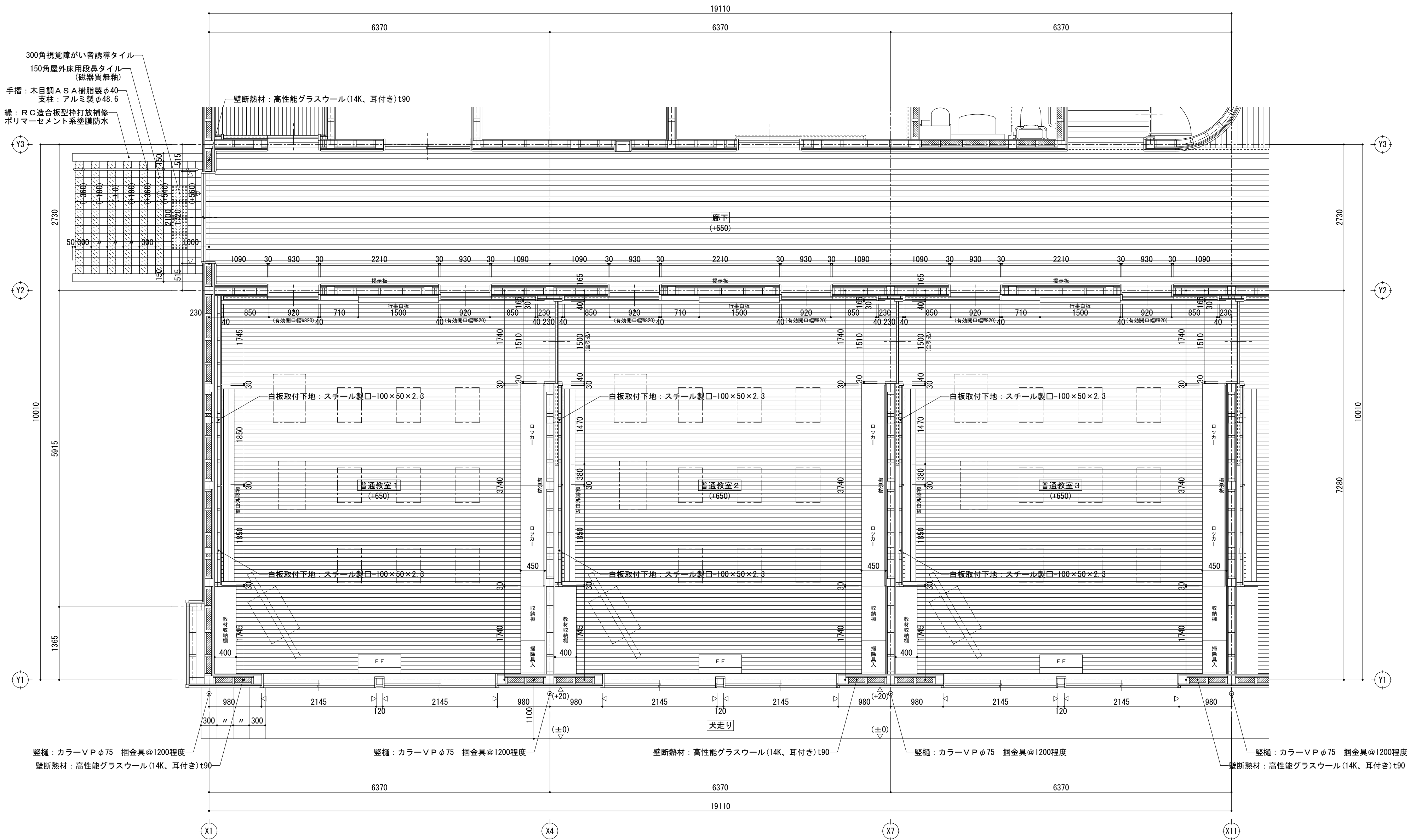
工 事 名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 断面図		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 2 2 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 断面詳細図(1)		
縮 尺	1/30	番 号	1 6 3 枚の内 0 2 3 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社ア・ブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

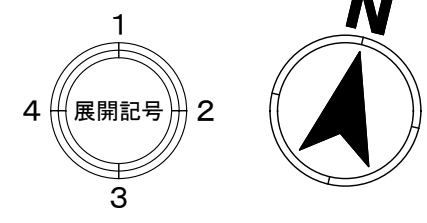


工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 断面詳細図(2)		
縮 尺	1/30	番 号	1 6 3 枚の内 0 2 4 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

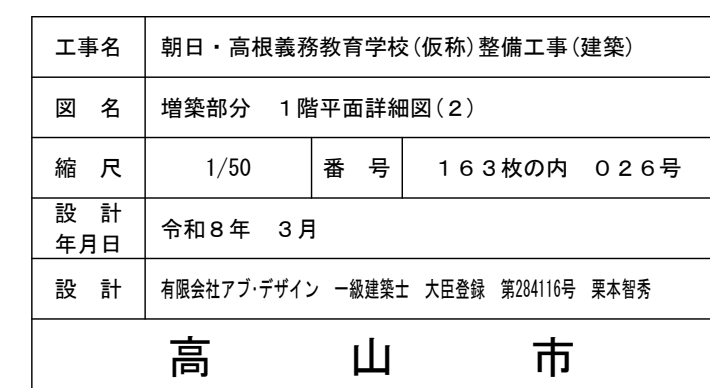


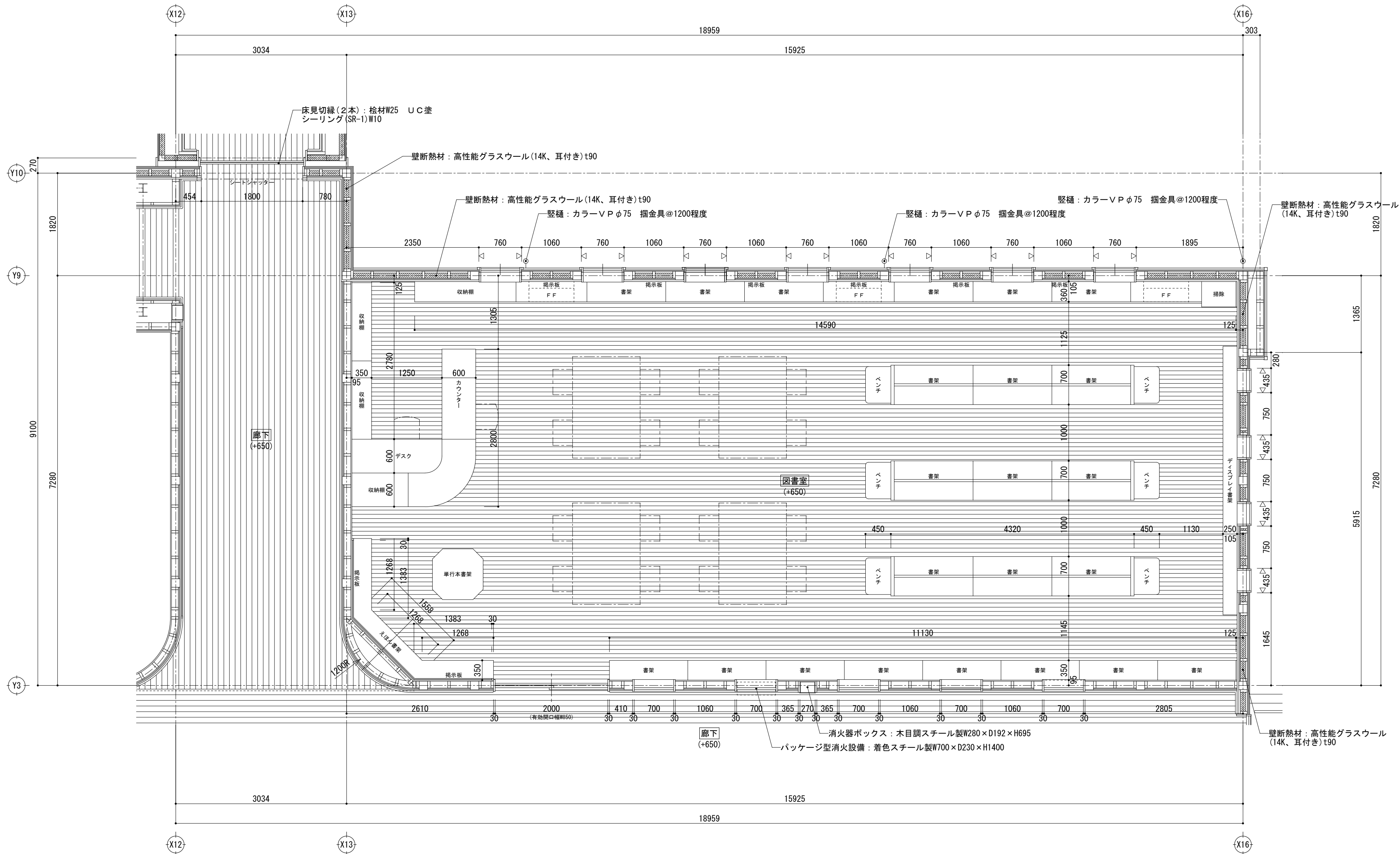
増築部分 1 階平面詳細図 1/50

()内は設計 G L を±0とした床仕上天端の高さを示す。
寸法表示部 ▽印は鋼製建具取付下地の柱側端を示す。



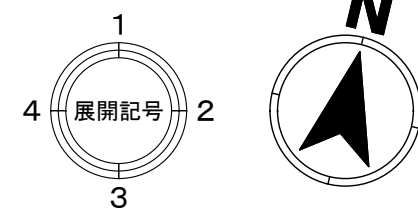
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 1 階平面詳細図(1)		
縮 尺	1/50	番 号	1 6 3 枚の内 0 2 5 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



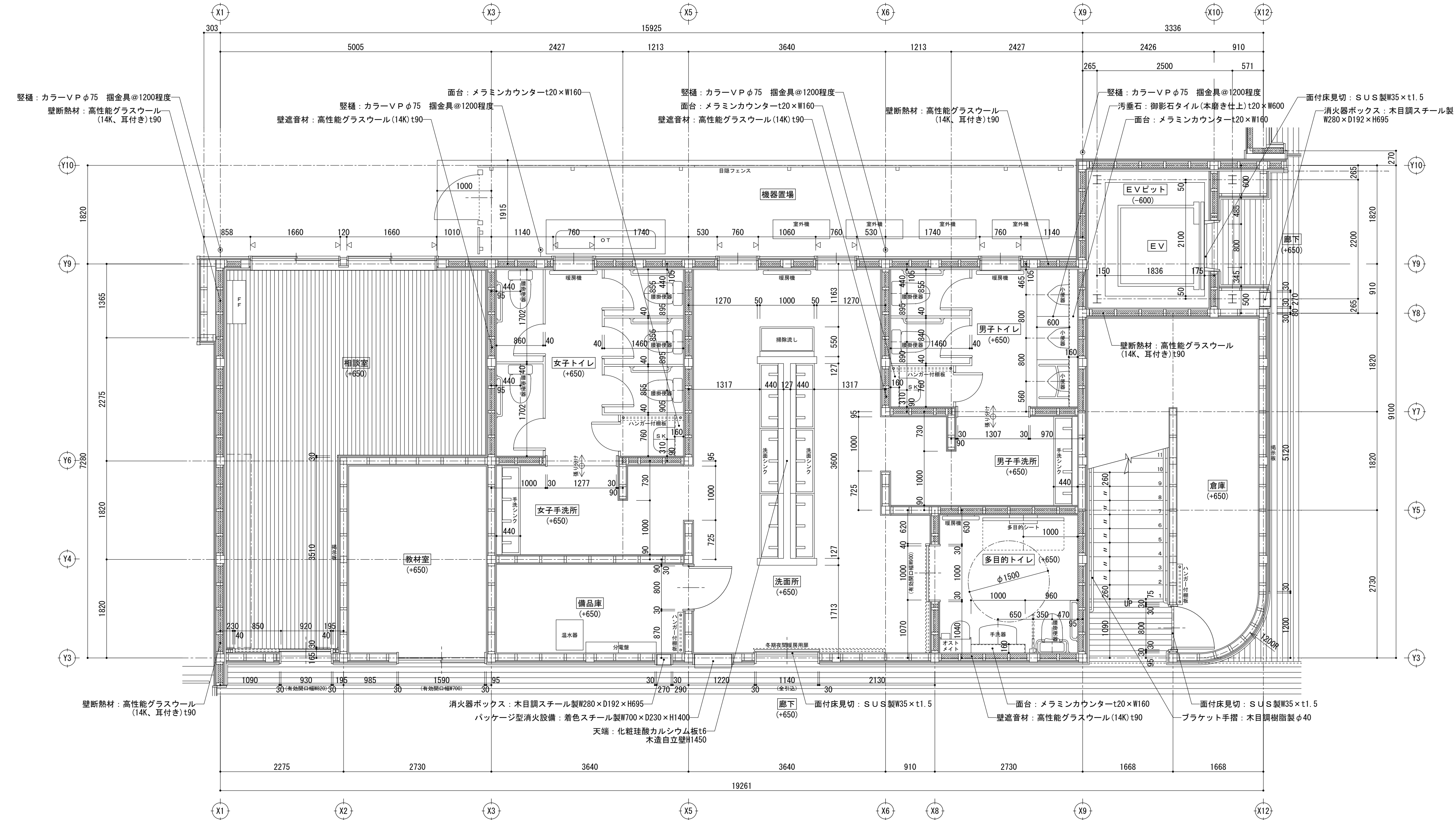


増築部分 1階平面詳細図 1/50

()内は設計G.L.を±0とした床仕上天端の高さを示す。
寸法表示部 ▽印は鋼製建具取付下地の柱側端を示す。



工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 1 階平面詳細図(3)		
縮 尺	1/50	番 号	1 6 3 枚の内 0 2 7 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



縦樋：カラーVPφ75 掘金具@1200程度
壁断熱材：高性能グラスウール(14K、耳付き)t90

面台：メラミンカウンターt20×W160
縦樋：カラーVPφ75 掘金具@1200程度
壁遮音材：高性能グラスウール(14K)t90

縦樋：カラーVPφ75 掘金具@1200程度
面台：メラミンカウンターt20×W160
壁遮音材：高性能グラスウール(14K)t90

壁断熱材：高性能グラスウール(14K、耳付き)t90

縦樋：カラーVPφ75 掘金具@1200程度
汚垂石：御影石タイル(本磨き仕上)t20×W600
面台：メラミンカウンターt20×W160

面付床見切：SUS製W35×t1.5
消火器ボックス：木目調スチール製W280×D192×H695

壁断熱材：高性能グラスウール(14K、耳付き)t90

消火器ボックス：木目調スチール製W280×D192×H695
パッケージ型消火設備：着色スチール製W700×D230×H1400
天端：化粧珪酸カルシウム板t6
木造自立壁H1450

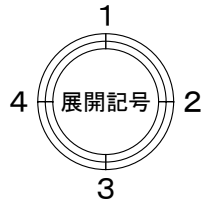
廊下(+650)
面付床見切：SUS製W35×t1.5

面台：メラミンカウンターt20×W160
壁遮音材：高性能グラスウール(14K)t90

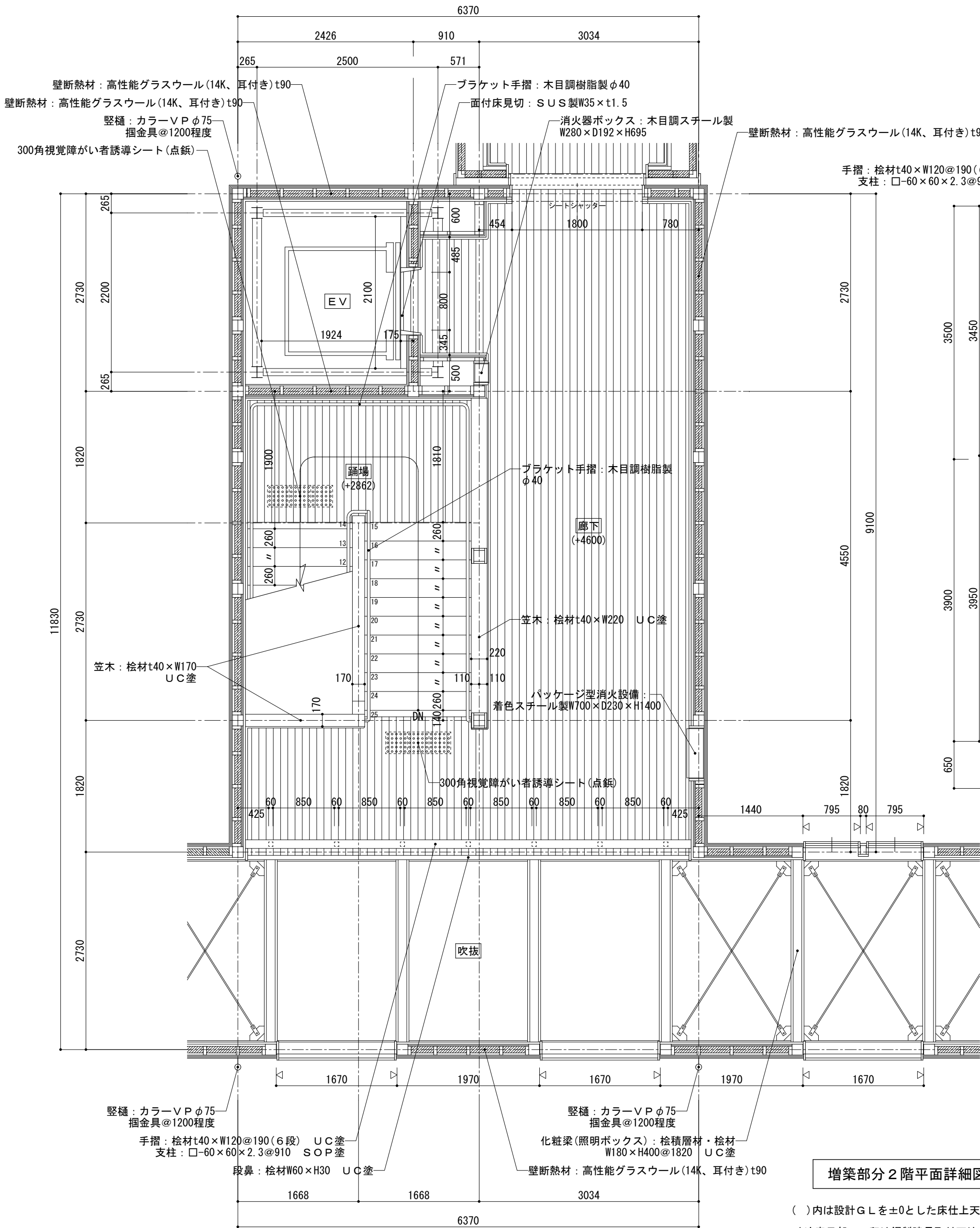
面付床見切：SUS製W35×t1.5
ブラケット手摺：木目調樹脂製φ40

増築部分1階平面詳細図 1/50

()内は設計GLを±0とした床仕上天端の高さを示す。
寸法表示部 ▽印は鋼製建具取付下地の柱側端を示す。

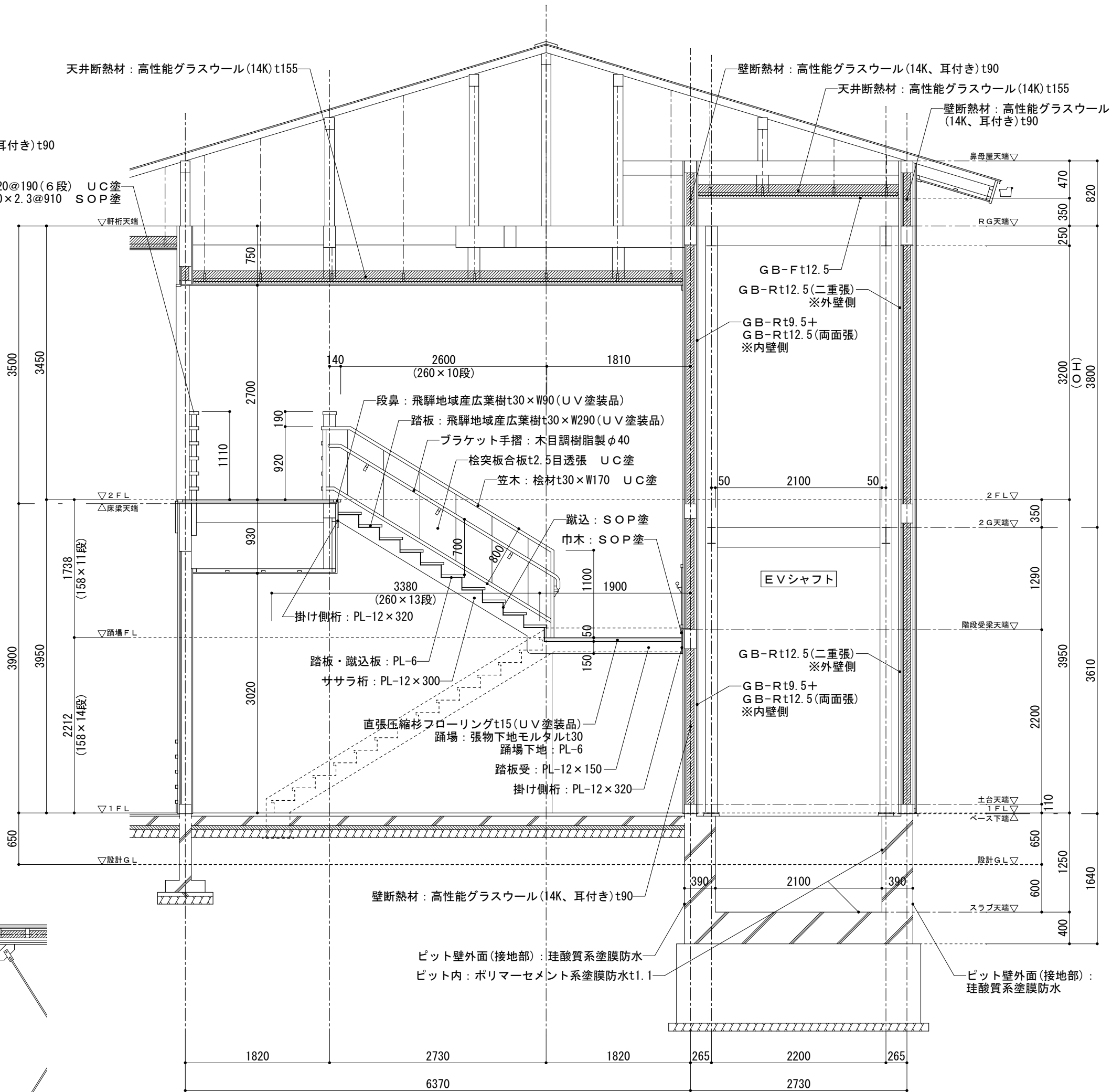


工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 1階平面詳細図(4)		
縮 尺	1/50	番 号	1 6 3 枚の内 0 2 8 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

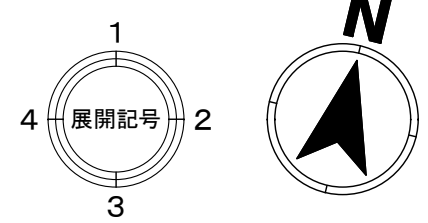


増築部分 2 階平面詳細図 1/50

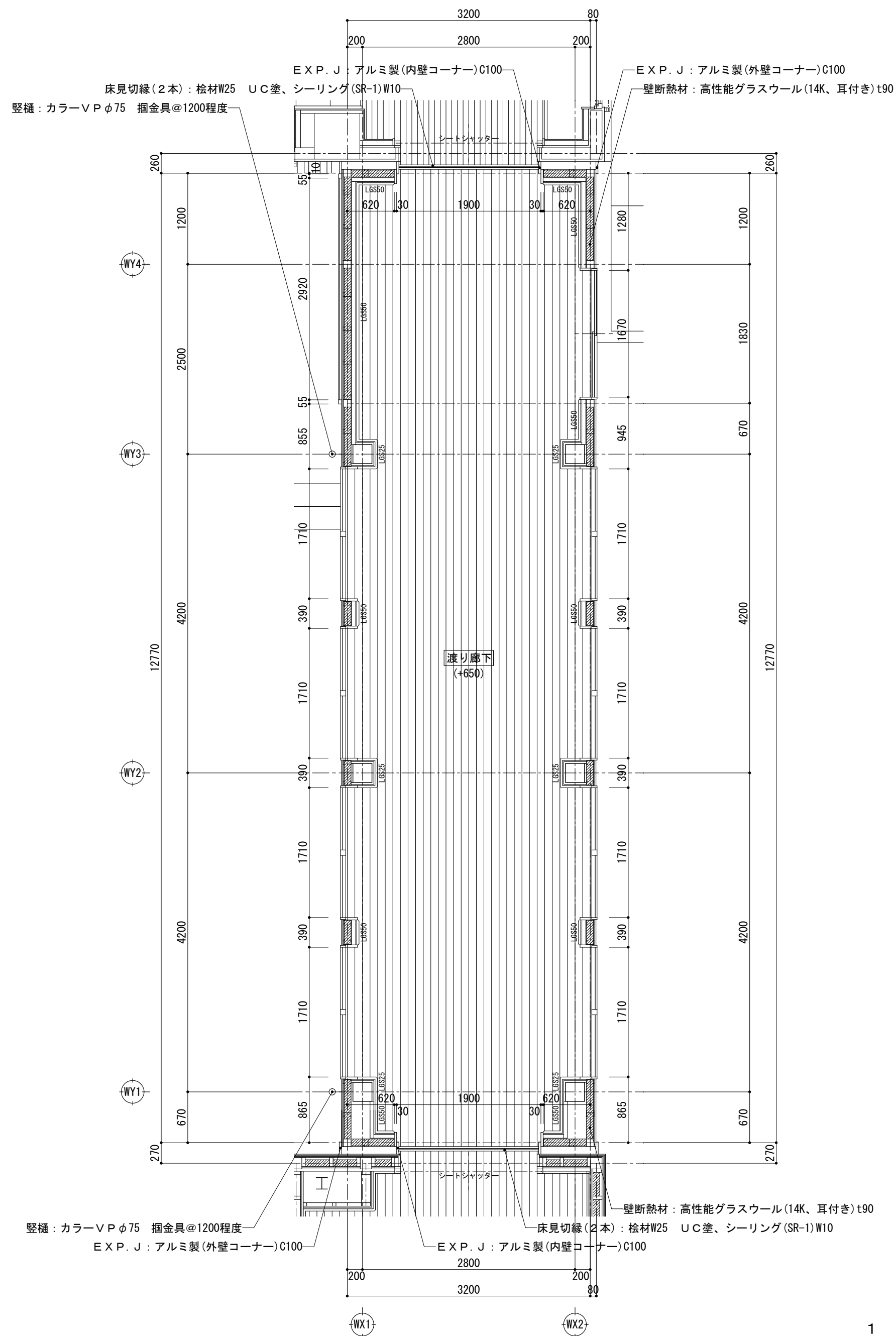
()内は設計 G.L.を±0とした床仕上天端の高さを示す。
寸法表示部 ▽印は鋼製建具取付下地の柱側端を示す。



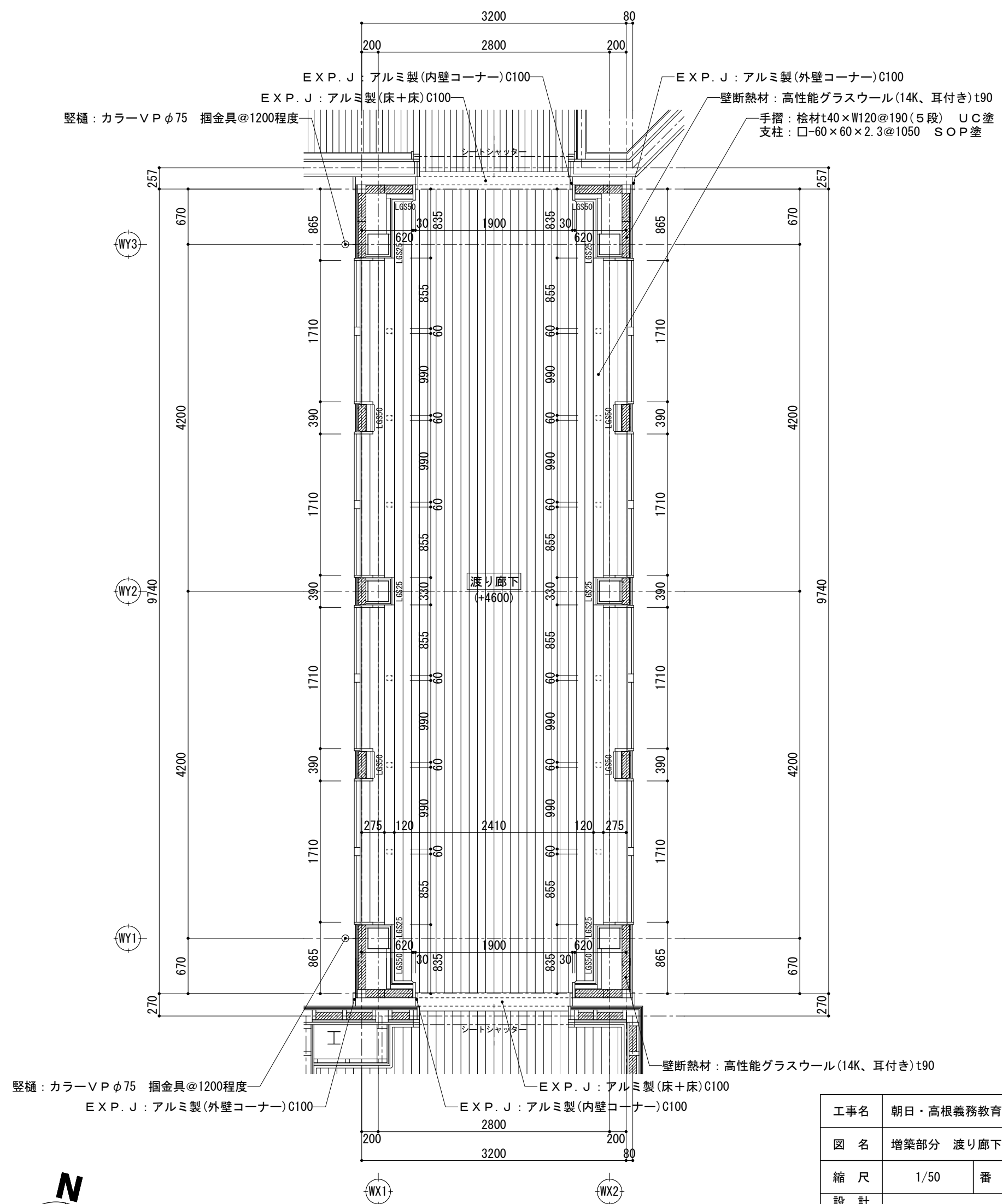
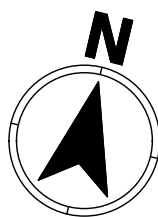
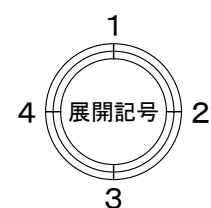
増築部分断面詳細図 1/50



工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 2 階平面詳細図・階段廻り断面詳細図		
縮 尺	1/50	番 号	1 6 3 枚の内 0 2 9 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

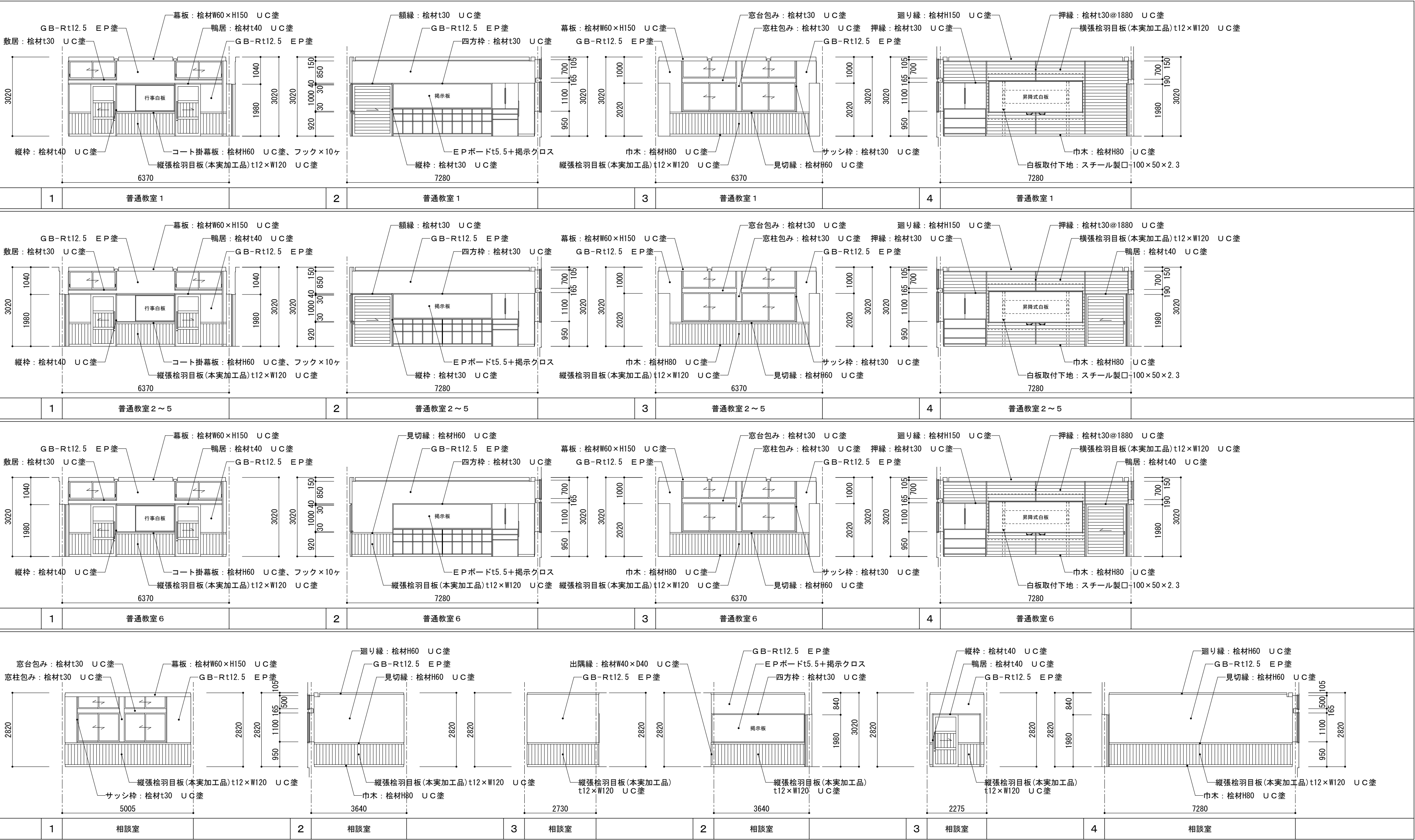


()内は設計G Lを±0とした床仕上天端の高さを示す。

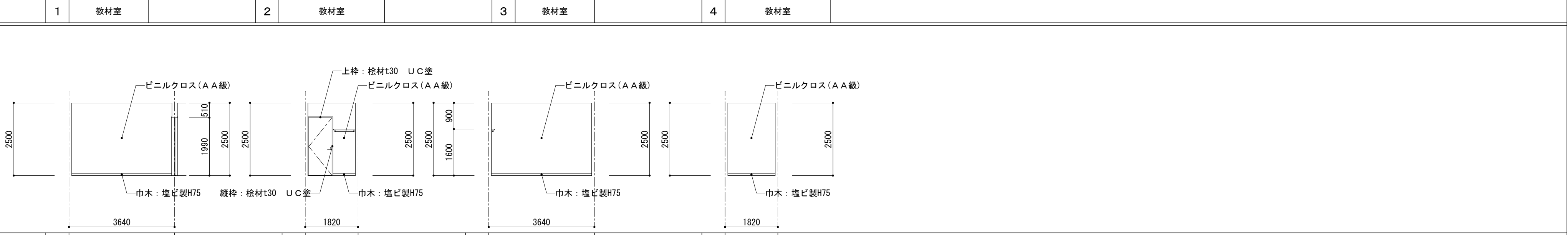
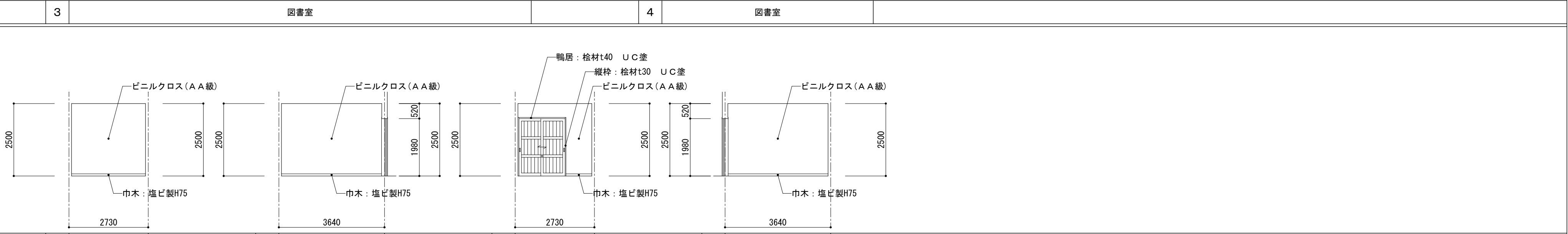
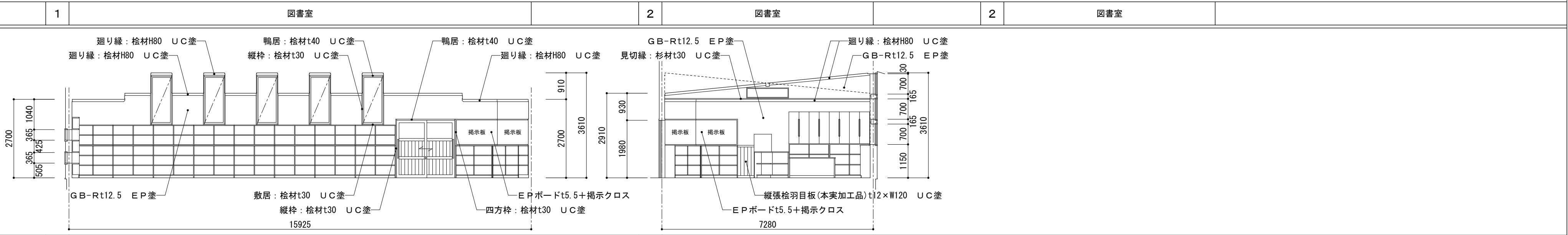
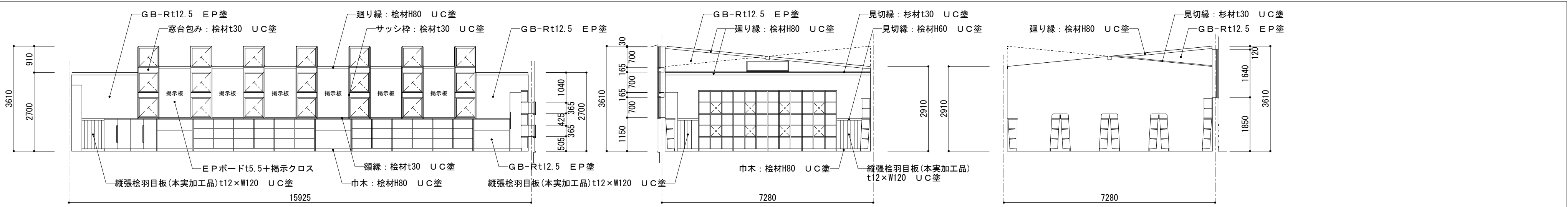


()内は設計G Lを±0とした床仕上天端の高さを示す。

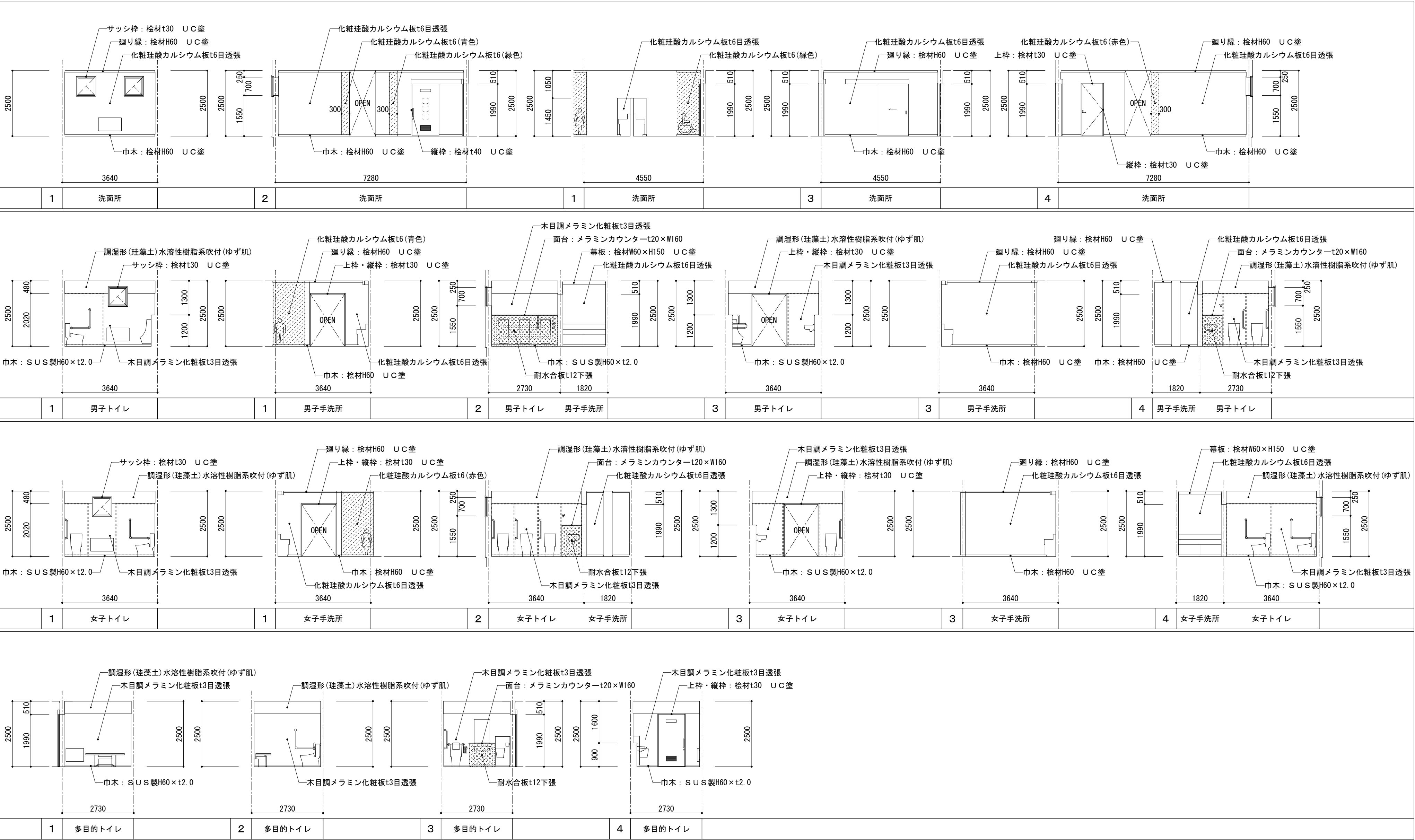
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 渡り廊下平面詳細図		
縮 尺	1/50	番 号	1 6 3 枚の内 0 3 0 号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



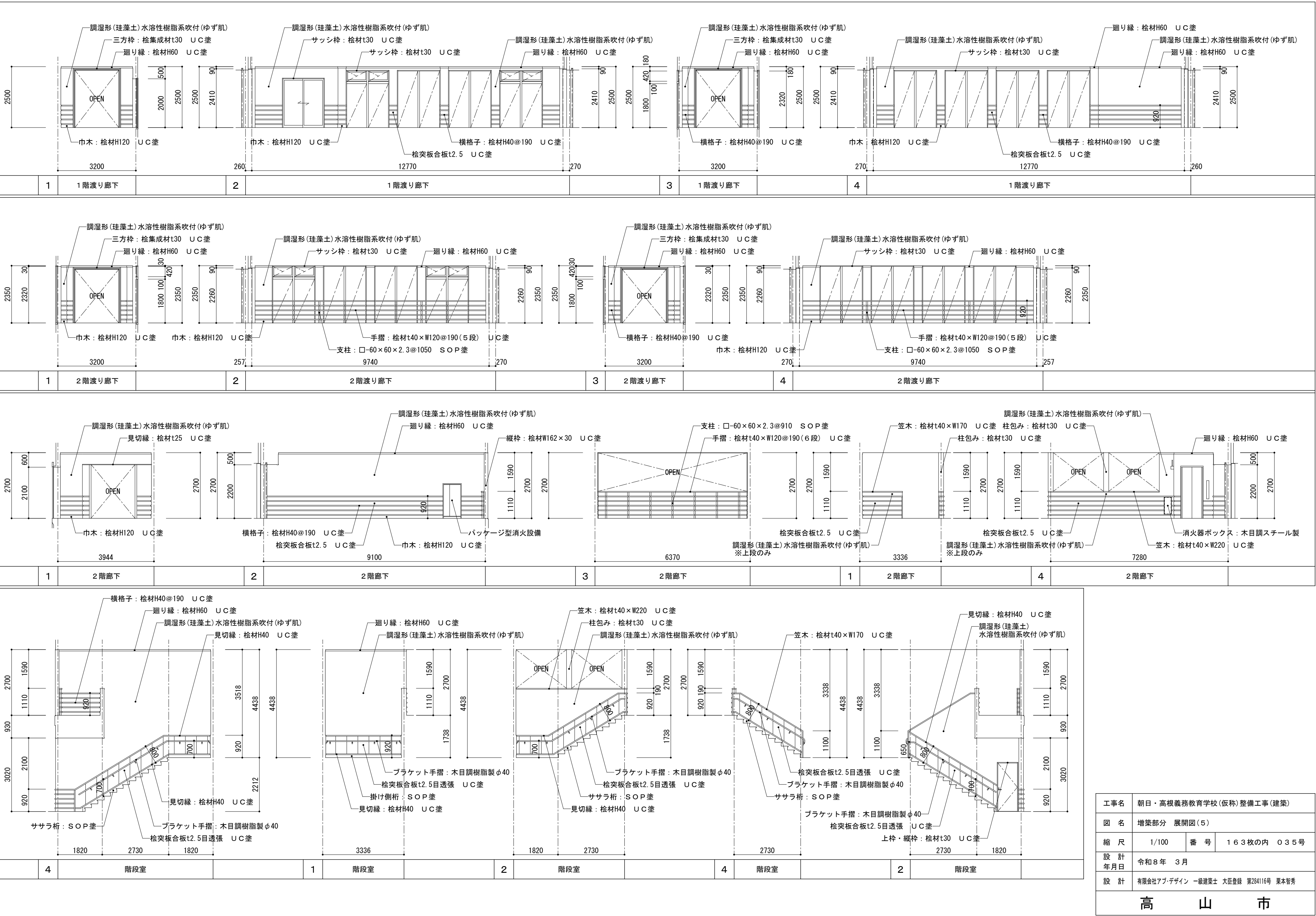
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 展開図(1)		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 3 1 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

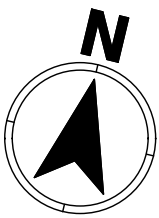
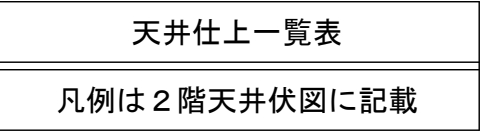


工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 展開図(2)		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 3 2 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



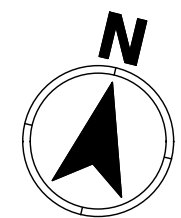
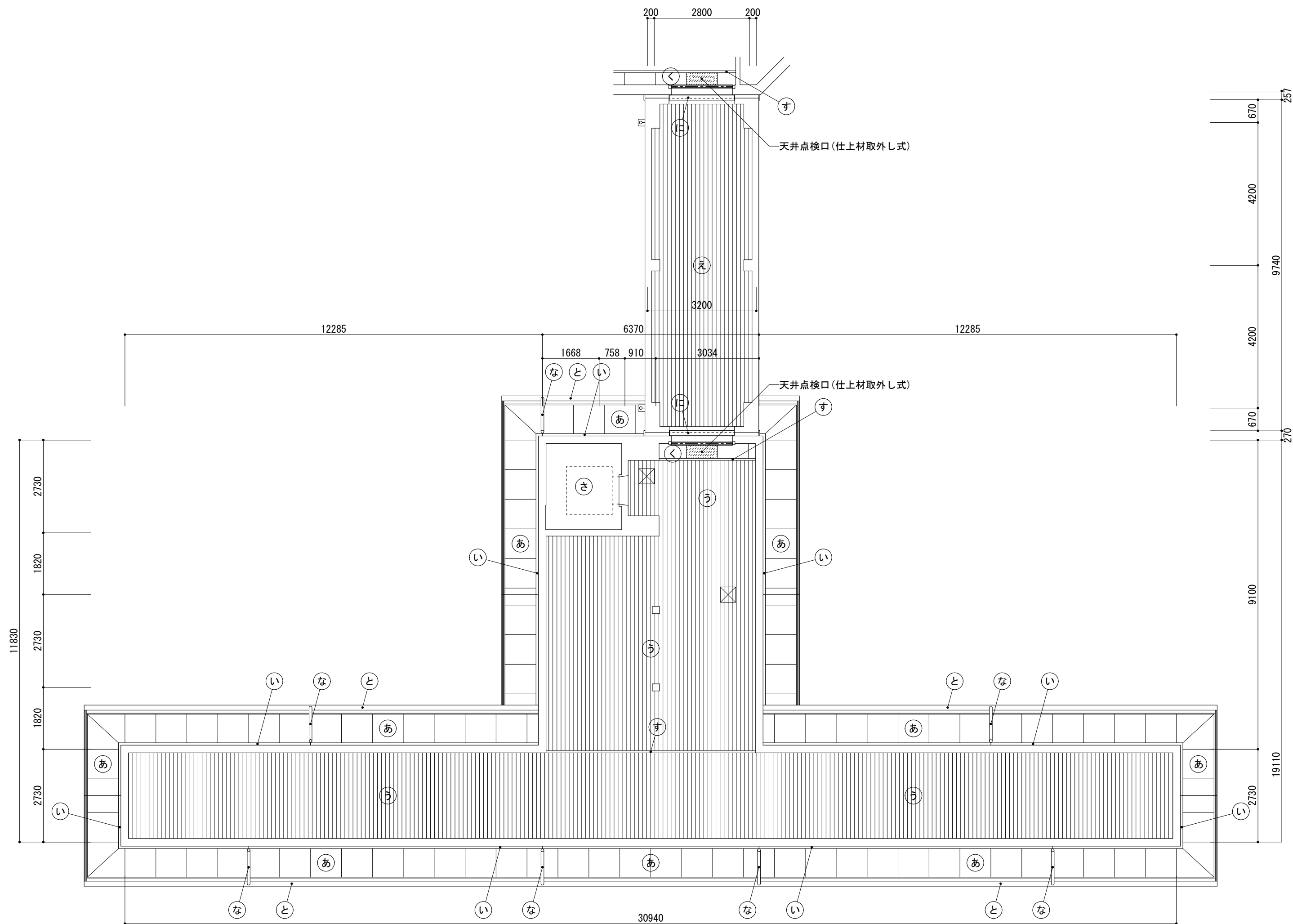
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 展開図(3)		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 3 3 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			





増築部分 1 階天井伏図 1/100

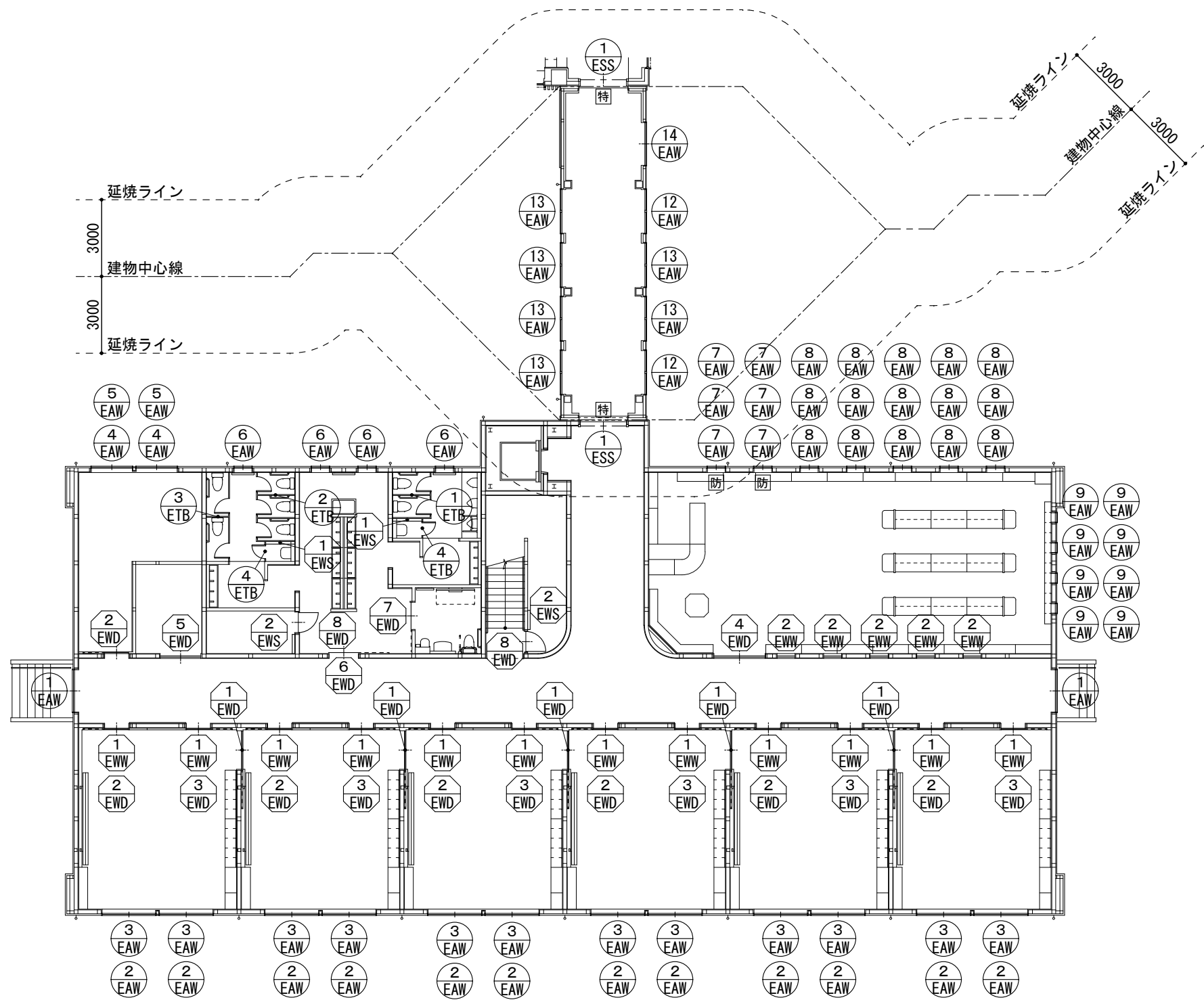
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 1階天井伏図		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 3 6 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社ア・ブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



増築部分2階天井伏図 1/100









天井仕上一覧表					
あ	木目調パルプ繊維混入セメント板(相ジャクリ加工品)t12	け	ビニルクロス(AA級) + GB-Ft12.5	ち	化粧梁(照明ボックス): 桧材W180×H120@2250 UC塗
い	軒天通気見切: カラーGL鋼板製W68	こ	調湿形(珪藻土)水溶性樹脂系吹付(ゆず肌) + GB-Ft12.5目透張	つ	化粧梁(照明ボックス): 桧積層材・桧材W180×H400@1820 UC塗
う	杉羽目板(本実加工品)t12×W120 UC塗 + GB-Ft12.5(下張)	さ	GB-Ft12.5	て	化粧梁(照明ボックス): 桧積層材・桧材W180×H120@1820 UC塗
え	杉羽目板(本実加工品)t12×W120 UC塗 + GB-Rt12.5(下張)	し	鉄骨階段表し	と	軒樋: 樹脂被覆スチール製前高角樋W160×H90 内吊金具@300
お	杉羽目板(本実加工品)t12×W120 UC塗 + GB-Rt12.5(下張) 二重天井: GB-Ft12.5(捨張)	す	見切縁: 桧材t25 UC塗	な	縦樋: カラーVPφ75 掴金具@1200程度
か	格子: 桧材W40×H120@190 UC塗、ロックウール吸音板t9 + GB-Ft12.5(下張)	せ	見切縁: 杉材t30 UC塗	に	EXP.J: アルミ製(天井+内壁)C100
き	ロックウール吸音板t9 + GB-Ft12.5(下張)	そ	化粧梁: 桧材W120×H120 UC塗	ろ	天井点検口: アルミ製450角(天井仕上同材張)
く	ロックウール吸音板t12(直張) ※ビス止め	た	幕板: 桧材W60×H150 UC塗	ろ	空調機ボックス(二重天井): GB-Ft12.5(ボックス内張) 高さ350 ※グラスウールを覆う

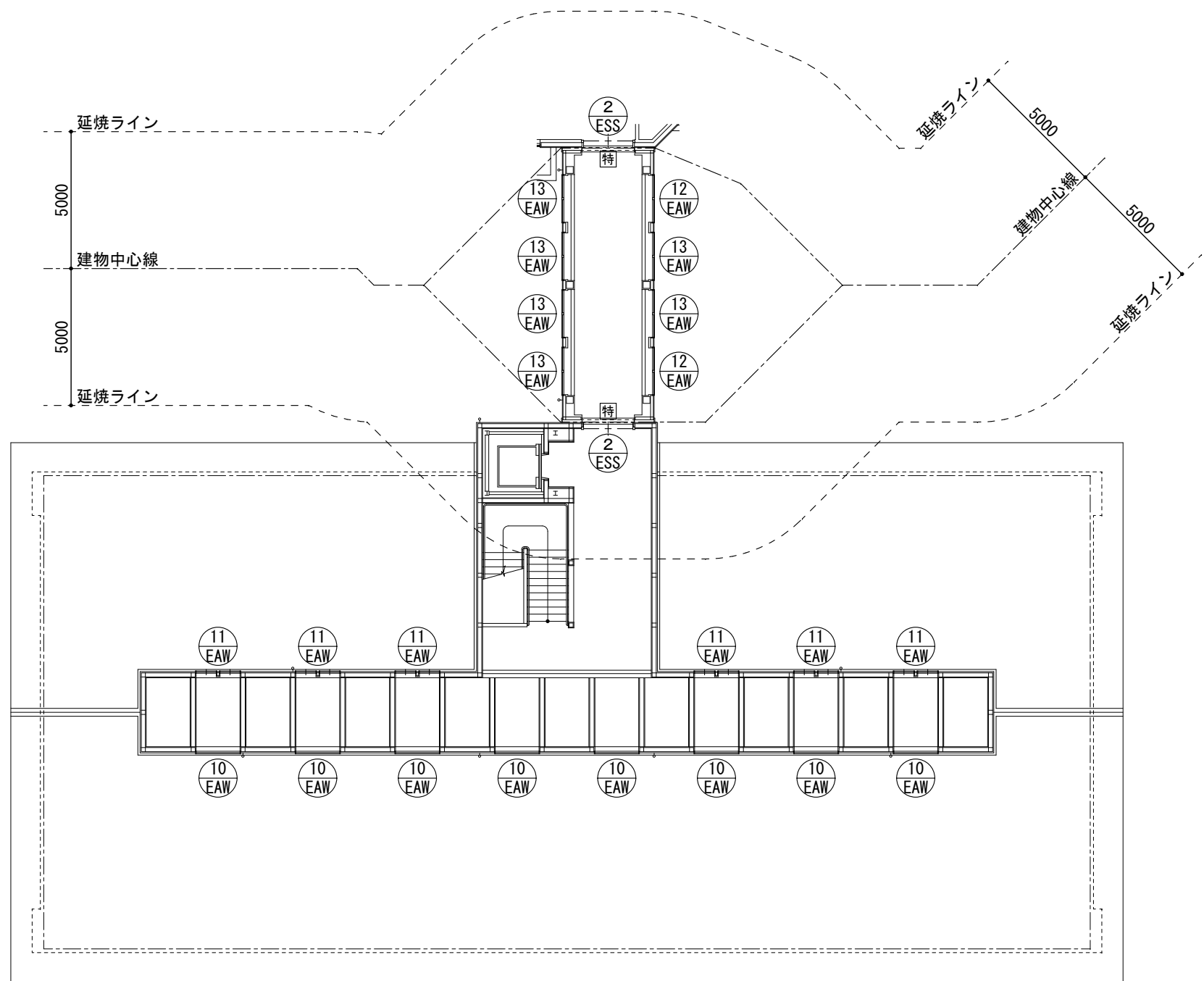
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 2階天井伏図		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 3 7 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



増築部分 1 階建具キープラン

凡 例

-  アルミ製建具
-  軽量スチールシャッター
-  既製トイレブース
-  木製製作建具 (出入口等)
-  木製建具 (窓)
-  木製製作棚板
-  特定防火設備
-  防火設備



増築部分 2 階建具キープラン

工 事 名	朝日・高根義務教育学校(仮称) 整備工事 (建築)		
図 名	増築部分 建具キープラン		
縮 尺	1/200	番 号	1 6 3 枚の内 0 3 8 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

符号・名称	EAW-1	引き違い窓 (断熱仕様)	EAW-2	引き違い窓 (断熱仕様)	EAW-3	引き違い窓 (断熱仕様)	EAW-4	引き違い窓 (断熱仕様)	EAW-5	引き違い窓 (断熱仕様)	EAW-6	滑り出し窓 (断熱仕様)
数量・室名	2台	廊下(中央)	12台	普通教室1～6	12台	普通教室1～6	2台	相談室	2台	相談室	4台	洗面所、男子トイレ、女子トイレ
姿 図												
見込86			見込86			見込86			見込86			見込86
仕 上	外部：アルミ製(二次電解着色) 内部：樹脂製(木目調)		外部：アルミ製(二次電解着色) 内部：樹脂製(木目調)		外部：アルミ製(二次電解着色) 内部：樹脂製(木目調)		外部：アルミ製(二次電解着色) 内部：樹脂製(木目調)		外部：アルミ製(二次電解着色) 内部：樹脂製(木目調)		外部：アルミ製(二次電解着色) 内部：樹脂製(木目調)	
ガ ラ ス	Low-E遮熱ペアガラス(LQ3+Ar15+TP4) 飛散防止ガラスフィルム張(屋外用透明)		Low-E遮熱ペアガラス(LQ3+Ar15+TP4)		Low-E遮熱ペアガラス(LQ3+Ar15+TP4)		Low-E遮熱ペアガラス(LQ3+Ar15+TP4)		Low-E遮熱ペアガラス(LQ3+Ar15+TP4)		Low-E遮熱ペアガラス(LQ3+Ar15+FTP4)	
金 物	引手、クレセント、PP網戸		引手、クレセント、換気框、PP網戸		引手、クレセント、換気框、PP網戸		引手、クレセント、換気框、PP網戸		引手、クレセント、換気框、PP網戸		カムラッチハンドル、PP網戸	
備 考	木造用、半外付型、アングル一体枠 衝突防止シール(6枚)		木造用、半外付型、アングル一体枠		木造用、半外付型、アングル一体枠		木造用、半外付型、アングル一体枠		木造用、半外付型、アングル一体枠		木造用、半外付型、アングル一体枠	

符号・名称	EAW-7	滑り出し窓 (防火設備、断熱仕様)	EAW-8	滑り出し窓 (断熱仕様)	EAW-9	F I X窓 (断熱仕様)	EAW-10	F I X窓 (断熱仕様)	EAW-11	2連内倒し窓 (断熱仕様)	EAW-12	2連内倒し窓+2連F I X窓 (断熱仕様)
数量・室名	6台	図書室	15台	図書室	8台	図書室	8台	廊下(中央吹抜)	6台	廊下(中央吹抜)	4台	1・2階渡り廊下
姿 図												
見込86			見込86			見込86			見込86			見込70
仕 上	外部：アルミ製(二次電解着色) 内部：樹脂製(木目調)		外部：アルミ製(二次電解着色) 内部：樹脂製(木目調)		外部：アルミ製(二次電解着色) 内部：樹脂製(木目調)		外部：アルミ製(二次電解着色) 内部：樹脂製(木目調)		外部：アルミ製(二次電解着色) 内部：樹脂製(木目調)		アルミ製(二次電解着色)	
ガ ラ ス	Low-E遮熱ペアガラス(PW6.8+Ar12+LP3)		Low-E遮熱ペアガラス(LQ3+Ar15+TP4)		Low-E遮熱ペアガラス(LQ3+Ar15+TP4)		Low-E遮熱ペアガラス(LQ3+Ar15+FTP4) 飛散防止ガラスフィルム張(透明)		Low-E遮熱ペアガラス(LQ3+Ar15+FTP4) 飛散防止ガラスフィルム張(透明)		Low-E遮熱ペアガラス(LQ3+Ar12+TP5) 飛散防止ガラスフィルム張(透明)	
金 物	オペレーターハンドル、PP網戸		オペレーターハンドル、PP網戸		—		—		オペレーター装置(2連)、PP網戸		トップラッチ、ブルチェーン(2連) フック棒、アングルピース	
備 考	木造用、半外付型、アングル一体枠		木造用、半外付型、アングル一体枠		木造用、半外付型、アングル一体枠		木造用、半外付型、アングル一体枠		木造用、半外付型、アングル一体枠		鉄骨用、半外付型	

符号・名称	EAW-13	2連F I X窓 (断熱仕様)	EAW-14	引き違い窓 (断熱仕様)	ESS-1	手動バランス式シートシャッター (特定防火設備、遮煙性能)	ESS-2	手動バランス式シートシャッター (特定防火設備、遮煙性能)
数量・室名	12台	1・2階渡り廊下	1台	1階渡り廊下	2台	1階渡り廊下	2台	2階渡り廊下
姿 図								
見込70			見込70			レール見込90		
仕 上	アルミ製(二次電解着色)		アルミ製(二次電解着色)		樹脂コーティング耐熱ガラスクロスt0.7 ガイドレール：スチール製(焼付塗装)		樹脂コーティング耐熱ガラスクロスt0.7 ガイドレール：スチール製(焼付塗装)	
ガ ラ ス	Low-E遮熱ペアガラス(LQ3+Ar12+TP5) 飛散防止ガラスフィルム張(透明)		Low-E遮熱ペアガラス(LQ3+Ar12+TP5) 飛散防止ガラスフィルム張(透明)		—		—	
金 物	アングルピース		引手、クレセント、アングルピース		自動閉鎖装置、座板、ケース		自動閉鎖装置、座板、ケース	
備 考	鉄骨用、半外付型		鉄骨用、半外付型		天井埋込型、印刷表示		天井埋込型、印刷表示	

凡 例	
FL	： フロート板ガラス
F	： 型板ガラス
TP	： 強化ガラス
FTP	： 型板強化ガラス
PW	： 網入ガラス
FW	： 網入型板ガラス
LQ	： L o w - E (遮熱) ガラス
LP	： L o w - E (断熱) ガラス
Ar	： アルゴンガス
PP	： ポリプロピレン

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 建具表(1)		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 3 9 号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

符号・名称	ETB-1	2連片開き戸ブース	ETB-2	3連片開き戸ブース	ETB-3	2連片開き戸ブース
数量・室名	1台	男子トイレ	1台	女子トイレ	1台	女子トイレ
姿 図						
見込40			見込40			見込40
仕 上	メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、巾木：SUS製H60、笠木：アルミ製H20		メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、巾木：SUS製H60、笠木：アルミ製H20		メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、巾木：SUS製H60、笠木：アルミ製H20	
ガ ラ ス	－		－		－	
金 物	スライドラッチ表示錠、グレビティヒンジ、荷物掛戸当		スライドラッチ表示錠、グレビティヒンジ、荷物掛戸当		スライドラッチ表示錠、グレビティヒンジ、荷物掛戸当	
備 考	常時開放式 ※手摺下地は建具工事とする。		常時開放式 ※手摺下地は建具工事とする。		常時開放式	

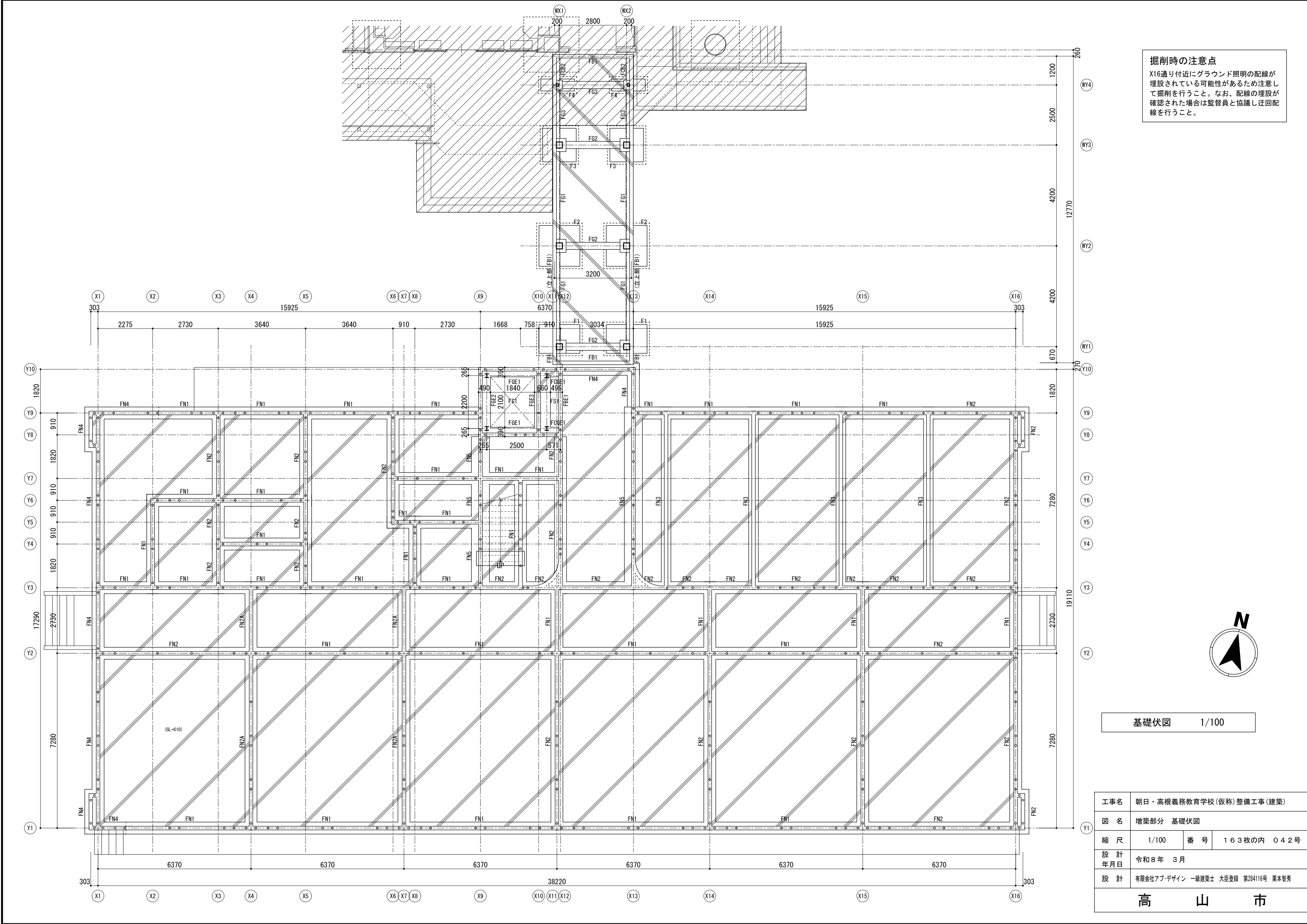
符号・名称	ETB-4	片開き戸ブース		EWS-1	ハンガー付棚板	EWS-2	ハンガー付棚板
数量・室名	左開き：1台 右開き：1台	男子トイレ・女子トイレ		2台	男子トイレ・女子トイレ	2台	備品庫、倉庫
姿 図							
見込40							
仕 上	メラミン化粧板、ペーパーコア芯 エッジ：アルミ製R型、巾木：SUS製H60、笠木：アルミ製H20			面材：ポリ合板t2.5フラッシュ、小口：メラミン化粧板		面材：ポリ合板t2.5フラッシュ、小口：メラミン化粧板	
ガ ラ ス	－			ハンガーパイプ：SUS製φ19(両端ソケット)、Sカン×5ヶ 棚固定アングル		ハンガーパイプ：SUS製φ19(両端ソケット)、Sカン×5ヶ 棚固定アングル	
金 物	取手、グレビティヒンジ、マグネットキャッチ、ドアストッパー						
備 考	常時閉鎖式 ※棚板下地は建具工事とする。			建築壁面・トイレブースに固定する。		建築壁面に固定する。	

凡 例
FL : フロート板ガラス
F : 型板ガラス
TP : 強化ガラス
FTP : 型板強化ガラス
PW : 網入ガラス
FW : 網入型板ガラス
LQ : Low-E (遮熱) ガラス
LP : Low-E (断熱) ガラス
Ar : アルゴンガス
PP : ポリプロピレン

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 建具表(2)		
縮 尺	1/50	番 号	1 6 3 枚の内 0 4 0 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

符号・名称	EWD-1	片引き戸	EWD-2	片引き戸	EWD-3	片引き戸	EWD-4	引違い戸	EWD-5	引違い戸
数量・室名	5 台	普通教室 1 ～ 6	7 台	普通教室 1 ～ 6、相談室	6 台	普通教室 1 ～ 6	1 台	図書室	1 台	教材室
姿 図										
	戸見込36		戸見込36		戸見込36		戸見込36		戸見込36	
	框：桧材(上小節)、面材：横張桧羽目板(本実加工品)t12×W120 塗装：UC塗		框：桧材(上小節)、面材：横張桧羽目板(本実加工品)t12×W120 塗装：UC塗		框：桧材(上小節)、面材：横張桧羽目板(本実加工品)t12×W120 塗装：UC塗		框：桧材(上小節)、面材：横張桧羽目板(本実加工品)t12×W120 塗装：UC塗		框：桧材(上小節)、面材：横張桧羽目板(本実加工品)t12×W120 塗装：UC塗	
	－		強化ガラスt4、飛散防止ガラスフィルム張(乳白)		強化ガラスt4		強化ガラスt4		－	
	木製引手、小口取手、鎌錠(ツリダゲ)、戸車、面付敷居レール：SUS製t1.5		ドアハンドル(ユニット工事) ※取付は建具工事 鎌錠(ツリダゲ・サムターン)、戸車、面付敷居レール：SUS製t1.5		ドアハンドル(ユニット工事) ※取付は建具工事 鎌錠(ツリダゲ・サムターン)、戸車、面付敷居レール：SUS製t1.5		ドアハンドル(ユニット工事) ※取付は建具工事 召合せ錠(ツリダゲ・サムターン)、戸車、面付敷居レール：SUS製t1.5		木製引手・召合せ錠(ツリダゲ・サムターン)、戸車、面付敷居レール：SUS製t1.5	
			有効開口幅W820(引き残しW100)		有効開口幅W820(引き残しW100)		有効開口幅W850(引き残しW100)		有効開口幅W700(引き残しW50)	
符号・名称	EWD-6	自閉式片引き戸	EWD-7	自閉式片引き戸	EWD-8	片開き戸	EWV-1	引違い窓	EWV-2	はめ殺し窓
数量・室名	1 台	洗面所	1 台	多目的トイレ	2 台	備品庫、倉庫	12 台	普通教室 1 ～ 6	5 台	図書室
姿 図										
	戸見込36		戸見込36		戸見込36		戸見込36		戸見込36	
	面材：木目調ポリ合板(エンボス)t2.5フラッシュ、小口：メラミン化粧板 ドアガラリ：アルミ製W400×H200(開口率50%)		面材：木目調ポリ合板(エンボス)t2.5フラッシュ、小口：メラミン化粧板 ドアガラリ：アルミ製W400×H200(開口率50%)		面材：木目調ポリ合板(エンボス)t2.5フラッシュ、小口：メラミン化粧板		框：桧材(上小節)、塗装：UC塗		框：桧材(上小節)、塗装：UC塗	
	－		型板ガラスt4		－		強化ガラスt4		強化ガラスt4	
	天吊自動閉止装置(傾斜式・ソフトクローズ)、ガイドローラー引手、扉固定金具(開放時用)		天吊自動閉止装置(傾斜式・ソフトクローズ)、ガイドローラー ドアハンドル：軟質樹脂被覆ステンレス製H300、鎌錠(大型レバー表示錠)		レバーハンドル錠(ツリダゲ)、ドアクローザ、丁番		木製引手、クレセント、敷居滑り		－	
	有効開口幅W1500(引き残し0)、アンダーカットH10 ※開放時は扉を固定できること		有効開口幅W900(引き残しW100)、アンダーカットH10		アンダーカットH10				ケンドン式	

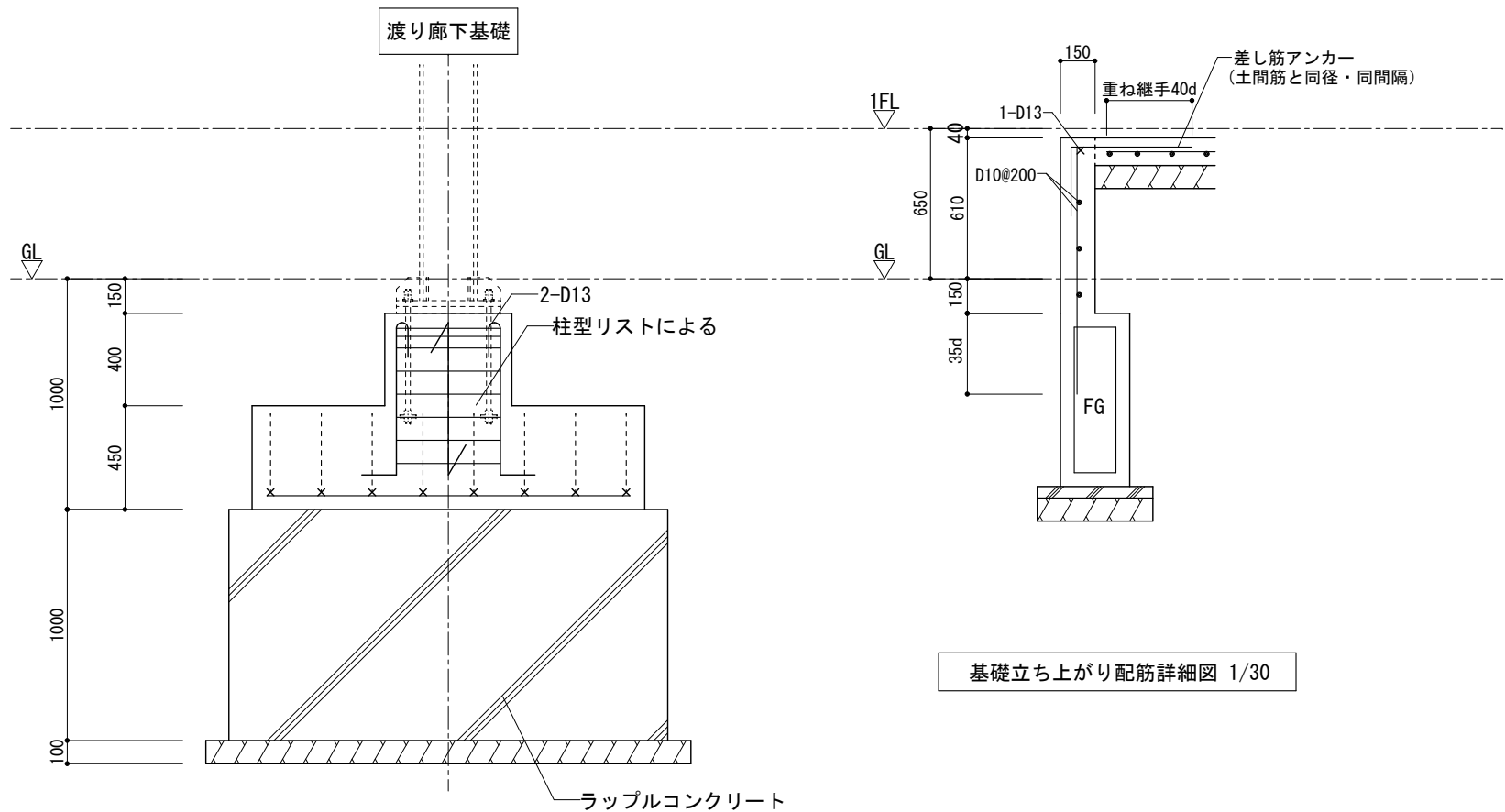
凡 例		工事名 朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)			
FL : フロート板ガラス		図 名 増築部分 建具表(3)			
F : 型板ガラス		縮 尺 1/50 番 号 1 6 3 枚 の 内 0 4 1 号			
TP : 強化ガラス		設 計 令和 8 年 3 月			
FTP : 型板強化ガラス		年 月 日			
PW : 網入ガラス		設 計 有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀			
FW : 網入型板ガラス		高 山 市			
LQ : L o w - E (遮熱) ガラス					
LP : L o w - E (断熱) ガラス					
Ar : アルゴンガス					
PP : ポリプロピレン					



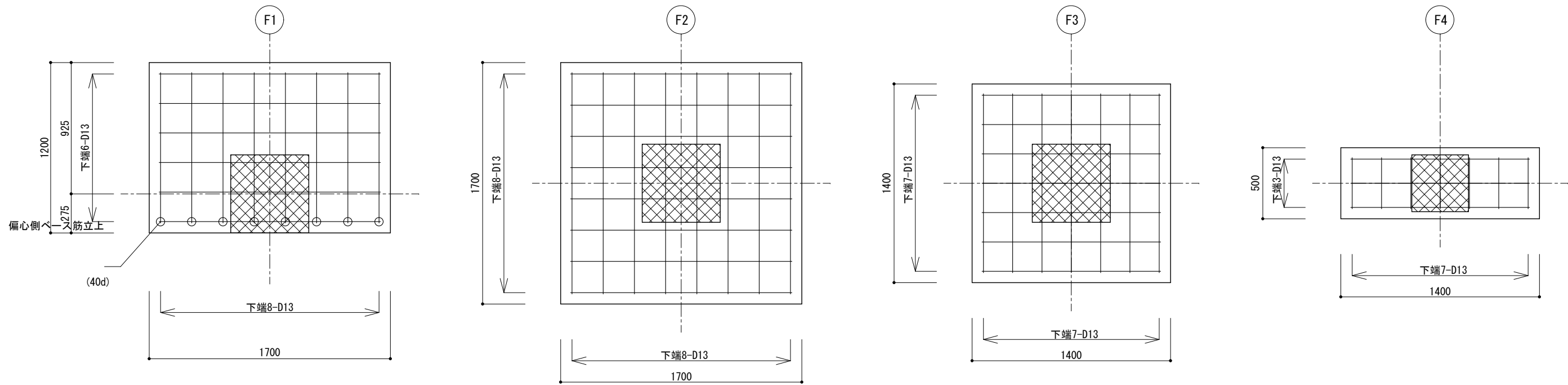
掘削時の注意点
X16通り付近にグラウンド照明の配線が埋設されている可能性があるため注意して掘削を行うこと。なお、配線の埋設が確認された場合は監督員と協議し迂回配線を行うこと。

基礎伏図 1/100

工 事 名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 基礎伏図		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 4 2 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



基礎立ち上がり配筋詳細図 1/30



地中梁リスト 1/30

巾止め筋 D10@1000

符 号	FG1	FG2	FG3	FB1	FCB2
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面					
B x D	300x750	300x750	300x600	150x750	300x400
上端筋	2-D22	2-D22	2-D22	1-D13	2-D22
下端筋	2-D22	2-D22	2-D22	1-D13	2-D22
S T P	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	D10@200	□-D13@200
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	D10@200	2-D10

特記事項	
コンクリートの材料（令第72条）	
「建築工事標準仕様書 J A S S 5」4節による。	
セメント	ポルトランドセメント
粗骨材	砂利・碎石、最大径25mm(ラップルは最大径40mm)
細骨材	砂・砕砂
混和剤	A E 減水剤・高性能A E 減水剤
塩化物規制	0. 3 k g / m ³ 以下
鉄筋の継手及び定着（令第73条）	
「建築工事標準仕様書 J A S S 5」10節による。	
柱に取り付く梁の主筋の柱への定着長さは主筋径の40倍とする。	
コンクリートの強度（令第74条）	
「建築工事標準仕様書 J A S S 5」3節、5ー7節、11節による。	
コンクリートの種類	レディーミクストコンクリート
水セメント比	65%以下
設計基準強度及びスラブ	
基礎	Fc=24N/mm ² sl=18cm
土間	Fc=24N/mm ² sl=18cm
デッキ	Fc=24N/mm ² sl=18cm
捨て・ラップル	Fc=18N/mm ² sl=15cm

コンクリートの塩化物に関しては、カンタブによる試験とする。
圧縮強度試験 4 週の供試体は公的試験場による試験とする。

コンクリートの養生（令第75条）
「建築工事標準仕様書 J A S S 5」8節による。
型枠及び支柱の除去（令第76条）
「建築工事標準仕様書 J A S S 5」9節による。
存置期間 建設省告示第110号による。
鉄筋のかぶり厚さ（令第79条）
「建築工事標準仕様書 J A S S 5」3節、10節による。
上記以外については「建築工事標準仕様書 J A S S 5」による。
使用鉄筋 S D 2 9 5 （D16以下）
S D 3 4 5 （D19以上）

地耐力 5 0 k N / m² （校舎）
9 7 k N / m² （渡り廊下 ラップル天端）

柱型リスト 1/30

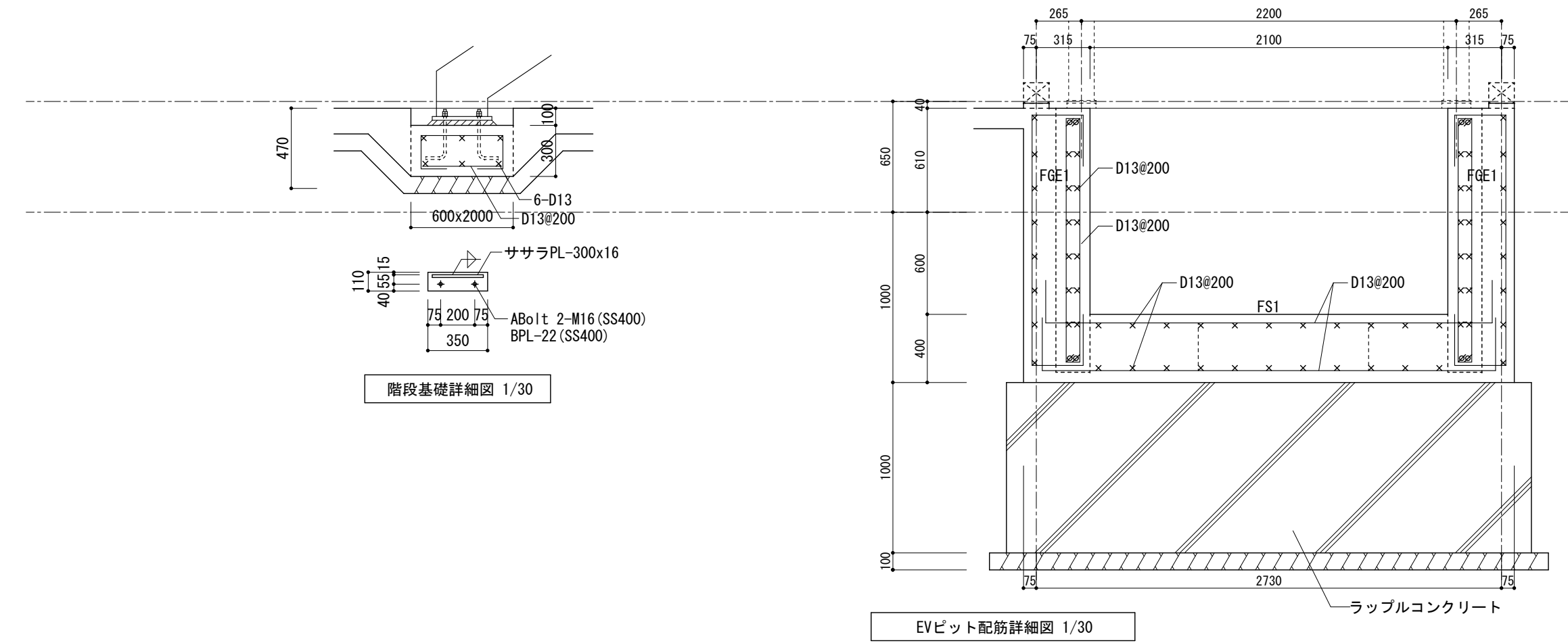
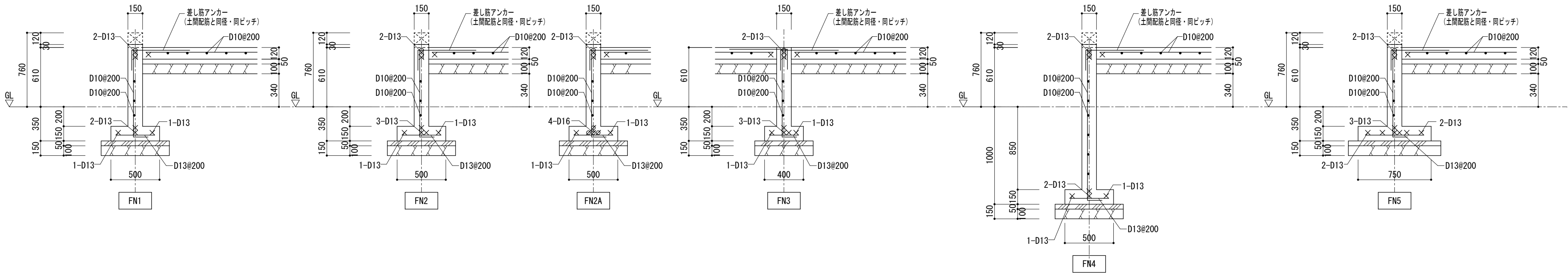
符 号	C1	CP
位 置	全断面	全断面
断 面		
B x D	550x550	400x400
主 筋	8-D22	4-D22
H O O P	□-D13@100	□-D13@100

スラブリスト

符 号	厚	位置	短辺方向	長辺方向
土間	120	シングル	D10 @200	D10 @200

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称) 整備工事(建築)			
図 名	増築部分 基礎詳細図(1)			
縮 尺	1/30	番 号	1 6 3 枚の内 0 4 3 号	
設 計 年月日	令和 8 年 3 月			
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀			
高 山 市				

基礎詳細図 1/30



地中梁リスト 1/30

巾止め筋 D10@1000

符 号	FGE1, FCGE1	FGE2	FGE3	FBE1
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面				
B x D	200x1550	300x1550	300x1550	150x1500
上端筋	2-D16	2-D16	2-D16	1-D13
下端筋	2-D16	2-D16	2-D16	1-D13
S T P	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	D10@200
腹 筋	D13@200	D13@200	D13@200	D10@200

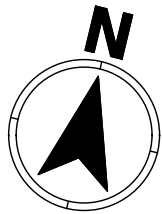
EVピット配筋詳細図 1/30

スラブリスト

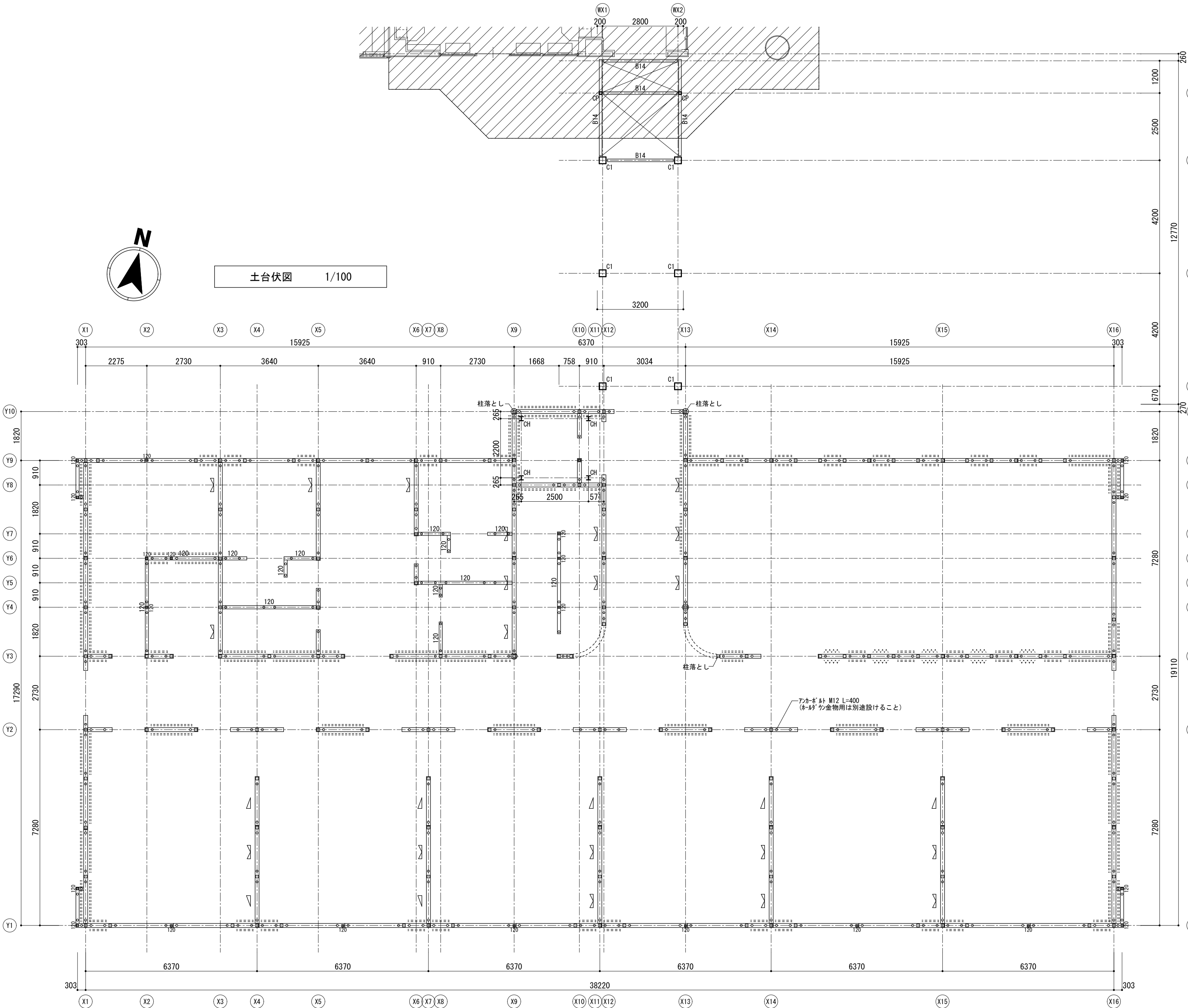
符 号	厚	位 置	短辺方向	長辺方向
F S 1	400	上	D13 @200	D13 @200
		下	D13 @200	D13 @200
土間	120	シングル	D10 @200	D10 @200

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 基礎詳細図(2)		
縮 尺	1/30	番 号	1 6 3 枚の内 0 4 4 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

特記事項		コンクリートの材料（令第72条）	
「建築工事標準仕様書 J A S S 5」4節による。		ポルトランドセメント	
セメント		粗骨材	
砂利・碎石、最大径25mm(ラッフルは最大径40mm)		細骨材	
砂・砕砂		混和剤	
A E 減水剤・高性能A E 減水剤		塩化物規制	
0. 3 k g / m ³ 以下		鉄筋の継手及び定着（令第73条）	
「建築工事標準仕様書 J A S S 5」10節による。		鉄筋のかぶり厚さ（令第79条）	
柱に取り付け梁の主筋の柱への定着長さは主筋径の40倍とする。		「建築工事標準仕様書 J A S S 5」3節、10節による。	
コンクリートの強度（令第74条）		上記以外については「建築工事標準仕様書 J A S S 5」による。	
「建築工事標準仕様書 J A S S 5」3節、5ー7節、11節による。		使用鉄筋	
コンクリートの種類		S D 2 9 5 （D 1 6 以下）	
水セメント比		S D 3 4 5 （D 1 9 以上）	
6 5 % 以下		地耐力	
設計基準強度及びスランプ		5 0 k N / m ² （校舎）	
基礎		9 7 k N / m ² （渡り廊下 ラッフル天端）	
土間			
デッキ			
捨て・ラッフル			



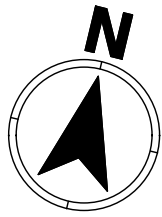
土台伏図 1/100



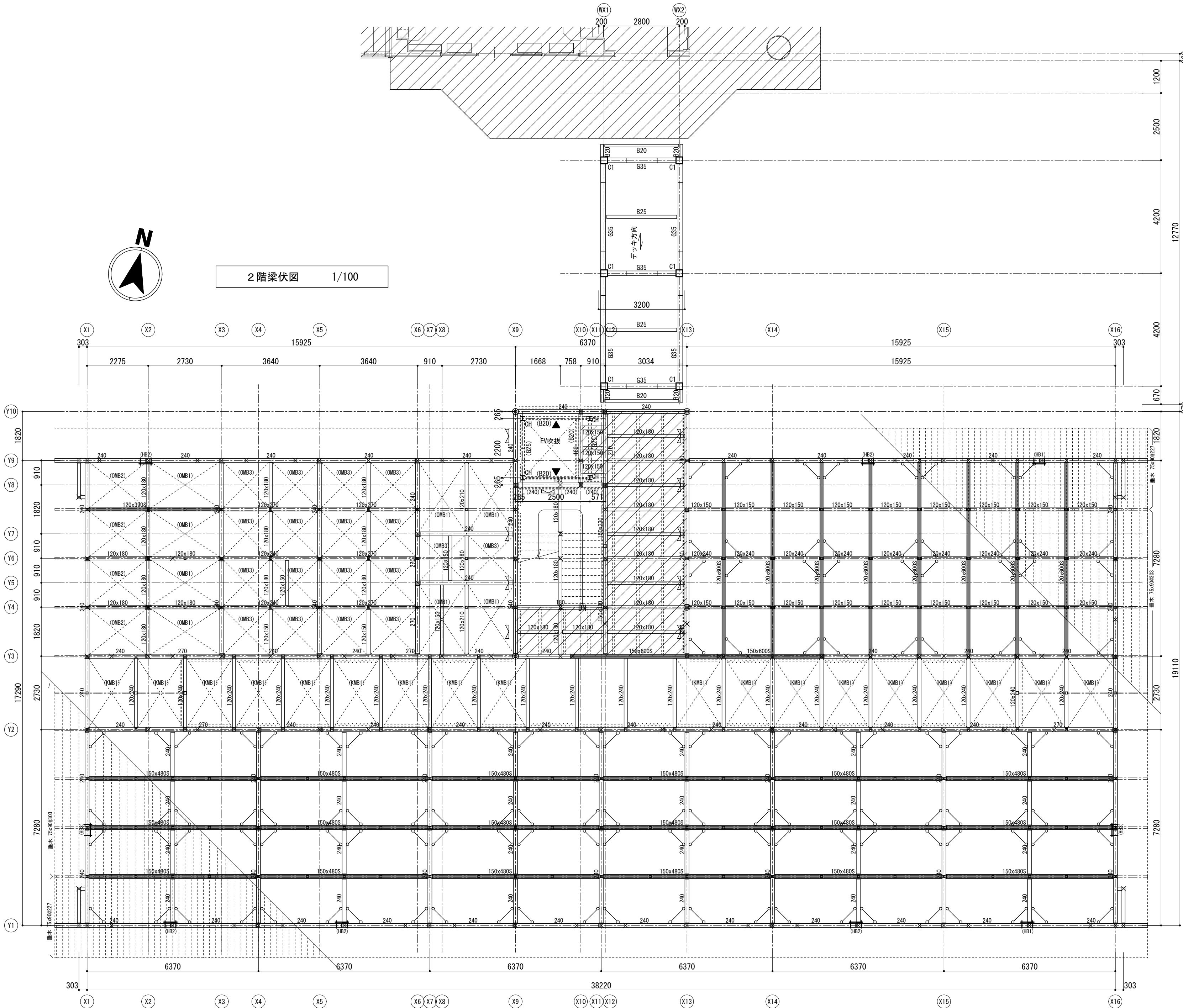
木部材リスト ※構造材は機産材とする。		
名 称	符 号	部 材
柱	120	120x120 (桧 特一等)
	150	150x150 (桧 特一等)
	150	通し柱 150×150 (桧 特一等)
	45	45x120 @455 (桧 特一等)
間 柱		150x120(図示なき限り) (桧 特一等)
土 台		150x120(図示なき限り) (桧 特一等)
軒桁, 小屋梁	150	※図示 150x000 (桧 特一等)
	120	※図示 120 (150)x000 S (桧集成材 E95-F270)
2 階床梁	150	※図示 150x000 (桧 特一等)
小屋束	120	120x120 (図示なき限り) (桧 特一等)
2 階床構面		構造用合板 厚24 N75@150
火打ち	90	90x90 (桧 特一等)
梁端部継手		大入れ蟻掛け+羽子板ボルト又は短冊金物
		大入れ蟻掛け+羽子板ボルト×2又は短冊金物×2
		オメガ短冊スリム 10×2 直付並列面
名 称	符 号	部 材
母 屋	120	120x150 (図示なき限り) (桧 特一等)
母屋梁	120	※図示 120x000 (桧 特一等)
垂 木	75	75x 90 @303 (一般部) (桧 特一等)
	75	75x 90 @227 (軒先廻り) (桧 特一等)
		(一般) 構造用合板 厚9 N50@150 (J A S 構造用合板)
耐力壁		(腰壁) 構造用合板 厚9 N50@150 (J A S 構造用合板)
		1 階内部面材 大壁仕様 (柱・土台・梁・間柱に4周釘打ち)
		2 階内部面材 大壁床勝ち仕様 床部受材 30x40以上 N75@200以下
筋かい		片方向筋かい (45×90)
		たすき掛筋かい (45×90)
アンカーボルト	M12	M12 L=400 (JIS B 1180)
	M16	M16 L=700 (引き寄せ金物用) (JIS B 1180)
床合板受材	90	90x90 @910 落込み
雲筋かい	15	15x90 (松 特一等)
屋根構面仕様		垂木@303 タルキックⅡ L=135 留め付けの上
		構造用合板 厚12 N50@150
OMB1		オメガメタルブレース水平用 18x27 (タナカ)
OMB2		オメガメタルブレース水平用 18x22 (タナカ)
OMB3		オメガメタルブレース水平用 18x18 (タナカ)
OMB4		オメガメタルブレース水平用 13x27 (タナカ)
KMB1		高耐力オメガメタルブレース水平用 18x27(タナカ)

鉄骨部材リスト ※金物は参考品番とする。		
符号	部 材	
C1	□-250x250x12	(BCR295)
C2	□-250x250x9	(BCR295)
CP	□-100x100x6	(STKR400)
CH	H-150x150x7x10	(SN400B)
G35	H-350x175x7x11	(SN400B)
G25	H-250x125x6x9	(SN400B)
B25	H-250x125x6x9	(SN400B)
B20	H-200x100x5. 5x8	(SN400B)
B14	H-148x100x6x9	(SN400B)
胴縁	C-100x50x20x2. 3@450	(SSC400)
開口縦材	2C-100x50x20x2. 3	(SSC400)
水平ブレース (渡り廊下)	1-M16	(JISターンバックスル筋違い)
水平ブレース (EV)	1-M12	(JISターンバックスル筋違い)
▲鉛直ブレース (EV)	1-M12	(JISターンバックスル筋違い)
デッキ	EZ50-1. 2	(SDP1T)
階段ササラ	PL-12 H=300	(SS400)

工事名	朝日・高根義務教育学校 (仮称) 整備工事 (建築)		
図 名	増築部分 土台伏図		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 4 5 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



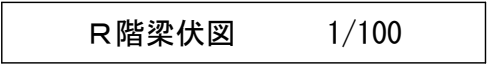
2 階梁伏図 1/100



※構造材は標準材とする。		
名 称	符 号	部 材
柱	□	120x120 (桧 特一等)
	□	150x150 (桧 特一等)
	□	通し柱 150 × 150 (桧 特一等)
	□	45x120 @455 (桧 特一等)
間 柱	□	150x120 (図示なき限り) (桧 特一等)
土 台	□	150x120 (図示なき限り) (桧 特一等)
軒桁, 小屋梁		
	□	※図示 150x000 (桧 特一等)
	□	※図示 120 (150)x000 S (桧集成材 E95-F270)
2 階床梁	□	※図示 150x000 (桧 特一等)
小屋束	□	120x120 (図示なき限り) (桧 特一等)
2 階床構面	□	構造用合板 厚24 N75@150
火打ち	□	90x90 (桧 特一等)
梁端部継手	□	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト又は短冊金物
	□	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト×2又は短冊金物×2
	□	オメガ短冊スリム10×2 直付並列面
耐力壁		
	□	※図示 120x000 (桧 特一等)
	□	※図示 120x000 (桧 特一等)
	□	75x 90 @303 (一般部) (桧 特一等)
	□	75x 90 @227 (軒先廻り) (桧 特一等)
	□	(一般) 構造用合板 厚9 N50@150 (J A S 構造用合板)
	□	(腰壁) 構造用合板 厚9 N50@150 (J A S 構造用合板)
	□	1 階内部面材 大壁仕様 (柱・土台・梁・間柱に4周釘打ち)
	□	2 階内部面材 大壁床勝ち仕様 床部受材 30x40以上 N75@200以下
筋かい	□	片方向筋かい (45 × 90)
筋かい	□	たすき掛筋かい (45 × 90)
アンカーボルト	□	M12 L=400 (JIS B 1180)
	□	M16 L=700 (引き寄せ金物用) (JIS B 1180)
床合板受材	□	90x90 @910 落込み
雲筋かい	□	15x90 (松 特一等)
屋根構面仕様	□	垂木@303 タルキックⅡ L=135 留め付けの上
	□	構造用合板 厚12 N50@150
OMB1	□	オメガメタルブレース水平用 18x27 (タナカ)
OMB2	□	オメガメタルブレース水平用 18x22 (タナカ)
OMB3	□	オメガメタルブレース水平用 18x18 (タナカ)
OMB4	□	オメガメタルブレース水平用 13x27 (タナカ)
KMB1	□	高耐力オメガメタルブレース水平用 18x27 (タナカ)

※金物は参考品番とする。		
符号	部 材	
C1	□-250x250x12	(BCR295)
C2	□-250x250x9	(BCR295)
CP	□-100x100x6	(STKR400)
CH	H-150x150x7x10	(SN400B)
G35	H-350x175x7x11	(SN400B)
G25	H-250x125x6x9	(SN400B)
B25	H-250x125x6x9	(SN400B)
B20	H-200x100x5. 5x8	(SN400B)
B14	H-148x100x6x9	(SN400B)
胴縁	C-100x50x20x2. 3@450	(SSC400)
開口縦材	2C-100x50x20x2. 3	(SSC400)
水平ブレース (渡り廊下)	1-M16	(JISターンバックス筋違い)
水平ブレース (EV R階)	1-M12	(JISターンバックス筋違い)
▲鉛直ブレース (EV)	1-M12	(JISターンバックス筋違い)
デッキ	EZ50-1. 2	(SDP1T)
階段ササラ	PL-12 H-300	(SS400)

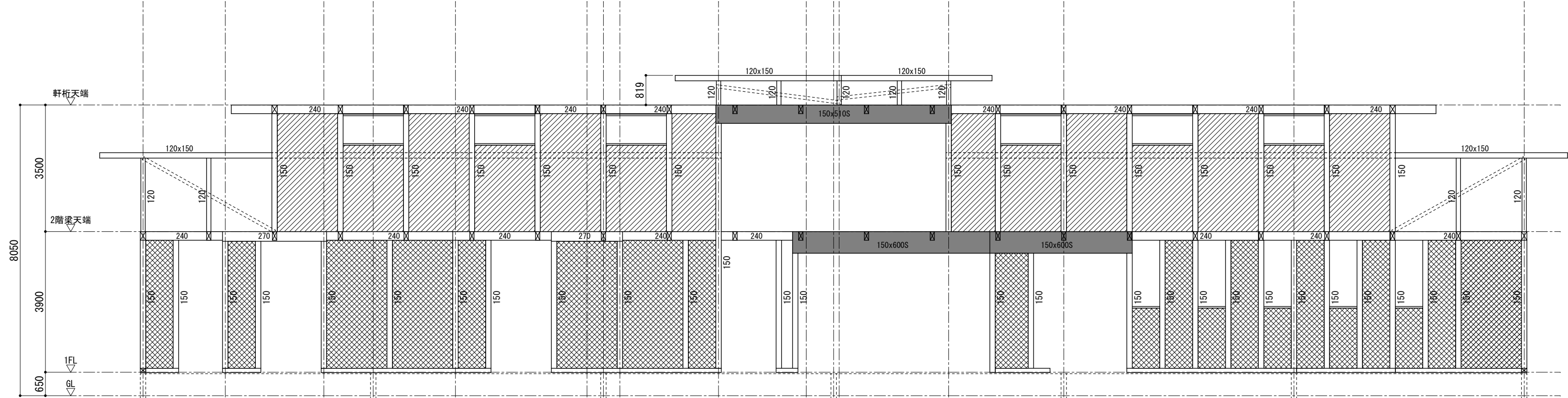
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 2階梁伏図		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 4 6 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブデザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



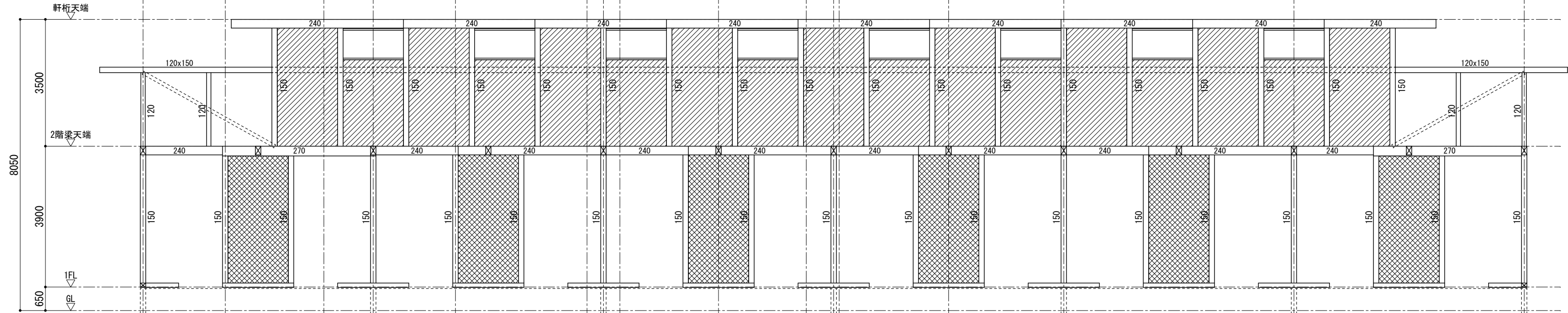
鉄骨部材リスト	※金物は参考品番とする。	
符号	部 材	
C1	□-250x250x12	(BCR295)
C2	□-250x250x9	(BCR295)
CP	□-100x100x6	(STKR400)
CH	H-150x150x7x10	(SN400B)
G35	H-350x175x7x11	(SN400B)
G25	H-250x125x6x9	(SN400B)
B25	H-250x125x6x9	(SN400B)
B20	H-200x100x5.5x8	(SN400B)
B14	H-148x100x6x9	(SN400B)
胴縁	C-100x50x20x2.3@450	(SSC400)
開口縦材	2C-100x50x20x2.3	(SSC400)
水平ブレース(渡り廊下)	1-M16	(JISサ-ンパ ック#筋違い)
水平ブレース(EV R階)	1-M12	(JISサ-ンパ ック#筋違い)
▲鉛直ブレース(EV)	1-M12	(JISサ-ンパ ック#筋違い)
デッキ	EZ50-1.2	(SDPIT)
階段ササラ	PL-12 H=300	(SS400)

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 R階梁伏図		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 4 7 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社ア・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

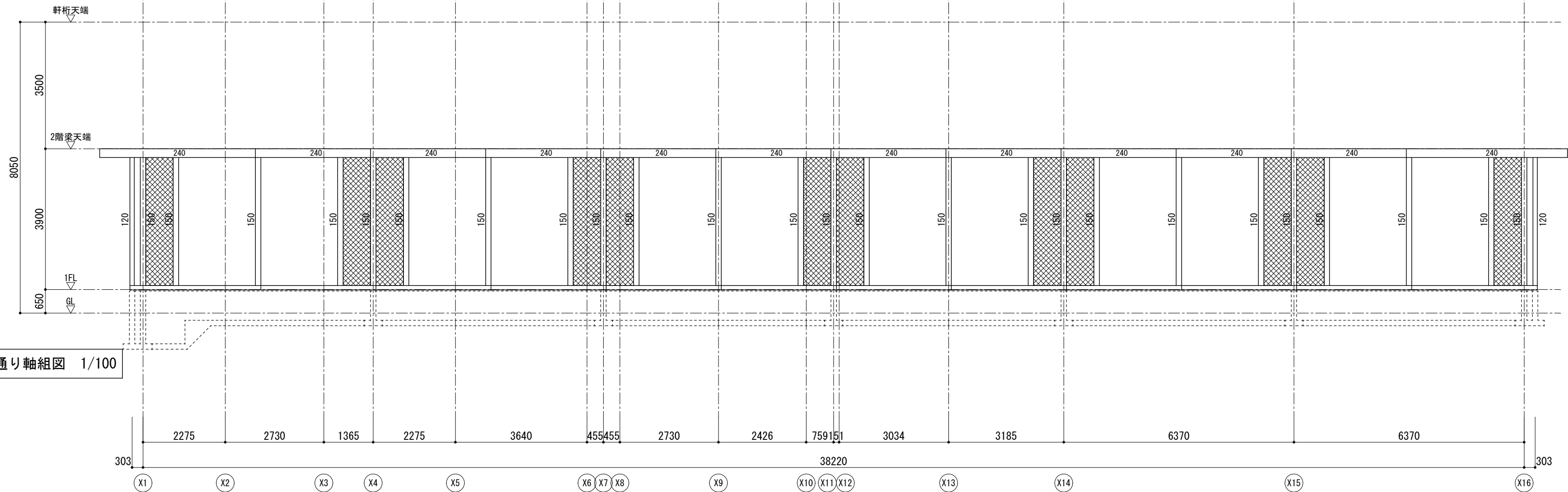
Y3通り軸組図 1/100



Y2通り軸組図 1/100

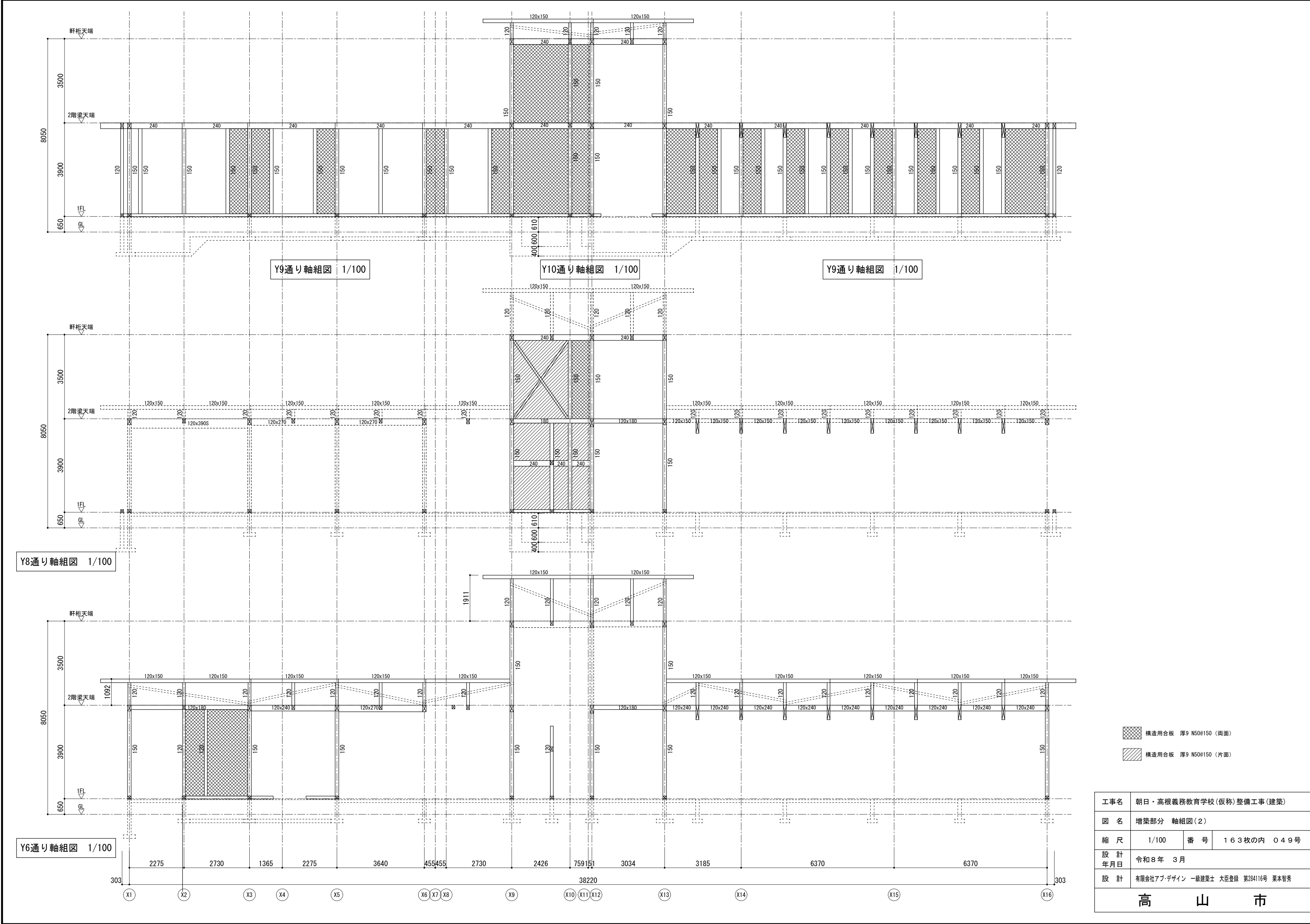


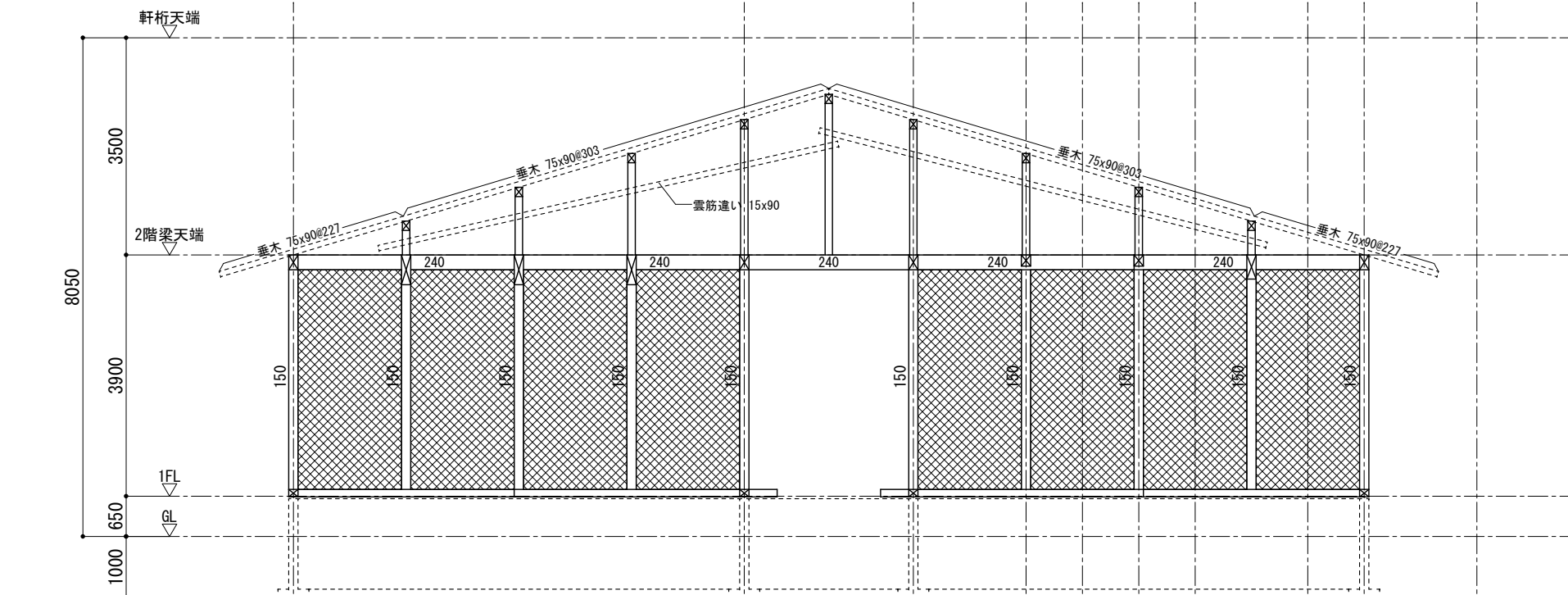
Y1通り軸組図 1/100



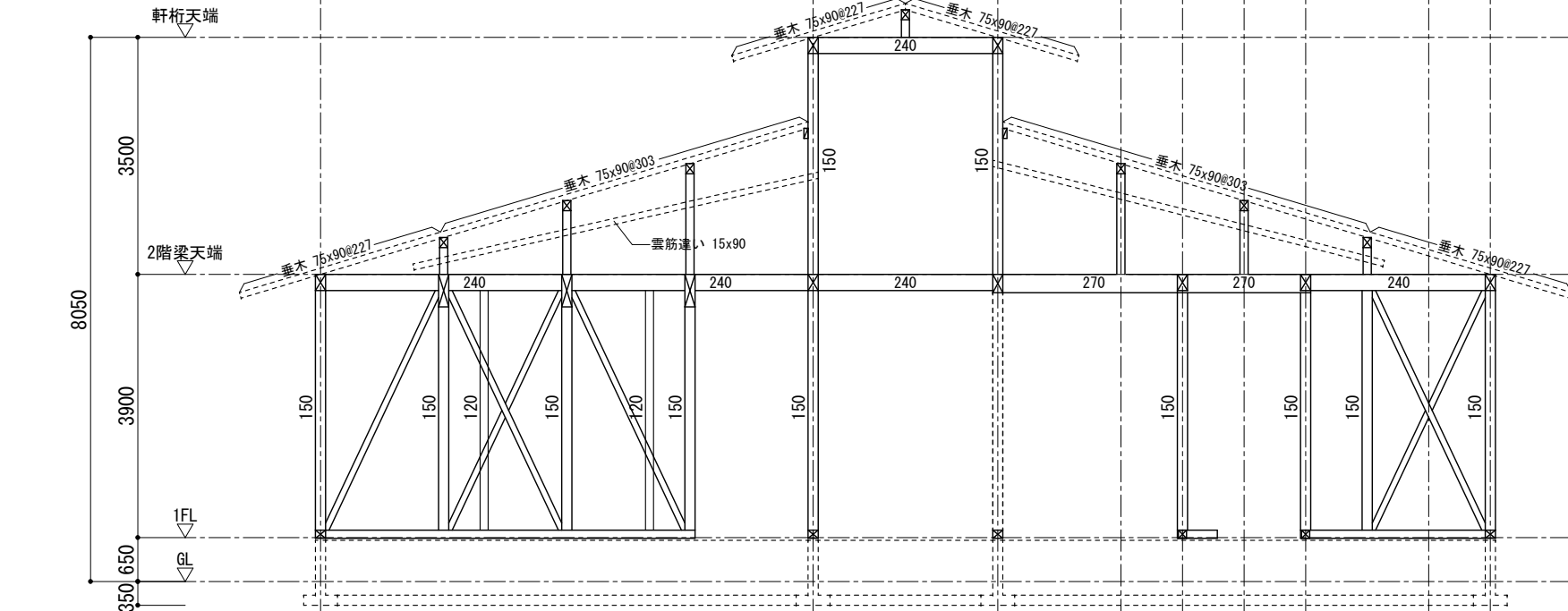
- 構造用合板 厚9 N50#150 (両面)
- 構造用合板 厚9 N50#150 (片面)

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 軸組図(1)		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 4 8 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

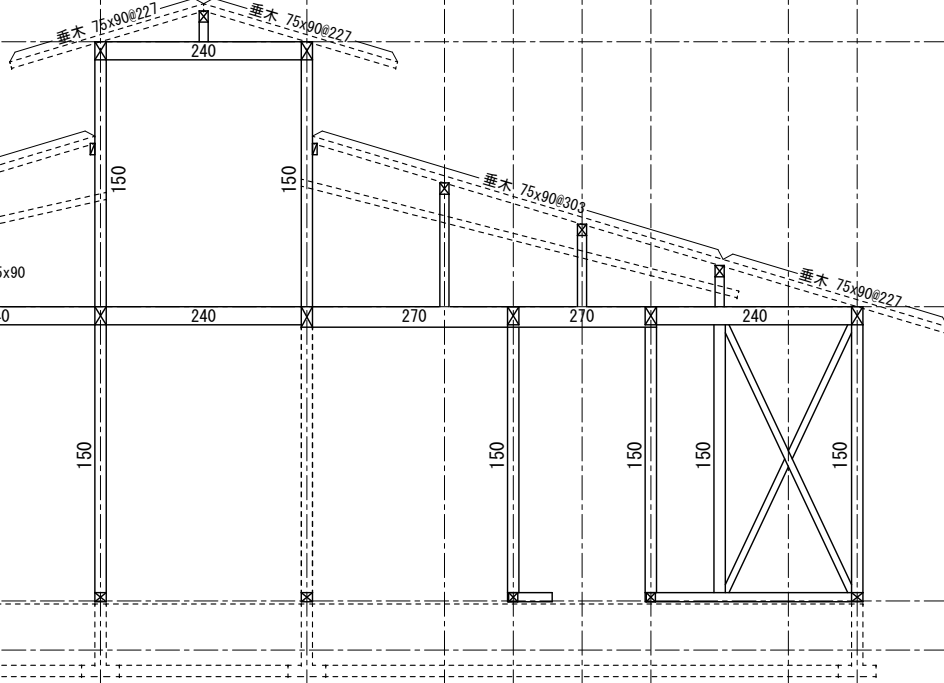




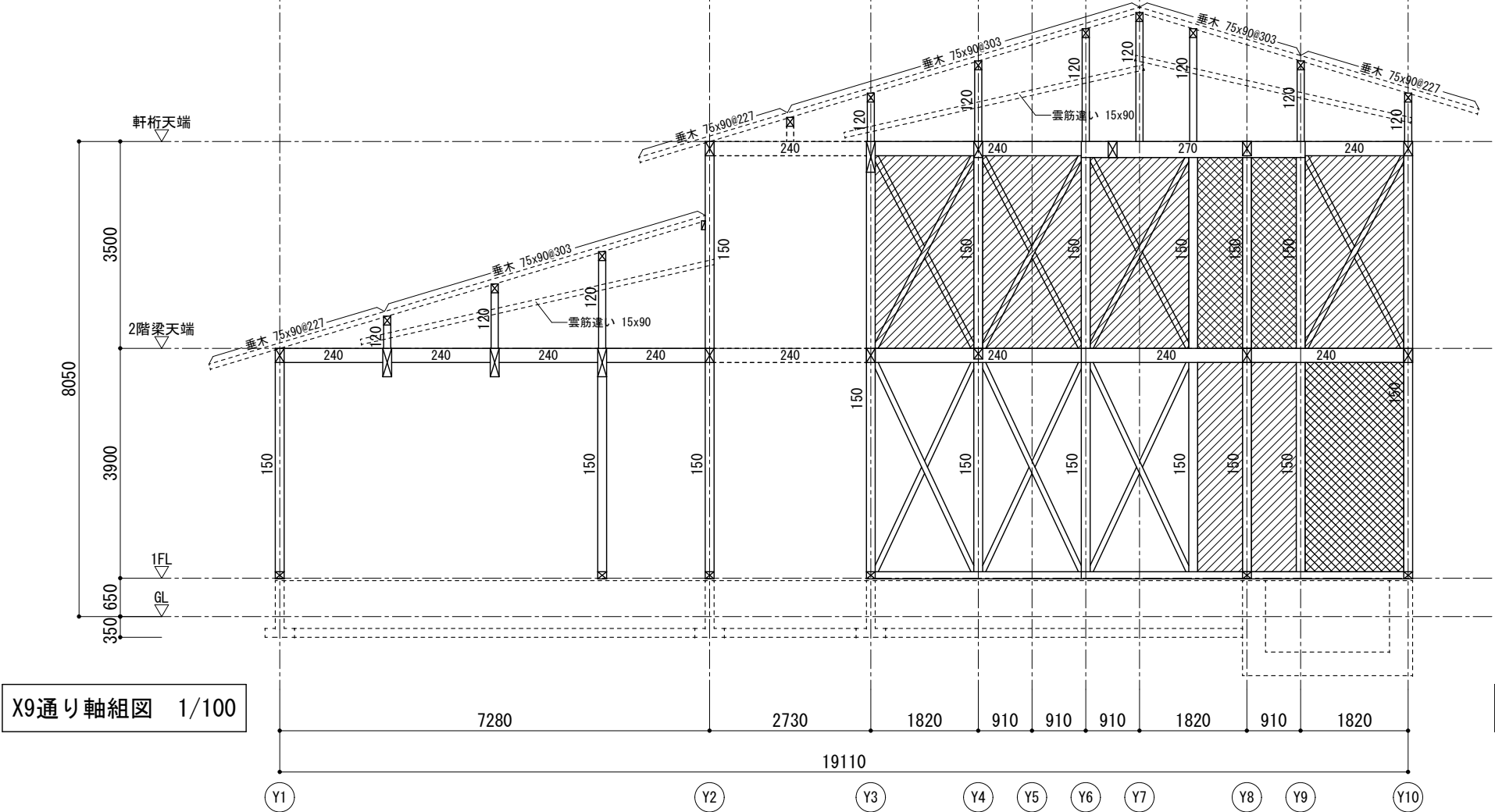
X1通り軸組図 1/100



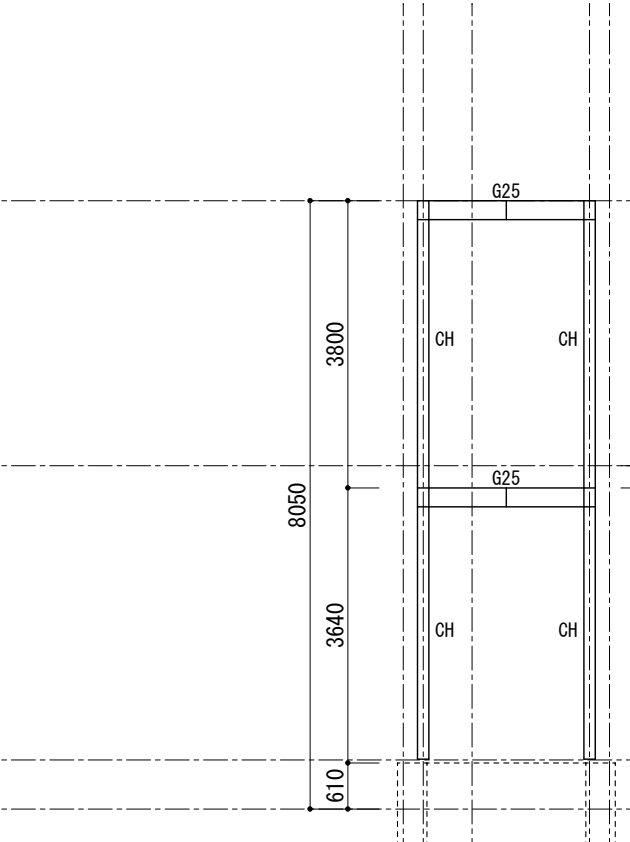
X7通り軸組図 1/100



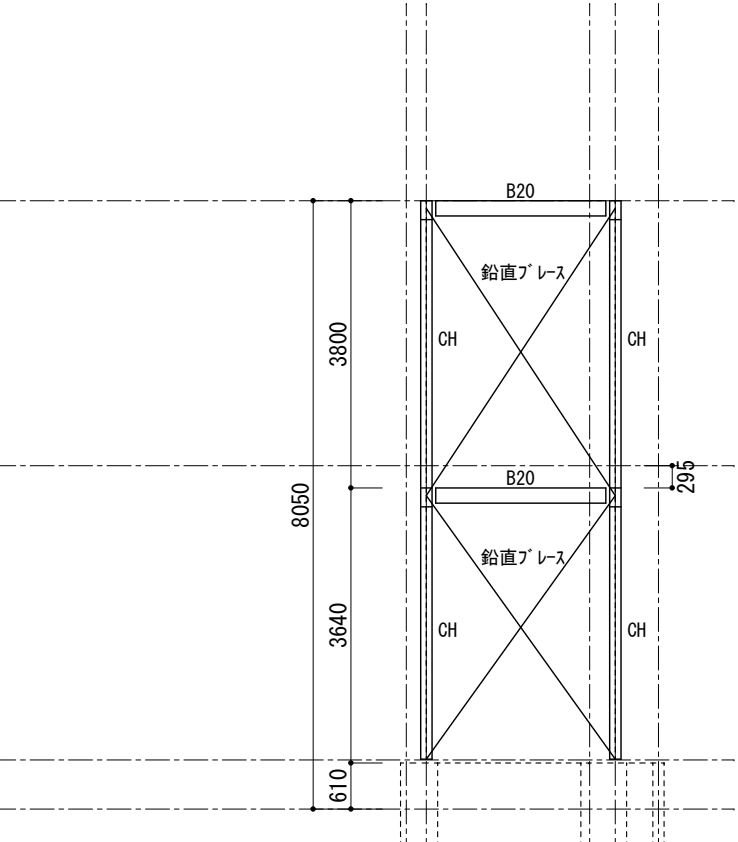
X6通り軸組図 1/100



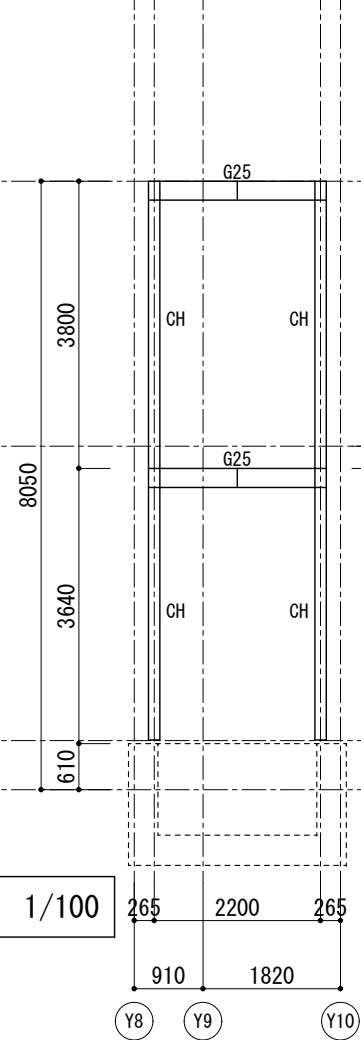
X9通り軸組図 1/100



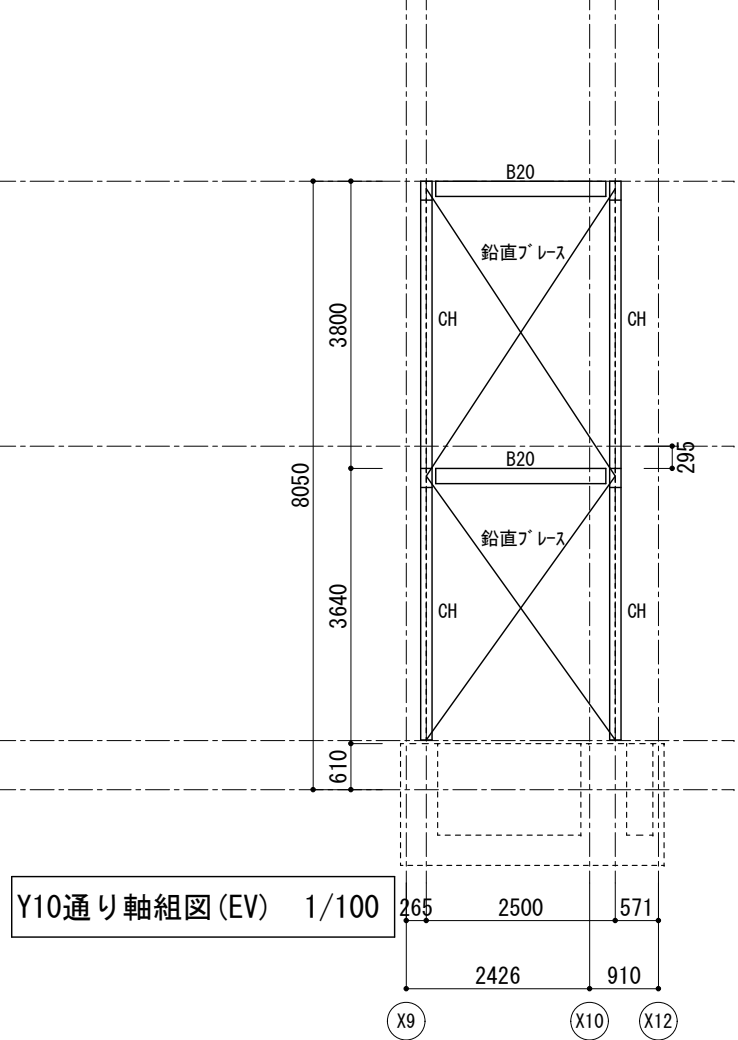
X9通り軸組図 (EV) 1/100



Y8通り軸組図 (EV) 1/100



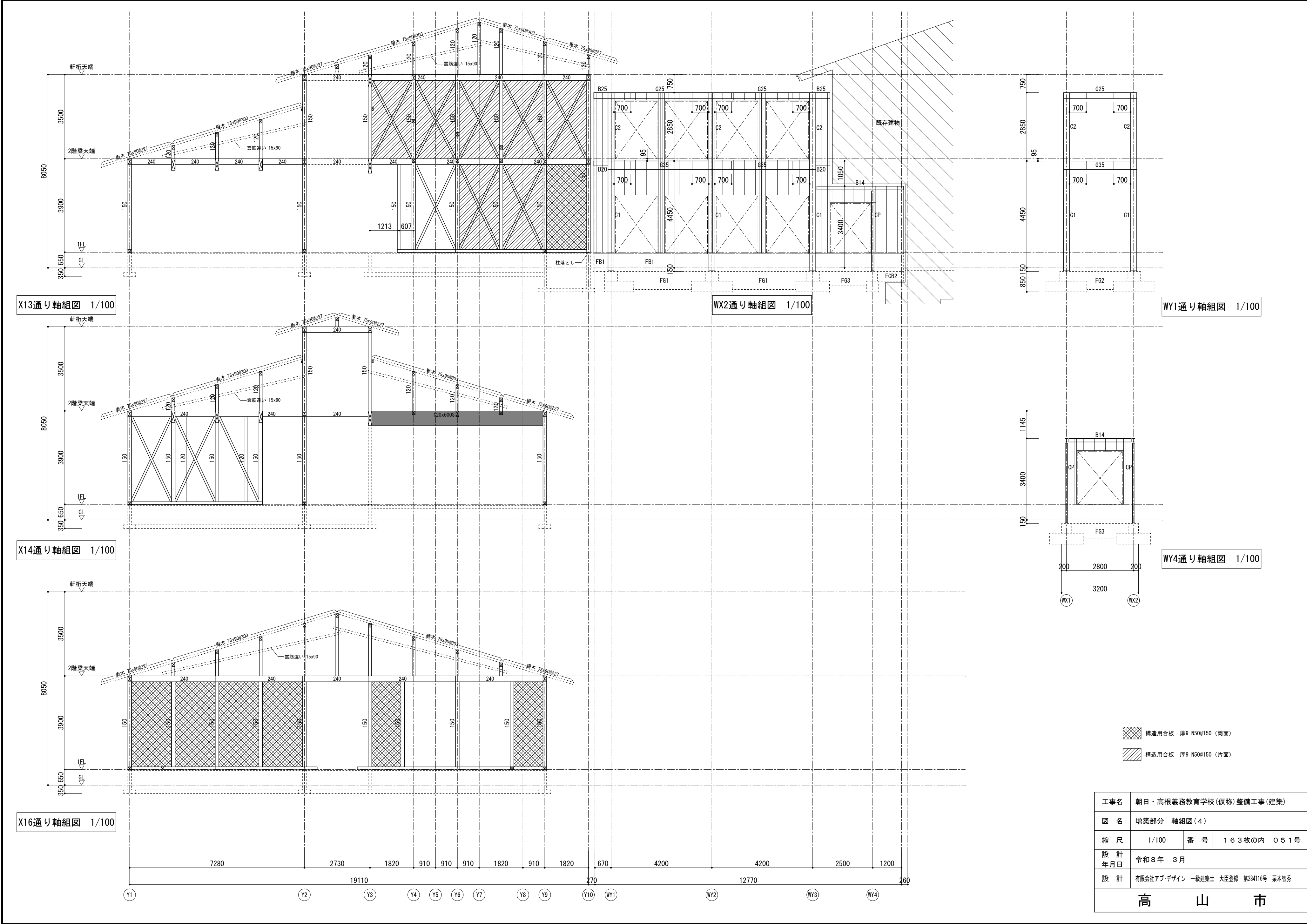
X10通り軸組図 (EV) 1/100



Y10通り軸組図 (EV) 1/100

- 構造用合板 厚9 N50#150 (両面)
- 構造用合板 厚9 N50#150 (片面)

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 軸組図(3)		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 5 0 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



X13通り軸組図 1/100

WX2通り軸組図 1/100

WY1通り軸組図 1/100

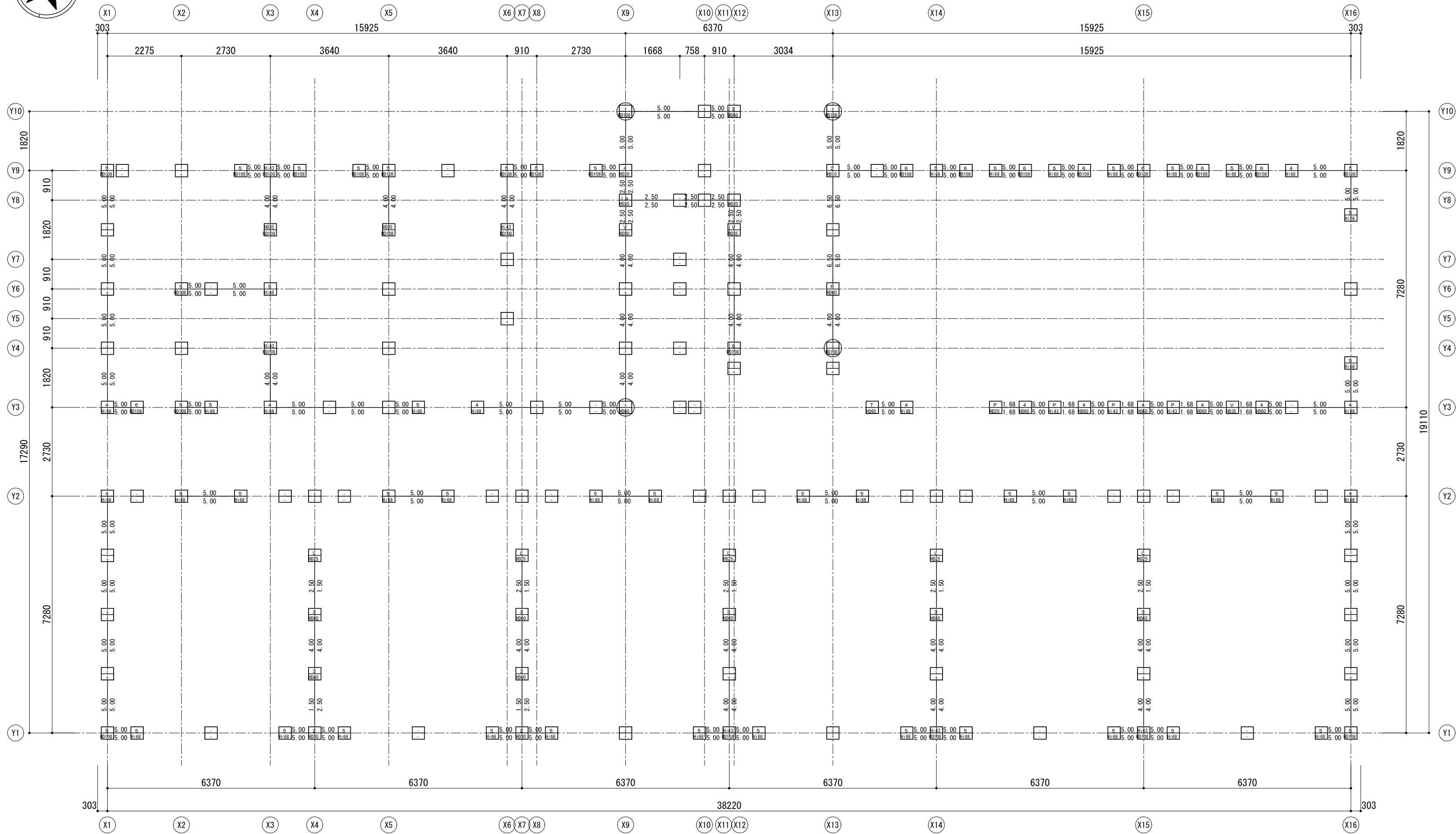
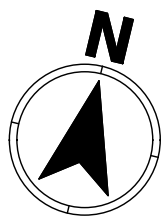
X14通り軸組図 1/100

WY4通り軸組図 1/100

X16通り軸組図 1/100

- 構造用合板 厚9 N50#150 (両面)
- 構造用合板 厚9 N50#150 (片面)

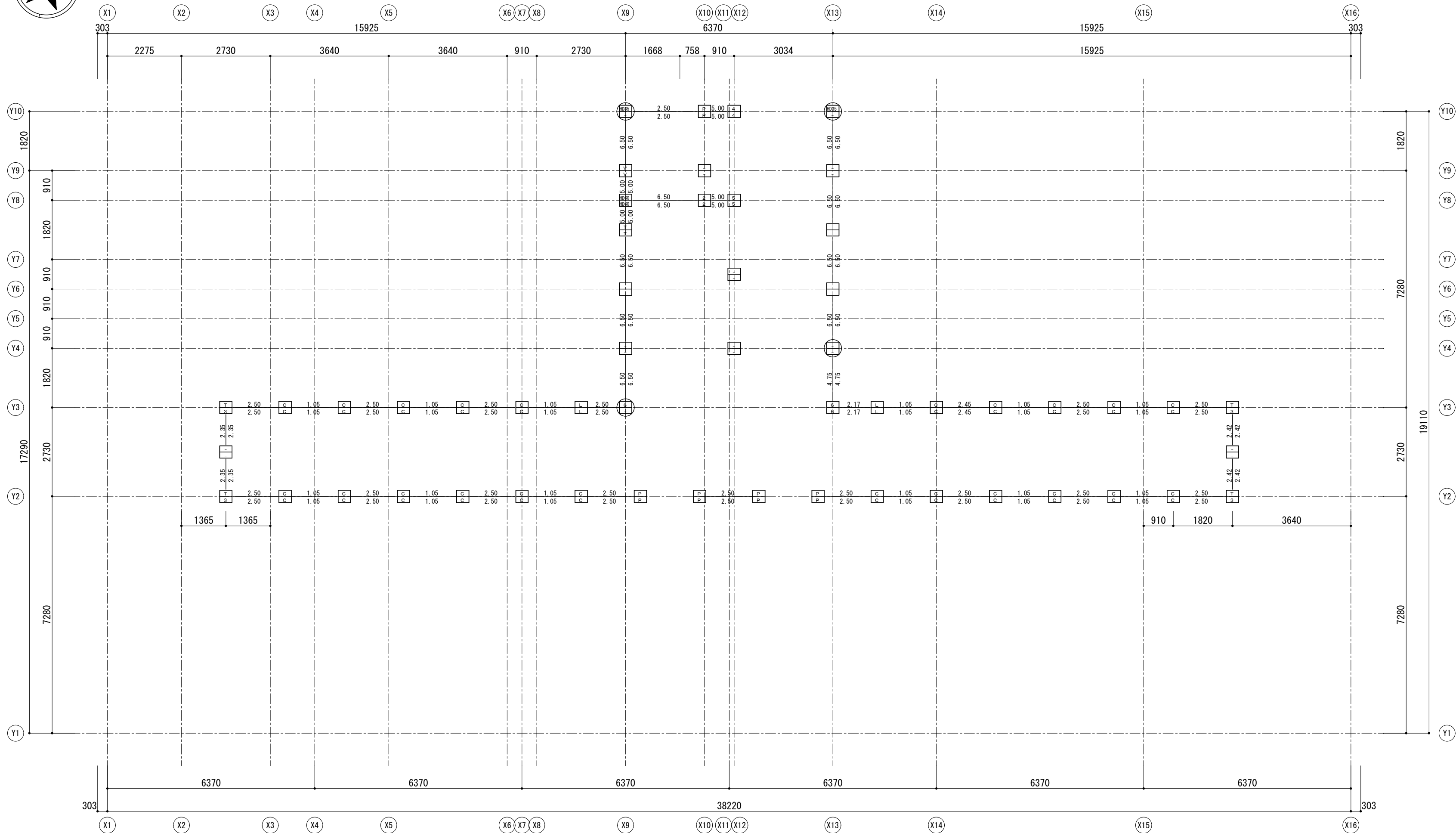
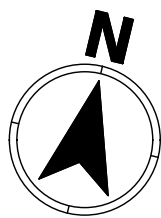
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 軸組図(4)		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 5 1 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



凡例	
<耐力壁>	
X+方向壁倍率	
X-方向壁倍率	
Y+方向壁倍率	
Y-方向壁倍率	
<金物>	
柱頭金物	
柱脚金物	
C かすがい打	
L L字型かど金物	
T T字型かど金物	
V 山形プレート	
P 羽子板ボルト	
ls 短冊金物+スクリュー釘	
2 10kN引寄金物	
HD10 10kN引寄金物	
3 15kN引寄金物	
4 20kN引寄金物	
HD20 20kN引寄金物	
5 25kN引寄金物	
HD25 25kN引寄金物	
6 15kN引寄金物×2	
HD30 15kN引寄金物×2	
HD35 ヒース止め金物 35kN	
Hi43 ヒース止め金物 43kN	
HD60 高耐力フラッシュHD60	
HD108 MP金物 108	
Hi68 高耐力金物 68kN	

1 階柱頭柱脚金物伏図 1/100

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称) 整備工事(建築)		
図 名	増築部分 金物伏図(1)		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 5 2 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大田登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



2 階柱頭柱脚金物伏図 1/100

凡例

< 耐力壁 >

X+方向壁倍率

X-方向壁倍率

Y+方向壁倍率

Y-方向壁倍率

< 金物 >

柱頭金物

柱脚金物

C かすがい打

L L 字型かど金物

T T 字型かど金物

V 山形プレート

P 羽子板ボルト

Is 短冊金物×クリュー釘

2 10kN 引寄金物

HD10 10kN 引寄金物

3 15kN 引寄金物

4 20kN 引寄金物

HD20 20kN 引寄金物

5 25kN 引寄金物

HD25 25kN 引寄金物

6 15kN 引寄金物 × 2

HD30 15kN 引寄金物 × 2

HD35 ビース止め金物 35kN

Hi43 ビース止め金物 Hi43

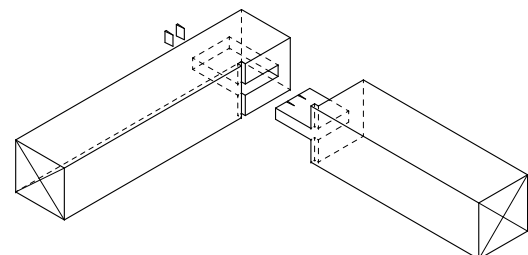
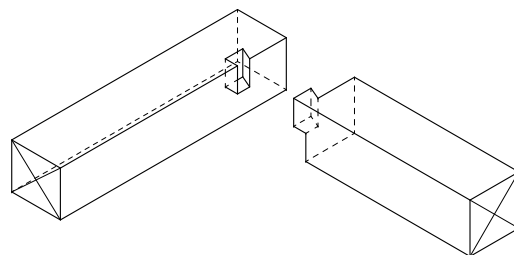
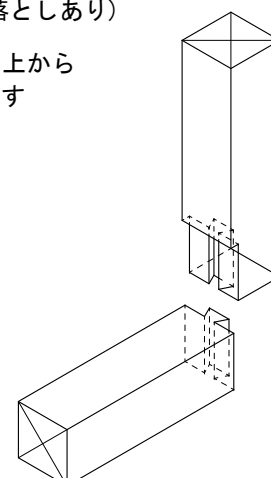
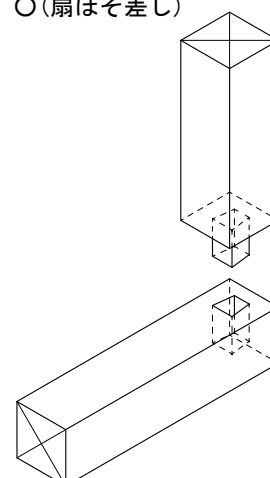
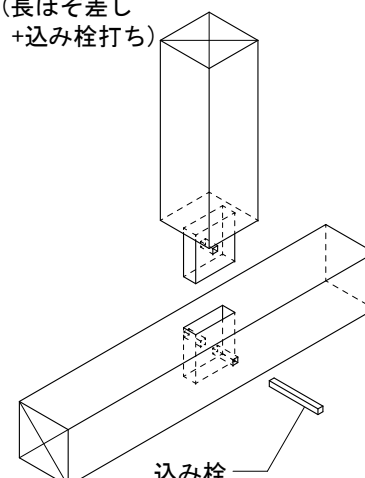
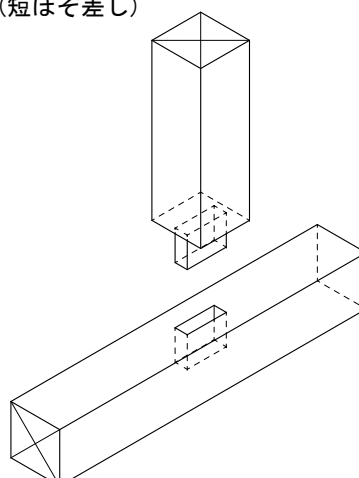
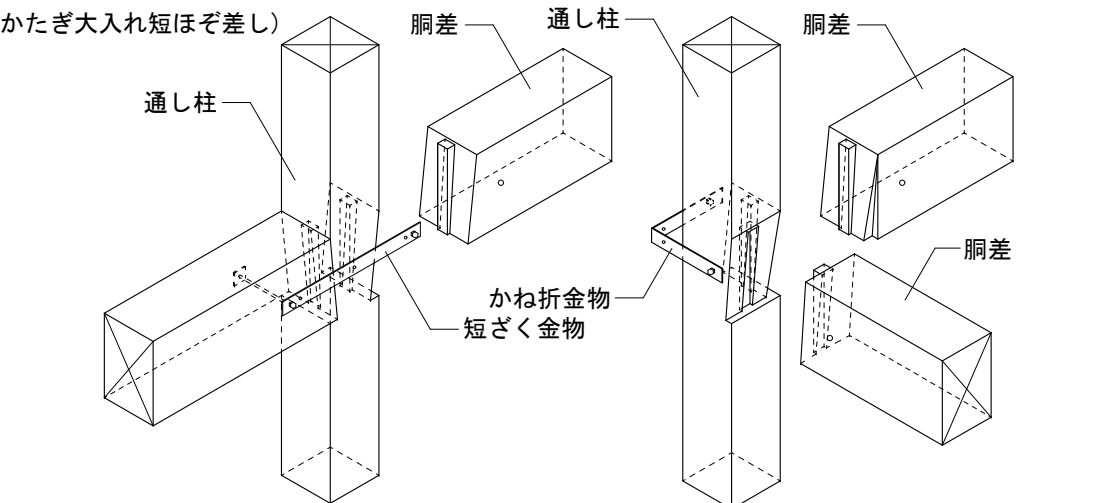
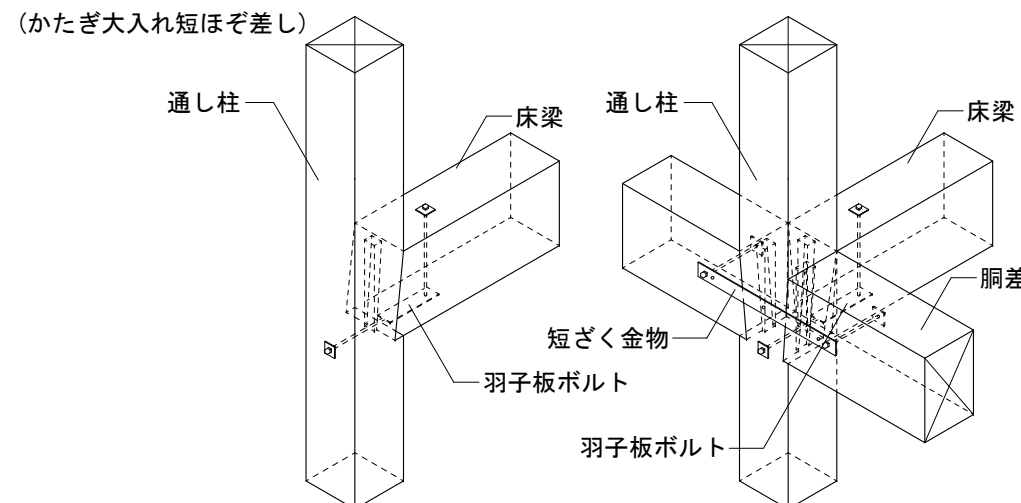
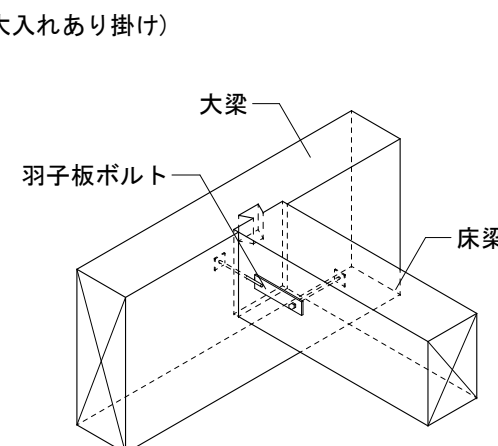
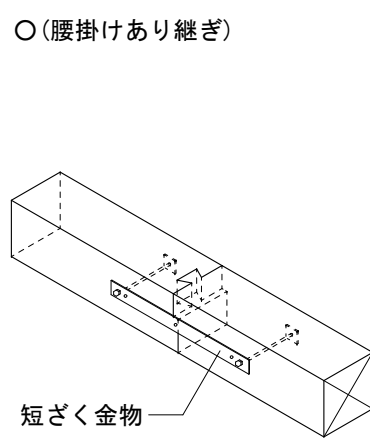
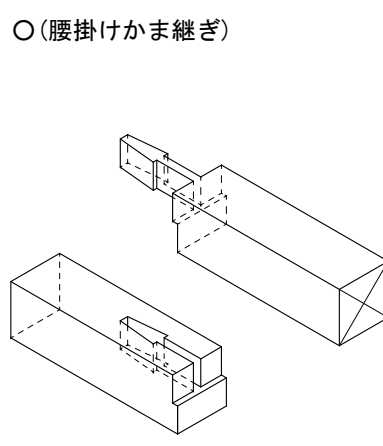
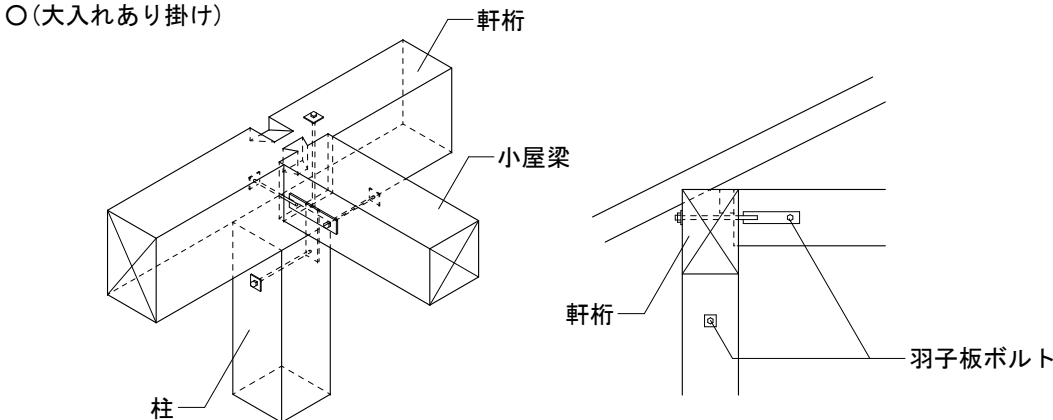
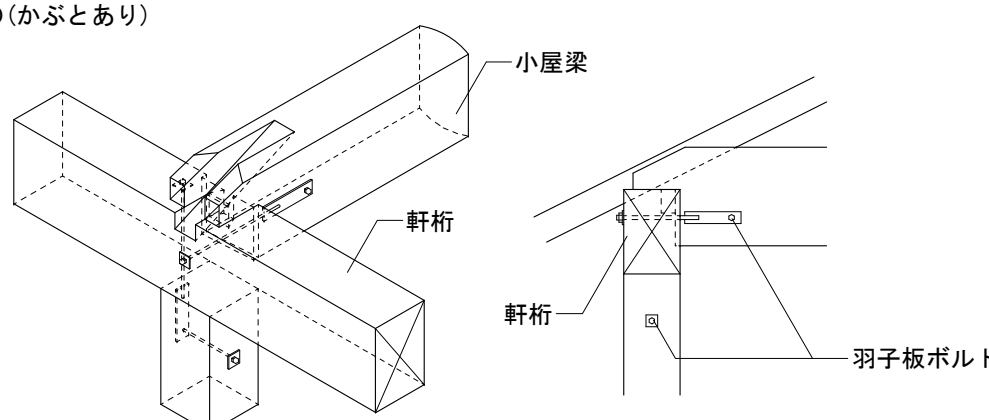
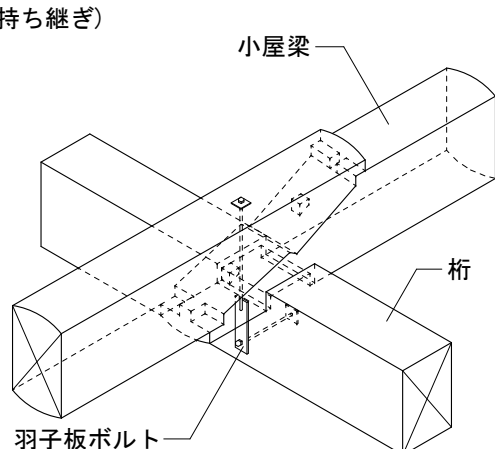
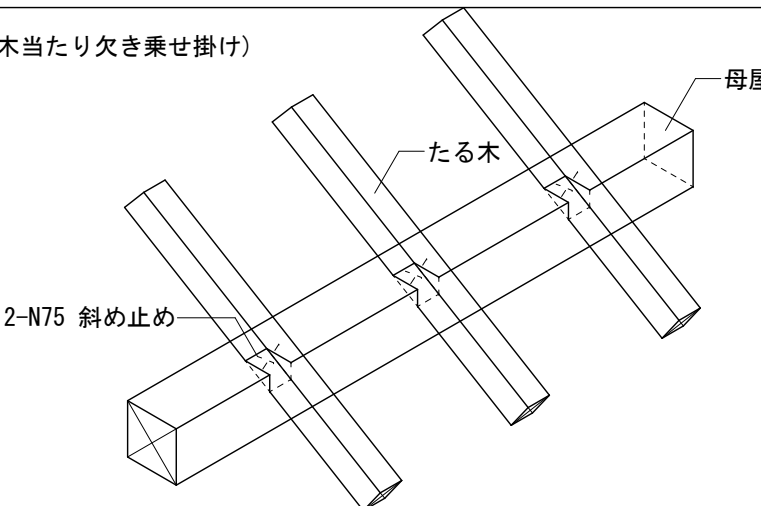
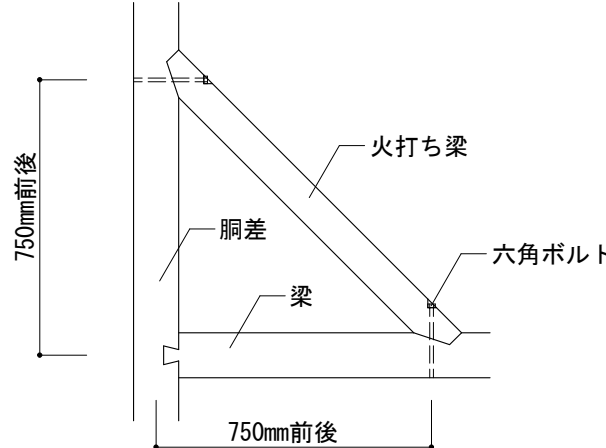
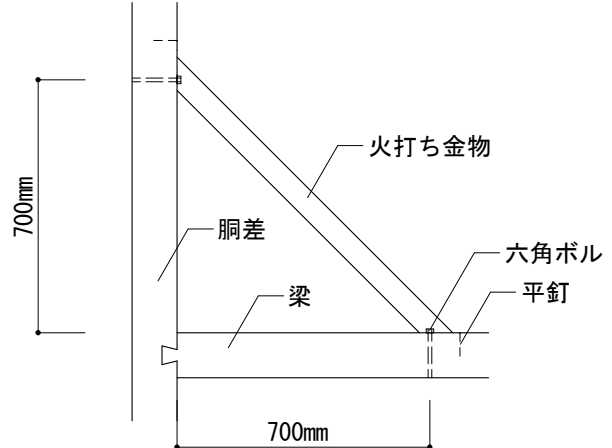
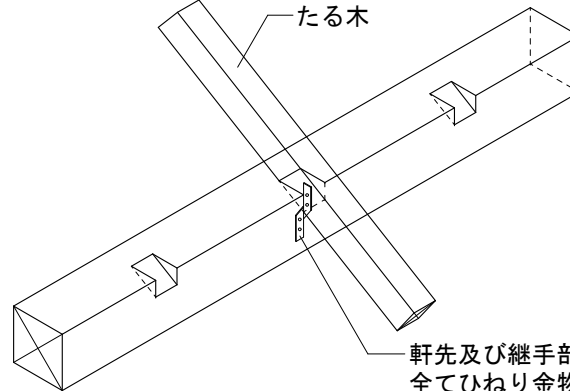
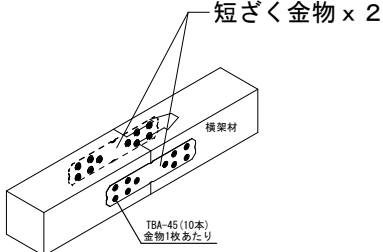
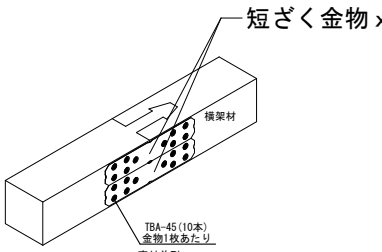
HD60 高耐力フレックスHD60

HD108 MP金物 108

Hi68 高耐力金物 Hi68

工 事 名	朝日・高根義務教育学校(仮称) 整備工事(建築)		
図 名	増築部分 金物伏図(2)		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 5 3 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

継手及び仕口図 部材の大きさは「木部材リスト」による。

○土台の隅の仕口		○土台の仕口	○柱と土台の仕口			
○(大入れ小根ほぞ差し 割りくさび締め)		○(片あり掛け)	○(落としあり) 柱を上から 落とす	○(扇ほぞ差し)	○(長ほぞ差し +込み栓打ち)	○(短ほぞ差し)
						
○通し柱と胴差の仕口		○通し柱と床梁の取り合い		○はりの仕口 (HB 1)	○横架材の継手 (HB 1)	
(かたぎ大入れ短ほぞ差し)		(かたぎ大入れ短ほぞ差し)		(大入れあり掛け)	○(腰掛けあり継ぎ)	○(腰掛けかま継ぎ)
						
○小屋梁と軒桁との仕口及び取り合い		○(かぶとあり)		○小屋梁の継手	○たる木と母屋の仕口	
○(大入れあり掛け)		○(かぶとあり)		(台持ち継ぎ)	(たる木当たり欠き乗せ掛け)	
						
○火打ち梁の取り合い		○けた行雲筋かい・振れ止め		○たる木と横架材の仕口		
○(木製火打ち梁)		○(鋼製火打ち梁)		(たる木当たり欠き乗せ掛け)		
						
○横架材の継手		○横架材の継手				
						
(HB 2)		(HB 3)				

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)		
図名	増築部分 木造継手仕口図(1)		
縮尺	---	番号	16
設計年月日	令和8年 3月		
設計	有限会社ア・デザイン 一級建築士 大臣登		
高山			

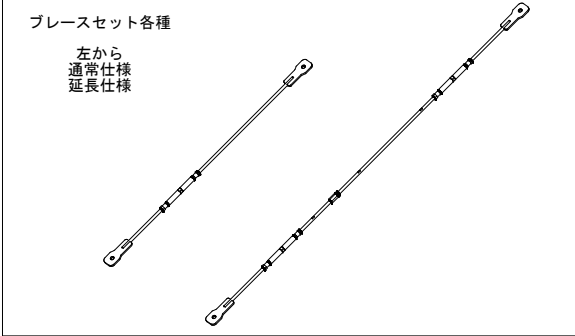
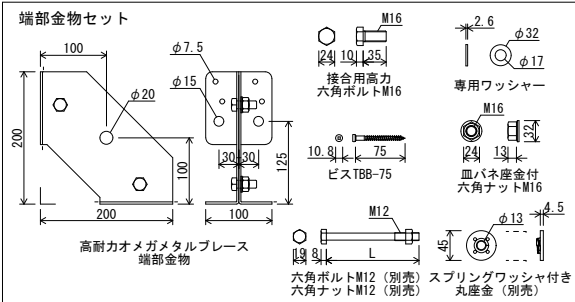
高耐力オメガメタルブレース (水平用) (KMB1) 参考標準図

Ver. 1.0

HP評価 (木) -20-029



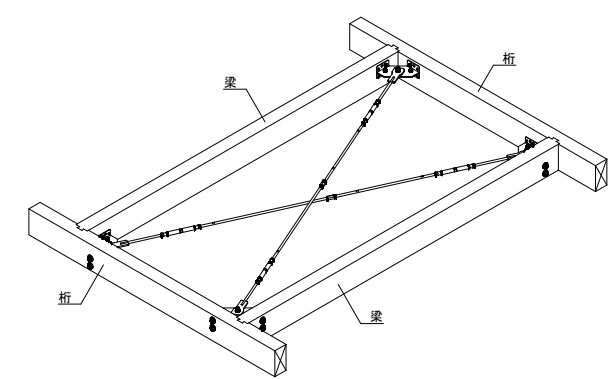
1. 部品各種



材質	端部金物 : SQ400 ブレース : 板部 SS400、ボルト部 SMR400B
表面処理	端部金物 : Z27+カチオン電着塗装 ブレース : カチオン電着塗装

2. 構面納まり図

例 構面形状比 1 : 2



3. 設計条件

建築物の構造	木造軸組工法建築物
準拠基準	品確法に基づく平成13年国土交通省告示第1347号 評価方法基準
樹種	・建築基準法施行令第3章第3節 (第48条は除く) ・スギ製材 (無等級) 以上
断面寸法	105mm以上 × 150mm以上
構面寸法	構架材間隔 (芯-芯) 寸法900mm以上5500mm以下 (900mm×900mm～5500mm×5500mm)
形状比	1 : 1～1 : 4の範囲内
構架材端部の接合方法	高耐力オメガメタルブレース (水平用) を用いた床構面内の構架材同士との接合部には当該接合部の必要接合部倍率に1.2を乗じた値に合わせた接合金物を選定する

4. 性能値

床倍率一覧表 (グレー部分は構面形状比1 : 4を超える評価対象外の範囲)

床倍率	0.910	1.365	1.820	2.275	2.730	3.185	3.640	4.095	4.550	5.005	5.460
短辺方向 (m)	0.910	9.9	7.1	5.9	4.4	3.5	3.1	2.6	2.2	1.9	1.6
1.365	15.7	11.1	9.8	8.2	7.1	6.4	5.8	5.2	4.6	4.0	3.5
1.820	22.9	16.4	14.5	12.4	10.8	9.6	8.6	7.7	6.8	6.0	5.3
2.275	29.8	21.8	19.4	16.8	14.7	13.0	11.7	10.5	9.3	8.2	7.2
2.730	36.7	27.3	24.4	21.3	18.7	16.5	14.7	13.1	11.6	10.2	9.0
3.185	43.6	32.8	29.4	25.8	22.7	20.1	17.8	15.8	14.0	12.4	11.0
3.640	50.5	38.1	34.2	30.1	26.5	23.5	20.8	18.4	16.3	14.4	12.7
4.095	57.4	43.9	40.4	35.8	31.7	28.3	25.2	22.4	19.9	17.6	15.6
4.550	64.3	49.8	46.8	41.7	37.1	33.3	29.8	26.5	23.7	21.1	18.8
5.005	71.2	55.7	53.2	47.5	42.4	38.2	34.4	30.8	27.6	24.6	22.0
5.460	78.1	61.6	59.6	53.3	47.8	43.2	39.0	35.1	31.6	28.3	25.4

床倍率	0.9	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
短辺方向 (m)	0.9	9.9	6.6	4.4	3.3	2.7	2.3	2.0	1.7	1.5	1.3
1.0	10.8	13.1	10.5	8.2	6.6	5.8	5.2	4.6	4.0	3.5	3.1
1.5	15.7	19.4	15.7	12.4	10.8	9.6	8.6	7.7	6.8	6.0	5.3
2.0	20.6	25.8	20.6	16.8	14.7	13.0	11.7	10.5	9.3	8.2	7.2
2.5	25.5	31.7	25.5	21.3	18.7	16.5	14.7	13.1	11.6	10.2	9.0
3.0	30.4	37.6	30.4	25.8	22.7	20.1	17.8	15.8	14.0	12.4	11.0
3.5	35.3	43.9	35.3	30.1	26.5	23.5	20.8	18.4	16.3	14.4	12.7
4.0	40.2	50.5	40.2	35.8	31.7	28.3	25.2	22.4	19.9	17.6	15.6
4.5	45.1	57.4	45.1	41.7	37.1	33.3	29.8	26.5	23.7	21.1	18.8
5.0	50.0	64.3	50.0	47.5	42.4	38.2	34.4	30.8	27.6	24.6	22.0
5.5	54.9	71.2	54.9	53.3	47.8	43.2	39.0	35.1	31.6	28.3	25.4

1mあたりの短期許容せん断耐力一覧表 (グレー部分は構面形状比1 : 4を超える評価対象外の範囲)

Pa	0.910	1.365	1.820	2.275	2.730	3.185	3.640	4.095	4.550	5.005	5.460
短辺方向 (kN)	0.910	10.4	13.9	11.7	8.7	7.0	6.1	5.2	4.6	4.0	3.5
1.365	15.7	19.4	15.7	12.4	10.8	9.6	8.6	7.7	6.8	6.0	5.3
1.820	22.9	29.8	22.9	19.4	16.8	14.7	13.0	11.7	10.5	9.3	8.2
2.275	29.8	39.7	29.8	25.8	22.7	20.1	17.8	15.8	14.0	12.4	11.0
2.730	36.7	49.8	36.7	31.7	28.3	25.2	22.4	19.9	17.6	15.6	13.7
3.185	43.6	59.7	43.6	37.6	33.3	29.8	26.5	23.7	21.1	18.8	16.5
3.640	50.5	69.6	50.5	43.6	39.0	35.1	31.6	28.3	25.4	22.7	20.0
4.095	57.4	79.5	57.4	49.8	44.9	40.6	36.7	32.8	29.5	26.3	23.4
4.550	64.3	89.4	64.3	55.7	50.5	45.8	41.4	37.1	33.3	29.8	26.5
5.005	71.2	99.3	71.2	61.6	56.2	51.1	46.4	42.1	38.2	34.1	30.4
5.460	78.1	109.2	78.1	67.5	61.6	56.2	51.1	46.4	42.1	38.2	34.1

Pa	0.9	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
短辺方向 (kN)	0.9	10.5	10.9	12.7	10.0	7.7	6.2	5.4	4.8	4.2	3.7
1.0	11.5	13.1	13.1	15.5	12.4	10.5	8.2	6.6	5.8	5.0	4.4
1.5	16.4	19.4	19.4	22.9	18.7	16.5	14.7	13.1	11.6	10.2	9.0
2.0	21.3	25.8	25.8	30.4	25.8	23.5	20.8	18.4	16.3	14.4	12.7
2.5	26.2	31.7	31.7	36.7	31.7	28.3	25.2	22.4	19.9	17.6	15.6
3.0	31.1	37.6	37.6	43.6	37.6	33.3	29.8	26.5	23.7	21.1	18.8
3.5	36.0	43.9	43.9	49.8	43.9	39.0	35.1	31.6	28.3	25.4	22.7
4.0	40.9	50.5	50.5	57.4	50.5	45.8	41.4	37.1	33.3	29.8	26.5
4.5	45.8	57.4	57.4	64.3	57.4	51.1	46.4	42.1	38.2	34.1	30.4
5.0	50.7	64.3	64.3	71.2	64.3	56.2	51.1	46.4	42.1	38.2	34.1
5.5	55.6	71.2	71.2	78.1	71.2	61.6	56.2	51.1	46.4	42.1	38.2

3. 設計条件

建築物の構造	木造軸組工法建築物
準拠基準	品確法に基づく平成13年国土交通省告示第1347号 評価方法基準
樹種	・建築基準法施行令第3章第3節 (第48条は除く) ・スギ製材 (無等級) 以上
断面寸法	105mm以上 × 105mm以上
構面寸法	構架材間隔 (芯-芯) 寸法900mm以上5500mm以下 (900mm×900mm～5500mm×5500mm)
形状比	1 : 1～1 : 4の範囲内

4. 性能値

床倍率一覧表 (グレー部分は構面形状比1 : 4を超える評価対象外の範囲)

床倍率	0.910	1.365	1.820	2.275	2.730	3.185	3.640	4.095	4.550	5.005	5.460
短辺方向 (m)	0.910	4.5	3.6	2.9	2.2	1.9	1.5	1.2	1.0	0.9	0.8
1.365	15.7	19.4	15.7	12.4	10.8	9.6	8.6	7.7	6.8	6.0	5.3
1.820	22.9	29.8	22.9	19.4	16.8	14.7	13.0	11.7	10.5	9.3	8.2
2.275	29.8	39.7	29.8	25.8	22.7	20.1	17.8	15.8	14.0	12.4	11.0
2.730	36.7	49.8	36.7	31.7	28.3	25.2	22.4	19.9	17.6	15.6	13.7
3.185	43.6	59.7	43.6	37.6	33.3	29.8	26.5	23.7	21.1	18.8	16.5
3.640	50.5	69.6	50.5	43.6	39.0	35.1	31.6	28.3	25.4	22.7	20.0
4.095	57.4	79.5	57.4	49.8	44.9	40.6	36.7	32.8	29.5	26.3	23.4
4.550	64.3	89.4	64.3	55.7	50.5	45.8	41.4	37.1	33.3	29.8	26.5
5.005	71.2	99.3	71.2	61.6	56.2	51.1	46.4	42.1	38.2	34.1	30.4
5.460	78.1	109.2	78.1	67.5	61.6	56.2	51.1	46.4	42.1	38.2	34.1

床倍率	0.9	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
短辺方向 (m)	0.9	8.9	6.5	5.0	4.0	3.1	2.5	2.1	1.8	1.6	1.4
1.0	9.9	12.4	9.9	7.7	6.2	5.2	4.6	4.0	3.5	3.1	2.7
1.5	14.8	19.4	14.8	11.7	9.6	8.2	7.2	6.3	5.4	4.8	4.2
2.0	19.7	25.8	19.7	15.7	13.0	11.0	9.6	8.4	7.3	6.4	5.6
2.5	24.6	31.7	24.6	19.7	16.5	14.1	12.4	10.9	9.5	8.3	7.3
3.0	29.5	37.6	29.5	23.6	19.7	16.5	14.1	12.4	10.9	9.5	8.3
3.5	34.4	43.9	34.4	27.7	22.7	19.7	16.5	14.1	12.4	10.9	9.5
4.0	39.3	50.5	39.3	31.8	26.8	23.6	20.8	18.4	16.3	14.4	12.7
4.5	44.2	57.4	44.2	35.9	30.9	27.7	24.9	22.4	19.9	17.6	15.6
5.0	49.1	64.3	49.1	40.0	35.0	31.8	29.0	26.5	23.7	21.1	18.8
5.5	54.0	71.2	54.0	44.1	39.1	35.9	33.1	30.8	27.6	24.6	22.0

1mあたりの短期許容せん断耐力一覧表 (グレー部分は構面形状比1 : 4を超える評価対象外の範囲)

Pa	0.910	1.365	1.820	2.275	2.730	3.185	3.640	4.095	4.550	5.005	5.460
短辺方向 (kN)	0.910	8.8	7.1	5.6	4.5	3.6	2.9	2.4	2.0	1.8	1.6
1.365	15.7	19.4	15.7	12.4	10.8	9.6	8.6	7.7	6.8	6.0	5.3
1.820	22.9	29.8	22.9	19.4	16.8	14.7	13.0	11.7	10.5	9.3	8.2
2.275	29.8	39.7	29.8	25.8	22.7	20.1	17.8	15.8	14.0	12.4	11.0
2.730	36.7	49.8	36.7	31.7	28.3	25.2	22.4	19.9	17.6	15.6	13.7
3.185	43.6	59.7	43.6	37.6	33.3	29.8	26.5	23.7	21.1	18.8	16.5
3.640	50.5	69.6	50.5	43.6	39.0	35.1	31.6	28.3	25.4	22.7	20.0
4.095	57.4	79.5	57.4	49.8	44.9	40.6	36.7	32.8	29.5	26.3	23.4
4.550	64.3	89.4	64.3	55.7	50.5	45.8	41.4	37.1	33.3	29.8	26.5
5.005	71.2	99.3	71.2	61.6	56.2	51.1	46.4	42.1	38.2	34.1	30.4
5.460	78.1	109.2	78.1	67.5	61.6	56.2	51.1	46.4	42.1	38.2	34.1

Pa	0.9	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
短辺方向 (kN)	0.9	8.9	6.5	5.0	4.0	3.1	2.5	2.1	1.8	1.6	1.4
1.0	9.9	12.4	9.9	7.7	6.2	5.2	4.6	4.0	3.5	3.1	2.7
1.5	14.8	19.4	14.8	11.7	9.6	8.2	7.2	6.3	5.4	4.8	4.2
2.0	19.7	25.8	19.7	15.7	13.0	11.0	9.6	8.4	7.3	6.4	5.6
2.5	24.6	31.7	24.6	19.7	16.5	14.1	12.4	10.9	9.5	8.3	7.3
3.0	29.5	37.6	29.5	23.6	19.7	16.5	14.1	12.4	10.9	9.5	8.3
3.5	34.4	43.9	34.4	27.7	22.7	19.7	16.5	14.1	12.4	10.9	9.5
4.0	39.3	50.5	39.3	31.8	26.8	23.6	20.8	18.4	16.3	14.4	12.7
4.5	44.2	57.4	44.2	35.9	30.9	27.7	24.9	22.4	19.9	17.6	15.6
5.0	49.1	64.3	49.1	40.0	35.0	31.8	29.0	26.5	23.7	21.1	18.8
5.5	54.0	71.2	54.0	44.1	39.1	35.9	33.1	30.8	27.6	24.6	22.0

Pa	0.9	1.0
----	-----	-----

軸組端部の柱と主要な横架材との仕口

※金物は全てZマーク金物又は同等の認定金物とする。

※その他の構造耐力上主要な部分の継手又は仕口にあつては、ボルト締め、かすがい打ち、込み栓打ちその他の構造方法によりその部分の存在応力を伝えるように緊結したものでなくてはならない。

(い) 短まぞ差し、かすがい打ち又はこれらと同等以上の接合方法としたもの

(C)

(ロ)

(ろ) 長まぞ差し込み栓打ち若しくは厚さ2.3mmのL字型の鋼板添え板を、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄くぎを5本平打ちしたものを又はこれらと同等以上の接合方法としたもの

(N)

(L)

(は) 厚さ2.3mmのT字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄くぎを5本平打ちしたものを若しくは厚さ2.3mmのV字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ9cmの太め鉄くぎを4本平打ちしたものを又はこれらと同等以上の接合方法としたもの

(T)

(V)

(に) 厚さ3.2mmの鋼板添え板に径1.2mmのボルトを溶融した金物を用い、柱に対して径1.2mmのボルト締め、横架材に対して厚さ4.5mm、40mm角の角座金を介してナット締めとしたもの若しくは厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径1.2mmのボルト締めとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの

(P)

(I)

(ほ) 厚さ3.2mmの鋼板添え板に径1.2mmのボルトを溶融した金物を用い、柱に対して径1.2mmのボルト締め、横架材に対して厚さ4.5mm、40mm角の角座金を介してナット締めとしたもの又は厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径1.2mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリーー釘打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの

(Ps)

(Is)

(へ) 厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径1.2mmのボルト2本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径1.6mmのボルトを介して緊結したものを又はこれらと同等以上の接合方法としたもの

(HD10)

(2)

(ち) 厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径1.2mmのボルト4本、横架材(土台を除く)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径1.6mmのボルトを介して緊結したものを又はこれらと同等以上の接合方法としたもの

(HD20)

(4)

(り) 厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径1.2mmのボルト5本、横架材(土台を除く)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径1.6mmのボルトを介して緊結したものを又はこれらと同等以上の接合方法としたもの

(HD25)

(5)

(ぬ) (と)に掲げる仕口を2組用いたもの又はHD35でも可とする。

(HD30)

(6)

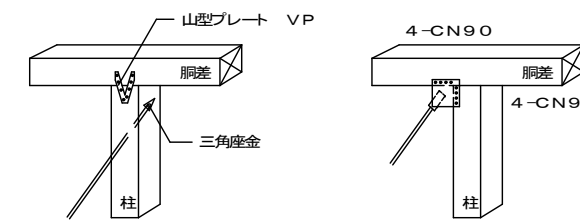
(め) (HD60) 高耐久フレックスHD60
(HD108) MPホールダウン108
(Hi43) ビス止めホールダウン金物43kN用
(Hi68) 高耐久ホールダウンHi68

筋かい端部と軸組との止め付け部

筋かいの端部における仕口にあつては、次掲げる筋かいの種類に応じ、それぞれから木までに定める接合方法又はこれらと同等以上の引張耐力を有する接合方法によらなければならない。

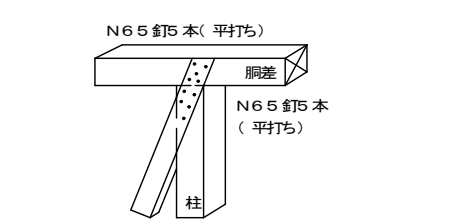
イ 径9mm以上の鉄筋

柱又は横架材を貫通した鉄筋を三角座金を介してナット締めとしたもの又は当該鉄筋の止め付けた鋼板添え板に柱及び横架材に対して長さ9cmの太め鉄くぎ(日本工業規格A508(くぎ)1992のうち太め鉄くぎに適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。)を8本打ち付けたもの



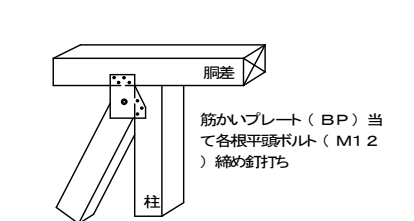
ロ 厚さ1.5cm以上で幅9cm以上の木材

柱及び横架材を欠き込み、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5cmの鉄くぎ(日本工業規格A508(くぎ)1992のうち鉄くぎに適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。)を5本平打ちしたもの



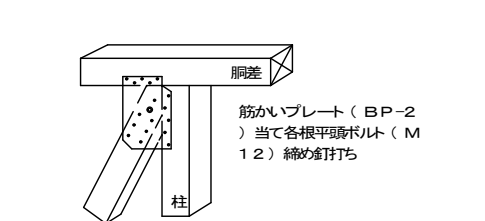
ハ 厚さ3cm以上で幅9cm以上の木材

厚さ1.6cmの鋼板添え板を、筋かいに対して径1.2mmのボルト締め、横架材に対して径1.2mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリーー釘打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄くぎを3本平打ち、横架材に対して長さ6.5cmの太め鉄くぎを4本平打ちしたもの



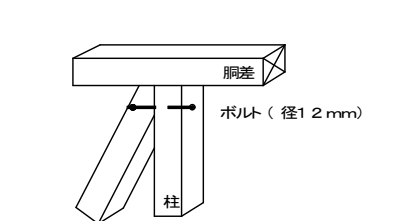
ニ 厚さ4.5cm以上で幅9cm以上の木材

厚さ2.3cm以上の鋼板添え板を、筋かいに対して径1.2mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリーー釘7本の平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ50mm、径4.5mmのスクリーー釘5本の平打ちしたもの



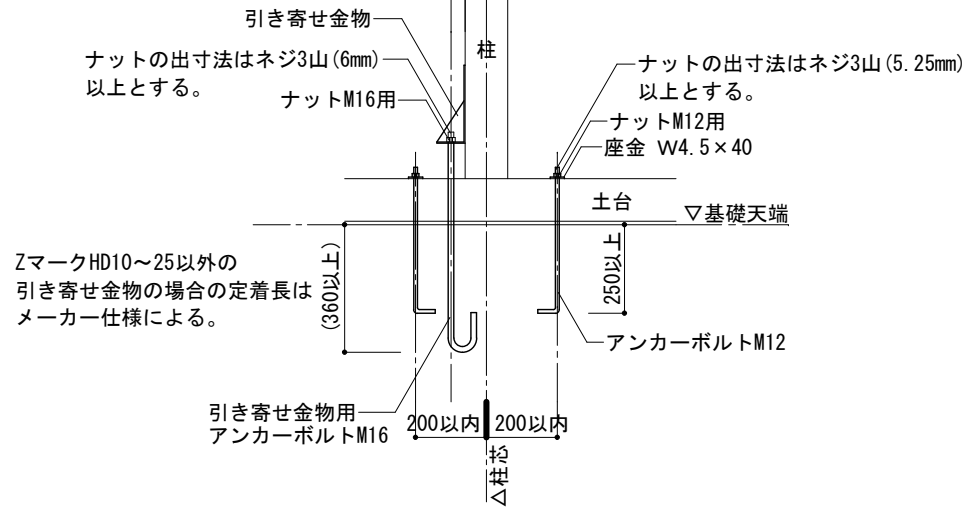
ホ 厚さ9cm以上で幅9cm以上の木材

柱又は横架材に径1.2mmのボルトを用いた1面せん断接合としたもの



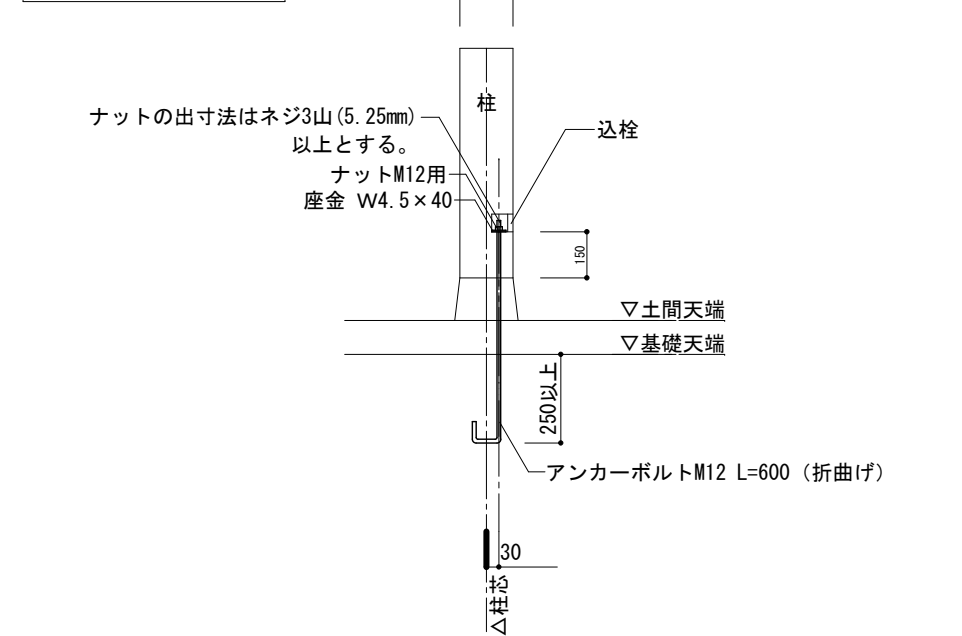
アンカーボルト配置要領

※アンカーボルトM16の柱面からの位置は引き寄せ金物の仕様による



アンカーボルト配置要領

※独立柱の場合



工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称) 整備工事(建築)		
図 名	増築部分 木造金物詳細図		
縮 尺	――	番 号	1 6 3 枚の内 0 5 6 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

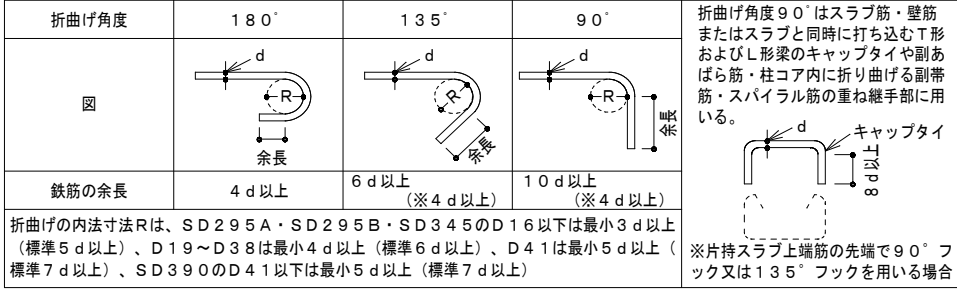
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

1. 一般事項

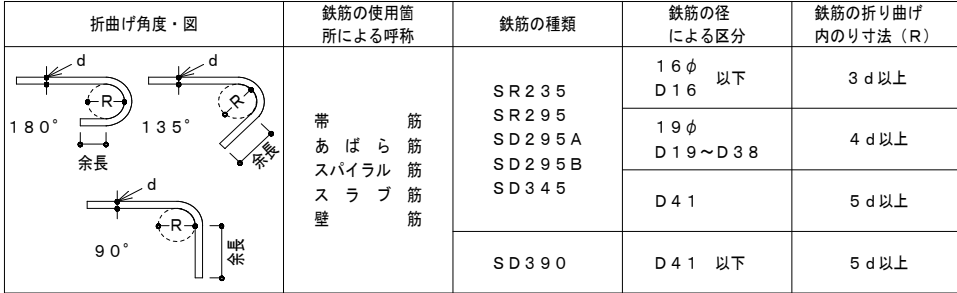
- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号 d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D…部材の成 R…直径
◎…開隔 r…半径 〇…中心線 Qo…部材間の内法距離 ho…部材間の内法高さ
ST…あばら筋 HOOP…帯筋 S. HOOP…補強帯筋 φ…直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 柱・梁・基礎の主筋の折曲げ形状・寸法

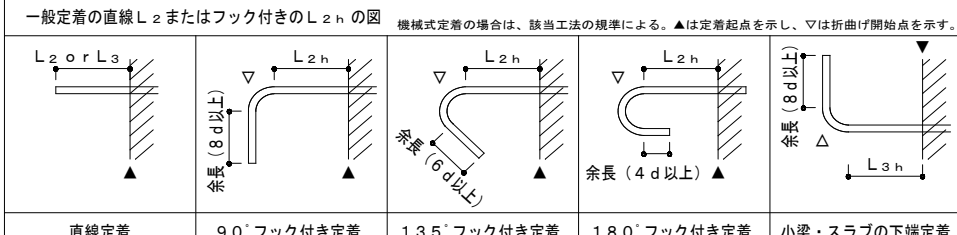


(2) その他の鉄筋の折曲げの形状



(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

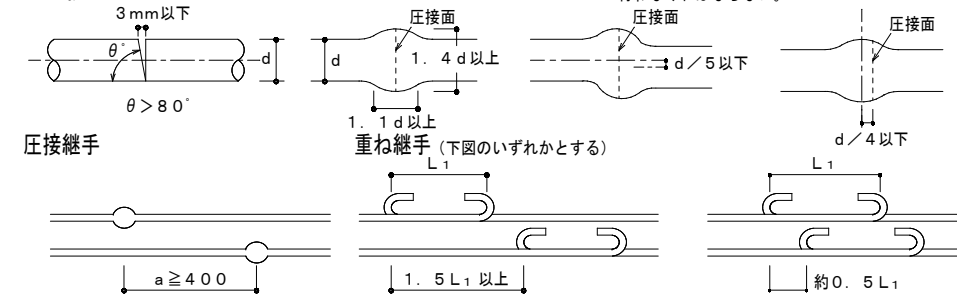
コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²)	一般定着 (直線 L ₂ または フック付 L ₁ ≥ h)				特別の定着及び重ね継手の長さ (直線 L ₁ または フック付 L ₁ ≥ h)			
	SD295A SD295B	SD345	SD390	SD490	SD295A SD295B	SD345	SD390	SD490
18	40d または 30d フック付	40d または 30d フック付	—	—	45d または 35d フック付	50d または 35d フック付	—	—
21	35d または 25d フック付	35d または 25d フック付	30d フック付	—	40d または 30d フック付	45d または 30d フック付	50d または 35d フック付	—
24~27	30d または 20d フック付	35d または 25d フック付	40d または 30d フック付	45d または 35d フック付	35d または 25d フック付	40d または 30d フック付	45d または 35d フック付	55d または 40d フック付
30~36	30d または 20d フック付	35d または 25d フック付	40d または 30d フック付	45d または 35d フック付	35d または 25d フック付	40d または 30d フック付	45d または 35d フック付	50d または 40d フック付
39~45	25d または 15d フック付	30d または 20d フック付	35d または 25d フック付	40d または 30d フック付	30d または 20d フック付	35d または 25d フック付	40d または 30d フック付	45d または 35d フック付
小梁、スラブの下端筋 (直線 L ₂ または フック付 L ₃ ≥ h)		SD295A, SD295B SD345, SD390	小梁		20d または スラブ	10d かつ 150mm 以上	10d フック付	



※フック付の定着長さ L₂ は、定着起点からの鉄筋の折曲げ開始点までの距離とし、折曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
〔注〕柱梁接合部内に折曲げ定着する鉄筋を柱側の 3/4 倍以上のみ込ませてフック付定着長さ (L₂) が確保できない場合は、柱側の 3/4 倍のみ込みを確保しながら、投影定着長さ L₁ (小梁、スラブは L₃) に加え、余長も含め折曲げ定着長さ L₂ を確保する。(L₂、L₁ は JAS S5 の P.39 参照)

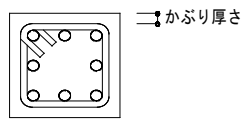
- 継手
- 重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離とし、末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
 - 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
 - 直線の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
 - D29 以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
 - 鉄筋径の差が 7mm を超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



(4) かぶり厚さ (単位: mm)

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

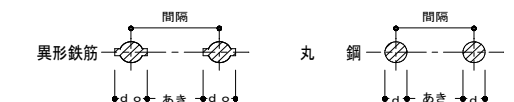


部 位	設計かぶり厚さ (mm)		最小かぶり厚さ (mm)
	屋 外	屋 内	
土に接しない部分	屋 外	屋 内	30 (20)
	屋 外	屋 内	40 (30)
土に接する部分	屋 外	屋 内	50 (40)
	屋 外	屋 内	60 (40)

- 〔注〕 (1) 耐久性上有効な仕上がりがある場合、工事監理者の承認を受けて 30mm とすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上がりがある場合、工事監理者の承認を受けて 40mm とすることができる。
(3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて 40mm とすることができる。
(4) 軽量コンクリートの場合は、10mm 増しの値とする。
(5) () 内は仕上がりがある場合、改定により標準かぶり厚さは 10mm 増し

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値 1.5d 以上
粗骨材の最大寸法の 1.25 倍以上かつ 25 以上

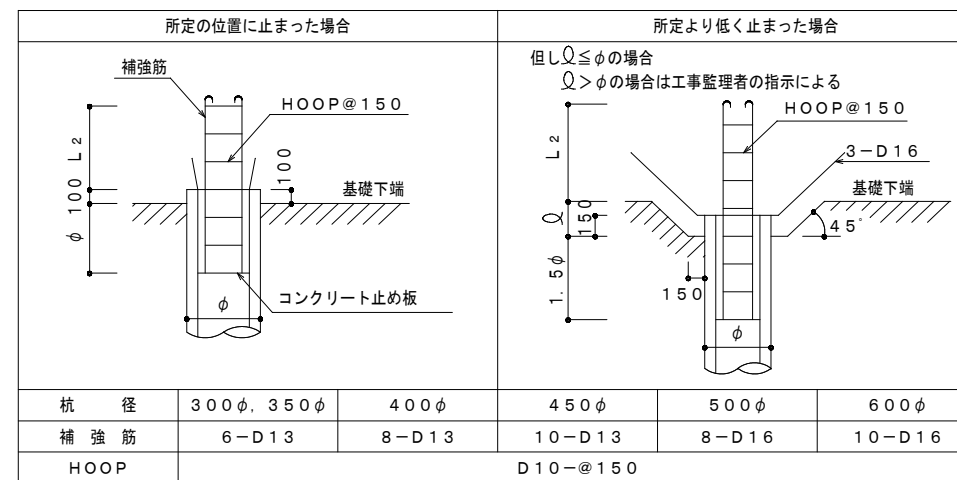


(6) 鉄筋のフック

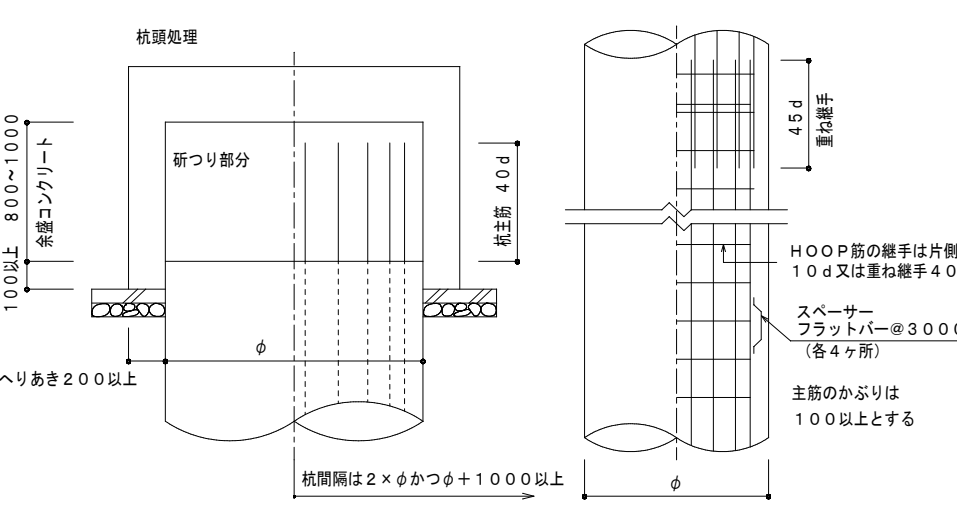
- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
d. 柱、梁 (基礎梁は除く) の出す部分の鉄筋 (右図参照)
e. 単純梁の下端筋
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) P C 杭、又は P H C 杭の全てに補強を行う

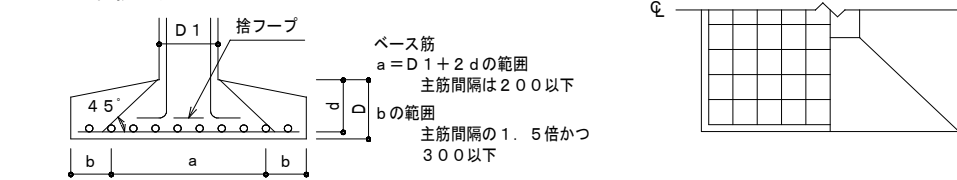


(2) 現場打ちコンクリート杭

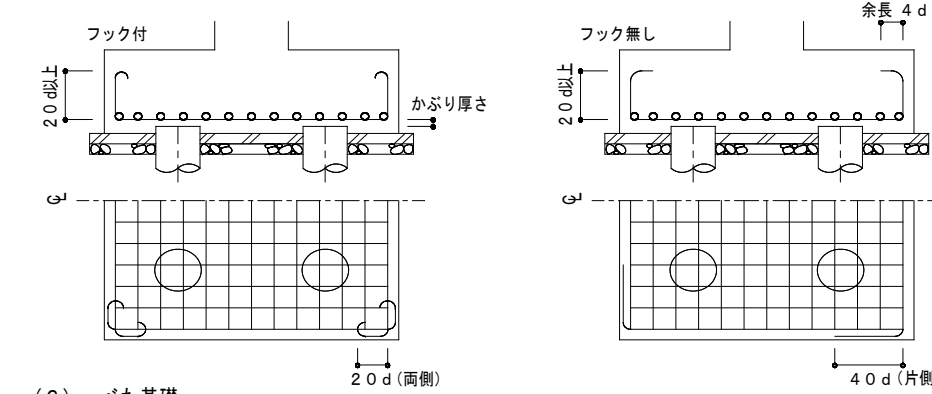


4. 基礎

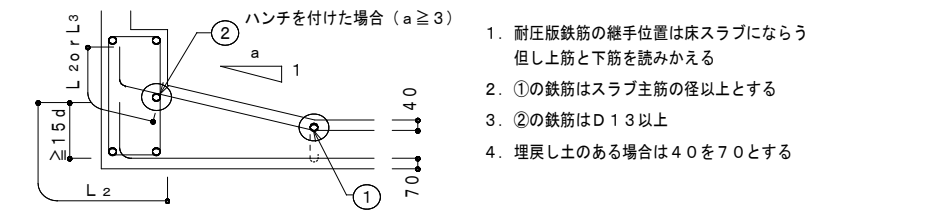
(1) 直接基礎



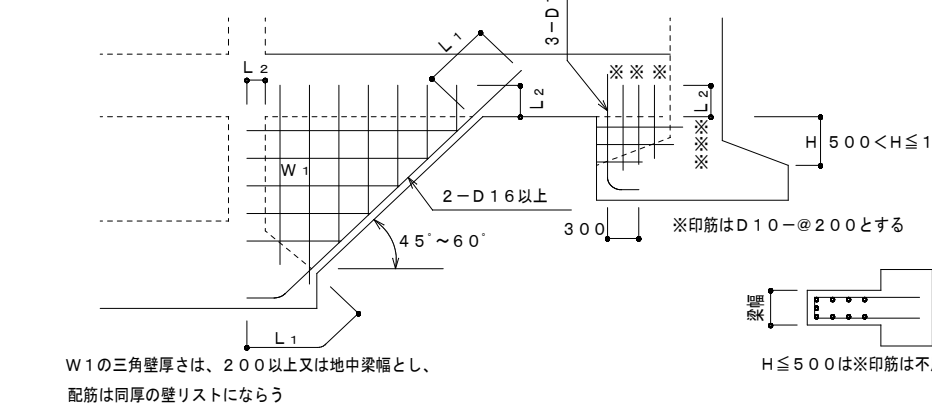
(2) 杭基礎



(3) ベタ基礎

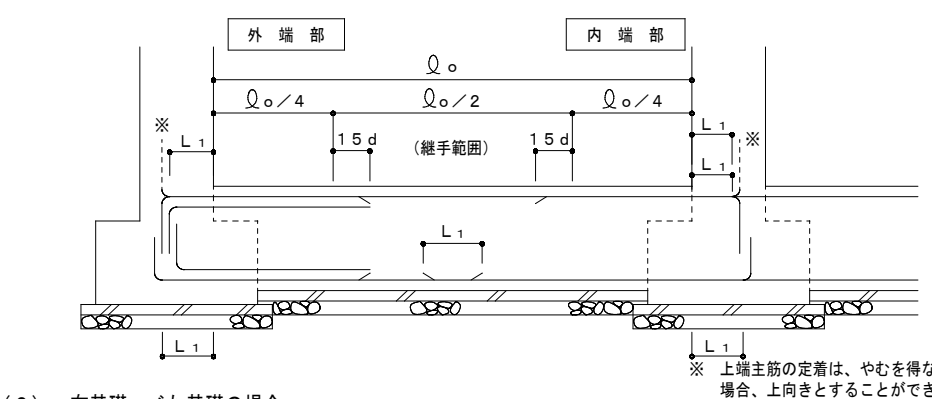


(4) 基礎接合部の補強

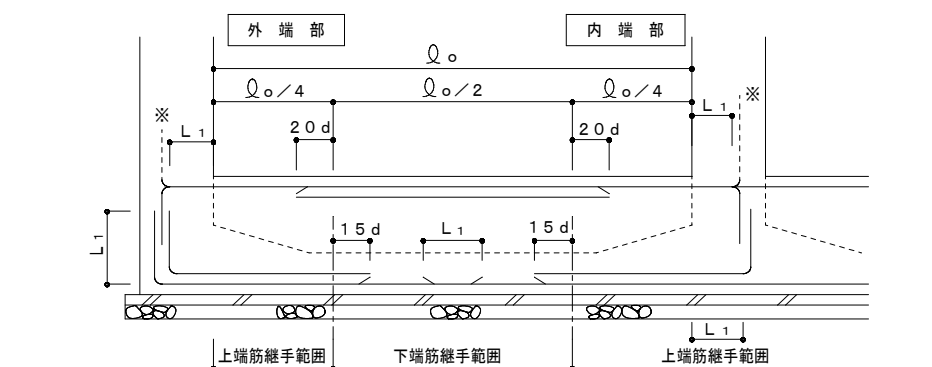


5. 地中梁

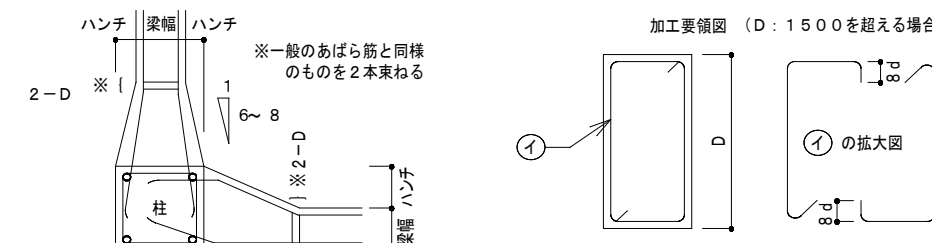
(1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、継手)



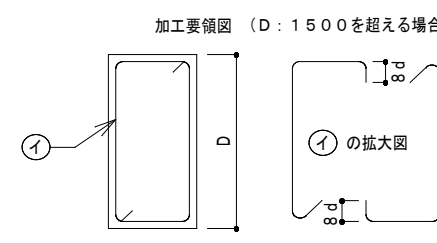
(2) 布基礎、べた基礎の場合 (定着、継手)



(3) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

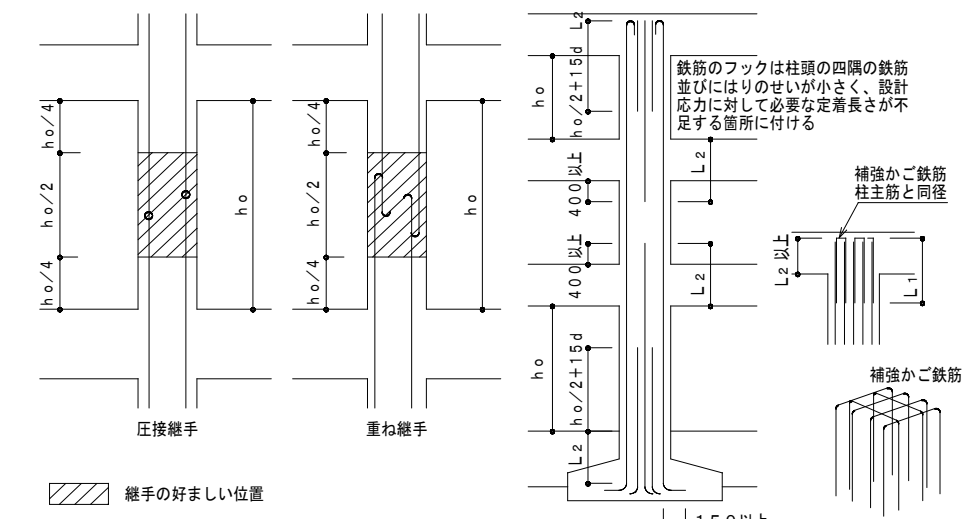


(4) せいの高い梁のあばら筋

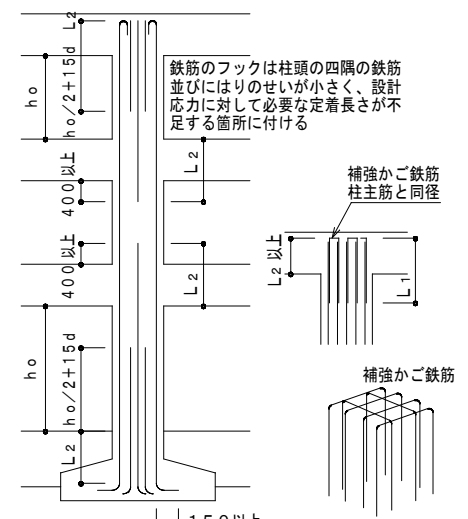


6. 柱

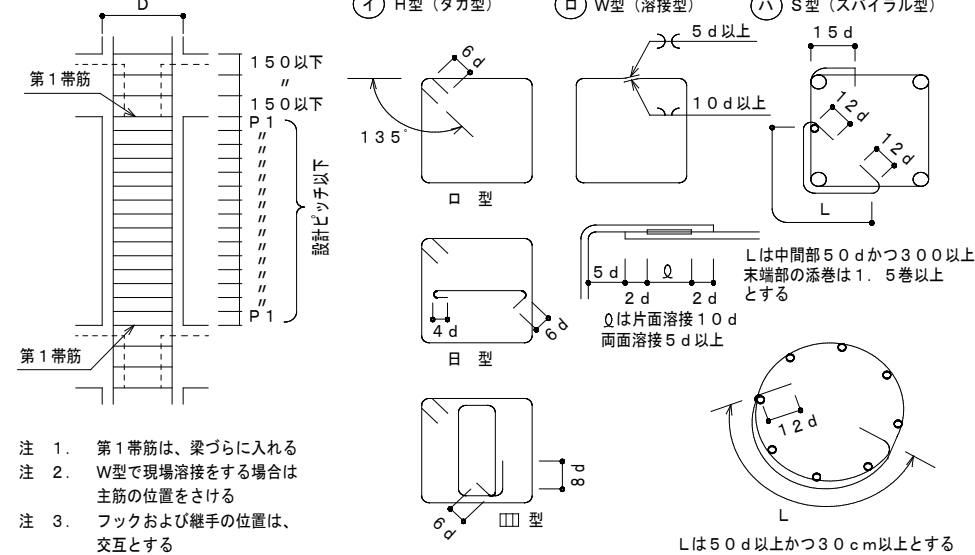
(1) 柱主筋の継手



(2) 柱主筋の定着

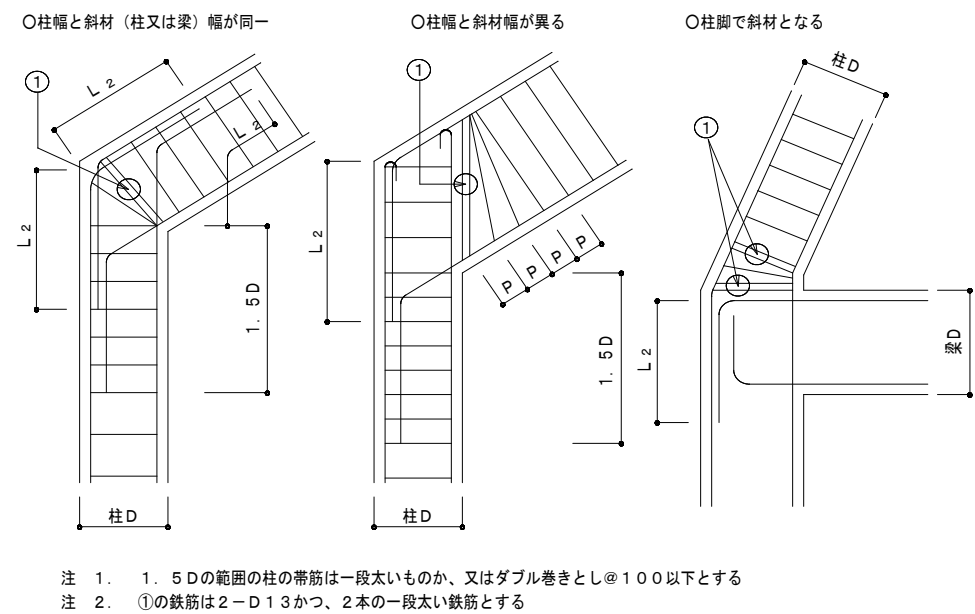


(3) 帯筋



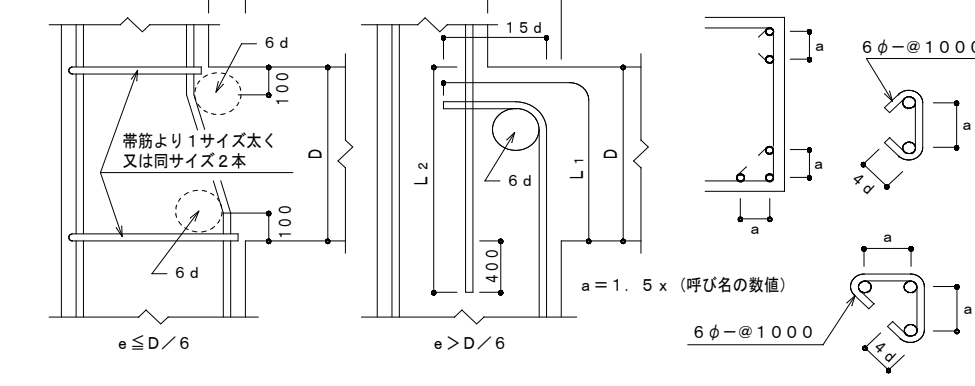
- 注 1. 第 1 帯筋は、梁づらに入れる
注 2. W 型で現場溶接をする場合は、主筋の位置をさける
注 3. フックおよび継手の位置は、交互とする

(4) 斜め柱・斜め梁

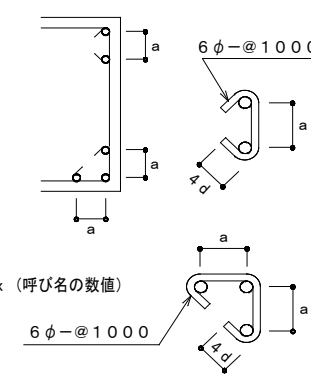


- 注 1. 1. 5D の範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし 100 以下とする
注 2. ①の鉄筋は 2-D 13 かつ、2 本の一段太い鉄筋とする

(5) 絞り



(6) 二段筋の保持



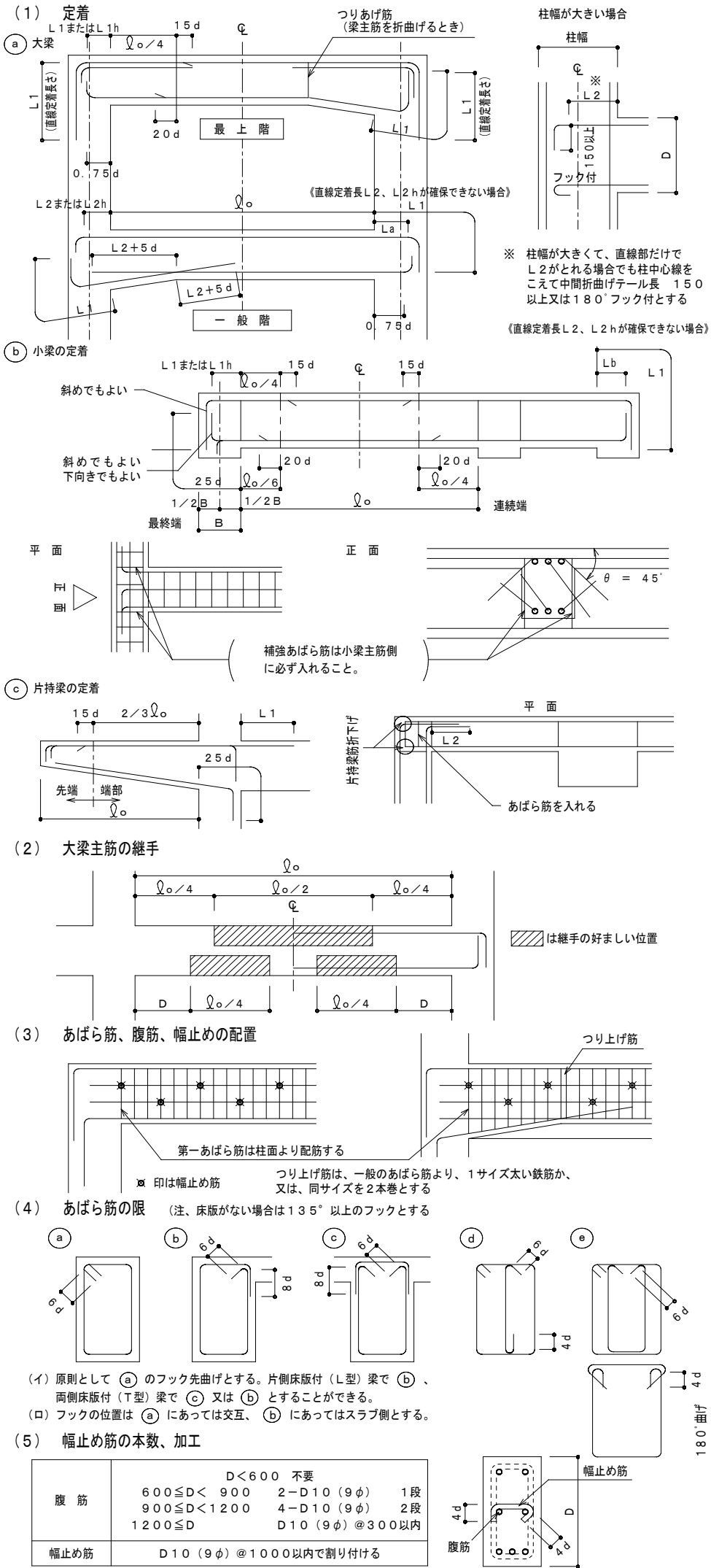
工 事 名	朝 日 ・ 高 根 義 務 教 育 学 校 (仮 称) 整 備 工 事 (建 築)		
図 名	増 築 部 分 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 構 造 配 筋 標 準 図 (1)		
縮 尺	---	番 号	1 6 3 枚 の 内 0 5 7 号
設 計 年 月 日	令 和 8 年 3 月		
設 計	有 限 会 社 ア ブ ・ デ ザ イ ン 一 級 建 築 士 大 臣 登 録 第 204116 号 栗 本 智 秀		
高 山 市			

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

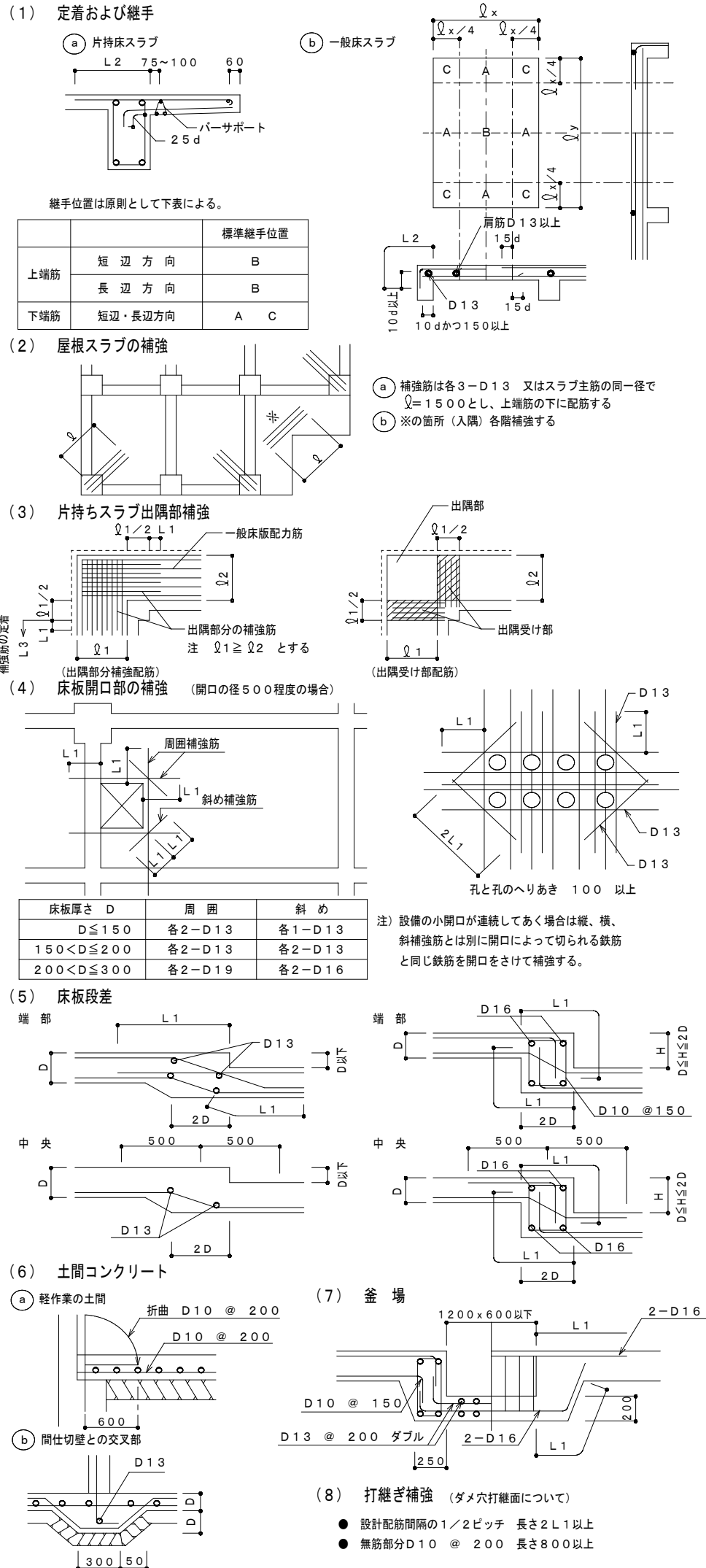
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）の２～（３）による。

7. 大梁、小梁、片持梁

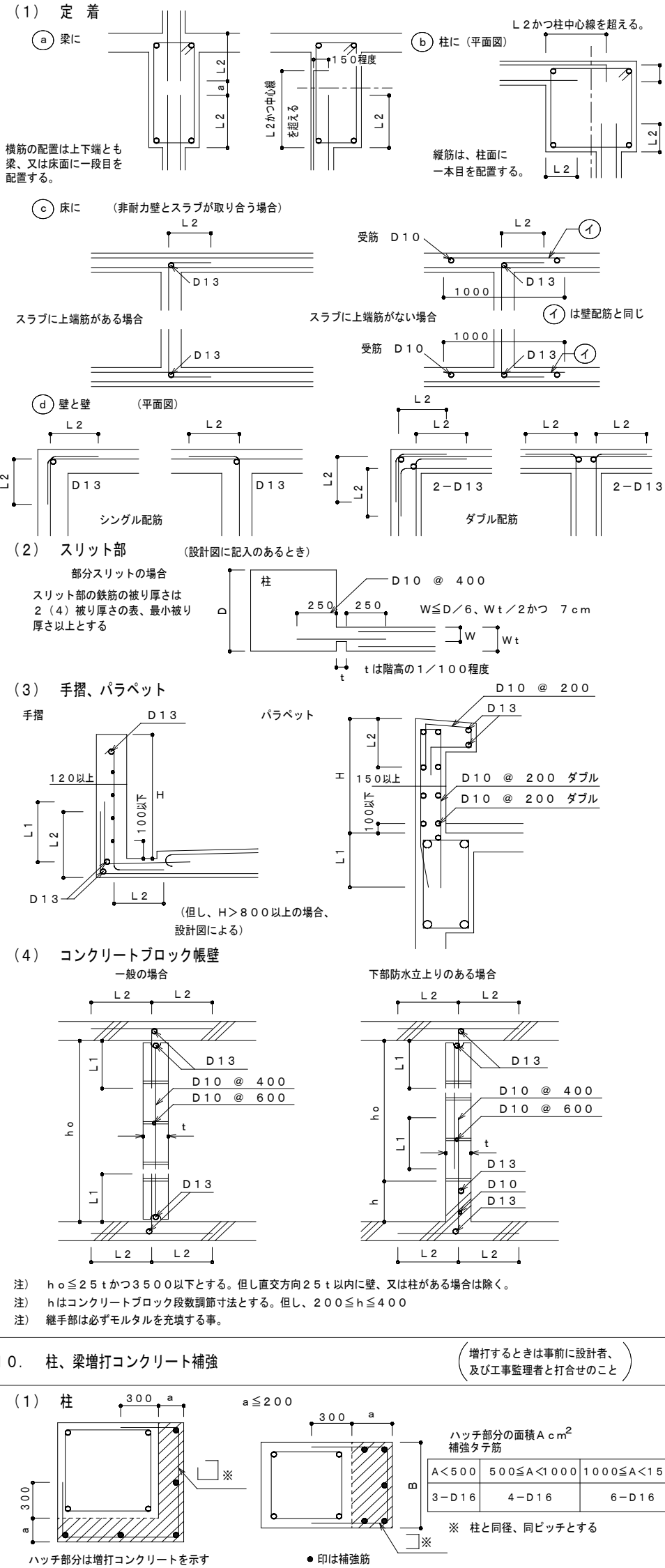
〔鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１） 2. 鉄筋架構（３）鉄筋の定着及び重ね継手の長さ による〕



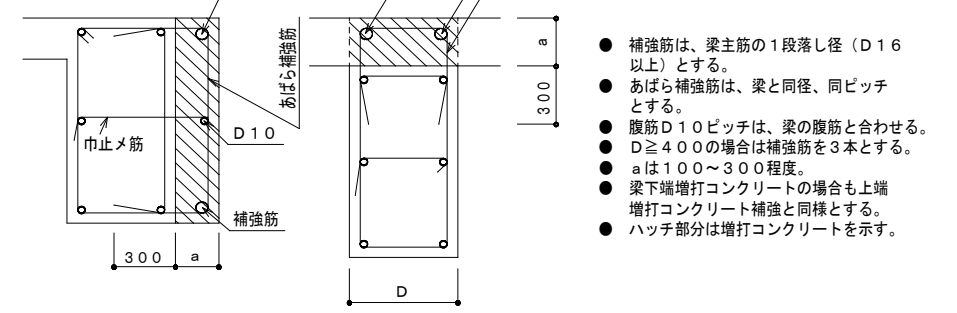
8. 床板



9. 壁

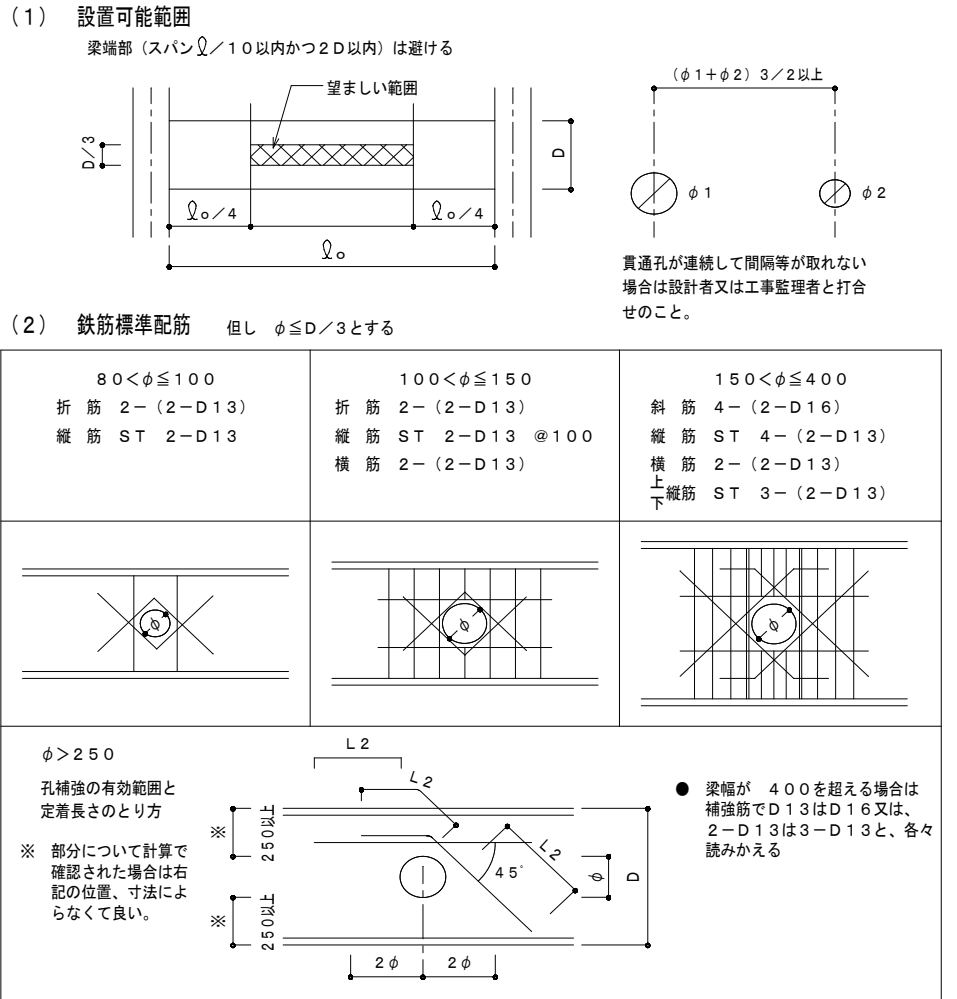


(2) 梁



11. 梁貫通孔補強

〔注〕設置可能範囲及び補強筋タイプは、採用する既製品の仕様による

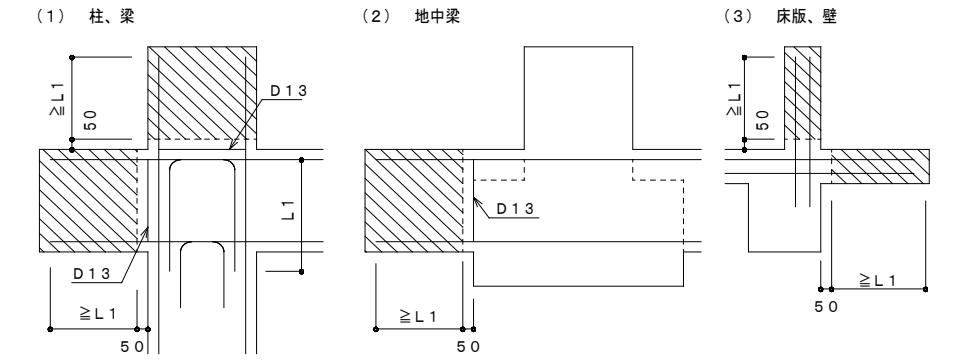


(3) 既製品

□ リング型 □ バイブ型 □ 金網型 □ プレート型

12. 増築予定

〔将来増築予定コンクリート増打部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する〕



13. 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号は下表による。

記号	●	×	●	○	◎	⊗
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25
丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ

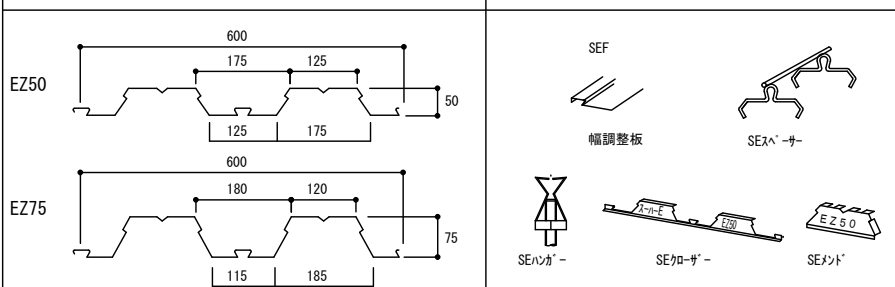
工 事 名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)		
縮 尺	---	番 号	163枚の内 058号
設 計 年 月 日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

合成スラブの設計・施工は(社)日本鉄鋼連盟編「デッキプレート床構造設計・施工規準-2004」(社)日本建築学会編「各種合成構造設計指針・同解説」、(社)日本建築学会編「建築工事標準仕様書・同解説のうち」ASS5鉄筋コンクリート工事及びASS6鉄骨工事、合成スラブ工業会編「大臣認定・無被覆耐火構法 合成スラブの設計・施工マニュアル」、日鐵住金建材デッキプレートカタログ及び設計・施工便覧による。

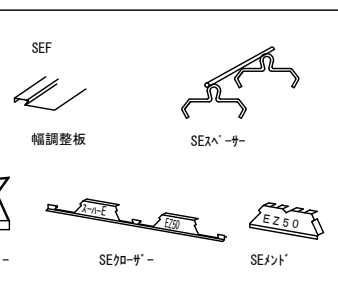
1. 設 計

デッキプレート	品名	EZ50 □ EZ75
	板厚および表面処理	板厚(mm) 表面処理 仕様 種類の記号*
コンクリート	設計基準強度(N/mm ²)	□ 18 □ 21 □ 24
	デッキ山厚さ(mm)	□ 70 □ 80 □ 85 □ 90
溶接金網または異形鉄筋	溶接金網(JIS G3551)	□ φ6-150 □ φ6-100 □ []
	異形鉄筋(JIS G3112, G3117)	□ D10-200 □ []
スーパーEデッキ用システム部品	SEXペーシ	□ SEXペーシ □ SEXノギ
	デッキプレート端部仕様	□ エッジ □ 小口ナギ
種 類	注 記	
	種、長さ、ピッチは構造図による。梁とデッキとの接合はアークスポット溶接等による。(焼抜き栓溶接は不要)	
梁との接合形式	焼抜き栓溶接	□ SPW : 標準溶接径 18mm以上 ※溶接位置等は特記による。
	びょう打ち	□ 接合位置は特記による。構造認定を受けた発射打込みびょうを使用すること。

デッキプレート形状・寸法



システム部品



2. 耐 火 設 計

耐火区分	認定番号	認定条件		断面仕様	はり構造
		使用条件	認定条件		
床 2 時間	FP120FL-9108	連続支持	2.7 以下 <式1>	EZ50	φ6- 100X100 または D10- 200X200
			3.4 以下 <式2>	EZ75	φ6- 100X100 または D10- 200X200
床 1 時間	FP120FL-9114	単純支持	2.7 以下 <式1>	EZ50	φ6- 100X100 または D10- 200X200
			3.4 以下 <式2>	EZ75	φ6- 100X100 または D10- 200X200
床 1 時間	FP060FL-9096	連続支持	3.4 以下 <式2>	EZ50	φ6- 100X100 または D10- 200X200
			3.6 以下 4.4	EZ75	φ6- 100X100 または D10- 200X200
床 1 時間	FP060FL-9102	単純支持	2.7 以下 <式1>	EZ50	φ6- 100X100 または D10- 200X200
			3.4 以下 <式2>	EZ75	φ6- 100X100 または D10- 200X200

※注意 *3 許容スパンは鉄骨梁で支持する場合はその空間距離とし、RC梁で支持する場合は梁の内法寸法とすること。本表の許容スパンは耐火認定の条件であるので、別途施工時の許容スパンを確認すること。

*4 許容荷重は、スラブ自重(デッキプレート+コンクリート+鉄筋)を要した数値である。

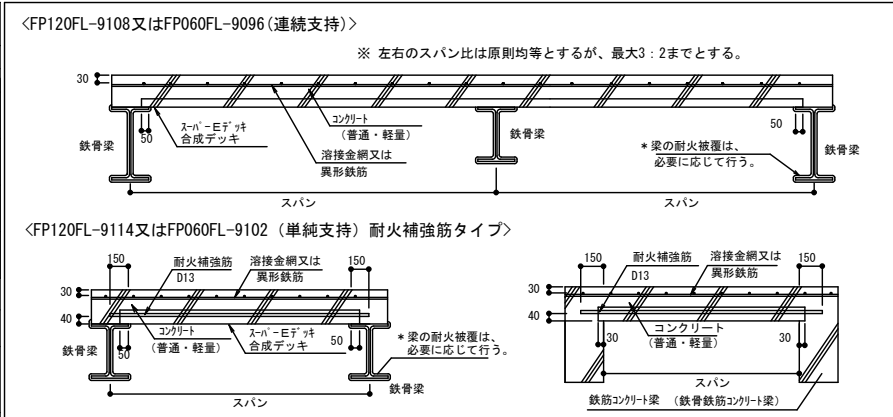
*5 鉄筋は、0.2%以上としなければならない。同時打ちでスラブ層打ちをする場合は注意すること。

*6 デッキプレートの梁へののり込み代を30mm以上とすること。端部補強(D13以上、L=1m)を梁への定着長さ150mmで配すること。ただし、耐火補強筋(※6参照)を用いる場合は端部補強筋は不要。

*7 スパンが3.4mを超える場合は、梁との接合部に埋付きスタッド(径16mm以上、ピッチ300mm以下)を使用すること。

*8 耐火補強筋(D13)をデッキプレートの全周中継ぎに40mmで配すること。

*9 この耐火条件に適合しない場合は、FP060FL-9128あるいはFP120FL-9129(収付けナギ+被覆耐火構造)を適用すること。



3. 施 工

- 1 割付け計画
工法・工程・割付け計画をたてる。(図1)
※S造の場合、耐火認定上のスパンは梁間距離とする。
- 2 搬入・保管・揚重・仮置・墨出し
(a) 揚重は2点吊りとし、デッキプレートをワイヤで吊り下げようとする。
(b) 梁上を清掃し、所定の位置に墨出しをする。
- 3 敷込み・仮止め
(a) デッキ相互をカン合せながら敷込む。
(接合部で幅調整をしてはならない。)
(b) 幅方向の調整は、幅調整板(フラッシング)を用いる。
(c) デッキプレートと大梁との接合ができるように、デッキプレート山部が梁上にこないように納める。(図2)
- 4 デッキプレートと梁との接合
(a) 敷込み完了後等で飛ばないように、デッキと梁をアークスポット溶接等で接合する。
(b) 埋付きスタッドの施工はJASS6による。
(c) 焼抜き栓溶接の施工位置は特記による。特に指定がない場合は、図3の要領で行う。
(d) 施工者は焼抜き栓溶接講習会を受講した方が望ましい。
(e) 発射打込みびょうの施工は発射打込みびょうメーカーの施工要領による。施工位置は特記による。
※構造認定を受けた発射打込みびょうメーカー・日本ビルティ(株)・日本パワーファスニング(株)

デッキプレート幅方向	デッキプレートスパン方向 溶接ピッチ(P)	溶接ピッチ(P) : 特記無き限り600mm以下とする。
(大梁) 接合部位置	中間部位置	端部位置
(小梁) 接合部位置	中間部位置	端部位置
(大梁) 接合部位置	中間部位置	端部位置
(小梁) 接合部位置	中間部位置	端部位置

(f) 焼抜き栓溶接(SPW)の溶接条件及び溶接機器仕様

項目	溶接方法
溶接作業資格	JIS Z 3801基本級以上又はJIS Z 3841基本級以上
溶接棒及び溶接材料	低水素系溶接棒φ4mm
溶 接 機	交流アーク溶接機AW250A以上又はエンジン溶接機230A以上
標準溶接電流(A)	1.2~1.6
溶接電圧(V)	6 以上
アークタイム(sec)	8~12
溶接径(mm)	18 以上

(g) 焼抜き栓溶接 1箇所当り短期せん断耐力(単位: N)

デッキ板厚	1.2mm	1.6mm
SPW	7,350	11,025

(h) 発射打込みびょう 1箇所当り短期せん断耐力(単位: N)

デッキ板厚	1.2mm	1.6mm
打込みびょう	4,000	5,300

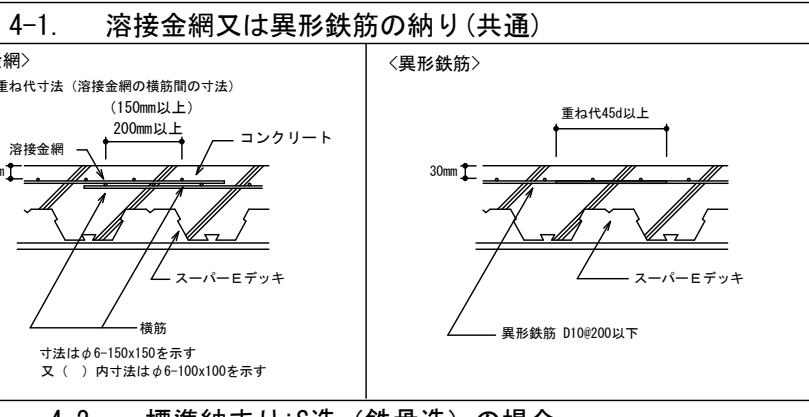
(i) 小口ふさぎ・コンクリート止め
小口ふさはデッキプレートの溝をふさがない独立したものを使用する。(図4) 又は、エンドクローズ製品を用いる。

(j) 開口部補強
開口部まわりは必ず鉄筋等で補強する。(5. 開口部補強を参照。)

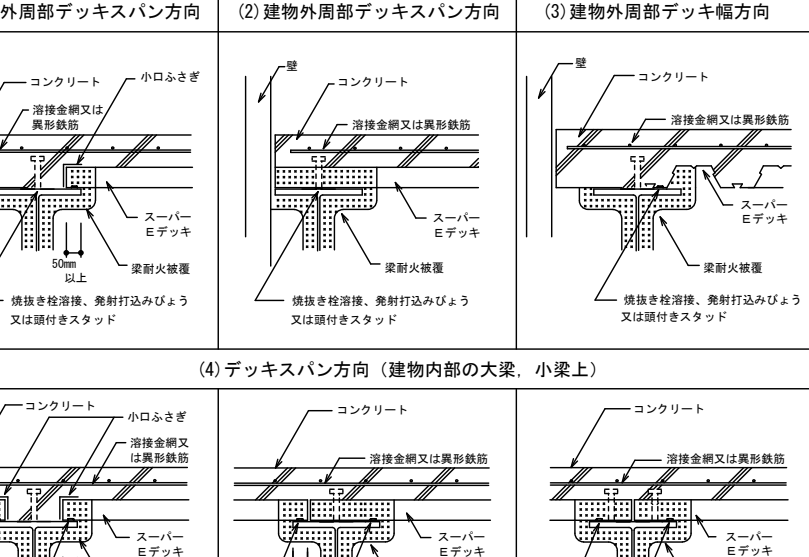
(k) 溶接金網又は異形鉄筋
(a) 規定のサイズを床全面に配筋する。(図5)
(b) かぶり厚さを確保するスペーサーを1m以内に設置する。
(c) 溶接金網の継手は(1メッシュ+50mm)以上重ねる(図6)
(d) 異形鉄筋の継手はJASS5による。

(l) コンクリート打設
(a) コンクリート打設前にデッキプレート面を充分清掃する。
(b) 単位水量の少ない、スランプの小さいコンクリートを急に打設する。

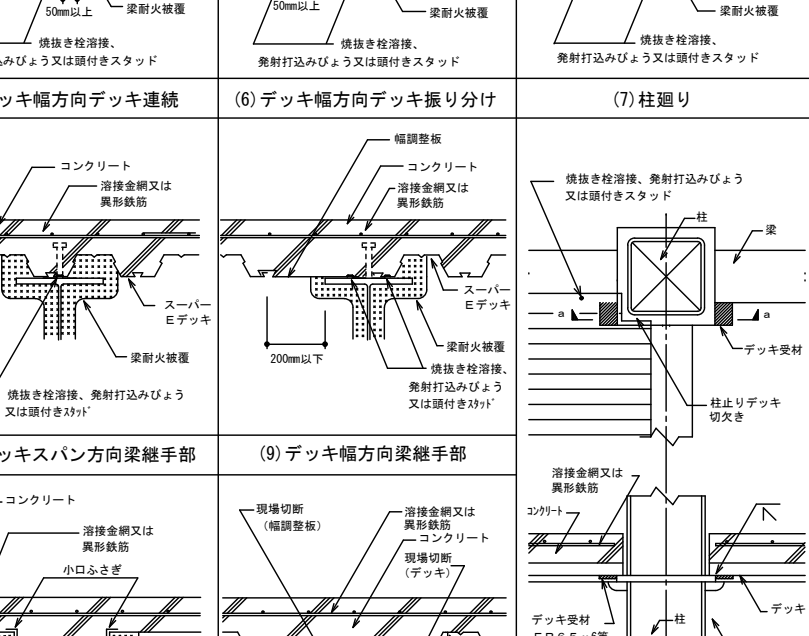
(m) 養生
(a) コンクリートの初期乾燥収縮を防ぐ為、湿潤養生する。
(b) コンクリートの強度がまでは、床面に重荷物を置いたり振動を与えたりしない。



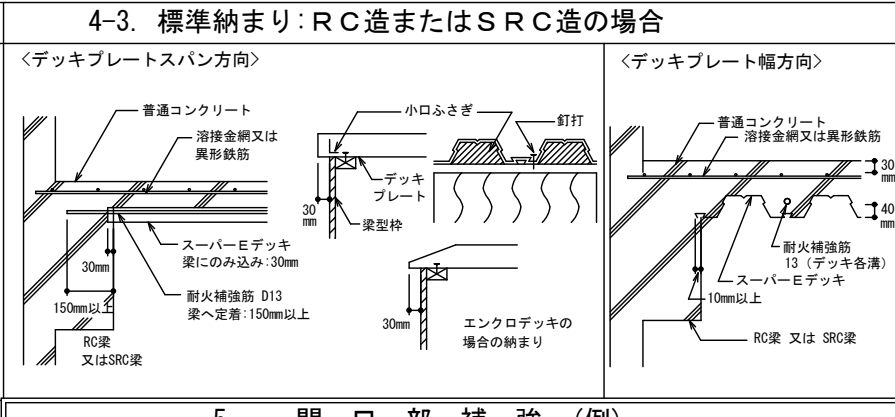
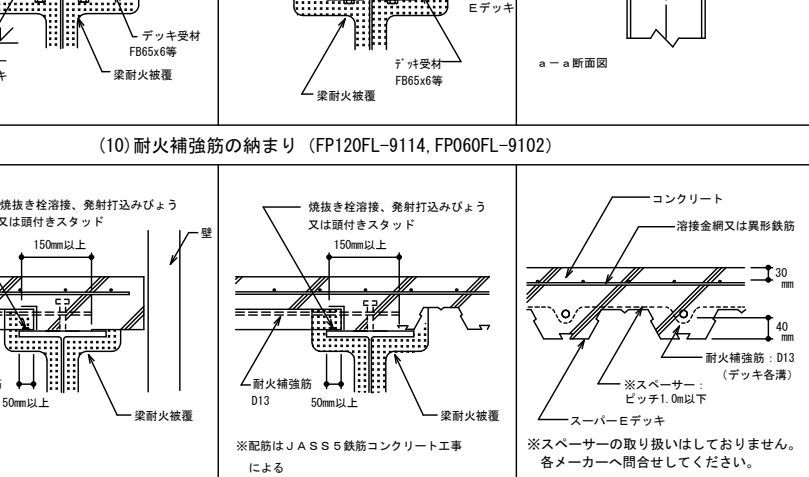
4-2. 標準納まり:S造(鉄骨造)の場合



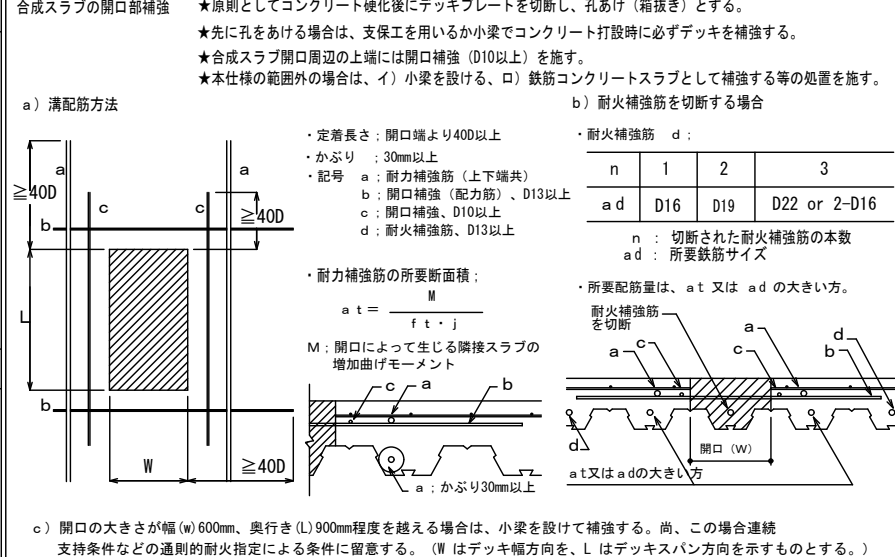
4-3. 標準納まり:RC造またはSRC造の場合



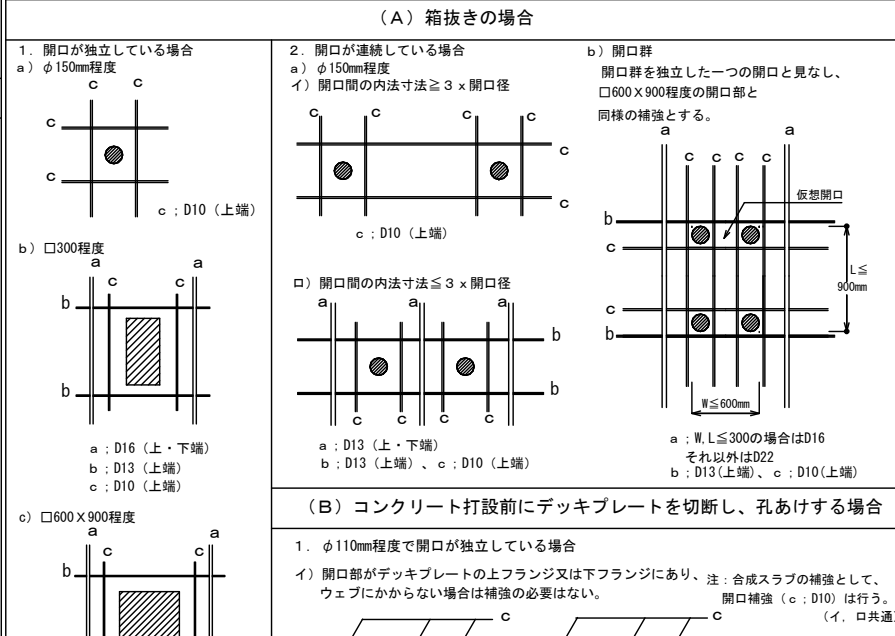
4-4. 標準納まり:RC造またはSRC造の場合



5. 開口部補強(例)



(A) 箱抜きの場合



(B) コンクリート打設前にデッキプレートを切断し、孔あけする場合



6. ひび割れ拡大防止のための留意点(参考)

以下のひび割れ拡大防止の対策は、必要に応じて行なって下さい。

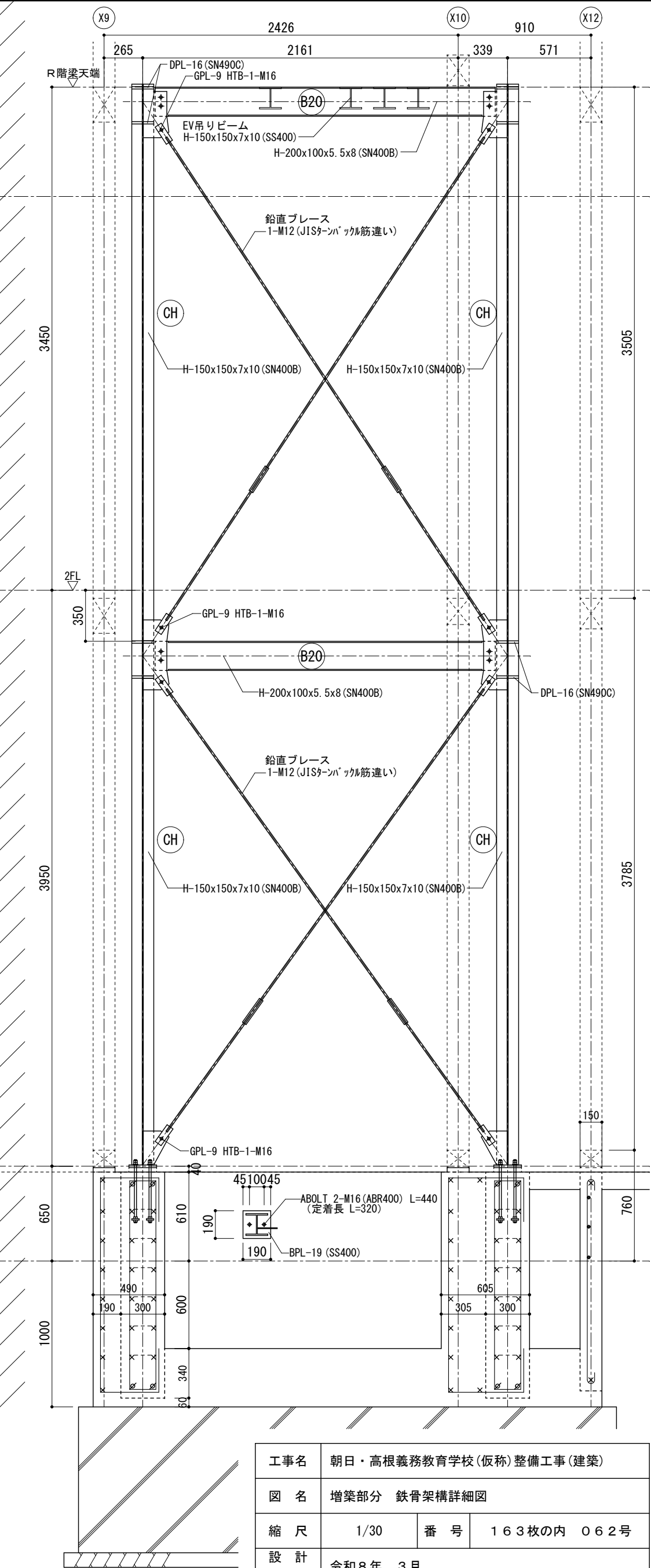
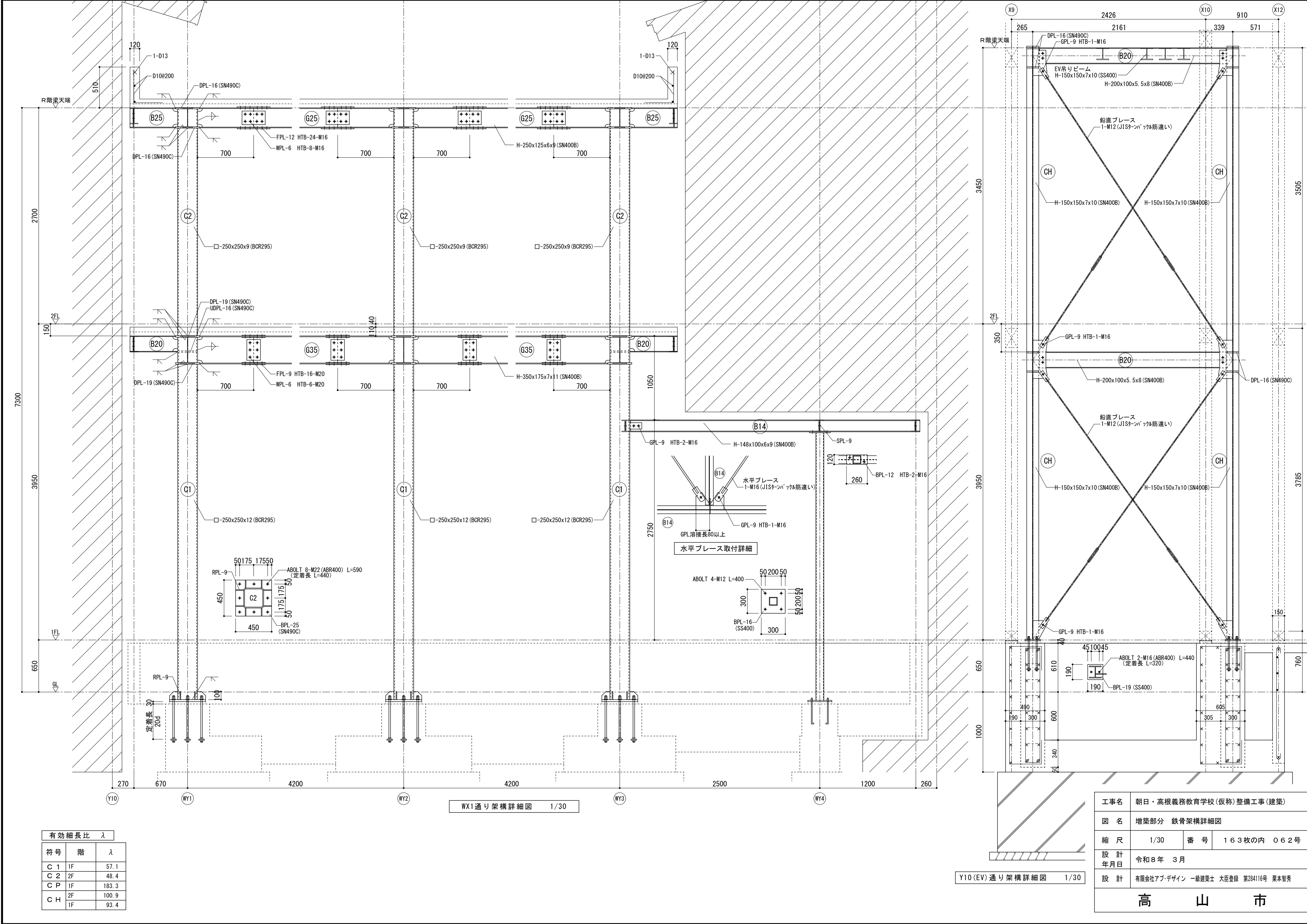
(A) 設計上の留意点

1. 小梁の剛性を大きくする。
2. ひびわれ拡大防止のため補強筋を設ける。(右図)
3. スパンとスラブ厚さの比を小さくし、配筋量を大きくする。

(B) 施工上の留意点

1. デッキプレートは各所で梁に接合する。
2. 溶接金網は、所定の位置に配する。
3. 水セメント比の小さいコンクリートを用いる。
4. コンクリート打設後初期には湿潤養生を行い充分な養生期間を設ける。
5. 早期に載荷したり、振動を与えない。

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	増築部分 合成デッキ施工要領図		
縮 尺	---	番 号	163枚の内 061号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブデザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		

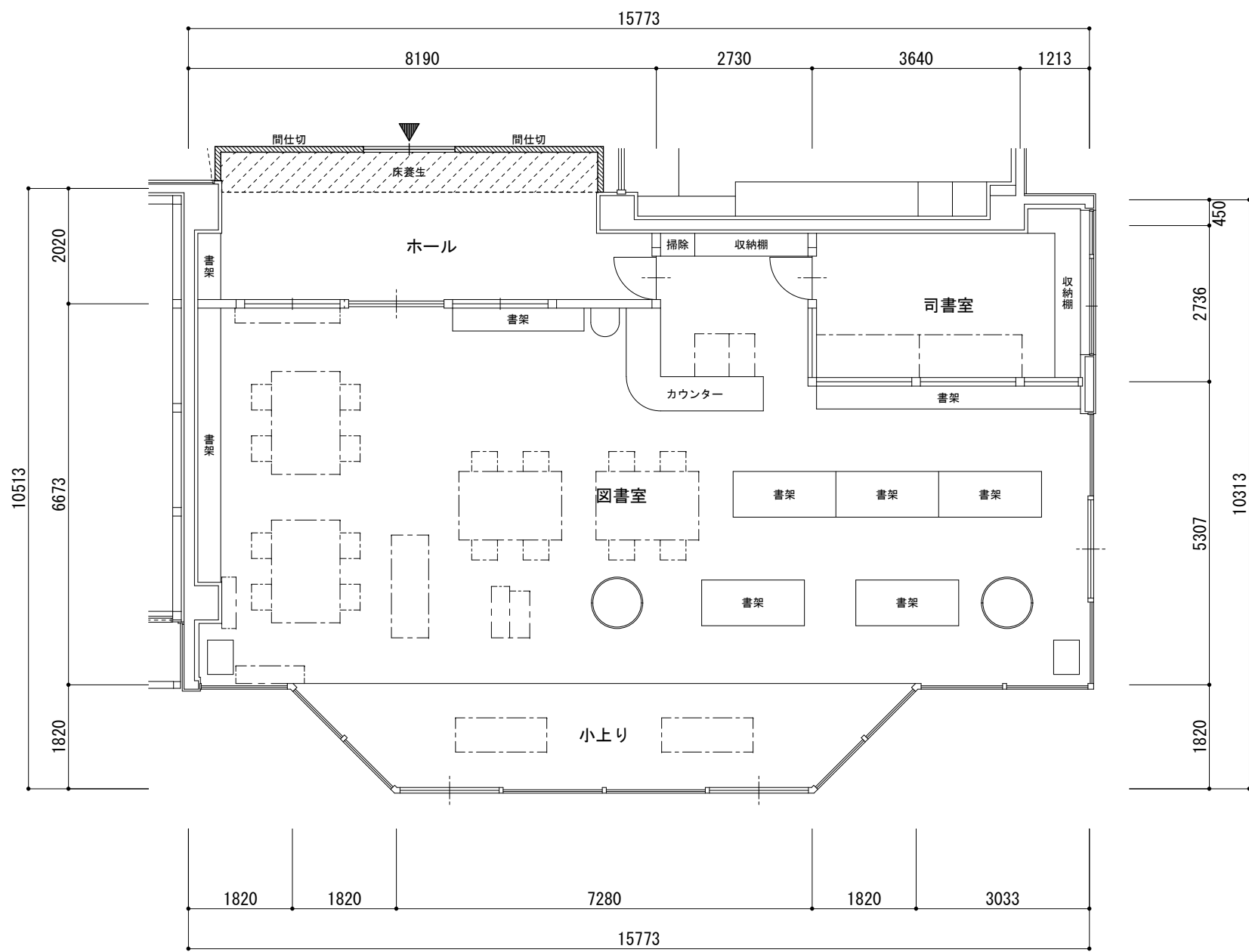


Y10(EV)通り架構詳細図 1/30

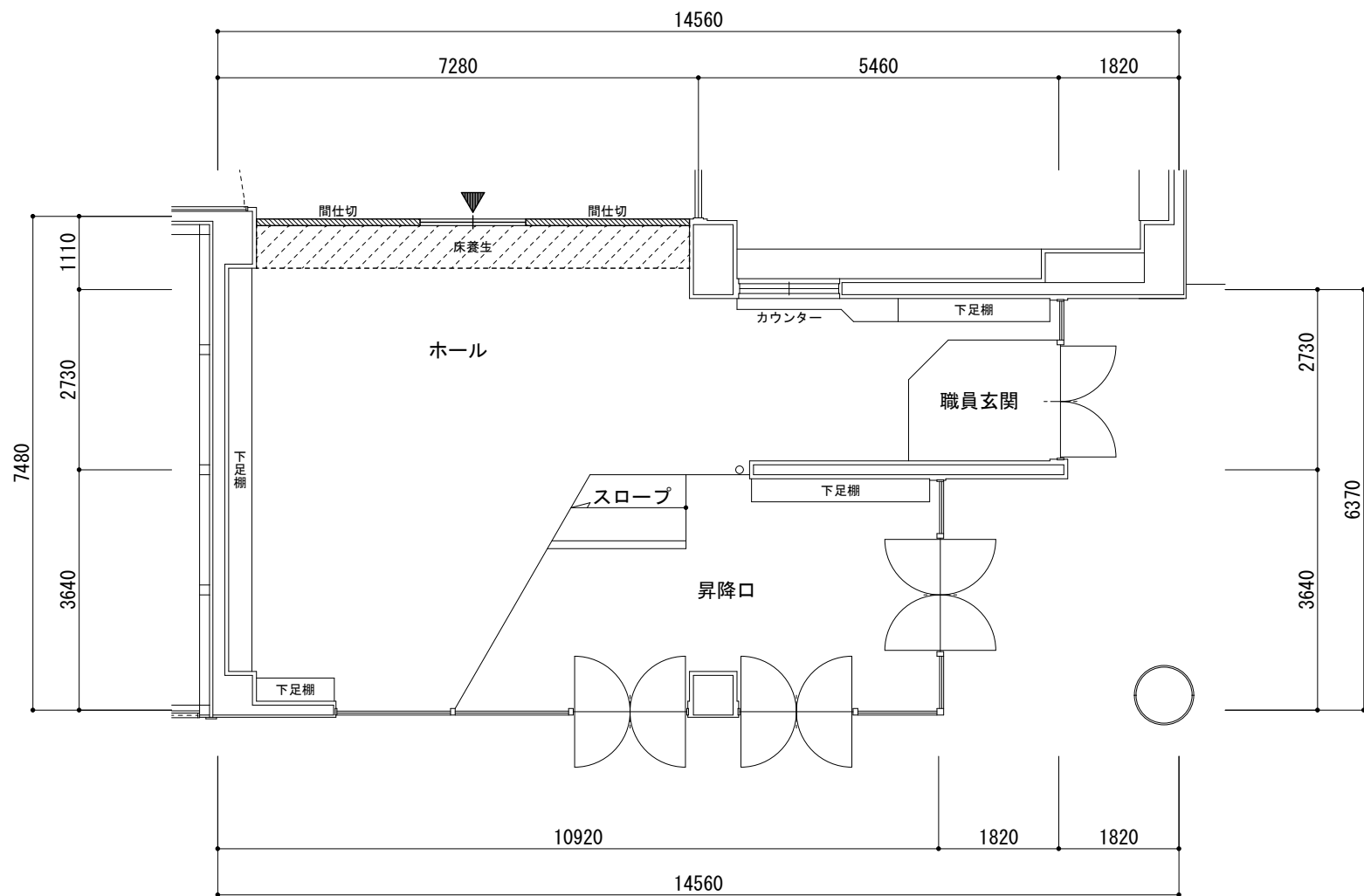
WX1通り架構詳細図 1/30

有効細長比 λ		
符号	階	λ
C 1	1F	57.1
C 2	2F	48.4
C P	1F	183.3
C H	2F	100.9
C H	1F	93.4

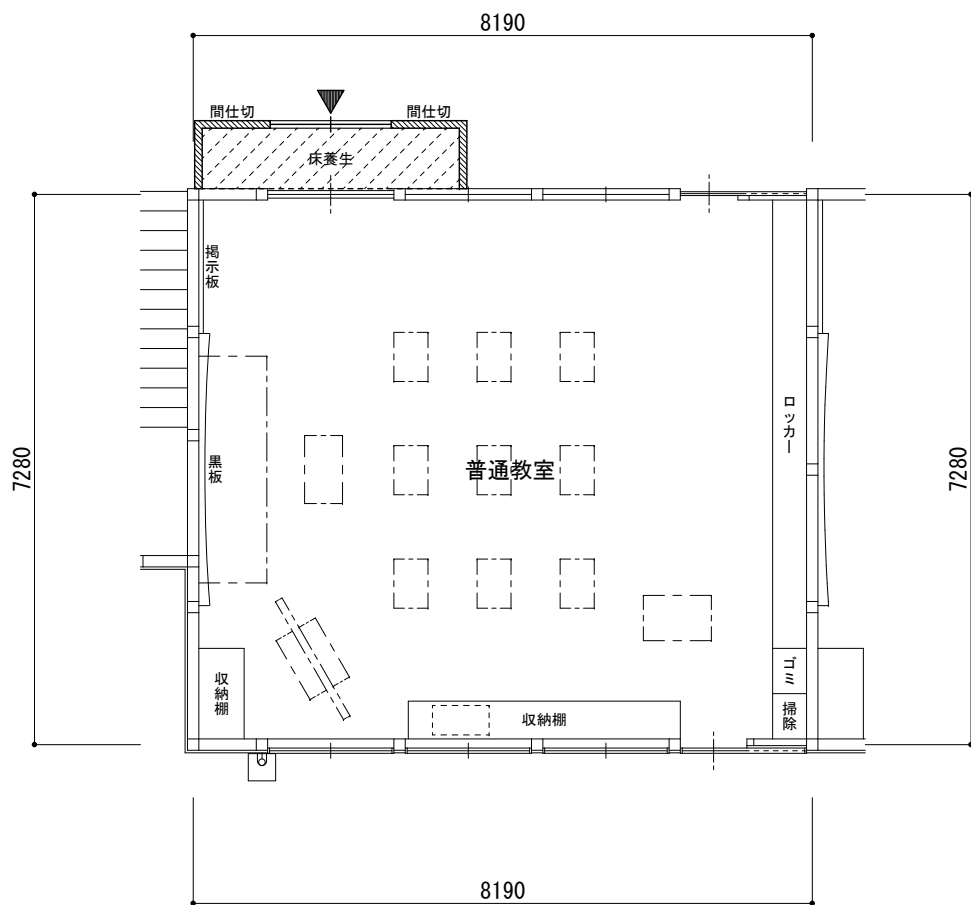
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称) 整備工事(建築)		
図 名	増築部分 鉄骨架構詳細図		
縮 尺	1/30	番 号	1 6 3 枚の内 0 6 2 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



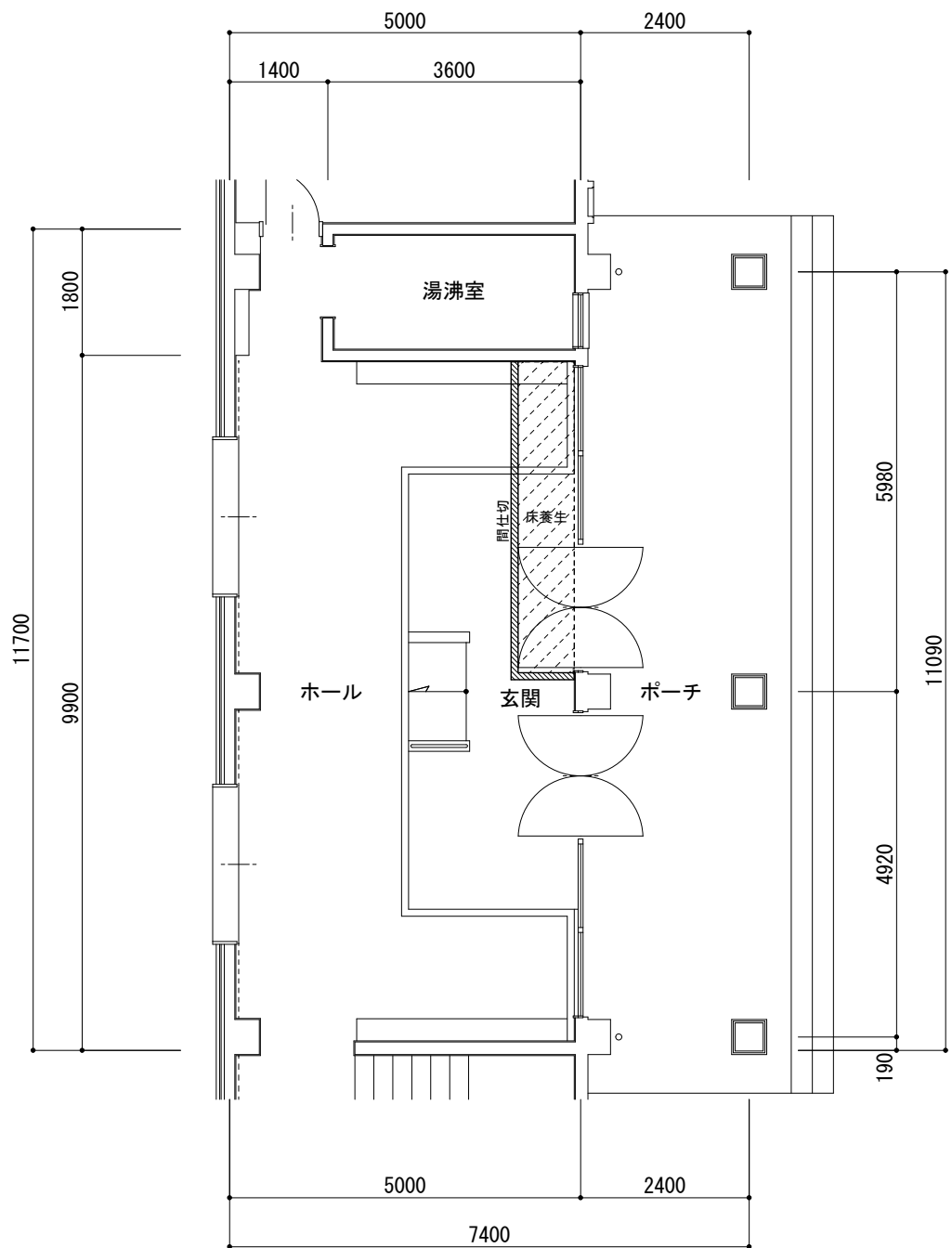
2階図書室平面図 1/100



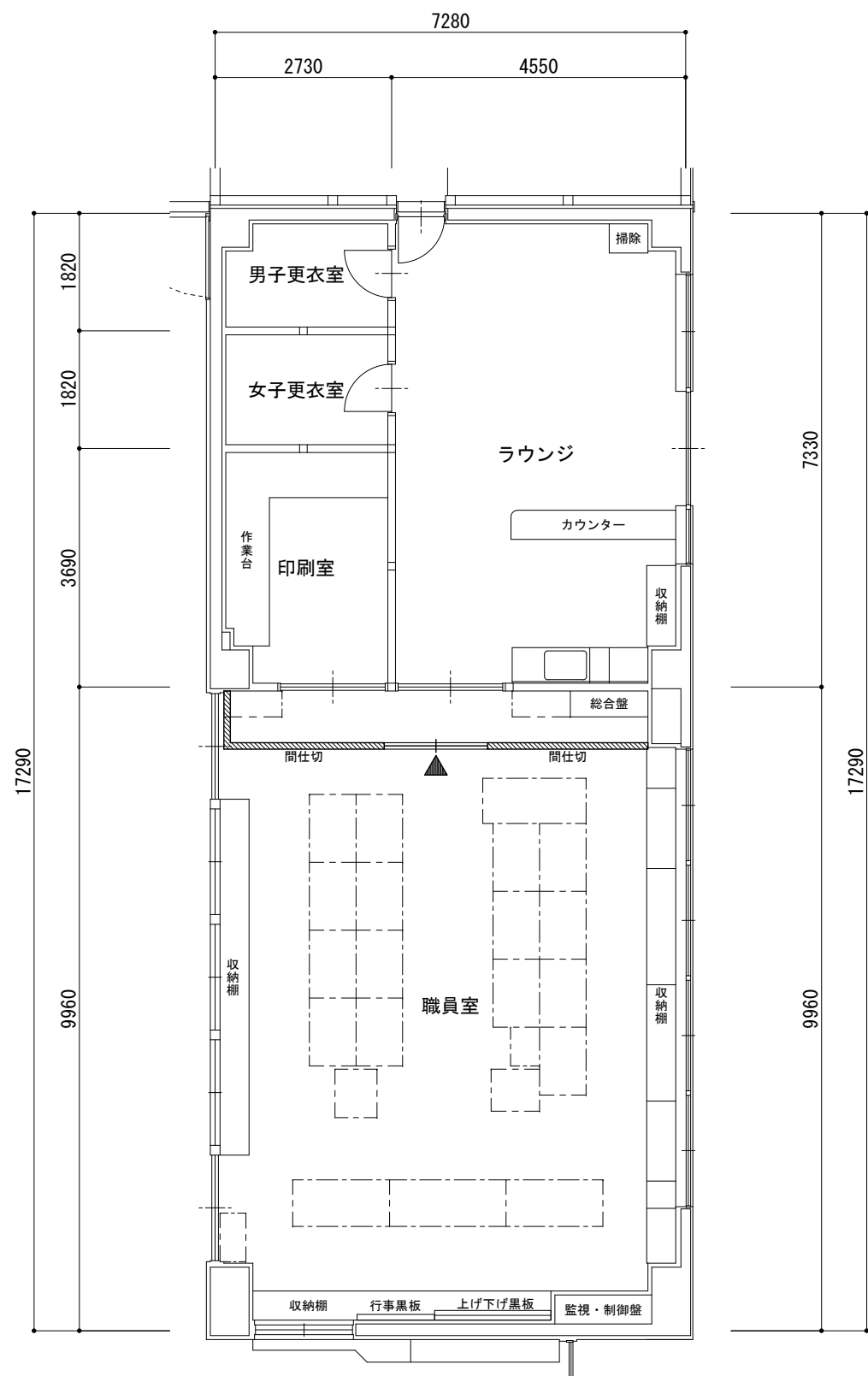
1階昇降口平面図 1/100



1階普通教室平面図 1/100



屋外運動場平面図 1/100



1階職員室平面図 1/100

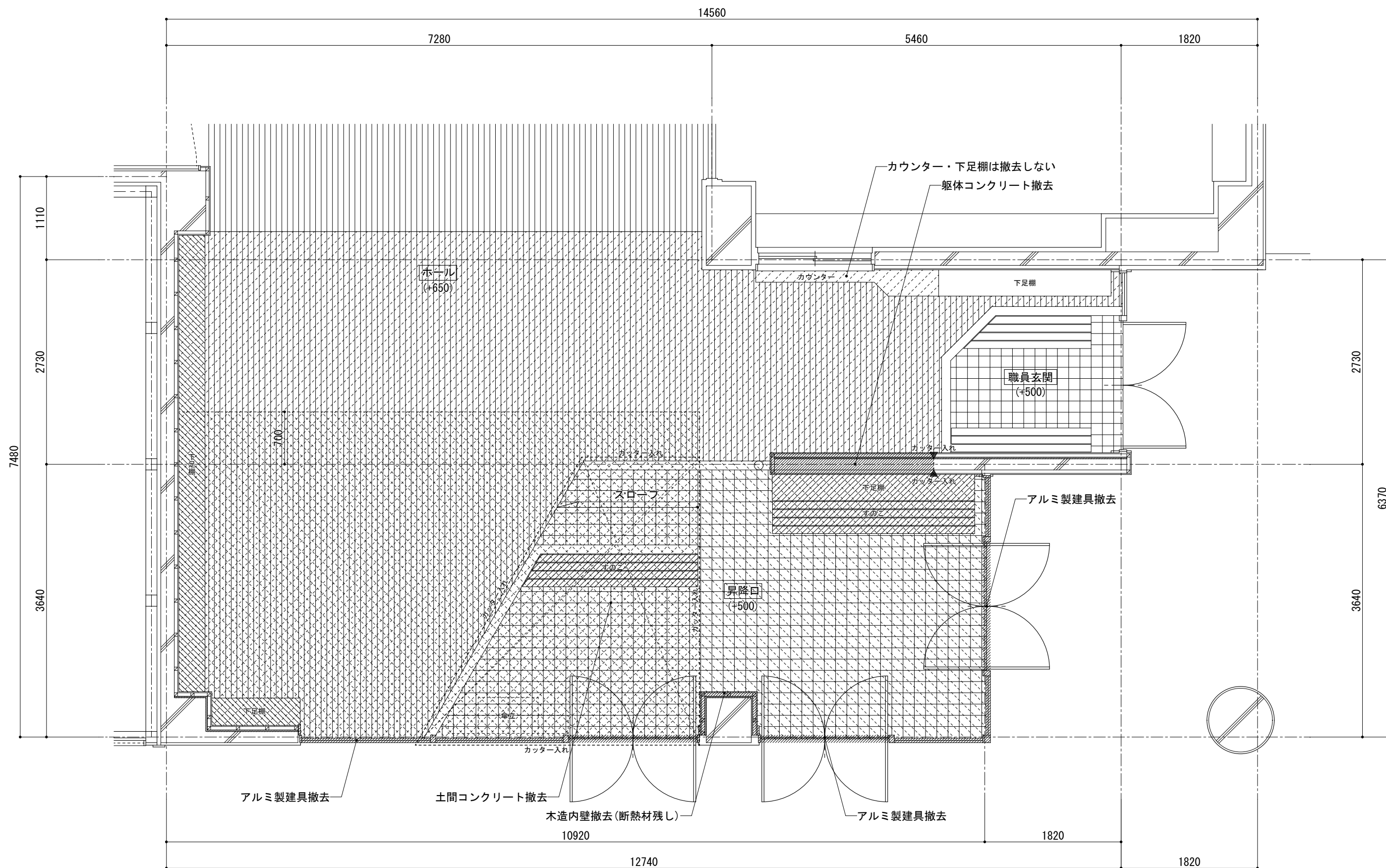
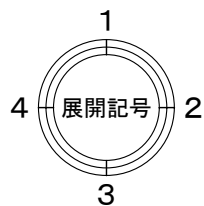
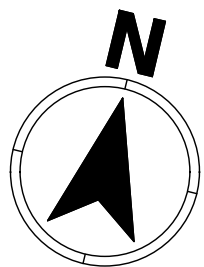
仮設計画一覧表		
記 号	名 称	仕 様
	床養生	養生シート敷、ベニヤ下地
	仮設間仕切壁	石膏ボード + 軽量鋼製壁下地 ※防塵養生
	出入口	引違い戸 または 片開き戸
	搬出入口	資材の搬出入及び作業員の出入口を示す。

仮設について

- 外部出入口から搬出入口までの経路において、既設床仕上に損傷を与える恐れがある場合は養生シート敷等の床養生を行うこと。
- 仮設間仕切壁は床面や天井面へ留付けなくてもよいが、既設仕上部分に損傷を与えた場合は原形復旧すること。
- 工事完了後建物引渡し前に施工箇所及び隣接する部分で工事中のホコリ等で影響を与えた箇所の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。

その他の床養生について
・壁面の改修を行う部分は、壁面から1mの部分の床養生を行う。
・天井面の改修を行う部分は、天井面の真下部分の床養生を行う。

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	改修部分 仮設計画図(参考)		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 6 3 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



改修前 1 階平面詳細図 1/50

()内は設計 G L を±0とした床仕上面までの高さを示す。

凡 例



床仕上撤去 (下地含む全て)



床仕上撤去 (鋼製東下地・合板残し)

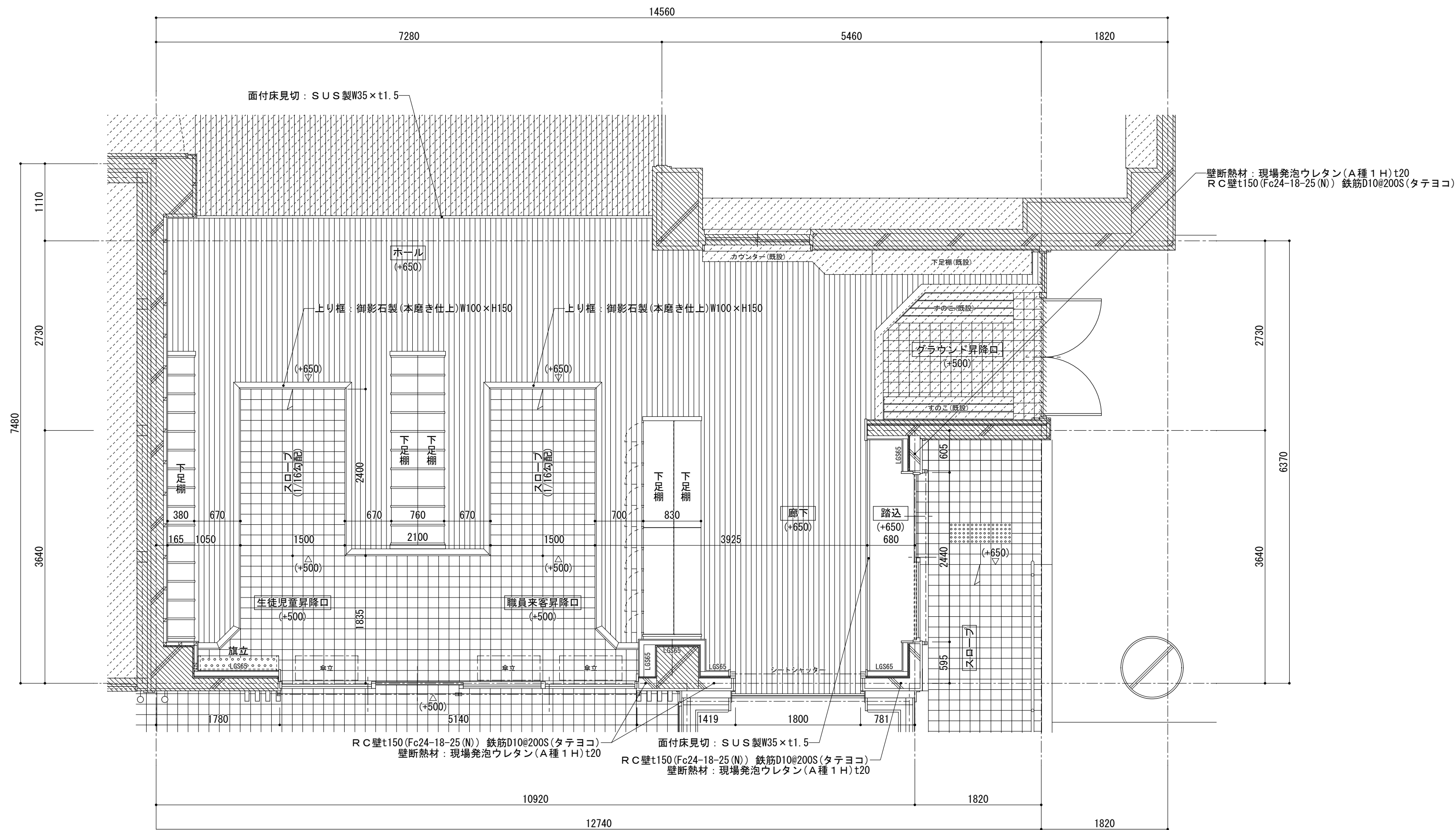
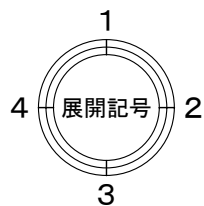
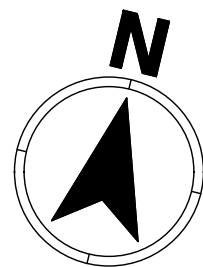


床仕上撤去 (土間コンクリート残し)



建具・家具等撤去

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	改修部分 昇降口平面詳細図(1)		
縮 尺	1/50	番 号	1 6 3 枚の内 0 6 5 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



改修後 1 階平面詳細図 1/50

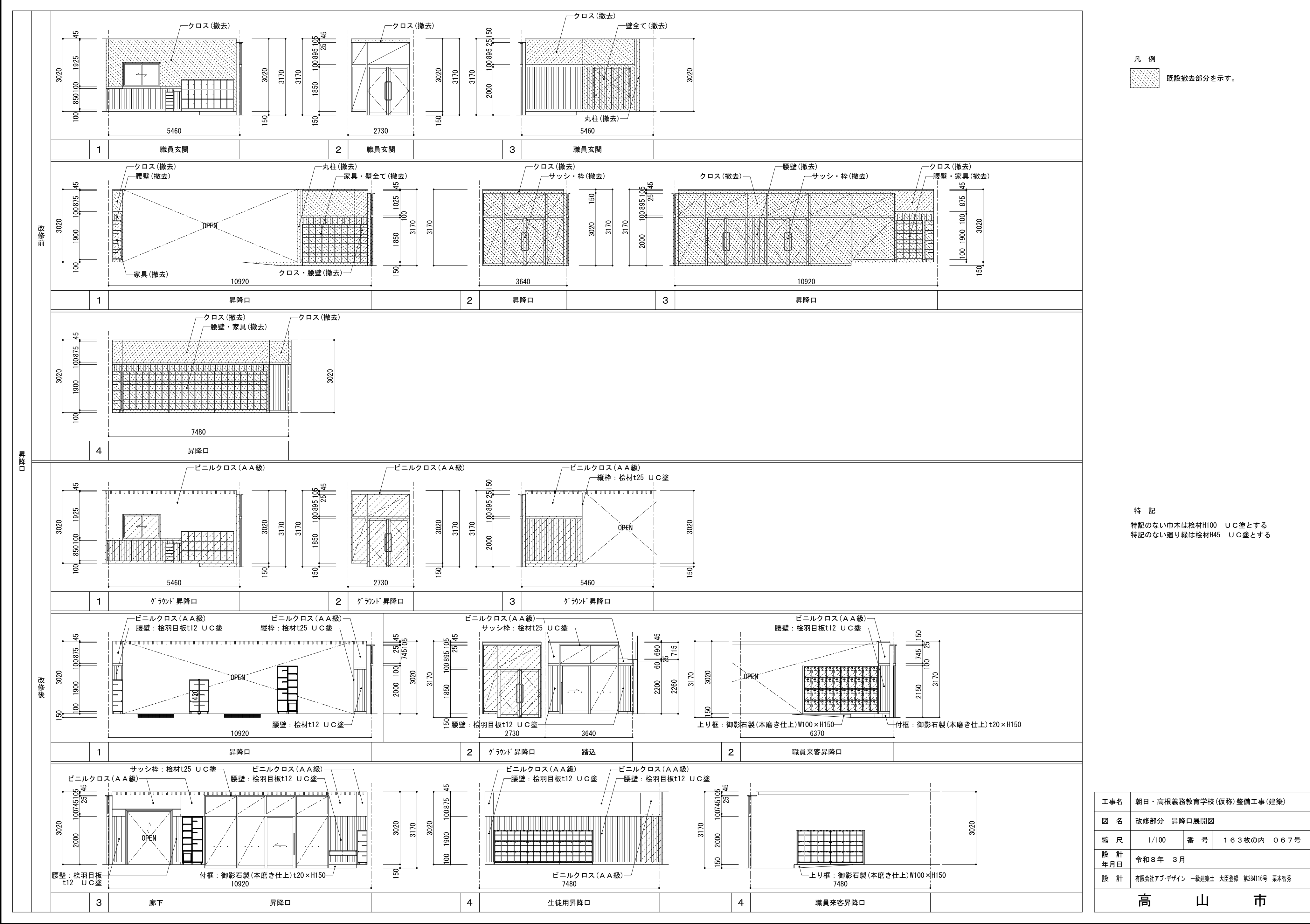
() 内は設計 G L を ± 0 とした床仕上面までの高さを示す。

凡例

既設のままの壁断面部分を示す。

既設のままの床仕上部分を示す。

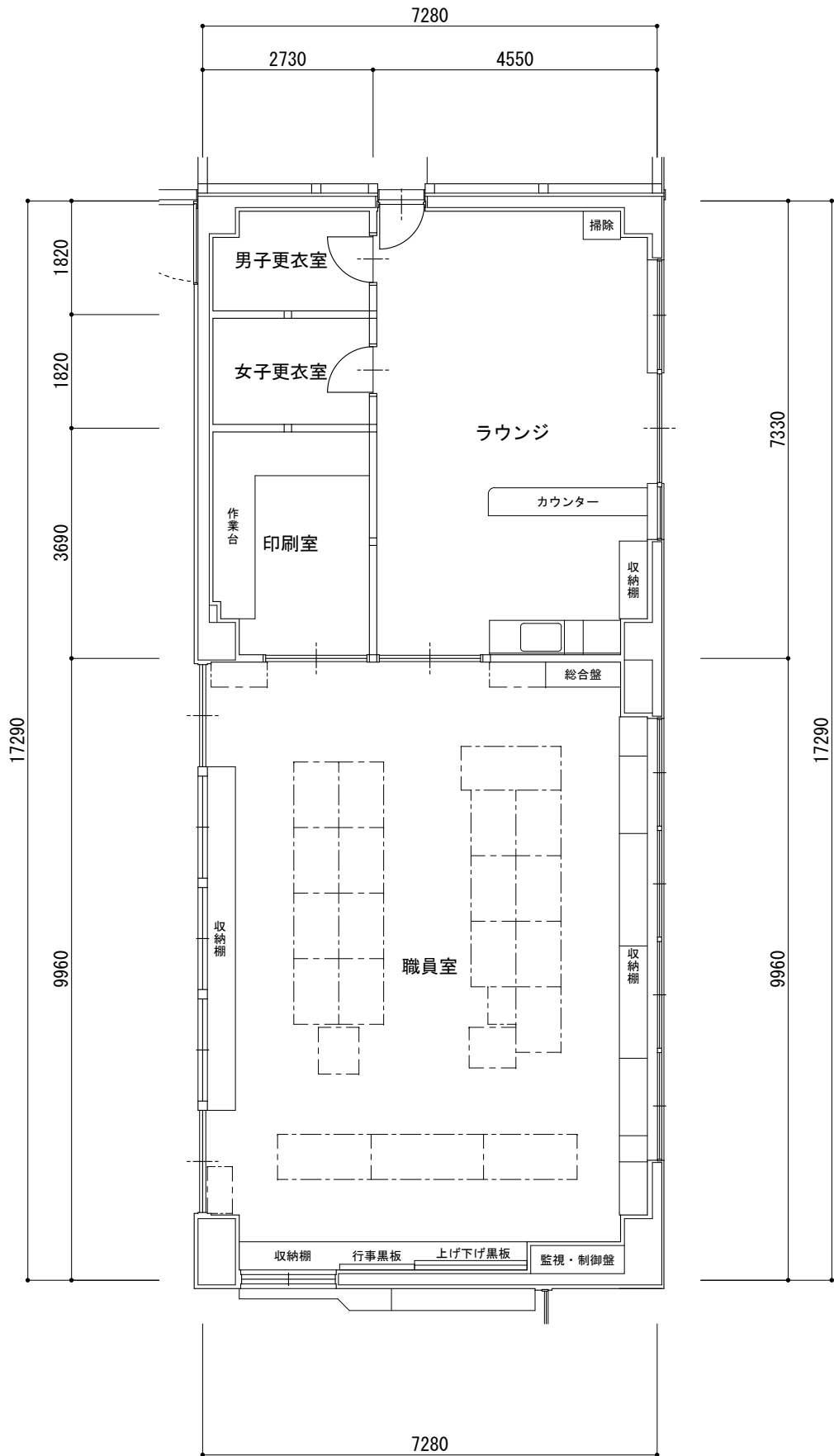
工事名	朝日・高根義務教育学校 (仮称) 整備工事 (建築)		
図 名	改修部分 昇降口平面詳細図 (2)		
縮 尺	1/50	番 号	1 6 3 枚の内 0 6 6 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



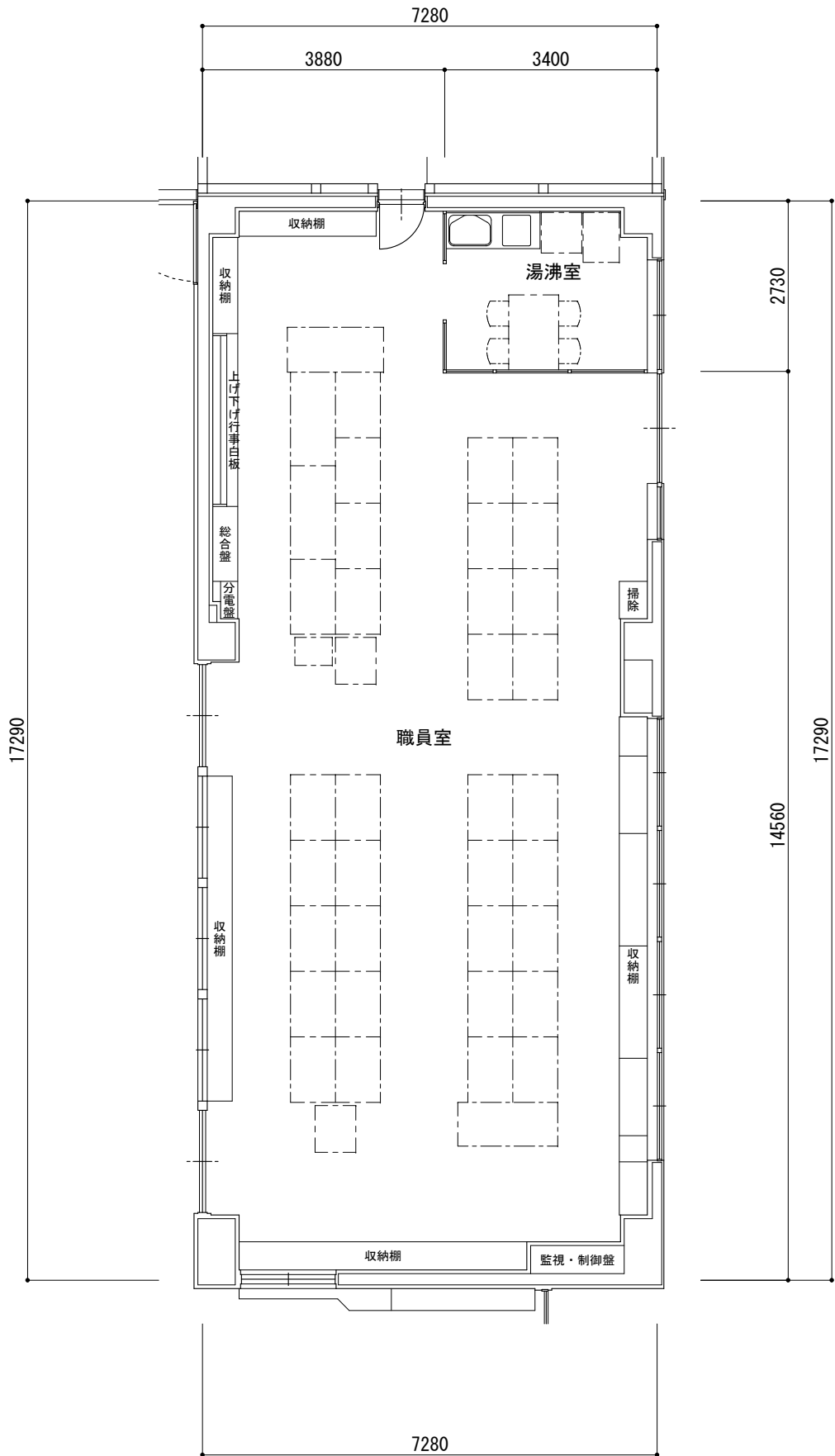
工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	改修部分 昇降口展開図		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 6 7 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

内 部 仕 上 表												
棟	階	種別	室 名	床	巾 木 等	壁	天 井	廻 り 縁 等	天 井 高	木 部 塗 装	備 考	
R C 校 舎 棟	1 階	改 修 前	職 員 室	床暖房用複合フローリングt13(撤去) 転ばし木根太(撤去)、合板t12(既設保持) 鋼製束組下地(既設保持)	見切縁：木製H100(既設保持) 巾木：木製H100(既設保持)	ビニルクロス(撤去) G B-Rt12.5(既設保持) 木胴縁組下地(既設保持)	ロックウール吸音板t9(撤去) 軽量鋼製天井下地(既設保持)	廻り縁：木製H45(既設保持)	CH3020		床暖房ヒーター・蓄熱材・硬質ウレタン(撤去) 腰下壁：縦張桧羽目板(撤去)	
			ラ ウ ン ジ	複合フローリングt13(撤去) 合板t12(撤去) 鋼製束組下地(撤去)	見切縁：木製H100(部分撤去) 巾木：木製H100(部分撤去)	ビニルクロス(撤去) G B-Rt12.5(部分撤去) 木胴縁組下地(部分撤去)	ロックウール吸音板t9(撤去) 軽量鋼製天井下地(撤去)	廻り縁：木製H45(撤去)	CH2700	腰下壁：縦張桧羽目板(撤去) キッチン類・収納棚・カウンター(撤去) 掃除具入(撤去)、F F ストープ(移設再設置)		
			印 刷 室	複合フローリングt13(撤去) 合板t12(撤去) 鋼製束組下地(撤去)	巾木：塩ビ製H75(撤去)	ビニルクロス(撤去) G B-Rt12.5(部分撤去) 木胴縁組下地(部分撤去)	G B-D(ジブトーン)t9.5(撤去) 軽量鋼製天井下地(撤去)	廻り縁：塩ビ製(撤去)	CH2700	作業台・収納棚(撤去)		
			男子更衣室 女子更衣室	複合フローリングt13(撤去) 合板t12(撤去) 鋼製束組下地(撤去)	巾木：塩ビ製H75(撤去)	ビニルクロス(撤去) G B-Rt12.5(部分撤去) 木胴縁組下地(部分撤去)	G B-D(ジブトーン)t9.5(撤去) 軽量鋼製天井下地(撤去)	廻り縁：塩ビ製(撤去)	CH2400			
	改 修 後	職 員 室 (既 設)	職 員 室 (既 設)	タイルカーペットt6.5 樹脂製○AフロアH50、構造用合板t9	見切縁：桧材H100 U C塗 巾木：桧材H100 U C塗	ビニルクロス(A A級)、E Pボード+揭示クロス G B-Rt12.5(部分新設)	ロックウール吸音板t9 G B-Rt9.5		CH3020			
			職 員 室 (増 設)	職 員 室 (増 設)	タイルカーペットt6.5 樹脂製○AフロアH50、構造用合板t24 木大引+鋼製束組下地	見切縁：桧材H100 U C塗 巾木：桧材H100 U C塗	ビニルクロス(A A級) G B-Rt12.5(部分新設)	ロックウール吸音板t9 G B-Rt9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：桧材H45 U C塗	CH3020 一部CH2700	U C塗	腰下壁：縦張桧羽目板(本実加工品)t12×W150 U C塗 上げ下げ行事白板(製作品)、収納棚(製作品)
				湯 沸 室	タイルカーペットt6.5 樹脂製○AフロアH50、構造用合板t24 木大引+鋼製束組下地	見切縁：桧材H100 U C塗 巾木：桧材H100 U C塗	ビニルクロス(A A級)、G B-Rt12.5(部分新設) キッチン廻り：メラミン化粧板t3目透張(目地シール)	ロックウール吸音板t9 G B-Rt9.5 軽量鋼製天井下地(LGS19)	廻り縁：桧材H45 U C塗	CH3020 一部CH2700	U C塗	可動間仕切壁(既製品)

注) 改修後の仕上表は、新設部分のみを記載する。

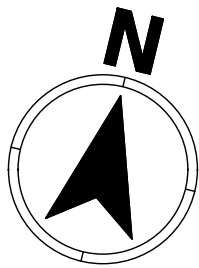


改修前 1 階平面図 1/100

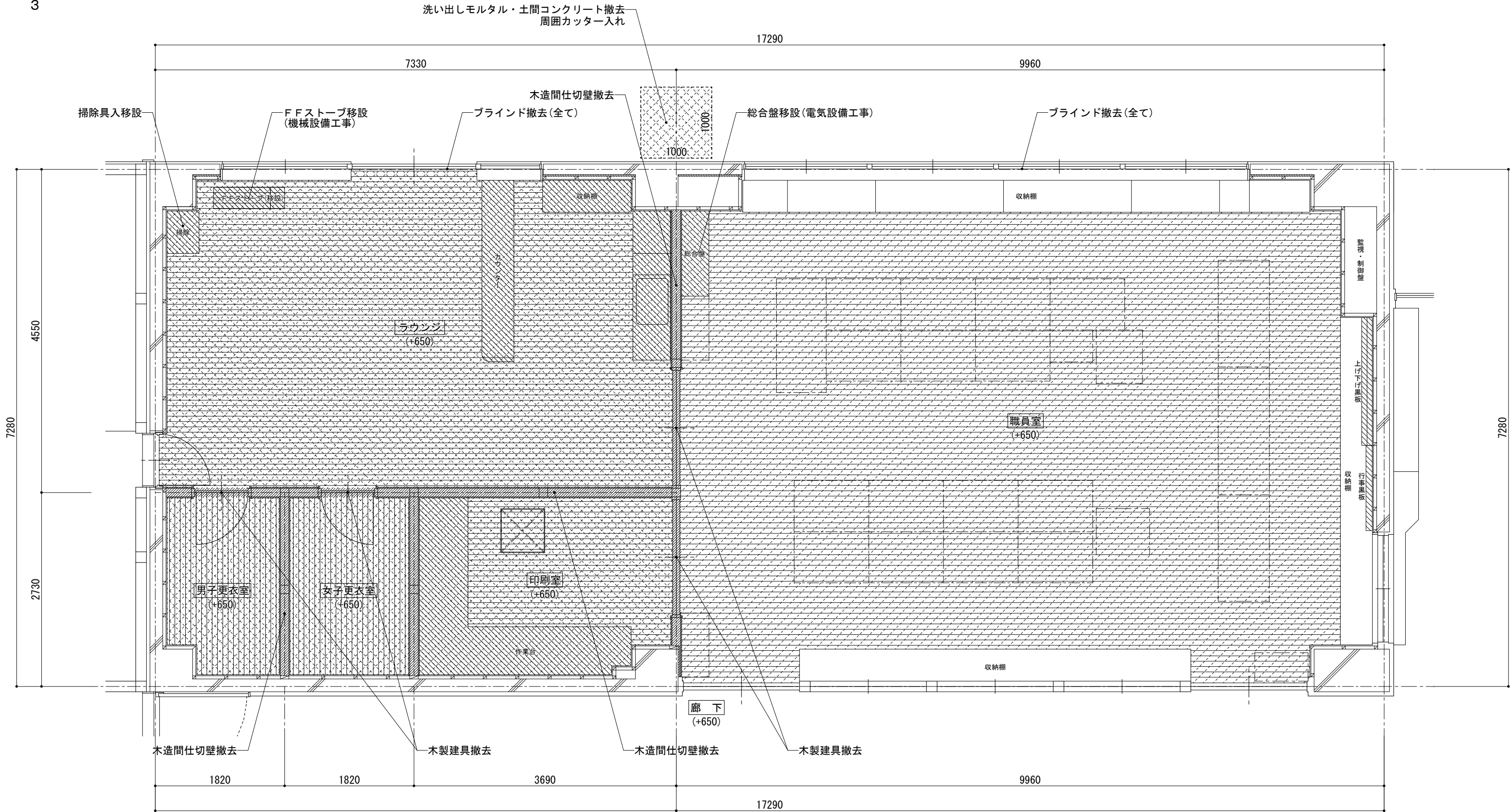
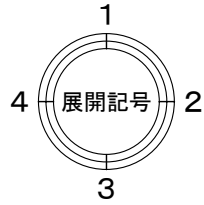
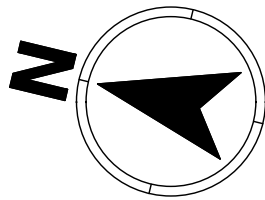


改修後 1 階平面図 1/100

凡 例	
G B-R	: 石膏ボード
G B-D	: 化粧石膏ボード
G B-S	: シーリング(防水)石膏ボード
R V(I)	: ラワン合板完全耐水(タイプⅠ)
R V(Ⅱ)	: ラワン合板高度耐水(タイプⅡ)
S U S	: ステンレス SUS304(HL)
R C	: 鉄筋コンクリート
C B	: コンクリートブロック(C種)
S O P	: 合成樹脂ペイント(2回塗)
E P	: 艶消合成樹脂エマルションペイント(2回塗)
E P-G	: 艶有合成樹脂エマルションペイント(2回塗)
O S	: オイルステン(1回塗)
U C	: 1 液性ウレタン樹脂ワニス(2回塗)
2-U C	: 2 液性ウレタン樹脂ワニス(2回塗)
D P	: 耐候性塗料(2回塗)
W P	: 木材保護着色塗料(3回塗)



工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	改修部分 職員室平面図・仕上表		
縮 尺	1/100	番 号	1 6 3 枚の内 0 6 8 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



改修前 1 階平面詳細図 1/50

()内は設計GLを±0とした床仕上面までの高さを示す。

凡 例



床仕上撤去 (下地含む全て)



床仕上撤去 (鋼製床下地・合板残し)



建具・家具・衛生器具等撤去

工事名	朝日・高根義務教育学校(仮称)整備工事(建築)		
図 名	改修部分 職員室平面詳細図(1)		
縮 尺	1/50	番 号	1 6 3 枚の内 0 6 9 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			